

刺しゅうPRO^{プロ} Ver.4.0

PC 刺しゅうデータ作成機

ES91104

取扱説明書



brother

ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

この製品を安全にご使用していただくために、以下の基本的なことがらを守ってください。



注意

本体について

お客様ご自身での分解、改造はしないでください。

本体に水などをこぼさないでください。

本体・カードおよびカード挿入口に、ミシン針や針金などの金属を差し込まないでください。

屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。本機の使用温度は0 ~ 40 です。

以下の場合には本機のご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはプラザーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。

- ・ 正常に作動しないとき
- ・ 落下などにより破損したとき
- ・ 本体が濡れたとき

* 火災、感電の原因となります。

お子様の玩具としてご使用にならないでください。

* 傷害の原因となります。

専用アダプタの使用について



警告

一般家庭用電源100Vでご使用ください。

以下のようなときは必ず電源を切り、アダプタを抜いてください。

- ・ 本機のそばをはなれるとき
- ・ 本機を使用したあと
- ・ 使用中に停電したとき

* 過熱や火災の原因となります。



注意

アダプタの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。

アダプタをコンセントから抜くときはアダプタを持って抜いてください。

コードを引っ張って抜かないでください。

アダプタが破損したときはご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはプラザーのサービスセンターにて修理、または調整をお受けください。

必ず専用アダプタ（部品コード：XA0148-001）を使用してください。

専用アダプタは他の製品でのご使用を絶対になさらないでください。

* 過熱、火災、感電、傷害の原因となります。

この製品は日本国内家庭用です。

FOR USE IN JAPAN ONLY

この装置は、第2種情報処理装置（住宅地域またはその隣接した地域に置いて使用されるべき情報処理装置）で住宅地域での電波障害防止を目的とした情報処理装置電波障害自主規制会（VCCI）基準に適合しています。しかし、本装置をラジオ、テレビジョン受信機に近接してご使用になると、受信傷害の原因となることがあります。取扱説明書に従って正しい取扱いをしてください。

はじめに

このたびは刺しゅうプロ Ver.4.0 をお買い上げ頂きありがとうございます。

本機はパソコンに接続しご使用いただくことにより、オリジナル刺しゅうを作成できる刺しゅうデータ作成機です。本機の性能を十分にひきだし、正しく安全に操作いただくために、この「取扱説明書」を最後までよくお読みください。（また Readme ファイル、各ソフトのヘルプもご参照ください。）

お読みになったあとは、保証書とともに必ず大切に保管してください。

注意： 本「取扱説明書」では、お使いのコンピュータの Windows および周辺機器の使用方法については説明していません。Windows および周辺機器のマニュアルを参照してください。

重要： 営業目的で、別売の「刺しゅうカード」や新聞・雑誌等から無断で複製し、本機にて使用することは「著作権法」に触れることになり、法により処罰されることがあります。

本製品に含まれるソフトウェアは、「著作権法」により保護されています。著作権法に従う場合に限り、本ソフトウェアをご使用・複製いただくことができます。

本製品は、一般家庭用のみのご使用を対象としています。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

Pentium は米国インテル社の商標です。

オリジナル刺しゅうを美しく作成していただくために

この「刺しゅうプロ Ver.4.0」では、多様な刺しゅうデータの作成が可能となるように、縫い方の様々な設定（糸密度、縫いピッチ等）がサポートされています。

ただし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や、縫う条件（布、糸など）に依存するところもございますので必ず実際にご使用になるミシン、縫う条件で、試し縫いを行ってください。

刺しゅう文字について

刺しゅう文字は書体によってあまり小さいサイズを設定すると、きれいに縫製できない場合があります。

1文字のサイズは、日本語書体は 15 mm 以上、欧文書体（アルファベット等）は 10 mm 以上での設定をおすすめします。

また、True Type フォントを使用する場合は、フォントのデザインによってきれいに刺しゅう模様に変換されない場合があります。均一な太めのラインでデザインされた True Type フォントをお選びください。

目次

お使いになる前に

■ カードライター各部の説明	1
■ 付属品	1
■ カードライターの接続	2
■ ソフトウェアをインストールする	4
必要なシステム環境	4
インストールする	5
■ 刺しゅう模様を作成するための ヒントとテクニック	8
• 広い範囲を縫うときは	8
• 縫い方向について	8
• 縫い順について	8
• 模様の拡大・縮小	8

使ってみましょう

本章のあらまし	9
はじめに	9
• デザインセンター	9
• レイアウトセンター	10
• ステッチクリエイター	10
• ファイルユーティリティ	10
■ デザインセンターを使う	11
デザインセンターを起動する	12
原画（画像ファイル）を開く	13
輪郭線画に変換する	14
輪郭線画を編集する	15
輪郭データに変換する	16
縫い方設定ステージへ移動する	17
縫い方を設定する	18
• 輪郭線を設定する	18
• 面を設定する	20
縫製イメージをプレビューする	23
ファイルを保存する	23
■ レイアウトセンターを使う	24
レイアウトセンターを起動する	25
デザインセンターから刺しゅう模様を取り込む	26
ズームインとズームアウトを行う	28
刺しゅう模様を移動する	30
円を加える	31
円の大きさや位置を調整する	32
• 円の大きさを変更する	32
• 円を移動する	33

文字を加える	33
円の周りに文字を配列する	35
文字と円を移動する	36
• 文字と円をグループとして移動する	36
• 円上で文字を移動する	36
太陽を描く円を加える	36
プログラムタタミ縫いを選択する	38
陽光を描く（折れ）線を加える	39
太陽と陽光の縫い順を変更する	41
陽光を調整する	41
ドーナツ縫いを設定する	42
縫製イメージをプレビューする	43
カードへ刺しゅうデータを書込む	44
刺しゅうデータを保存する	45
レイアウトセンターを終了する	45
■ ステッチクリエイターを使う	46
ステッチクリエイターを起動する	47
パターンファイルを開く	48
直線を描いて、パターンを編集する	49
編集したパターンを保存する	50
ステッチクリエイターを終了する	50
■ 大型刺しゅう枠用のデータを作成する ..	51
• デザインページのサイズを指定する	51
• 模様を作成する	52
• 枠の最適化	53
• データを確認する	53
• データを保存する	54
• データをオリジナルカードに書込む	54

デザインセンター

■ 画面	58
■ ステージ2のツールボックスの使い方 ..	59
描画と消去のしかた	59
• 描画のしかた	59
• 消去のしかた	59
ズームインツール	60
デザインページズーム	60
ズームアウトツール	60
■ ステージ3のツールボックスの使い方 ..	61
選択ツール	62
• 輪郭データを選択する	62
• 輪郭データを移動する	62
• 輪郭データを拡大・縮小する	63
• 輪郭データを上下または左右に反転する	63
• 輪郭データを回転する	63
• 輪郭データを削除する	63

ズームツール.....	126	• グループ化解除.....	161
• ズームインを行う.....	126	• 切り取り.....	162
• ズームアウトを行う.....	126	• コピー.....	162
• 実縫製サイズにズームする.....	126	• 複製.....	162
• 選択された模様を画面サイズに拡大する.....	126	• 貼り付け.....	163
• デザインページ全体を表示する.....	127	• 削除.....	163
文字入力ツール.....	127	• 反転 - 上下.....	163
• 文字を入力する.....	127	• 反転 - 左右.....	164
円・円弧描画ツール.....	128	• 回転.....	164
• 円または楕円を描く.....	129	• 数値設定 - サイズ.....	165
• 円弧を描く.....	129	• 数値設定 - 回転.....	166
• 扇形を描く.....	130	• 中央へ移動.....	167
• 円弧と弦を描く.....	130	• 整列.....	167
長方形描画ツール.....	131	• 縫い順.....	168
• 長方形を描く.....	131	• すべて選択.....	169
直線描画ツール.....	131	文字メニュー.....	170
• 直線（折線）を描く.....	131	• 文字の編集.....	170
曲線描画ツール.....	132	• 書式設定.....	171
• 曲線を描く.....	132	• 文字の配列.....	172
マニュアルパンチングツール.....	133	• 文字配列の解除.....	174
• マニュアルパンチング模様を作成する.....	133	• 文字の変形.....	174
■ 縫い方バーの使い方.....	135	• 変形の解除.....	175
幾何学的属性を設定する.....	136	• True Type フォントの設定.....	175
• 円弧の種類.....	136	縫い方メニュー.....	176
• 角の丸み.....	136	• 縫い方の設定.....	176
• 両端の処理.....	137	• 縫い順の確認.....	182
文字属性を設定する.....	138	• ドーナツ縫いの設定.....	183
• 書体.....	138	• ドーナツ縫いの解除.....	184
• 文字サイズ.....	139	• STB 機能（Stitch to Block 機能）.....	184
• 変形の度合い.....	140	• 取込み模様の糸色変更.....	185
糸色と縫い方を設定する.....	141	• 縫製範囲の設定.....	186
• 線の設定.....	141	• 枠の最適化.....	187
• 面の設定.....	142	表示メニュー.....	188
• 糸色.....	143	• グリッド.....	188
• 縫い方.....	145	• プレビュー.....	189
■ メニューバーとツールバーの使い方..	146	• 画面の再描画.....	189
ファイルメニュー.....	147	• リアルプレビュー.....	189
• 新規作成.....	147	• リアルプレビューの設定.....	190
• 開く.....	148	• 下絵.....	190
• データ取込み - ファイルから.....	149	• ツールバー.....	191
• データ取込み - デザインセンターから.....	151	• ステータスバー.....	191
• 下絵を開く.....	152	オプションメニュー.....	192
• 上書き保存.....	153	• デザインセンターの起動.....	192
• 名前を付けて保存.....	153	• ステッチクリエイターの起動.....	192
• データ書出し.....	154	• ファイルユーティリティの起動.....	193
• カード書込み.....	154	• デザインのプロパティ.....	193
• ファイルプロパティ.....	155	• デザインページの設定.....	195
• 印刷の設定.....	156	• 糸色ダイアログの設定.....	195
• 印刷プレビュー.....	157	• 単位の設定.....	196
• 印刷.....	158	ヘルプメニュー.....	197
• 終了.....	159	• 目次.....	197
編集メニュー.....	160	• ヘルプの使い方.....	197
• 元に戻す.....	160	• 刺しゅう PRO WEB ページ.....	197
• やり直し.....	160	• バージョン情報.....	198
• グループ化.....	161		

ファイルユーティリティ

■ 画面	199
■ データ読み込み	200
操作	200
エラーメッセージ	202
■ データ書き込み	204
操作	204
エラーメッセージ	206
■ メニューバーの使い方	208
ファイルメニュー	208
・終了	208
オプションメニュー	208
・接続ポートの設定	208
・カードライターのバージョン	208
ヘルプメニュー	209
・目次	209
・ヘルプの使い方	210
・刺しゅう PRO WEB ページ	210
・バージョン情報	210

ステッチクリエイター

■ 画面	211
■ ツールボックスの使い方	212
選択ツール	212
・パターンを選択する	212
・パターンを移動する	212
・パターンを拡大・縮小する	213
・パターンを削除する	213
ポイント編集ツール	213
・ポイントを移動する	213
・ポイントを挿入する	214
・ポイントを削除する	214
直線描画ツール	215
・直線を描く	215
■ メニューバーの使い方	216
ファイルメニュー	216
・新規作成	216
・開く	216
・下絵を開く	218
・上書き保存	218
・名前を付けて保存	219
・終了	219
モードメニュー	220
編集メニュー	222
・元に戻す	222
・やり直し	222

・切り取り	223
・コピー	223
・複製	223
・貼り付け	224
・削除	224
・反転 - 上下	224
・反転 - 左右	224
・回転	225
・すべて選択	225
表示メニュー	226
・グリッド	226
・下絵	227
・プレビュー	227
・ツールバー	228
・ステータスバー	228
ヘルプメニュー	228
・目次	228
・ヘルプの使い方	229
・刺しゅう PRO WEB ページ	229
・バージョン情報	229
■ 糸色パレット	230

ショートカット早見表

デザインセンター	231
レイアウトセンター	233
ファイルユーティリティ	235
ステッチクリエイター	235

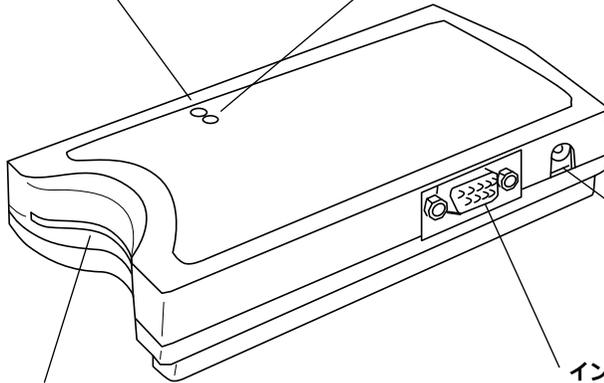
索引

お使いになる前に

カードライター各部の説明

電源表示 LED (緑)
電源が入っているときに点灯します。

通信中表示 LED (赤)
PC とカードライターが通信しているとき、点灯します。この LED が点灯しているときは、決して、電源を切ったり、インターフェイスケーブルやカードの抜き差しをしないでください。



カードスロット
ここにオリジナルカードやお手持ちの刺しゅうカードを挿入します。

AC アダプターコネクタ
ここに AC アダプタージャックを差し込みます。

インターフェイスケーブルコネクタ
ここにインターフェイスケーブルを差し込みます。

付属品



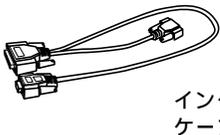
刺しゅうプログラム
CD-ROM



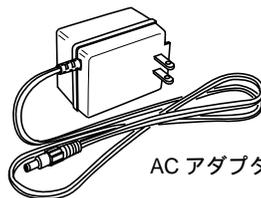
オリジナルカード (1枚)



取扱説明書



インターフェイス
ケーブル



AC アダプター



ユーザー登録ハガキ

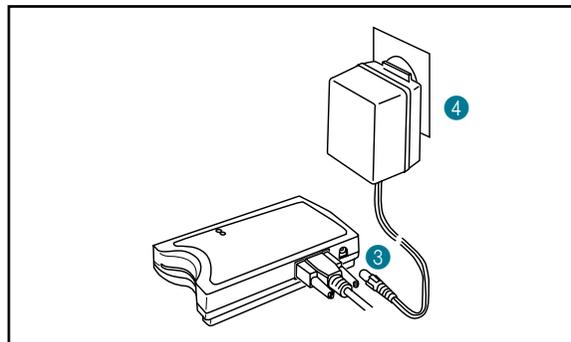
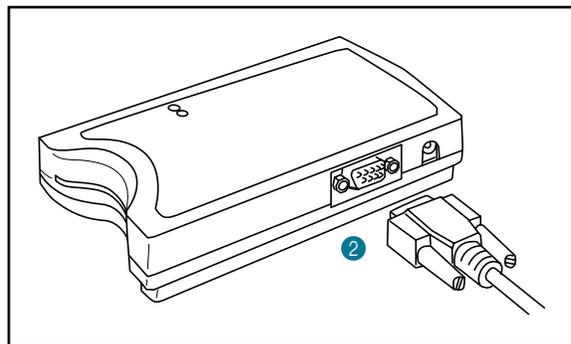
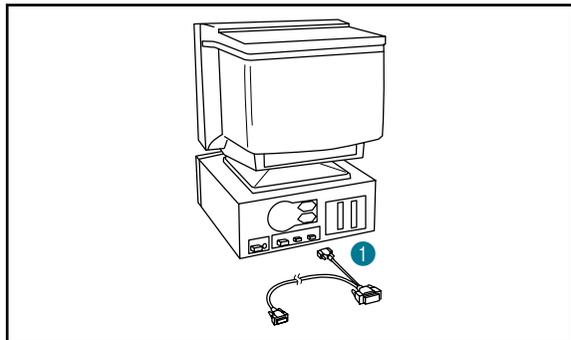
カードライターの接続

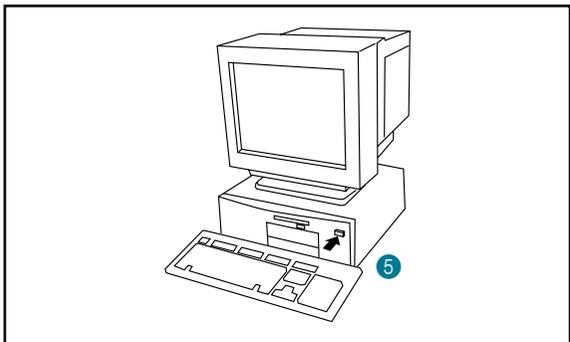
重要：接続前に、必ずパソコンの電源が切れていることを確認してください。

- 1 付属のインターフェースケーブルを、ご使用のパソコンの RS-232C シリアルポートに差し込みます。
 - 他の周辺機器に使用されていない接続ポートを選択してください。
 - 他の周辺機器が何も接続されていないときは、**ファイルユーティリティアプリケーション**で標準ポート AUTO を選択してください。接続されているときは、使用可能な一番小さな番号の COM ポートを選択してください。(P.208 参照)
 - インターフェースケーブルのパソコン側には 2 種類のプラグが付いています。差し込み可能な方のプラグを使用してください。

- 2 インターフェースケーブルをカードライターに差し込みます。

- 3 AC アダプターをカードライターに差し込みます。
- 4 AC アダプター本体をコンセントに差し込みます。





⑤ パソコンの電源を入れます。

重要：パソコンの電源が入っているときに、周辺機器の電源を入/切しないでください。
パソコンの電源を入れる前に、すべての周辺機器（本機、プリンタ、CRT ディスプレイ等）の電源を入れ、また周辺機器の電源を切る前に、パソコンの電源を切るようにしてください。

ソフトウェアをインストールする

必要なシステム環境

ご使用のパソコンにソフトウェアをインストールする前に、ご使用のシステムが以下の条件に適合しているかを確認してください。

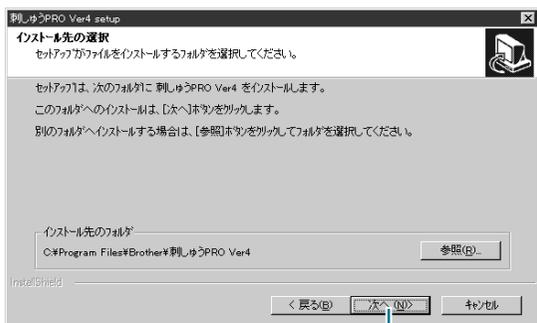
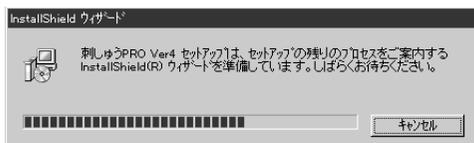
PC	IBM-PC またはその互換機
CPU	Pentium 以上
Windows	日本語 Windows 95 / 98 / 98SE / Me
メモリ	32M 以上 (64M 以上推奨)
ハードディスクの空き	30M 以上の空き容量
ディスプレイ	SVGA (800 × 600)、High Color (16 ビット) 以上
シリアルポート	使用可能な RS-232C ポート 1 基
マウス	ご使用の Windows でサポートされているマウス
プリンタ	ご使用のシステムでサポートされているプリンタ (画像を印刷したい場合)
スキャナ	TWAIN 規格対応の機器 (スキャナ等) であれば、本アプリケーションで直接 画像の取り込みが可能
CD-ROM ドライブ	

インストールする

- 1 Windowsを起動します。(Windowsマニュアル参照)
 - 他のWindowsアプリケーションを起動している場合は、それらを終了してください。
- 2 付属のCD-ROMをお使いのCD-ROMドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。

インストールプログラムが自動で起動しない場合：

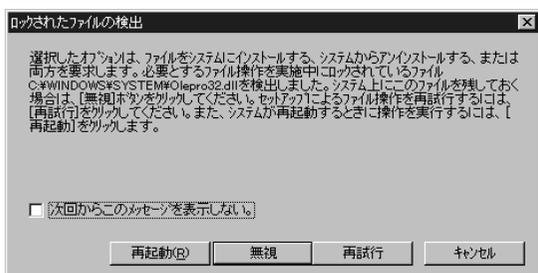
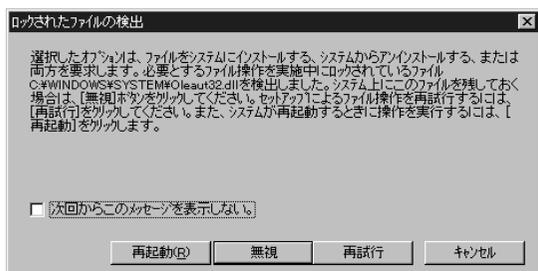
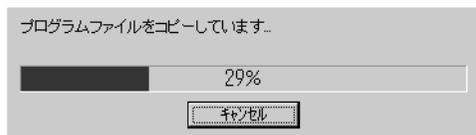
- **スタート** をクリックします。
 - メニューの**ファイル名を指定して実行**をクリックします。**ファイル名を指定して実行**ダイアログが表示されます。
 - インストールプログラムのフルパスを入力し、OKをクリックするとインストールプログラムが起動します。
例：D:¥Setup (CD-ROMドライブがDドライブのとき)
E:¥Setup (CD-ROMドライブがEドライブのとき)
- 3 ここで表示されるパネルが、次のダイアログに置き換わるまで、そのまま待ちます。



- 4 セットアップウィザードが表示されたら**次へ**をクリックして、インストールを進めます。
 - 他のWindowsアプリケーションを起動している場合は、**キャンセル**をクリックして中断し、他のすべてのアプリケーションを終了し(閉じ)、インストール作業を最初からやり直してください。
- 5 **次へ**をクリックして、標準フォルダにインストールします。
 - 他のフォルダにインストールしたいときは、**参照**をクリックし、ドライブとフォルダ(必要な場合、フォルダ名を入力します)を選択します。希望するフォルダが選択されたら、OKをクリックします。**インストール先のフォルダ**に選択されたフォルダが表示されたら、**次へ**をクリックして、そのフォルダにインストールします。
 - 直前の作業に戻る場合は、**戻る**をクリックします。
 - 中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

インストール先の選択ダイアログの次へをクリックすると、インストールが開始されます。

- ⑥ 左のパネルが、次のダイアログに置き換わるまで、そのまま待ちます。
- ・ 中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。



- ⑥ でファイルをインストール中に、左のようなメッセージが表示される場合があります。

これは、インストールしようとしたファイル (Oleaut32.dll、Olepro32.dll) が、ハードディスクに既に存在し、他のアプリケーションなどで使用中 (ロックされた状態) の場合に、自動でファイルを書換えられないために表示されます。

下記の説明を読み、ボタンをクリックします。

再起動: ファイルを書換える場合は、このボタンをクリックします。インストール終了後、Windows を再起動してください。

(通常は、このボタンを選んでください。)

無視: ファイルを書換えたくない場合は、このボタンをクリックします。ファイルを書換えなかった場合、アプリケーションが正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。

再試行: ファイルの書換えを再度試す場合は、このボタンをクリックします。ロックされているファイルを使用しているアプリケーションが分かっている場合などで、ファイルのロックを解除できた場合に使用します。

キャンセル: インストールを中止する場合は、このボタンをクリックします。

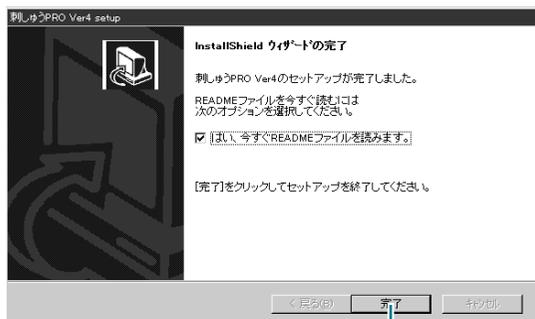
注意: Windows95 の初期バージョン (OS バージョンが、4.00.950 もしくは、4.00.950A の場合。マイコンピュータのプロパティで確認できます。) においては、必ず**再起動**を選択して下さい。**再起動**以外を選択した場合、正常に動作しません。

再起動を選択した場合、Windows が**再起動**した直後に MS-DOS プロンプトの画面が表示されインストールの残りの作業を行います。その作業が終了後、画面を閉じて下さい。また、この場合には次項の Readme ファイルに関しては表示されません。(Readme ファイルはスタートメニューからいつでも選択して見ることができます。)

インストールが完了すると、左のダイアログが表示されます。

- ⑦ **完了**をクリックして、**セットアップ**を終了します。README ファイルが表示されます。
- ・ README ファイルを表示させたくないときは、チェックボックスをクリックし マークを外してから、**完了**をクリックします。

注意: README ファイルには重要な事柄が説明されていますので、必ずお読みください。





これでインストールが完了しました。プログラムグループ画面にはインストールされたアプリケーションのアイコンが表示されます。

インストールしたアプリケーションを起動するには、起動したいアプリケーションのアイコンをダブルクリックします。

参考：次のいずれかの方法でプログラムのセットアップを行うこともできます。

- Windows **エクスプローラ**画面で、CD-ROM ドライブ名 Setup.exe ファイルをダブルクリックして、Setup.exe を実行します。
- **マイコンピュータ コントロールパネル アプリケーションの追加と削除 インストールと削除**タブのインストールをクリックし、インストールウィザードの指示に従います。

刺しゅうプロ Ver.4.0 とインターネットエクスプローラをご使用になる際の注意点

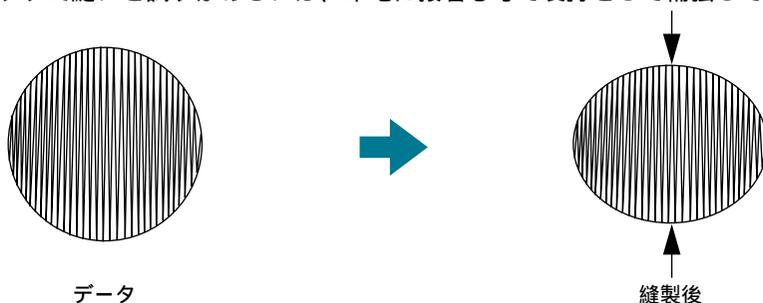
刺しゅうプロ Ver.4.0 は、インターネットエクスプローラ 4.0 で作動しているパソコンでは正しく作動しません。ただし、インターネットエクスプローラ 4.01 (バージョン No.4.72.2106.8 以上) では、正しく作動します。

ご使用のパソコンにインターネットエクスプローラ 4.0 をインストールしている場合は、本アプリケーションを使用する前に、インターネットエクスプローラを 3.x、4.01 (No.4.72.2106.8 以降のバージョン)、5.x のいずれかのバージョンに変更してください。

刺しゅう模様を作成するためのヒントとテクニック

■ 広い範囲を縫うときは

広い範囲でサテン縫いを使うと、布や糸の種類により、縫製後に縫った部分が縮んでしまうことがあります。このような場合にはタタミ縫いを試すかあるいは、布地に接着芯等で裏打をして補強してみてください。



注意：広い範囲でサテン縫いを使うと、ミシンによっては、針の位置が10mm位ずれてしまうことがあります。

■ 縫い方向について

縫い縮みを抑えるためには、縫う方向を、より大きな辺に直角になるように設定します。



■ 縫い順について

(デザインセンターやレイアウトセンターにより)複数の刺しゅう模様を組み合わせた刺しゅうデータを作成したら、縫い順を確認し、必要に応じてデータを修正してください。

デザインセンターでは、縫い方を設定した順序が標準の縫い順となります。

レイアウトセンターでは、模様を描画した順序が標準の縫い順となります。

■ 模様の拡大・縮小

取り込んだ刺しゅう模様をレイアウトセンターで拡大・縮小するには2通りの方法があります。

模様をそのまま拡大・縮小する方法と、模様をSTB機能(P.184参照)を操作してから拡大・縮小する方法です。

そのまま拡大・縮小すると、縫製される針数は変わらず、縫い目が粗くまたは細くなり大きさが変わりますので、模様のサイズを大きく変化すると、刺しゅう品質が変わってしまいます。

メニューバーから縫い方 STB機能を操作してから拡大・縮小すると、縫製される針数が自動的に新しいサイズに合わせて変更されるので、元の刺しゅう品質が維持されます。STB機能の感度を通常は「普通」に設定すると、刺しゅう品質をほぼ維持できます。

模様を少しだけ拡大・縮小するだけなら、STB機能を操作する必要はありません。

この「刺しゅうプロ」では、オリジナルの刺しゅうデータが作成できるように、様々な縫い方(糸密度、縫いピッチ等)がサポートされています。しかし、最終的な仕上がりは、ご使用のミシンの性能や実際の縫製条件(布、糸など)によって異なる場合がありますので、実際にご使用になるミシン、縫う条件で、必ず試し縫いを行ってください。試し縫いでは、最終的に使用するものと同じ布、針、ミシン刺しゅう糸を使用してください。

使ってみましょう

本章のあらまし

次ページからの「デザインセンターを使う」、P.24「レイアウトセンターを使う」、P.46「ステッチクリエイターを使う」の内容は、実際の作業を通して本アプリケーションの様々な機能を理解していただけるように構成されています。

まず、デザインセンターを使用して、原画から刺しゅう模様を作成します。

次に、その刺しゅう模様をレイアウトセンターに読み込みます。そこで、刺しゅう模様に幾何学模様や文字などを加えて、それをレイアウトします。

また、装飾的な刺しゅうを作成するために、ステッチクリエイターでパターンを作成します。

最後に、オプション品の「大型枠」用の刺しゅう模様の作成方法を説明します。

はじめに

本パッケージには、4つのアプリケーションソフトが含まれています。

■ デザインセンター

デザインセンターは、原画から刺しゅう模様を作成するときに使用します。原画は、お手持ちのスキャナーで読み込んだ画像ファイルや、ペイントのようなアプリケーションを使用して作成された画像ファイルを使うことができます。ただし、使用できるファイルの拡張子は、.bmp、.tif、.jpg、.pcx、.wmf、.png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかです。デザインセンターでは、原画の輪郭を検出し、編集可能な刺しゅう模様を作成する方法と、原画から自動的に刺しゅう模様を作成する方法（**フォトステッチ**）があります。

手順は4つのステージに分かれます。

- ◆ **ステージ1 - 原画ステージ** : 原画の画像ファイルを開き、刺しゅう模様の輪郭にしたい色を選択するステージです。
- ◆ **ステージ2 - 輪郭線画ステージ** : ステージ1の原画を、白黒のイメージに置き換えるステージです(ステージ1で輪郭として選択した色は黒に、他の色はすべて白に変わります)。このイメージを、太さの異なるペンツールを用いて修正することができます。また、ステージ2から作業を開始し、ペンツールを使ってイメージをフリーハンドで描くこともできます。
- ◆ **ステージ3 - 輪郭データステージ** : 白黒のイメージが、輪郭データに置き換えられます。輪郭データのポイントを移動、挿入、削除し、編集するステージです。
- ◆ **ステージ4 - 縫い方設定ステージ** : 刺しゅう模様の線と面の、糸色と縫い方を設定するステージです。

いずれのステージでも、ファイルを保存することができます。ステージ2では、拡張子 .pel のファイルとして保存され、ステージ3と4では、拡張子 .pem のファイルとして保存されます。ステージを移動するときに保存しておく、もう一度元のデータを使用したいときに便利です。

ステージ4に到達した刺しゅう模様は、レイアウトセンターに取り込むことができます。レイアウトセンターでは、取り込んだ模様を単一のオブジェクトとみなします。そのため、取り込んだ模様の縫い方の設定は変更することができません。ただし、STB機能を操作したあとで、縫い方の設定を変更することができます。

■ レイアウトセンター

レイアウトセンターは、様々な刺しゅう模様を組み合わせ、オリジナルカードに書き込める刺しゅうデータを作成するために使います。組み合わせができる刺しゅう模様は以下の模様データです。

- ◆ デザインセンターで作成された刺しゅう模様
- ◆ 別売の刺しゅうカード内の刺しゅう模様（事前に、ファイルユーティリティーを使って、取り込めるファイルとして保存しておく必要があります。）
刺しゅうプロでは刺しゅう模様を読み込めないものもあるのでご注意ください。（キャラクターもの、漢字カード等）
- ◆ .dst、.exp、.pcs、.hus のいずれかのファイル形式の刺しゅうデータ
- ◆ レイアウトセンターのツールで作成された刺しゅう模様（文字、円、長方形、直線、曲線、マニュアルパンチング）

刺しゅうデータを構成する様々な模様を集めたら、レイアウト機能を使用して、その相対位置、方向、大きさを修正します。

刺しゅう模様が完成したら、データを保存（拡張子 .pes）し、オリジナルカードに書き込むことができます。そのオリジナルカードを差し込めば、お使いのミシンで刺しゅうすることができます。

■ ステッチクリエイター

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ縫いとモチーフ縫いのパターンの作成、編集、保存ができます。そのパターンは、デザインセンターとレイアウトセンターで利用できます。パターンは、.pas または .pmf ファイルで保存されます。本アプリケーションには、数多くの .pas または .pmf ファイルが用意されています。それらを、そのまま使用して頂くか、編集して使用することができます。また、最初からパターンを作成することもできます。

■ ファイルユーティリティー

本アプリケーションソフトには、下記の 2 つの機能があります。

- ◆ **データ読み込み：** 刺しゅうデータをオリジナルカードや別売の刺しゅうカードから、お使いのコンピュータに読み込むために使用します。
- ◆ **データ書き込み：** レイアウトセンターで作成した刺しゅうデータを、オリジナルカードに書き込みます。

デザインセンターを使う

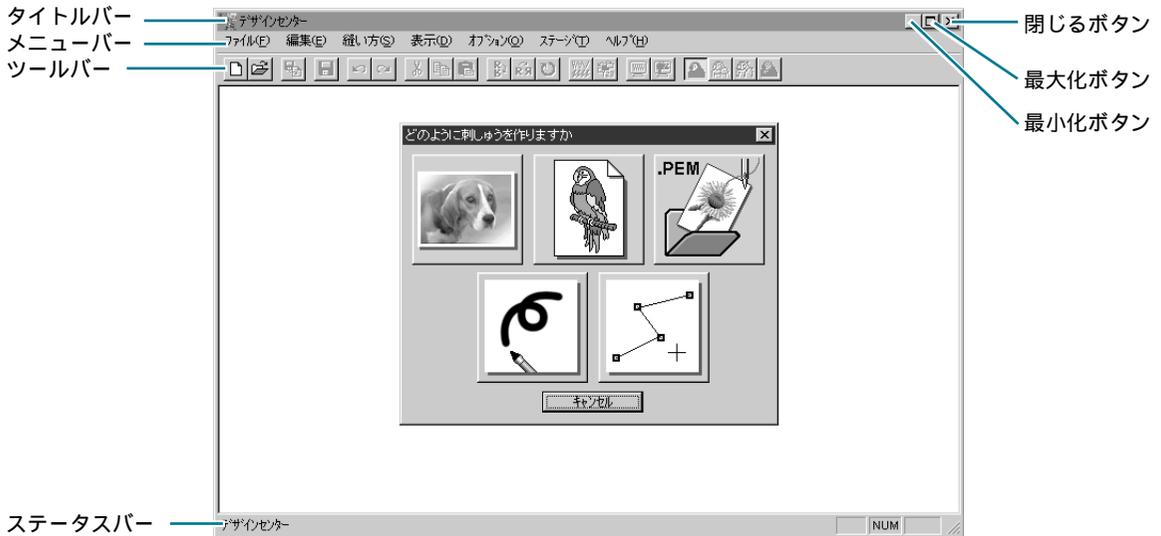
下記のステップに従って、実際に花の刺しゅう模様を作成してみましょう。この刺しゅう模様は、「レイアウトセンターを使う」の中で使用します。デザインセンターを使った通常作業では更に細かな手順がありますが、ここでは基本的な機能を紹介します。

ステップ 1	デザインセンターを起動する	P.12
ステップ 2	原画（画像ファイル）を開く	P.13
ステップ 3	輪郭線画に変換する	P.14
ステップ 4	輪郭線画を編集する	P.15
ステップ 5	輪郭データに変換する	P.16
ステップ 6	縫い方設定ステージへ移動する	P.17
ステップ 7	縫い方を設定する	P.18
ステップ 8	縫製イメージをプレビューする	P.23
ステップ 9	ファイルを保存する	P.23

説明されている手順に従って上記のステップを進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう（ステップ 9 参照）。保存したファイルをあとで呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1 デザインセンターを起動する

- 1 **スタート** ボタン プログラム 刺しゅう PRO Ver4 デザインセンターと選択します。
デザインセンターが起動します。



- 2 デザインセンター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、デザインセンター画面を一時的に Windows のタスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



デザインセンター画面に戻るには、Windows のタスクバーにあるデザインセンターのアイコンをクリックします。

ステップ 2 原画（画像ファイル）を開く

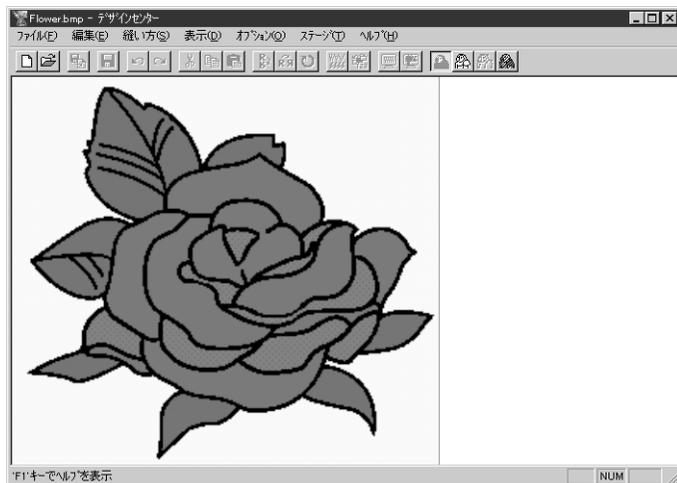
原画（画像ファイル）を開き、それを刺しゅうイメージに変換します。ウィザードダイアログが開いているときは、**キャンセル**をクリックしてダイアログを閉じてください。

- 1 メニューバーの**ファイル** **開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。



- ◆ dataフォルダのファイルFlower.bmpを選択します。
 - ・ **プレビュー**チェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることが出来ます。
- ◆ **開く**をクリックしてファイルを開きます。
- ◆ ファイル名をダブルクリックしてもファイルが開きます。

原画（画像ファイル）が表示され、作業領域にあわせて最大化されます。



ステップ 3 輪郭線画に変換する

- ① 輪郭線画ステージに移動します。メニューバーの**ステージ 輪郭線画ステージ**をクリックします。または、ツールバーの輪郭線画ステージボタンをクリックします。

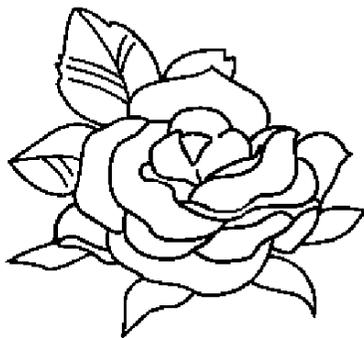


輪郭線画ステージボタン

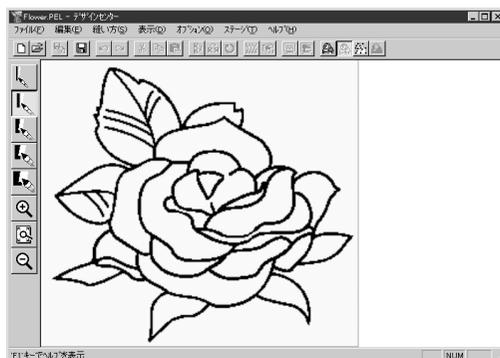
輪郭線の**選択**ダイアログが表示されます。このダイアログで、模様の輪郭線に使用する色を選択します。



- ◆ 必要に応じて、原画をスクロールまたはズームします。
- ◆ カーソルを原画上に置くとカーソルがになります。選択したい色の上でクリックします。その色が**選択された色**ボックスに表示されます。チェックボックスにが表示されてその色が選択されたことを示します。ここでは黒色を選択してください。
 - 複数の色を輪郭線として使用したい場合は、5色まで選択することができます。それ以上の色を選択しようとするときスクロールダウンされて、下段の色から選択が取り消されます。
 - 間違っても色を選択したときは、チェックボックスをクリックして選択を取り消します。
- ◆ **輪郭線の確認**をクリックして選択した色のイメージを確認します。
- ◆ イメージのプレビューが左に示すように表示されたら、OK をクリックし、輪郭線画に変換します。
- ◆ この操作を中止し、原画に戻るには**キャンセル**をクリックします。
- ◆ 必要に応じて、**原画の調整**をクリックして、色数やノイズを減らします。(P.106参照)



- ② OK をクリックすると、輪郭線画が表示されます。



- この段階で、データを pel ファイルで保存できます。

ステップ 4 輪郭線画を編集する

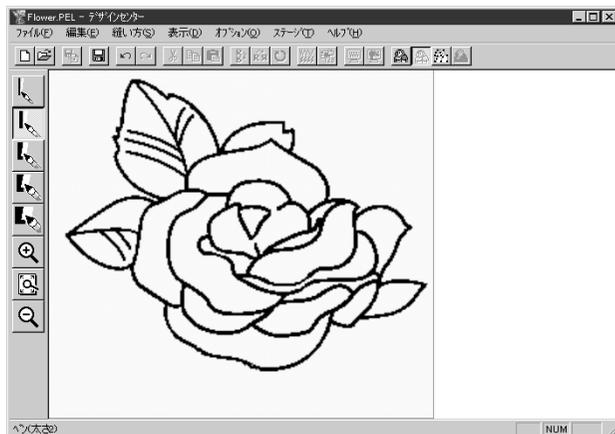
面を形成するには、輪郭線が完全につながっている必要があります。輪郭線が繋がっていない場合は修正します。輪郭線画を編集したいときや細かいところの追加修正をしたい場合は、ツールボックスのペンや消しゴムを使って修正作業を行えます。

実際に消しゴムを使って輪郭線の一部を消去してみましょう。

- ① 編集作業をしやすくするため、ズーム機能を使ってイメージを拡大します。ツールボックスのをクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルがになります。
 - ② 輪郭線上でクリックするとその部分が拡大されます。特定部分をズームインするには、その領域を囲むようにドラッグします。ドラッグすると点線の四角が表示されて、マウスを離すと選択された領域が拡大されます。ズーム機能について、詳しくは、P.60の「ズームインツール」、「ズームアウトツール」と「デザインページズーム」を参照してください。
 - ③ ツールボックスのをクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルがになります。
 - ④ 最初に消去したい輪郭線上にカーソルを置きます。マウスの右ボタンを押し続けます。カーソルがになります。
 - ⑤ 輪郭線を慎重に消し、次に消す輪郭線までカーソルを移動し、必要に応じて、イメージをスクロールします。この操作を繰り返して、数枚の花びらと葉を削除します。
- 参考：**輪郭線の一部を間違えて削除したときは、線を書き直すこともできます。その場合には、マウスの左ボタンを押しながら、線を引きます。編集結果に満足できないときは、ステージ1に戻ってパターンを変換し、再度、編集することができます。

- ⑥ 編集したあと、ズームアウトして全体の絵柄を見直したいときは、2つの方法があります。ツールボックスのをクリックします。作業領域上にカーソルを移動すると、カーソルがになります。デザインページの1点でクリックすると、その点を中心にイメージが縮小されます。この操作を数回繰り返します。

または、ツールボックスのをクリックします。デザインページがデザインセンター画面に合わせて自動的に、次のような画面が表示されます。



ステップ 5 輪郭データに変換する

ステージ 2 の輪郭線は、画像ビットマップ（単なる点とピクセルの集合）にすぎません。この段階での編集は、黒点を移動または消去しているだけです。

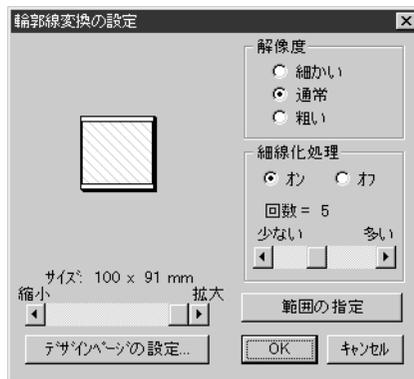
ステージ 3（輪郭データステージ）に進む段階で、アプリケーションは、輪郭のデータに変換します。ここで初めて様々な編集が可能になります。

- ① メニューバーのステージ **輪郭データステージ**をクリックします。
または、ツールバーの輪郭データステージボタンをクリックします。



輪郭データステージボタン

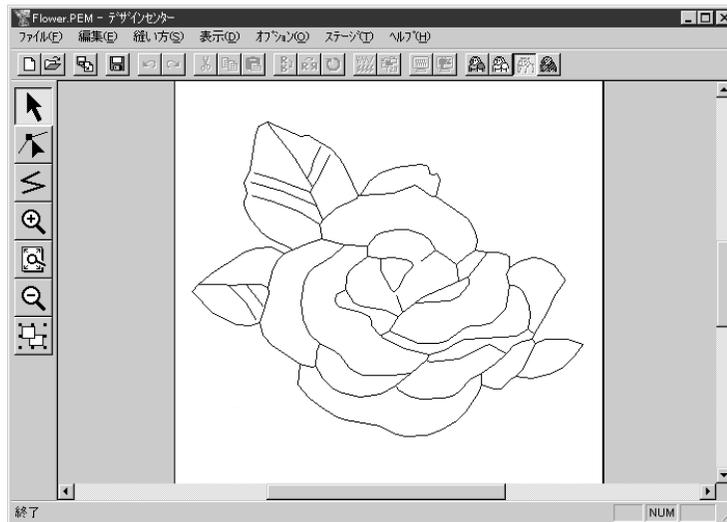
輪郭線変更の設定ダイアログが表示されます。



- ◆ 設定を一切変更しないまま、OKをクリックします。
 - 設定の詳細については、P.102 の「デザインページの設定」と P.107 の「輪郭データステージ」を参照してください。

注意：「デザインページの設定」では、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるデザインページの大きさを選択しないでください。

- ② OK をクリックすると、変換処理が開始されます。しばらくすると、輪郭データが表示されます。



ツールボックスには、線描、移動、削除、点削除、新規点挿入といった様々な編集ツールがあり、ズーム用ツールも用意されています。ただし、ここではイメージをそのままにしておきます。輪郭データの編集方法について、詳しくは P.61 の「ステージ 3 のツールボックスの使い方」を参照してください。

参考：メニューバーのオプション **デザインページの設定**をクリックすると、デザインページの設定ダイアログが表示されます。このステージでも**デザインページの設定**を変更することができます。

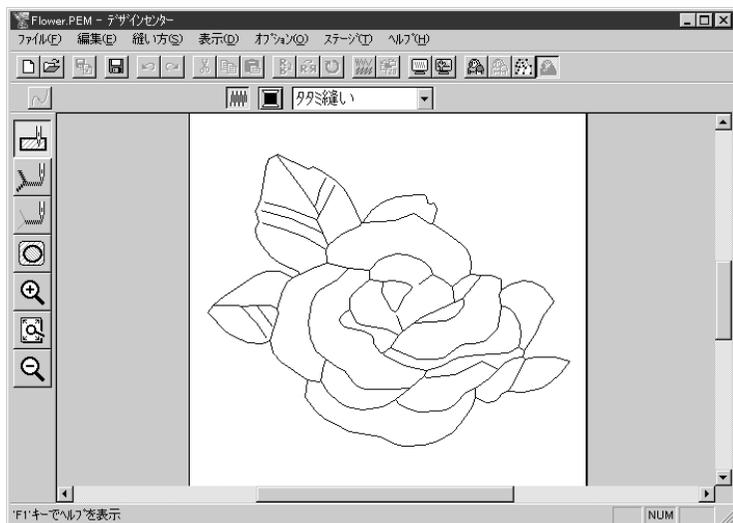
ステップ 6 縫い方設定ステージへ移動する

- ① メニューバーのステージ 縫い方設定ステージをクリックします。
または、ツールバーの縫い方設定ステージボタンをクリックします。



縫い方設定ステージボタン

縫い方設定画面が表示されます。



この画面で、刺しゅう模様の各部の縫い方を設定し、それを確認できます。

- ② ズームインとズームアウトを行うには、ステップ4で行った方法と同様に、とを使います。
- ③ デザインページを画面いっぱいに表示するには、ツールボックスのをクリックします。

ステップ 7 縫い方を設定する

刺しゅう模様の各部分に縫い方を設定します。

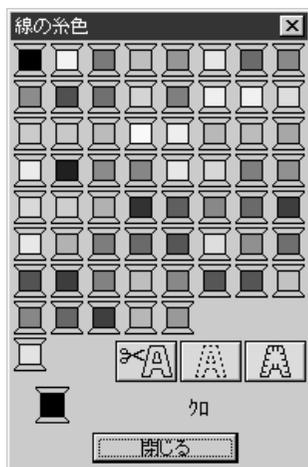
■ 輪郭線を設定する

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。縫い方バーは以下のように表示されます。

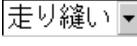


- ② 線の色を設定するには、縫い方バーの線の色ボタン  をクリックし、線の糸色ダイアログを表示させます。



- ◆ 黒以外の色を指定したいときは、希望の色をクリックします。
- ◆ 画面からダイアログを消したいときは、閉じるをクリックします。
- ◆ タイトルバーにカーソルを置き、ダイアログボックスをクリック&ドラッグして、使い易い位置に画面を移動します。

線の色ボタン  が選択された色を表示します。

- ③ 縫い方の種類を設定するには、縫い方バーの線の縫い方セレクト  をクリックし、プルダウンメニューから縫い方の種類を選択します。ここではサテン縫いを選択します。

- ④ サテン縫いの属性を設定するには、メニューバーの縫い方 縫い方の設定をクリックします。
または、ツールバーの縫い方設定ボタンをクリックします。



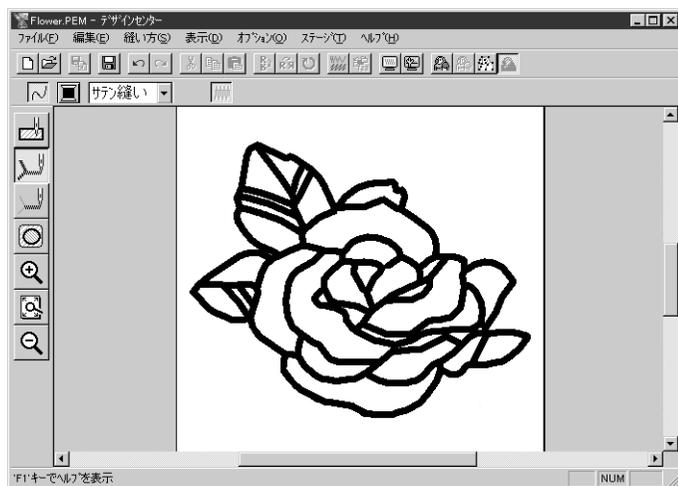
縫い方設定ボタン

縫い方の設定ダイアログが表示されます。ダイアログでは、線縫いの標準設定が表示されます。（このダイアログの操作方法は、P.92「縫い方の設定」を参照してください。）



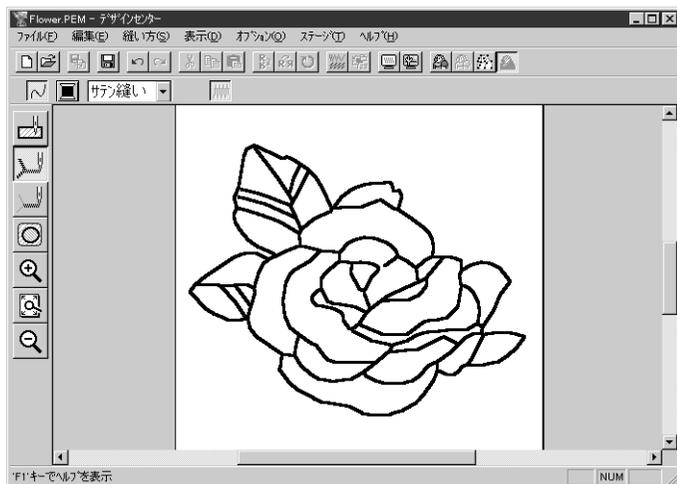
- ◆ サテン幅を2.0 mmから1.5 mmにするには、直接数値を入力するか、または、その横の矢印をクリックして、値を1.5に変更し、**Enter** を押して確定します。
- ◆ 画面から縫い方の設定ダイアログを消したいときは、**閉じる** をクリックします。

- ⑤ 設定（糸色と縫い方）したい輪郭線をクリックします。
この段階で、イメージは以下のように表示されます。



輪郭線が太すぎるときは、次の手順で変更してください。

- ⑥ 輪郭線のサテン幅を変更するには、まず、変更したい輪郭線の上で右クリックします。
縫い方の設定ダイアログが表示されます。
- ④ と同じ方法で、ジグザグ幅を 1.5 mm から 1 mm に変更します。
- ⑦ 輪郭線をクリックして、新たな設定内容を設定します。
この段階で、イメージは以下のように表示されます。



■ 面を設定する

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。縫い方バーは以下のように表示されます。



- ② 葉の設定 :

縫い方バーの面の色ボタン  をクリックすると、糸色ダイアログが表示されます。そこでキミドリの色コマをクリックし、キミドリを選択します。P.230の「糸色パレット」を参照してください。

面の色ボタン  が選択された色を表示します。

縫い方バーの、面の縫い方セレクト  をクリックし、タタミ縫いを選択します。タタミ縫いの属性を設定するには、メニューバーの縫い方 縫い方の設定をクリックします。または、ツールバーの縫い方設定ボタンをクリックします。



縫い方設定ボタン

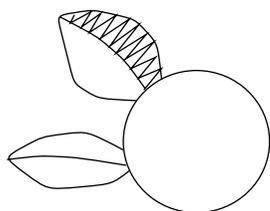
縫い方の設定ダイアログが表示されます。

ダイアログに面の縫い方の標準設定が表示されます。

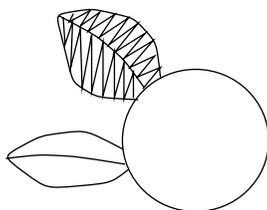


- ◆ 下記の“参考”に示すように、タタミ縫いの縫い角度を設定します。
- ◆ 設定を加えたい葉の面をクリックします。
- ◆ それぞれの縫い角度で同様の操作を繰り返します。

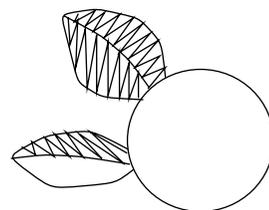
参考：それぞれの面に異なる縫い角度を使うと、コントラストができ、刺しゅうの見栄えが良くなります。



角度を45度に設定して
クリックします。



角度を90度に設定して
クリックします。



角度を135度に設定して
クリックします。

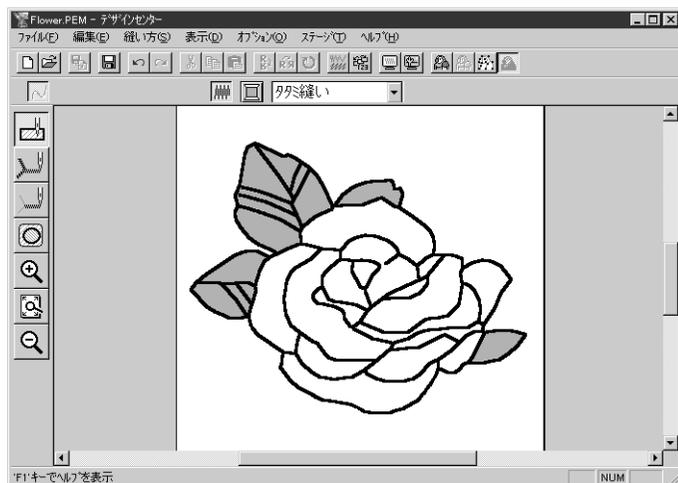
注意：面に縫い方を設定するには、面が閉じて（完全に囲まれて）いなければなりません。設定できないときは面が閉じていませんので、輪郭データステージに戻り、輪郭線をポイント編集ツールで編集し、閉じてください。輪郭データ編集について、詳しくはP.64の「ポイント編集ツール」を参照してください。



この葉の図のように面縫いの設定を行いたい部分が完全に閉じていない（囲まれていない）と面縫いの設定を割り当てることができません。

ポイント編集ツールで、完全に閉じる（囲まれる）よう編集してください。

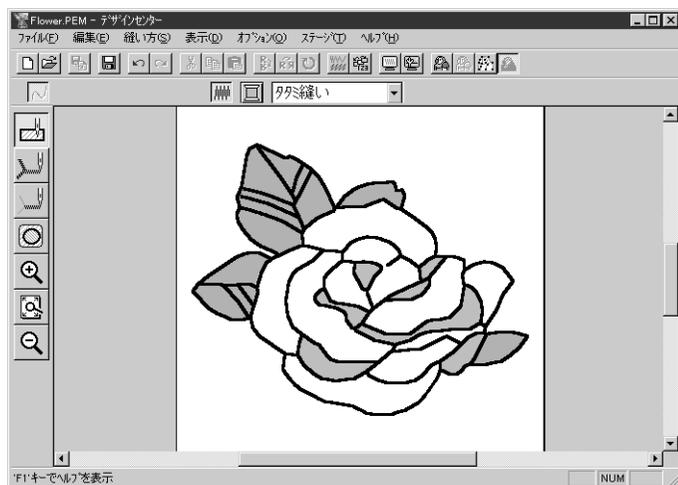
葉の縫い方を設定すると、イメージは以下のように表示されます。



③ 花びらの一部の設定 :

色名**ピンク**を選択し、縫い角度を前ページの葉のようにいろいろな角度に設定したあとに、設定したい面をクリックします。

P.230の「糸色パレット」を参照してください。



④ 残りの花びらの設定 :

色名**アカ**を選択し、縫い角度を設定したあとに、設定したい面をクリックします。

P.230の「糸色パレット」を参照してください。

ステップ 8 縫製イメージをプレビューする

これで、刺しゅう模様が完成しました。仕上がりを見るために、プレビュー機能を使います。

- ① メニューバーの表示 **プレビュー** をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。



プレビューボタン

作成した刺しゅう模様の縫製イメージが表示されます。

- ② 作業画面に戻るには、再度メニューバーの表示 **プレビュー** をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。

参考：より実際の縫製後のイメージを確認することができる「リアルプレビュー」(P.99 参照)もあります。

ステップ 9 ファイルを保存する

この刺しゅう模様は、次に学ぶレイアウトセンターで、刺しゅうデータの一部として使われます。そのため、この刺しゅう模様を保存する必要があります。

- ① メニューバーの**ファイル** **名前を付けて保存** をクリックします。
以下のダイアログが表示されます。



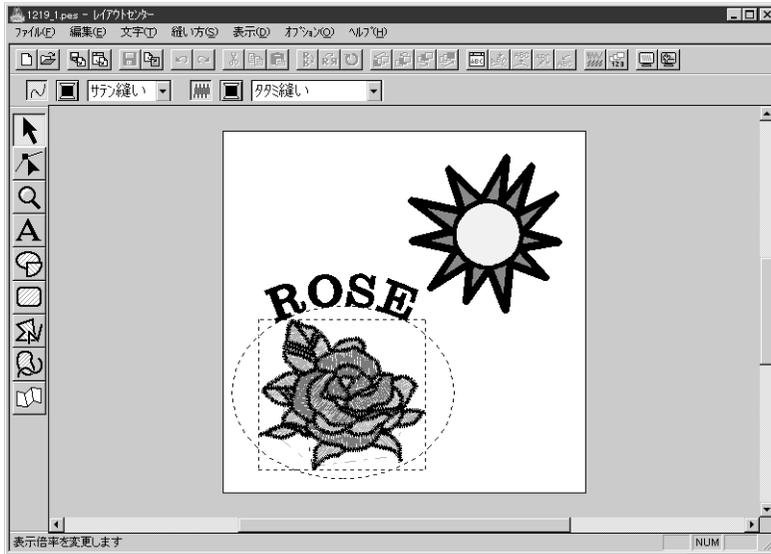
- ◆ 現在のファイル名 Flower.PEM が表示されますので新しいファイル名を入力してください。
- ◆ 必要に応じて、ドライブとフォルダを変更してください。
- ◆ **保存** をクリックし、保存します。

注意：プログラムに入っているサンプルファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

参考：現在のファイル名で原画の画像ファイルと同じフォルダに保存する場合は、**名前を付けて保存**のかわりに**上書き保存**を使用してもかまいません。
輪郭線画データを保存しなかったときは、データを pel ファイルで保存するかを尋ねられます。

レイアウトセンターを使う

ここでは、デザインセンターで作成した刺しゅう模様を取り込み、レイアウトセンターで新たに作成する刺しゅう模様を組み合わせ、完全な刺しゅうデータを作成します。レイアウトセンターの通常作業で行う手順を一通り練習しながら、その主な機能について紹介します。最終的には次のような刺しゅう絵ができあがります。

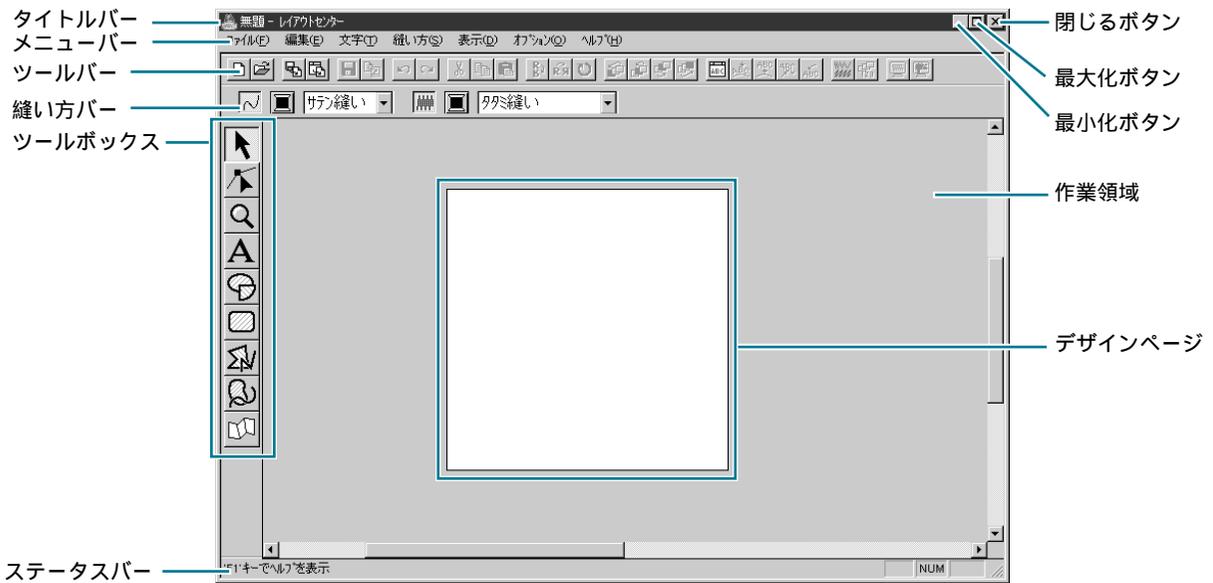


ステップ 1	レイアウトセンターを起動する	P.25
ステップ 2	デザインセンターから刺しゅう模様を取り込む	P.26
ステップ 3	ズームインとズームアウトを行う	P.28
ステップ 4	刺しゅう模様を移動する	P.30
ステップ 5	円を加える	P.31
ステップ 6	円の大きさと位置を調整する	P.32
ステップ 7	文字を加える	P.33
ステップ 8	円の周りに文字を配列する	P.35
ステップ 9	文字と円を移動する	P.36
ステップ 10	太陽を描く円を加える	P.36
ステップ 11	プログラムタタミ縫いを選択する	P.38
ステップ 12	陽光を描く（折れ）線を加える	P.39
ステップ 13	太陽と陽光の縫い順を変更する	P.41
ステップ 14	陽光を調整する	P.41
ステップ 15	ドーナツ縫いを設定する	P.42
ステップ 16	縫製イメージをプレビューする	P.43
ステップ 17	カードへ刺しゅうデータを書込む	P.44
ステップ 18	刺しゅうデータを保存する	P.45
ステップ 19	レイアウトセンターを終了する	P.45

上記の順序を変えず、指示通りの手順で進んでください。作業を中断する場合は、データを保存しましょう（ステップ 18 参照）。保存したファイルをあとで呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1 レイアウトセンターを起動する

- ① **スタート** ボタン プログラム 刺しゅう PRO Ver4 レイアウトセンターと選択します。
レイアウトセンターが起動します。



- ② レイアウトセンター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、レイアウトセンター画面を一時的に Windows のタスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



レイアウトセンター画面に戻るには、Windows のタスクバーにあるレイアウトセンターのアイコンをクリックします。

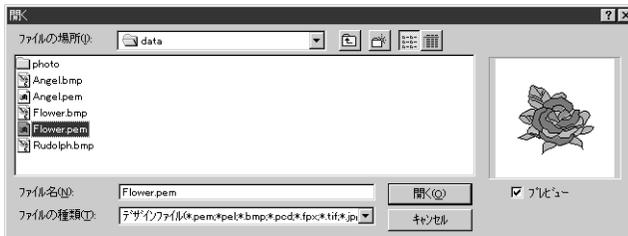
ここで、メニューバーのオプション **デザインページの設定** をクリックして（デザインページの設定ダイアログが開きます）、**デザインページの設定** を変更することができます。しかし、ここでは設定をそのままにしておきます。

注意：「デザインページの設定」（P.195参照）では、ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を超えるデザインページの大きさを選択しないでください。

ステップ 2 デザインセンターから刺しゅう模様を取り込む

最初にデザインセンターから刺しゅう模様を取り込み、刺しゅうデータを作成します。練習を中断し、デザインセンター画面を閉じたときは、アプリケーションを起動し、もう一度、保存したファイルを開いてください。

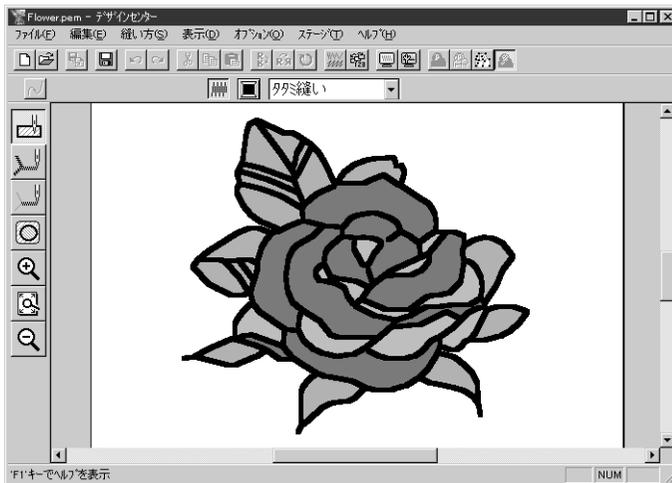
- ① デザインセンターを起動するには、メニューバーのオプション **デザインセンターの起動** をクリックします。
デザインセンターが起動します。
ウィザードダイアログが開いているときは、**キャンセル**をクリックしてダイアログを閉じてください。
- ② デザインセンターのメニューバーの**ファイル 開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。



◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名（ここでは Flower.pem を使用します。）を選択し、OK をクリックします。

- **プレビュー**チェックボックスをクリックして  が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- 必ずステージ 4 で保存した pem ファイルを選択してください。他の種類のファイルをデザインセンターから取り込むことはできません。

- ③ 選択したファイル名の刺しゅう模様が、デザインセンターのデザインページに表示されます。

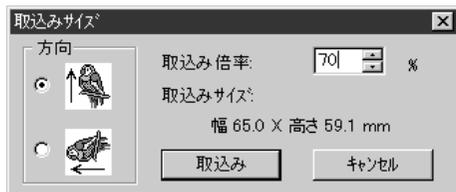


- ④ レイアウトセンターのウィンドウをクリックして、レイアウトセンターをアクティブにします。
- ⑤ レイアウトセンターのメニューバーの**ファイル データ取込み** サブメニューの**デザインセンターから**をクリックします。または、ツールバーの**デザインセンターから取込み**ボタンをクリックします。



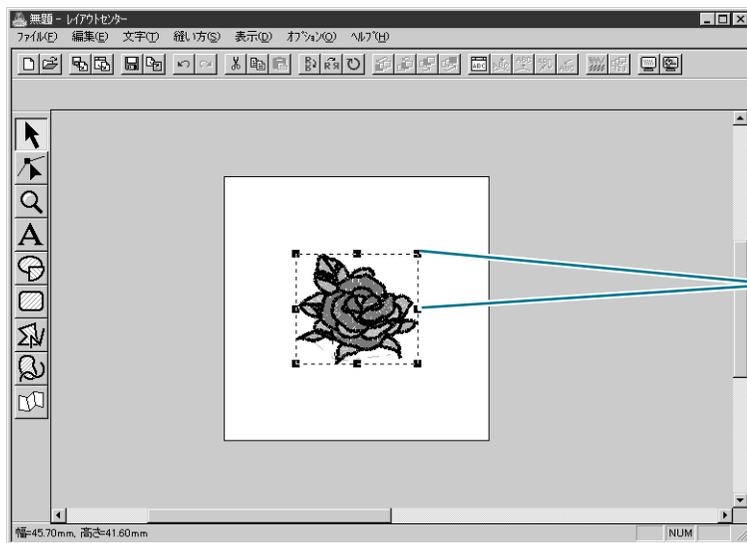
デザインセンターから取込みボタン

⑥ 取込みサイズダイアログが表示されます。



- ◆ ここでは70%に設定します。
- ◆ 取込みをクリックします。

⑦ 刺しゅう模様がレイアウトセンターのデザインページに取り込まれます。



取り込まれた刺しゅう模様を囲む破線は、その刺しゅう模様を取り込まれたものであることを意味します。またハンドルは、その刺しゅう模様が選択されていることを意味します。

取り込まれた模様は、常に単一のオブジェクトとして選択されます。取り込まれた模様の一部を選択することはできません。また、縫い方の設定を変更することもできません。

ステップ 3 ズームインとズームアウトを行う

表示品質は、ご使用のパソコンの画面解像度によって異なります。標準設定では、デザインページ全体が見られるように設定されています。デザインの一部分を修正するときなど、一部分を大きく表示するにはズームイン機能を利用します。もう一度、デザインページ全体を表示するときは、ズームアウトします。

 参照 P.126 の「ズームツール」

- 1 ツールボックスの  をクリックします。

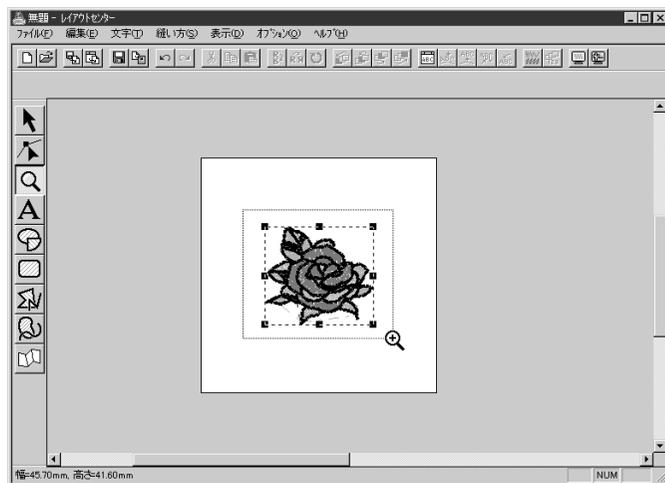
5 つのボタン  が表示されます。

- 2  をクリックします。

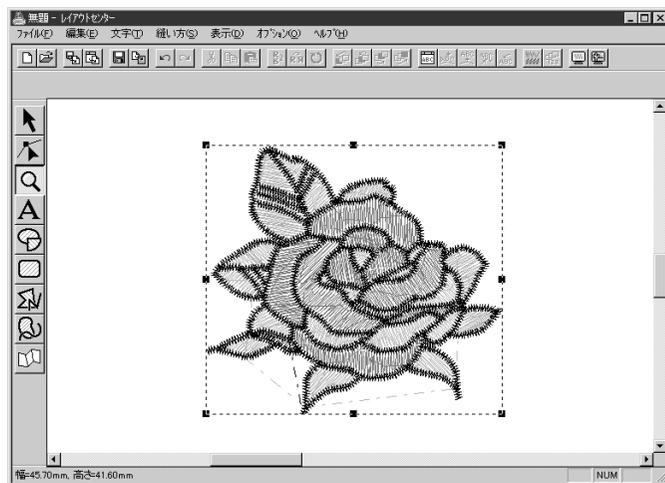
カーソルが、 に変わります。

- 3 拡大したい部分をクリックします。

または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。選択された領域を示す点線の四角が表示されます。



点線の四角が拡大したい領域に一致したところでマウスボタンを離します。マウスボタンを離すとその領域が拡大されます。

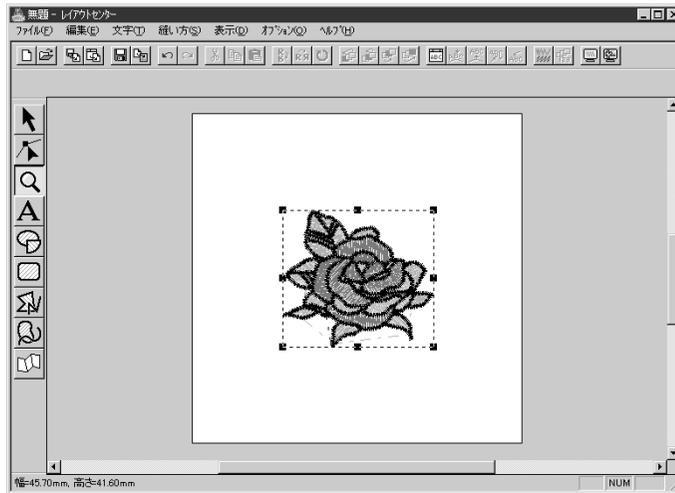


この操作を繰り返し、更に拡大できます。

④ ほぼ実際のサイズのイメージに表示するには、ツールバーの  をクリックします。

5つのボタン   **1:1**   が表示されます。

⑤ **1:1** をクリックします。



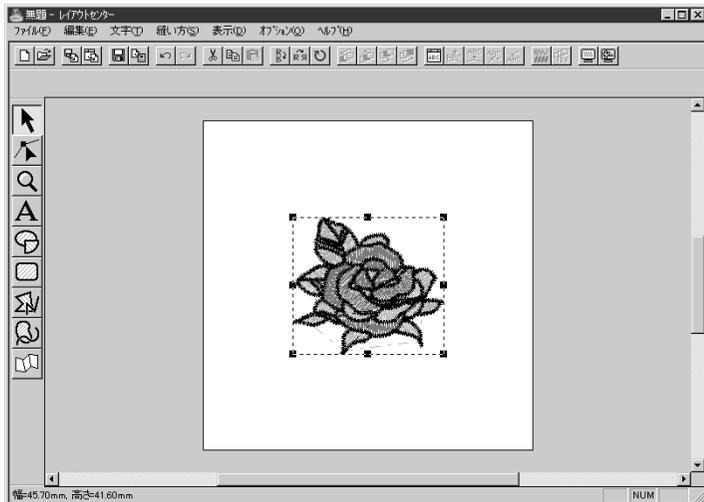
ステップ 4 刺しゅう模様を移動する

デザインセンターから刺しゅう模様を取り込むと、レイアウトセンターのデザインページ中央部に置かれます。ここでは、取り込まれた刺しゅう模様を移動する方法について説明します。

- 1 ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが、 に変わります。

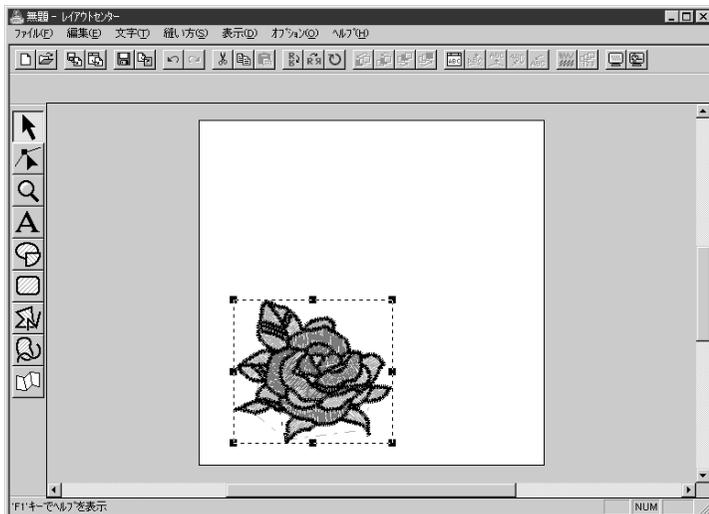
- 2 刺しゅう模様をクリックします。



ステータスバーに、選択された刺しゅう模様のサイズ（幅と高さ）が表示されます。

- 3 選択された刺しゅう模様上にカーソルを移動します。

カーソルが  に変わります。この状態で模様をドラッグすると、別の位置に移動できます。



ステップ 5 円を加える

作成する刺しゅうデータに円を加えます。この円は、後で付け加える文字を配列するガイドとして使用するため、あえて縫製しないよう設定します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、小さな楕円と共に表示されます。

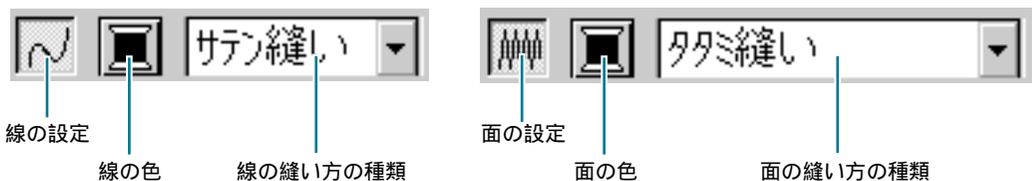
この段階で縫い方バーは、次のように表示されます。



縫い方バーのボタン上またはセレクト上にカーソルをしばらく置いておくと、ボタンの機能を示す小さなラベルが表示されます。

円弧の種類セレクトで模様を選択できます。例えば、円は、真円や楕円を描画するときに使います。他のオプションは、弧や扇形などを描画するときに使います。詳しくは、P.128の「円・円弧描画ツール」を参照してください。

線の縫い方グループと面の縫い方グループにあるボタンは、線と面に対するそれぞれの縫い方の種類と糸色の設定に使います。



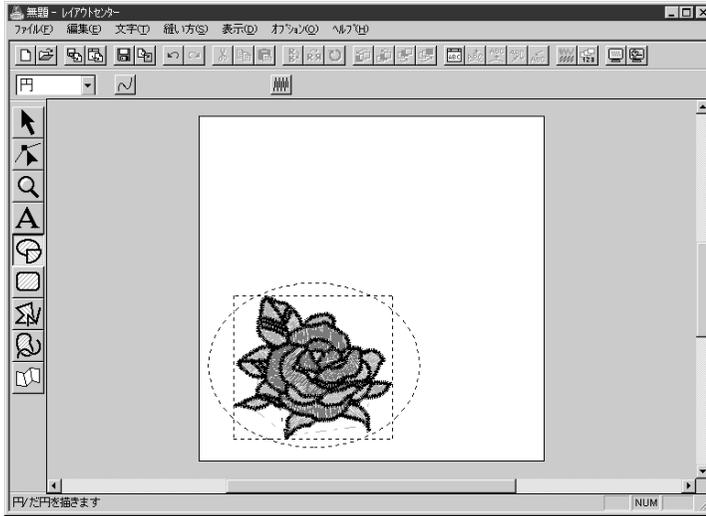
線の設定ボタンをクリックすると、**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクトが非表示となります。これは、線が縫製されないことを意味します。**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクトを表示させるには、**線の設定**ボタンをもう一度クリックします。

- ② **形状を選択する**：ここでは標準設定の円を選択しますので、**円弧の種類**セレクトは変更しません。

注意：円・円弧ツールで刺しゅう模様を描くときは、必ず、描く前に描きたい形状を選択しなければなりません。例えば、円を描いたあとに、それを弧に変更することはできません。

- ③ **線を無効化（縫製しないように設定する）**：**線の設定**ボタンをクリックします。**線の色**ボタンと**線の縫い方**セレクトが非表示となります。
- ④ **面内部を無効化（縫製しないように設定する）**：**面の設定**ボタンをクリックします。**面の色**ボタンと**面の縫い方**セレクトが非表示となります。

- ⑤ **円を描く**：カーソルを作業領域内でドラッグします。マウスボタンを離すと、最終的な楕円（輪郭線と面部）が描画されます。（線と面を縫わない設定となっているため、破線が表示されます。）
円の位置、大きさ、縦横比（高さとの比）についてはあとで調整します。



描き直したいときは、円を削除してから、もう一度描きます。ツールボックスの  をクリックしてから、削除したい円をクリックして選択し、次に **Delete** を押すか、メニューバーの **編集 削除** をクリックします。

円を描いた後で、色や縫い方の種類を変更したいときは、ツールボックスの  をクリックしてから、変更したい円をクリックして選択します。次に **線の設定** ボタンと **面の設定** ボタンをクリックします。円の縫い方バーに現在の設定内容が表示されるので、それを変更できます。

ステップ 6 円の大きさと位置を調整する

作成した円の大きさと縦横比を調整し、それを配置したい位置に移動します。

■ 円の大きさを変更する

花全体が入る楕円になるように、円の大きさと縦横比を調整します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。
カーソルが、 に変わります。
- ② 円をクリックして選択します。
- ③ カーソルを円の周りにあるハンドルに移動します。
カーソルが、カーソルが接しているハンドルによって、、、、 に変わります。
- ④ ハンドルを矢印の方向にドラッグし、円を拡大・縮小します。
 は、幅の拡大・縮小に使います。
 は、高さの拡大・縮小に使います。
 と  は、選択された円の縦横比を変えないで拡大・縮小するときに使います。

■ 円を移動する

花が作成した円の中心にないときは、次の手順に従って移動してください。

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わります。

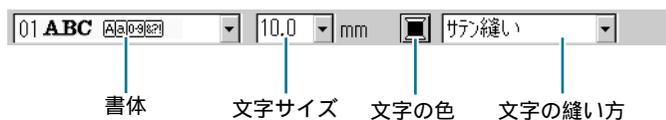
- ② 円をクリックして選択します。
- ③ 選択された円上にカーソルを移動します。
カーソルが  に変わります。
- ④ ここで円をドラッグして移動します。

ステップ 7 文字を加える

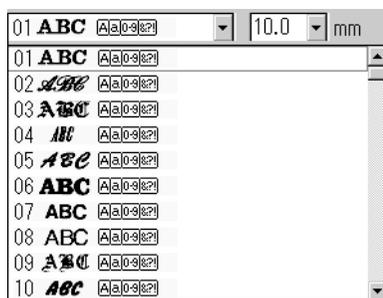
文字を加えます。

- ① ツールボックスの  をクリックします。

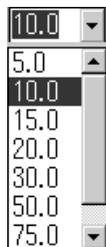
カーソルが  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



- ② **文字の色を設定する**：この段階で文字の色を設定できます。ここでは、標準設定の黒色を選択します。
- ③ **書体を設定する**：この段階で書体を設定できます。書体セレクタをクリックし、書体 01 を選択します。



- ④ **文字サイズを設定する**：文字サイズセレクタをクリックし、文字のサイズを選択します（ここでは 10.0 mm を選択）。設定値は、文字の高さを示します。



- ⑤ **文字の縫い方を設定する**：文字の縫い方セレクトをクリックし、文字の縫い方を選択します。ここでは、標準設定の縫い方、**サテン縫い**を選択します。



P.171 の「書式設定」

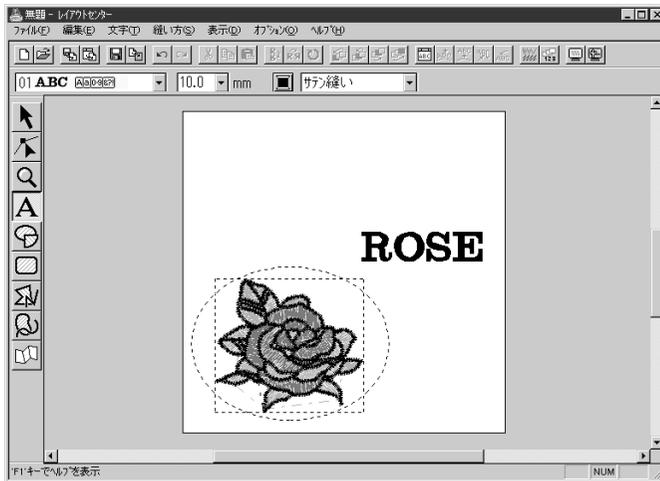
- ⑥ **文字を入力する**：デザインページの適当な場所でクリックします。文字は作成後に移動できますので、ここでは実際の位置を気にする必要はありません。

文字の編集ダイアログが表示されます。



- ◆ 作成する文字（ここではROSE）を入力します。
注意：書体で 01 ~ 35 の書体を選択した場合は英数半角で入力してください。詳しくは、P.127「文字入力ツール」を参照してください。
- ◆ 文字の編集ダイアログ内の**選択できる文字**の中の文字をクリックし、**選択**をクリックしても文字の入力ができます。
注意：選択した書体によっては、選択できる文字は表示されません。詳しくは、P.127「文字入力ツール」を参照してください。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

OK をクリックすると、文字がデザインページに表示されます。

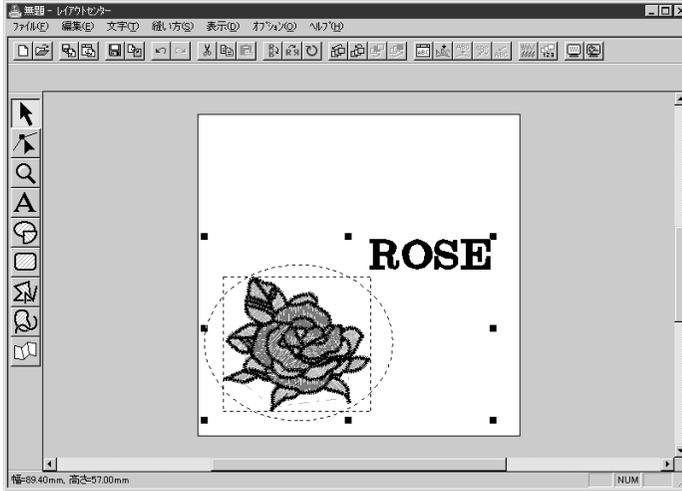


入力した文字を編集するには、ツールボックスの  をクリックし、次に文字上でクリックして選択します。さらにメニューバーの文字 **文字の編集** を選択して、**文字の編集** ダイアログを開きます。文字を削除するには、削除したい文字を選択し、**Delete** を押します。文字の入力後に、文字の色、書体、その他の属性を変更したいときは、ツールボックスの  をクリックし、変更したい文字をクリックして選択します。文字の縫い方バーに現在の設定内容が表示されるので、これを変更できます。

ステップ 8 円の周りに文字を配列する

円に沿って文字を配列します。

- 1 ツールボックスの  をクリックします、カーソルが  に変わります。
- 2 文字 (ROSE) をクリックして、選択します。
- 3 **Shift** キーを押しながら、円をクリックします。文字と円の両方が選択できます。



- 4 メニューバーの文字 **文字の配列** をクリックします。
または、ツールバーの文字の配列ボタンをクリックします。



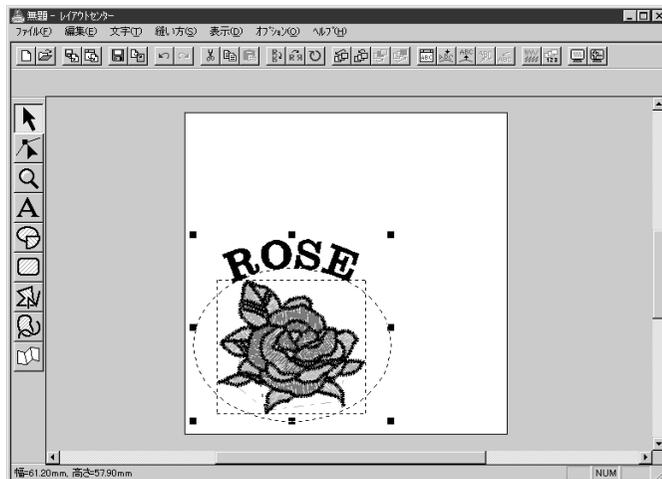
文字の配列ボタン

文字の配列の設定ダイアログが表示されます。



- ◆ ここでは、設定を変更しないで OK をクリックします。
- ・ この設定について、詳しくは P.172 の「文字の配列」を参照してください。

- 5 これで、作成された文字が円に沿って配列されます。



ステップ 9 文字と円を移動する

文字が円に配列されると、同じグループとなり一つの刺しゅう模様として扱われますので、別々に移動することはできません。ただし、円に沿って文字の位置を移動させることはできます。

■ 文字と円をグループとして移動する

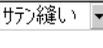
- ① ツールボックスの  をクリックしてから、円をクリックして選択します。
- ② 円上にカーソルを移動して、カーソルを  に変えます。
- ③ 円をドラッグすると、文字が円と共に移動します。

■ 円上で文字を移動する

- ① ツールボックスの  をクリックし、文字をクリックして選択します。
- ② 文字上にカーソルを移動し、カーソルを  に変えます。
- ③ 文字をドラッグすると、円に沿って文字のみを移動することができます。

ステップ 10 太陽を描く円を加える

次に太陽を加えます。まず真円を描いてみましょう。

- ① 真円を描きます。
真円は、**(Shift)** キーを押しながらドラッグして、先ほどの円（楕円）と同様に描きます。円のサイズを変更したいときは、角にあるハンドル（1つ）をドラッグします。
- ② 線の色と縫い方を設定します。
まず、 を使って円を選択します。次に**線の設定ボタン**  をクリックして、**線の色ボタン**  と**線の縫い方セレクト**  を表示させ、線の色（クロ）と縫い方（サテン縫い）を選択します。
- ③ 線縫いの縫い方を設定します。
メニューバーの**縫い方 縫い方の設定**をクリックします。または、ツールバーの縫い方の設定ボタンをクリックします。



縫い方の設定ボタン

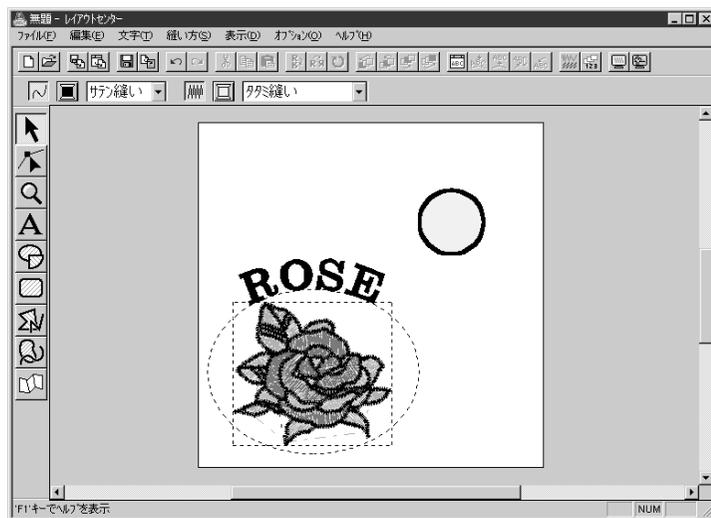
縫い方の設定ダイアログが表示されます。



- ◆ サテン縫いの幅を 1.0 mm に設定します。
- ◆ 設定をクリックします。

④ 面の縫い方を設定します。

面の設定ボタン  をクリックし、面の色ボタン  と面の縫い方セレクタ  を表示させ、面の色 (キイロ) を選択します。次の画面が表示されます。



ステップ 11 プログラムタタミ縫いを選択する

ステッチクリエイターで作成される特殊な刺しゅう模様（プログラムタタミ縫い）の選択と変更方法を説明します。パターンがタイル状に選択された面に並べられ、非常に装飾的なタタミ縫いが作成されます。

- 1 ツールボックスの  をクリックしてから、太陽の円を選択します。
- 2 面の縫い方セレクトで、**プログラムタタミ縫い** を選択します。
- 3 メニューバーの縫い方 縫い方の設定をクリックします。
または、ツールバーの縫い方の設定ボタンをクリックします。

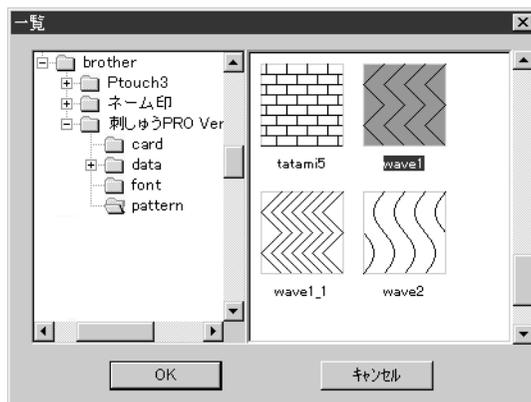


縫い方の設定ボタン

縫い方の設定ダイアログが開きます。



- ◆ プログラムタタミのパターンを選択します。
- ◆ パターンの選択をクリックして、一覧ダイアログを開きます。
- ◆ patternフォルダには、パターンのファイルが含まれています。各ファイルには.pasの拡張子が付いています。これから示す一覧ダイアログで、既存の.pasファイルをプレビューを見ながら検索することができます。
注意：“*.pas”ファイルは**プログラムタタミ用**パターンです。“*.pmf”ファイルは、**モチーフ**縫い用パターンです。



- ◆ ダイアログ右側にある縫い方のイラストから wave1 をクリックします。wave1 が反転表示されます。
- ◆ イラストをダブルクリックするか、OK をクリックして選択します。ダイアログが閉じ、ガイド画面で選択された縫い方を確認できます。

- 4 パターンの大きさを変更します。パターンのサイズの幅と高さをそれぞれ 10.0 mm に設定します。

参考：幅と高さを変更すると、それとともってダイアログ下部に表示されるガイド画面のパターンのイラストも変わります。変更後の実際の変化をここで確認できます。

- ⑤ オフセットを変更します。オフセットのオフセット方向で横を選択し、オフセットのオフセット値で 50% に設定します。

注意：同一のパターンに対して、横、縦の両方を選択することはできません。

- ⑥ パターン角度を変更します。「」矢印をクリックして、340 度の値が選択されるまで、パターンを右に回転させます。縫い方の設定ダイアログが次のように表示されます。



- ステッチクリエイターの設定については、P.176 の「縫い方の設定」も参照してください。

- ⑦ 設定をクリックします。

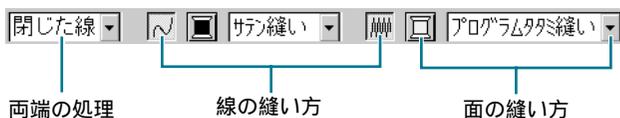
縫い方が設定されました。縫い方の設定は、他の設定と同様に変更をしないかぎり、これから新しく描かれる面すべてに適用されます。

縫い方の設定ダイアログを閉じる場合は、**閉じる**をクリックします。

ステップ 12 陽光を描く（折れ）線を加える

折れ線で太陽の周りに陽光を描きます。折れ線には色々な描き方があります。例えば、直線を何本か組み合わせて描くこともできます。ここでは、直線描画ツールを使って、1 個の星形模様として作成してみましよう。

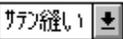
- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄と共に表示されます。縫い方バーが次のように表示されます。



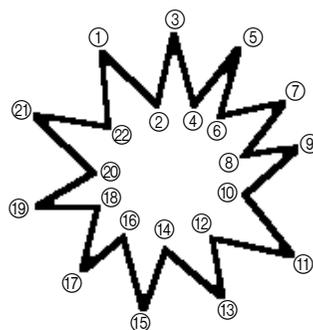
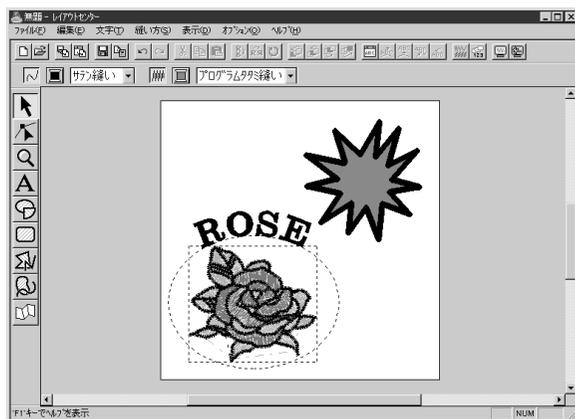
- ② 必ず、両端の処理セレクトで閉じた線を選択します。

閉じた線を選択すると、最初の点と最後の点は自動的に結合し、1 つの輪になります。そのため作成された模様は、輪郭線と面内部を持つことになります。開いた線を選択する

と、最初の点と最後の点は自動的に結合せず、直線は開いたままとなります。そのため、描かれた模様面に内部がなく、面の縫い方は設定できません。(P.131 参照)

- ③ **線の色ボタン**  と **線の縫い方種類セクタ**  を使って、直線の色(クロ)と縫い方(サテン縫い)を設定します。(メニューバーの縫い方をクリックし、サブメニューの縫い方設定をクリックして、縫い方の詳細を設定することもできます。)
- ④ **面の色ボタン**  と **面の縫い方セクタ**  を使って、面の色(アカ)と縫い方(タタミ縫い)を設定します。(メニューバーの縫い方をクリックし、サブメニューの縫い方設定をクリックして、縫い方の詳細を設定することもできます。)
- ⑤ 円を目安に、折れ線を描きます。
カーソルを開始点に移動し、クリックします。マウスを最初の線の終点に移動し、再度クリックします。
参考: マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

最後の点まで繰り返します。最後の点でダブルクリックします。ダブルクリックすると、表示は次のようになり表示されます。



- ① を開始点としてクリックし、② の位置まで、マウスを移動させそこでクリックします。③ ~ ②①まで同じ操作を繰り返します。
- ②① の位置が最後の点となりますのでマウスを移動させダブルクリックします。

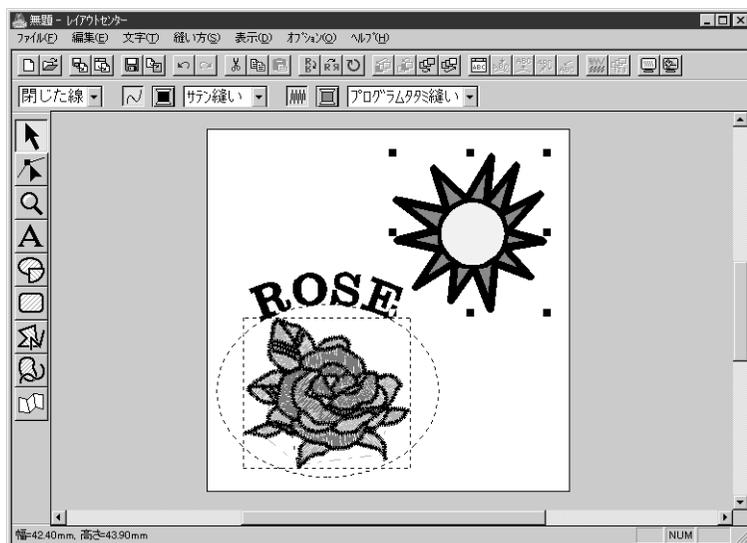
模様を削除し、描き直したいときは、ツールバーの  をクリックしてから、削除したい模様をクリックして選択し、**Delete** を押すか、メニューバーの **編集 削除** をクリックします。

模様を描いた後で、模様の両端処理や色、縫い方などを変更したいときは、ツールボックスの  をクリックしてから、変更したい模様をクリックして選択します。次に、縫い方バーまたは縫い方設定ダイアログで設定を変更してください。

ステップ 13 太陽と陽光の縫い順を変更する

太陽を描いた後に陽光を描いたために、陽光が太陽をかくしてしまっています。上にある模様のほうが後に縫製されますので、これでは、正しく縫うことができません。縫い順を変更して、目的通りの太陽の刺しゅうができるようにしましょう。

- ① ツールボックスの  をクリックし、陽光模様をクリックして選択します。
- ② メニューバーの **編集 縫い順 先頭へ移動** をクリックします。
または、ツールバーの先頭へ移動ボタンをクリックします。



必要に応じて、円が陽光の中央に見えるように円を移動してください。

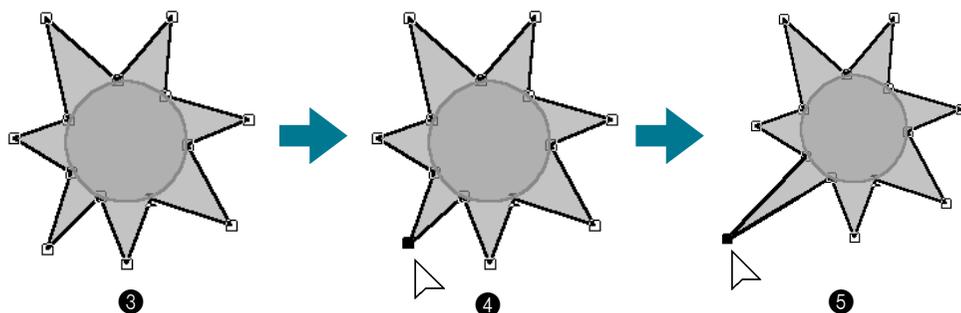
ステップ 14 陽光を調整する

ここでは、陽光を修正してみましょう。陽光の修正は、直線模様上のポイントを移動、削除、追加して行います。

- ① ツールボックスの  をクリックし、陽光模様を選択します。
- ② ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン   が表示されます。
- ③  をクリックします。

カーソルが  に変わり、先ほど入力した陽光模様の既存ポイントに、小さな白い四角のマークが付きます。

- ④ 移動したいポイントをクリックします。
選択されたポイントに小さな黒い四角のマークが付きます。
- ⑤ ポイントを新しい位置へドラッグします。
ポイントは選択されたままですので、再度ドラッグできます。

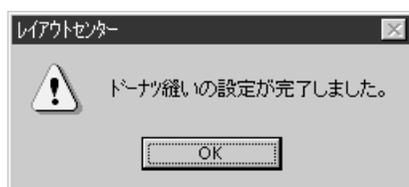


参照 P.123の「ポイントを挿入する」、P.124の「ポイントを削除する」

ステップ 15 ドーナツ縫いを設定する

現在の設定に従って縫製が行われると、陽光模様全体が最初に縫われ、その上に太陽の模様が縫われます。このような場合に、同じ場所を二重に縫うことがないように、一对の模様（円と陽光）に対してドーナツ縫いの設定ができます。これにより太陽の背後に隠れている陽光の部分は縫製されません。

- ① ツールボックスの  をクリックし、太陽の模様をクリックします。
- ② **Shift** キーを押しながら、陽光模様をクリックします。
円と折れ線とが共に選択されました。
- ③ メニューバーの縫い方 **ドーナツ縫いの設定** をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



◆ OK をクリックします。

一对の模様にごドーナツ縫いの設定がされると、単独では移動できません。それぞれの位置を単独で調整したい場合は、ドーナツ縫いの設定がされている模様を選択したあと、メニューバーの縫い方をクリックし、サブメニューのドーナツ縫いの解除をクリックして、ドーナツ縫い設定を解除しなければなりません。

注意：ドーナツ縫いは、一对の模様的一方が他方の内側に完全に含まれていないと設定できません。（「ドーナツ縫いの設定」P.183 参照）

ステップ 16 縫製イメージをプレビューする

これで刺しゅうデータが完成しました。実際に縫製したときの画像は、プレビュー機能で確認できます。プレビュー機能は、縫製がどのように進められるのかも表示します。例えば、ドーナツ縫いが設定されていると、太陽の後ろにある陽光部分が縫製されないことがはっきりと確認できます。

- ① 刺しゅうデータ全体をプレビューするには、すべての選択を解除します。（選択カーソル  で模様のない部分をクリックします）

模様や模様グループのプレビューを見るには、それぞれ、模様または模様グループを選択します。

プログラムタタミ縫いを設定した面を見るには、それを選択し、その部分をズームインします。

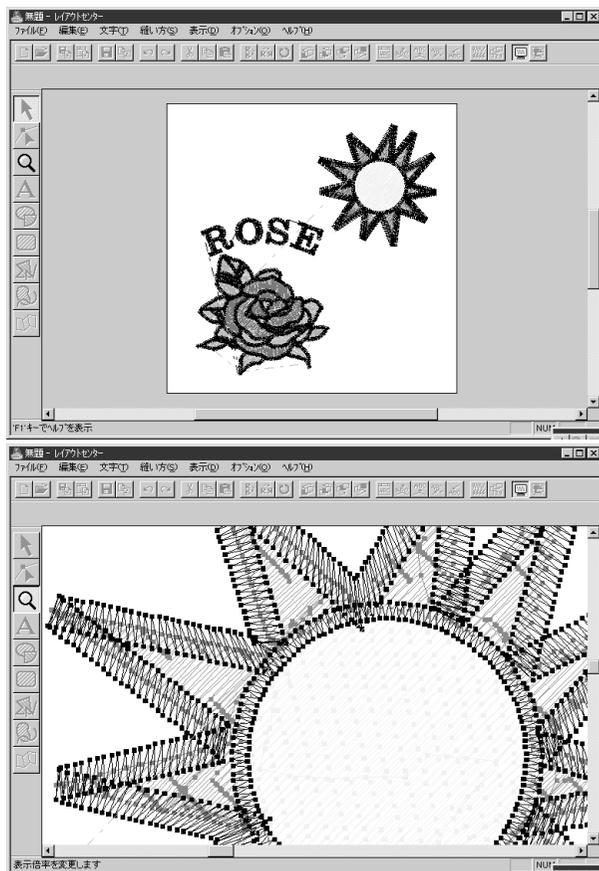
- ② メニューバーの表示 **プレビュー** をクリックします。
または、ツールバーのプレビューボタンをクリックします。



プレビューボタン

参考：より実際の縫製後のイメージを確認することができる「リアルプレビュー」（P.99 参照）もあります。

プレビュー画面が表示されます。



- ③ 編集のできる画面に戻すには、もう一度の ② の操作を行うか、**Esc** キーを押します。
注意：プレビュー画面では、編集できません。

ステップ 17 カードへ刺しゅうデータを書込む

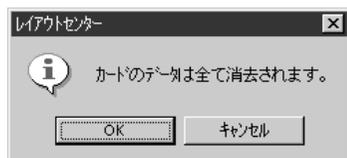
作成した刺しゅうデータをオリジナルカードに転送して、はじめて実際に縫製することができます。

- ① カードライターにオリジナルカードを挿入します。
- ② メニューバーの**ファイル** > **カード書込み**をクリックします。
または、ツールバーの**カード書込み**ボタンをクリックします。



カード書込みボタン

次のダイアログが表示されます。



- ◆ 既にカードに刺しゅうデータが書込まれているときは、保存されているデータが削除されてよいのかを確認し、よければOKをクリックします。
- ◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

カードライターが正しく接続されていない、その電源が入っていない、カードが挿入されていない、カードに不具合がある、等の場合には、エラーメッセージが表示されます。詳しくは、P.154の「カード書込み」を参照してください。

参考：次で説明するように、作成された刺しゅうデータをご使用のハードディスクやフロッピーディスクなどに保存することができます。また、保存された刺しゅうデータは、ファイルユーティリティーを使ってオリジナルカードに書込むことも可能です。P.204の「データ書込み」を参照してください。

ステップ 18 刺しゅうデータを保存する

アプリケーションを終了する前に、刺しゅうデータをあとで使えるように保存します。

- ① メニューバーの**ファイル** > **上書き保存**をクリックします。
または、ツールバーの上書き保存ボタンをクリックします。



上書き保存ボタン

すでに、この刺しゅうデータがディスクに存在する（少なくとも一度は保存されている）と、ファイルは直ちに保存されます。

- ② ファイル名がまだ**無題**のときや、何らかの理由により、ディスク上でファイルが見つからないときには、アプリケーションがファイル名と保存するフォルダを入力するよう指示してきます。



◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

◆ **保存**をクリックし、保存します。

◆ 中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：プログラムに入っているサンプルファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

入力した名前のファイルがすでに存在するときは、次のダイアログが表示されます。



◆ 上書きしてもいいときは、**はい**をクリックします。

◆ 上書きしたくないときは、**いいえ**をクリックします。②の操作に戻ります。

レイアウトセンターのタイトルバー上に新しい名前が表示されます。

ステップ 19 レイアウトセンターを終了する

- ① メニューバーの**ファイル** > **終了**をクリックし、レイアウトセンターを終了します。
デザインセンターも同様に終了します。

ステッチクリエイターを使う

本アプリケーションでは、デザインセンターとレイアウトセンターで設定するプログラムタタミ縫いとモチーフ縫いに使用するパターンの作成、編集、保存ができます。

これらのパターンを使用した刺しゅう模様はより装飾的な刺しゅう模様となります。

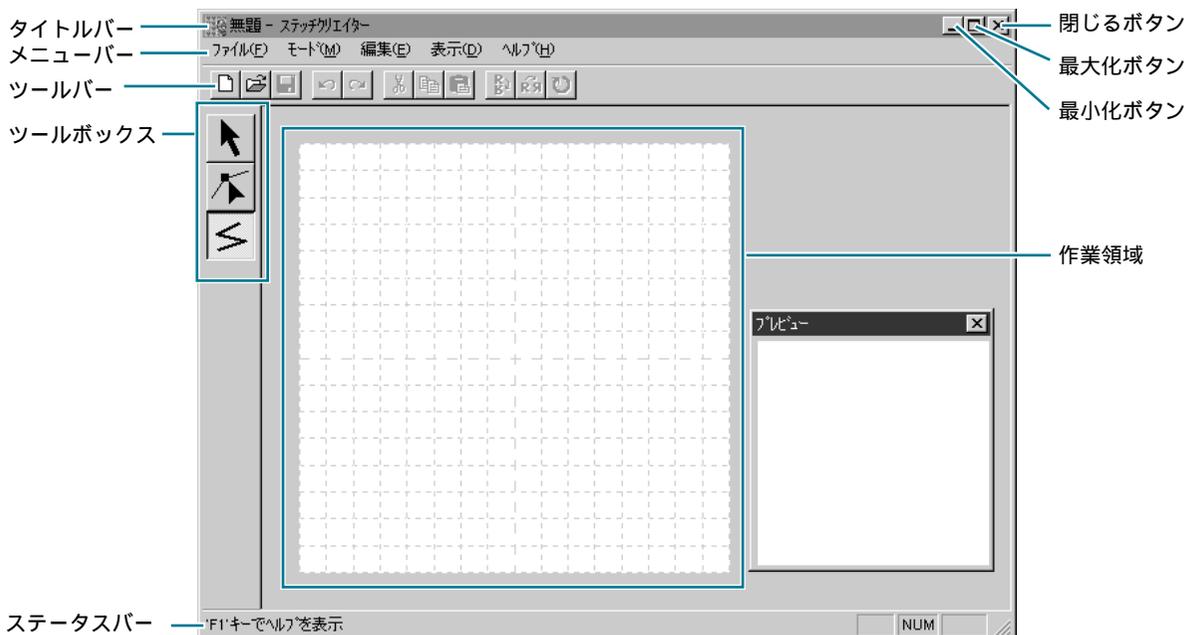
ここでは最も重要な機能を紹介し、既存のパターンの編集方法について説明します。独自のパターンを作成する手順については、ステッチクリエイターの別のステップで説明します。

ステップ 1	ステッチクリエイターを起動する	P.47
ステップ 2	パターンファイルを開く	P.48
ステップ 3	直線を描いて、パターンを編集する	P.49
ステップ 4	編集したパターンを保存する	P.50
ステップ 5	ステッチクリエイターを終了する	P.50

上記の順序を変えず、指示通りの手順で進んでください。作業を中断する場合は、ファイルを保存しましょう（ステップ 4 参照）。保存したファイルをあとで呼び出して作業を再開できます。

ステップ 1 ステッチクリエイターを起動する

- ① **スタート** ボタン プログラム 刺しゅう PRO Ver4 ステッチクリエイターと選択します。
ステッチクリエイターが起動します。



画面の大きさは、ご使用のパソコンのディスプレイ画面領域より小さくなります。

- ② ステッチクリエイター画面をディスプレイ画面いっぱいに拡大するには、タイトルバーの右端にある最大化ボタンをクリックします。
タイトルバーの右端にある最小化ボタンをクリックして、ステッチクリエイター画面を一時的に Windows タスクバーにアイコン化することができます（下記アイコン参照）。



ステッチクリエイター画面を表示するには、Windows のタスクバーのステッチクリエイターアイコンをクリックします。

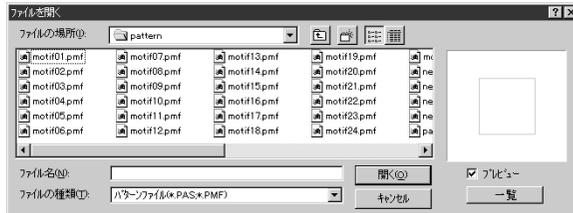
ステップ 2 パターンファイルを開く

- ① メニューバーの**ファイル** **開く**をクリックします。
または、ツールバーの**開く**ボタンをクリックします。



開くボタン

開くダイアログが表示されます。



ここではプログラムタタミのパターン (wave1.pas) を使って説明します。

開きたいファイル名がわかっているときは

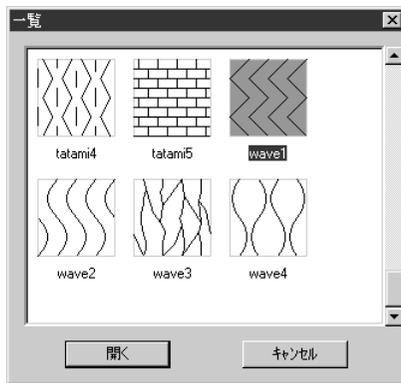
- ◆ Pattern フォルダの pas ファイルをクリックして、ファイルを選択します。
プレビューチェックボックスをクリックして  が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

- ◆ 開くをクリックするか、選択された pas ファイルをダブルクリックして、ファイルを開きます。

開く前に、使用可能なファイルを検索したいときは：

- ◆ 一覧をクリックして、選択されたフォルダの使用可能なすべてのファイルをプレビューします。

一覧ダイアログが表示されます。



- ◆ スクロールバーを利用して、ファイルを検索します。

- ◆ パターンをクリックすると、選択できます。選択されたパターンは反転表示されます。

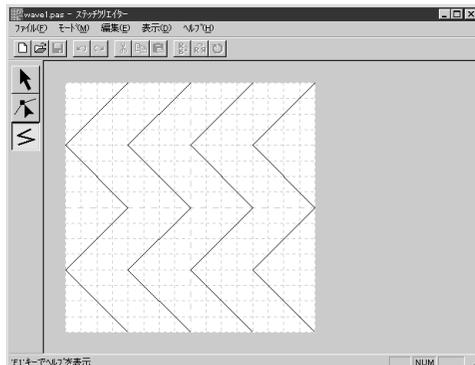
- ◆ 選択されたパターンをダブルクリックするか、開くをクリックするとファイルが開き、開くダイアログと一覧ダイアログの両方が閉じます。

参照：“*.pas”ファイルは、プログラムタタミ縫い用のパターンです。

“*.pmf”ファイルは、モチーフ縫い用のパターンです。

モードメニューは、作成するファイルの種類を変更するためのものです。

パターンが、ステッチクリエイターの作業領域に表示されます。

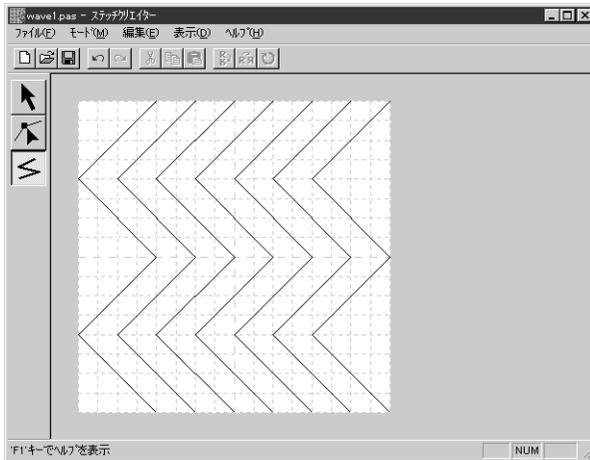


ステップ 3 直線を描いて、パターンを編集する

ツールボックスの直線描画ツールを使用して、表示された模様の中に波線を引いてみましょう。

参考：グリッドの種類は、描きたい細かさによって選択します。細かな刺しゅうには狭いグリッドを選択し、単純なものには広いグリッドを選択します。

- 1 ツールボックスの  をクリックし、作業領域上にカーソルを移動します。
カーソルが、 に変わり、機能を示す絵柄と共に表示されます。
- 2 1つの波線の始点から横方向に2つ目のグリッドをクリックします。
参考：グリッド線が表示されている場合は、必ずグリッド線の交点にポイントが作成されます。
- 3 マウスを最初の角まで移動し、再度クリックします。
参考：マウスを右クリックすると、いつでも直前に入力したポイントを削除できます。
- 4 この操作を繰り返し、線の終点に到達したら、ダブルクリックします。
- 5 この操作を繰り返し、もう2本の波線を追加します。
ディスプレイに、次のように表示されます。



描いたパターンの中の、あるポイントを編集したいときは、ポイント編集ツールで行うことができます。ポイント編集ツールでは、ポイントの挿入と削除ができます。(P.213の「ポイント編集ツール」を参照してください。)

ステップ 4 編集したパターンを保存する

編集したパターンを、レイアウトセンターやデザインセンターで使用するために、編集したパターンを pas ファイルで保存します。

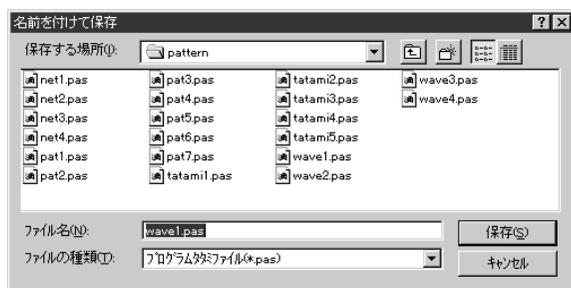
- ① メニューバーの**ファイル** > **上書き保存**をクリックするか、ツールバーの**上書き保存**ボタンをクリックします。



注意：プログラムに入っている pas、pmf ファイルは、読み取り専用ファイルですので、上書き保存はできません。

名前を付けて保存ダイアログが開きます。

- ② 独自に作成した刺しゅう模様に入力したファイル名を入力し、保存先フォルダを選択します。



- ◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
- ◆ OK をクリックし、保存します。
- ◆ 中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステップ 5 ステッチクリエイターを終了する

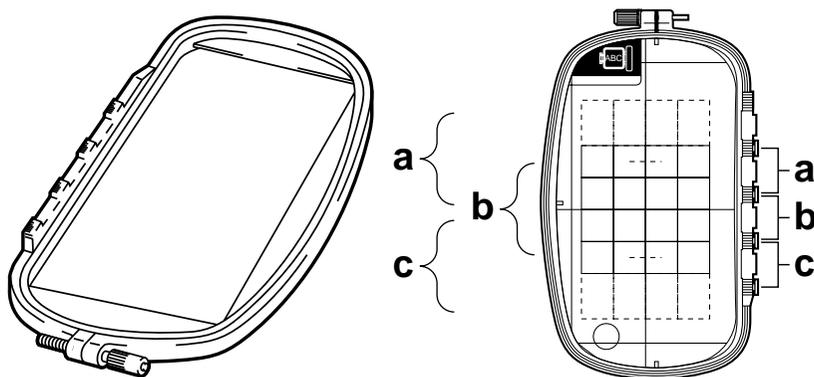
これでパターンができました。アプリケーションを終了します。

- ① メニューバーの**ファイル** > **終了**をクリックします。

それまで編集していた pas ファイルを保存していない場合は、ファイルを保存するかどうかのメッセージが表示されるので、**はい**をクリックして、ステップ 4 の ② と同様に保存するとアプリケーションが終了します。

大型刺しゅう枠用のデータを作成する

ミシンのオプション品の大型枠（ミシンへの取付け部が、3ヶ所あるもの、枠サイズ：130 mm × 300 mm、100 mm × 172 mm）に対応した刺しゅうデータを作成することができます。



大型枠の例：100 mm × 172 mm サイズの刺しゅう枠

これらの枠を使用するときは、ひとつの刺しゅうデータのサイズが 130 mm × 180 mm（もしくは 100 mm × 100 mm、刺しゅうミシンの縫製サイズによります）で、刺しゅう枠の取付け位置（上図の a、b、c）を替えたときに位置が合うように、あらかじめ取付け位置を考慮してデータが配置されている必要があります。次からの機能を使用すると、自動的にその配置を行います。

■ デザインページのサイズを指定する

- ① レイアウトセンターのメニューバーのオプション **デザインページの設定** をクリックします。

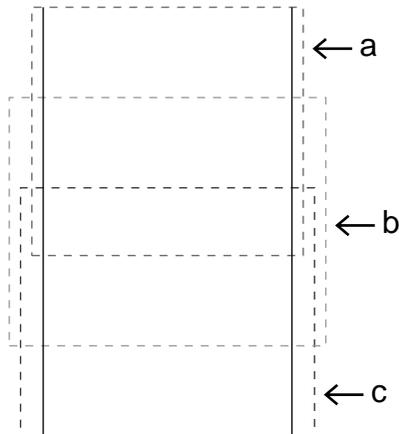


- ◆ サイズセレクタで、デザインページのサイズを 130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm の中から選択します。（大型枠用設定は、数字の前に * の表示が付いています。）
- ・ ご使用のミシンで使用可能な刺しゅう枠を確認してから設定を行ってください。

注意：デザインセンターで選択できるサイズは、160 × 260 mm、130 × 180 mm、100 × 100 mm のいずれかです。大型枠のデザインページのサイズは、デザインセンターにはありません。

■ 模様を作成する

① 画面上のデザインページは次のように示されます。



◆ a、b、cの説明

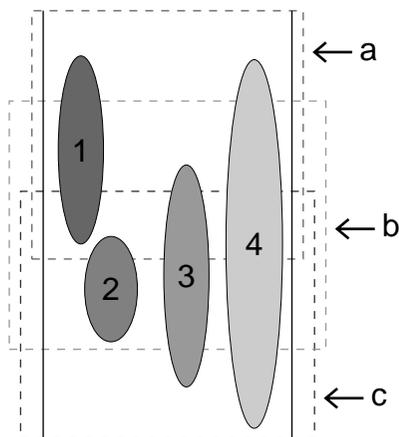
a：上位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

b：中央の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

c：下位の取り付け位置で刺しゅう枠を取り付けたときの縫製領域

破線がそれぞれの領域（部分デザインシート）の境界を示しています。

② 次の条件に適合するように模様を作成します。



◆ 1つの模様の大さが、100 × 100 mm（または130 × 180 mm）以内であること
デザインセンターから模様を取り込む場合、それらのサイズより大きなサイズは指示できません。

◆ それぞれの模様が、各領域（a、b、cのいずれか）に完全に含まれていること
（左図の解説）

1. 領域 a に完全に収まっているので問題ありません。

2. 領域 b または c に完全に収まっているので問題ありません。

3. 大きさは問題ありませんが、どの領域にも完全に収まっていないので、修正が必要です。

4. サイズが大きすぎるので修正が必要です。

注意：条件を満たしていない模様は、次のステップの縫い順の設定に進むときに警告が表示されます。

◆ 縫い順の設定は、通常の枠と同様に行います。

次に、メニューバーの縫い方 枠の最適化をクリックして、実際の縫い順（刺しゅう枠の取り付け位置を含む）を最適化します。

■ 枠の最適化

- ① メニューバーの縫い方 枠の最適化を選択します。
(枠の最適化が有効になっていると、メニューの前にチェック が付きます。)

枠の最適化を有効にすると、ユーザーが設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最少になるように縫い順を最適化してデータを作成します。
枠の最適化を有効にしていない場合は、デザインページで設定した縫い順通りに、各模様を縫製します。

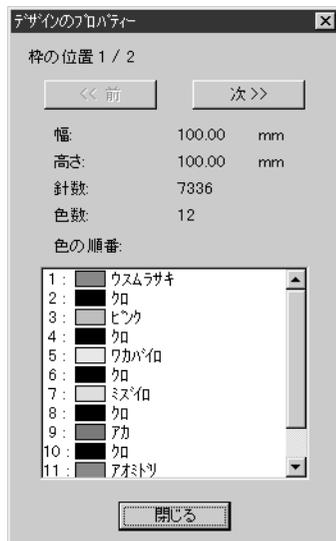
注意：刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が増えると、模様の縫いズレ、縫い弛み等が起きやすくなりますので、枠の最適化を有効にして模様を作成することをお勧めします。
ただし、枠の最適化を行うと、設定した縫い順と異なりますので、縫製する前に縫い順をご確認ください。

■ データを確認する

データの確認には、それぞれの枠の情報を確認できる ① の方法と、大形枠に入るデータ全体をプレビューする ② の方法があります。

注意：確認の前に、模様が何も選択されていないことを確認してください。模様が選択されていると、その模様の情報のみが表示されます。

- ① メニューバーのオプション デザインのプロパティをクリックします。
デザインのプロパティダイアログが表示され、デザインページの表示が、自動的に、ページ全体表示に切り替わります。



- ◆ ダイアログの最上行は、現在表示されている部分デザインシートの枠の位置番号と、部分デザインシートの総取り付け位置数を表示しています。
 - このとき、デザインページの表示では、ダイアログに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。
- ◆ 前ボタンと次ボタンをクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置に対応するデザインから、前後の取り付け位置に対応するデザインに切り替えます。
 - この時、対応する模様と刺しゅう枠位置がデザインページに表示されます。

注意：どの部分デザインシートにも入らないデータがあるとき(部分デザインシートのサイズより大きい場合、デザインがどの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合)には、このダイアログの代わりに、「データのサイズが位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。
エラーの表示後、エラーに該当する模様が選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください(エラーに該当する模様が複数ある場合は、縫い順が最も早い模様が選択状態になります)。

- ② **メニューバーの表示** **プレビュー**をクリックするか、ツールバーのをクリックして、プレビューイメージを確認します。

注意：オプションのデザインのプロパティと同様、どの部分デザインシートにも入らないデータがあるとき（部分デザインシートのサイズより大きい場合、デザインがどの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合）には、このダイアログの代わりに、「データのサイズか位置を変更してください。」というエラーメッセージが表示されます。

そのエラーの表示後、エラーに該当する模様が選択状態になりますので、サイズまたはその位置を調整してください（エラーに該当する模様が複数ある場合は、縫い順が最も早い模様が選択状態になります）。

注意：選択ツールで模様を何も選択していない状態で、このメニューを選択してください。模様が選択されていると、その模様のプレビューのみが表示されます。

■ データを保存する

- ① **メニューバーのファイル** **上書き保存**か、**名前を付けて保存**のいずれかをクリックして、データを保存します。

すべてのデータが、1 個のファイル（*.pes）に保存されます。

ファイルのサイズ、色替え回数が指定数より大きい場合、または、データ中の模様の中で、どの部分デザインシートにも入らないものがある場合には、「データのサイズか位置を変更してください。それでも保存しますか？」という警告メッセージが表示されますので、変更するか、保存するか対応してください。

注意：デザインページに大型枠（130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm）が選択されている場合は、ファイルの種類は「レイアウトセンター Ver.4.0」しか選択できません。

■ データをオリジナルカードに書込む

データをオリジナルカードに書込むには次の 2 通りの方法があります。

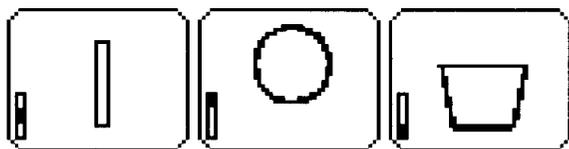
- ① **メニューバーのファイル** **カード書込み**をクリックするか、ツールバーのをクリックして、データをオリジナルカードに書込みます。

大型枠用刺しゅうデータは、1 つの刺しゅう枠の取り付け位置に対応するデータを 1 つの模様とし、それを複数組み合わせるよう構成されています。

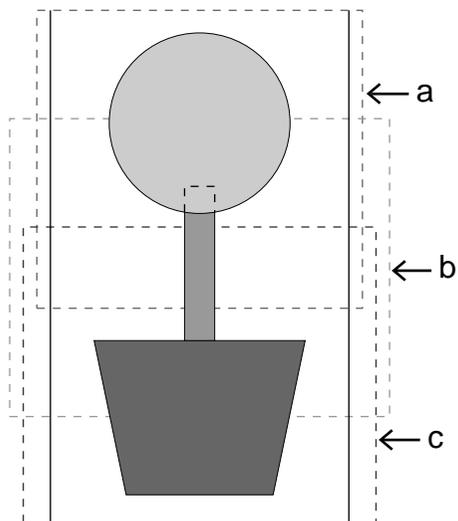
そして、このデータの書き込みは、1 回の書き込み作業で、1 つの大型枠用の刺しゅうデータのすべてを（複数の模様として）書き込みます。

（書き込まれる模様の個数について、詳しくは P.53 の「データを確認する」を参照してください。）

右下の模様をオリジナルカードに書き込んだ場合、書き込まれた模様をミシン上で確認すると、次のようになります。



-  : 刺しゅう枠の上位の取り付け位置（位置 a）で縫う模様
-  : 刺しゅう枠の中央の取り付け位置（位置 b）で縫う模様
-  : 刺しゅう枠の下位の取り付け位置（位置 c）で縫う模様

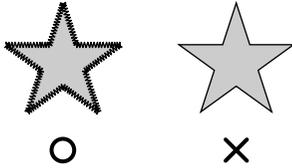


したがって、上記の例では、模様の枠位置の縫い順は b a c の順になります。

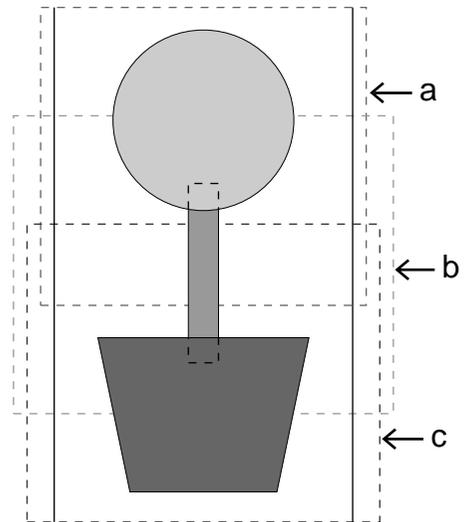
- ② ファイルユーティリティで書き込みます。
ファイルユーティリティでの書き込むと、①と同様、一度にすべてのデータを書き込みます。
さらに、カードの容量に余裕がある場合は他の模様も同時に書き込むことができます。

大型刺しゅう枠を使用する際の注意点：

- 実際の布地に縫製する前に、同じ布地で試し縫いを行ってください。また、針と糸も実際に使うものと同じものを使用してください。
- 必ず布地の裏に接着芯を貼り、刺しゅう枠にしっかりと張ってください。特に、薄い生地や伸縮地の場合は、接着芯を2枚重ねて使用してください。
接着芯がないと、布が縮み、輪郭線のズレ、布じわが起き、きれいな仕上がりになりません。
- 輪郭線は、サテン縫い設定でデータを作成してください。走り縫い設定よりも縫いずれを防ぐことができます。



- 刺しゅう枠を異なった枠位置で取り付ける必要のある模様では、模様の各部（継ぎ目）を重ねてデザインすると、縫いずれを防ぐことができます。



デザインセンター

デザインセンターは、他のアプリケーション等で作成された画像ファイルから、刺しゅう模様を作成するために使用します。作成した刺しゅう模様はレイアウトセンターのデザインページに取り込んで、他の刺しゅう模様と組み合わせることができます。

刺しゅう模様は、次の4つのステージで作成します。

◆ ステージ1：原画ステージ

ペイント等のアプリケーションで作成されたイメージや、スキャナーや他のソフトウェアで印刷物から取り込んだイメージを開くことができます。

使用できるイメージデータは、拡張子が .bmp、.tif、.jpg、.pcx、.wmf、.png、.eps、.pcd、.fpx のいずれかである必要があります。ステージ1では、イメージは本来の色で表示され、色を変更することはできません。

◆ ステージ2：輪郭線画ステージ

ステージ1からステージ2に移動するときに、刺しゅうデータの黒い輪郭線に変換させたい1色または複数の色を選択します。選択されない色は白に変換されます。白黒の輪郭線画は、太さの異なるペンツールを使用して、追加、修正することができます。

(ステージ2で輪郭線画ファイルを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pel となります。)

◆ ステージ3：輪郭データステージ

ステージ3に移動すると、輪郭線画は自動的に輪郭データに置き換えられます。この輪郭データは、編集(ポイントの移動、削除や新規ポイントの挿入)することができます。

(ステージ3で輪郭データファイルを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pem となります。)

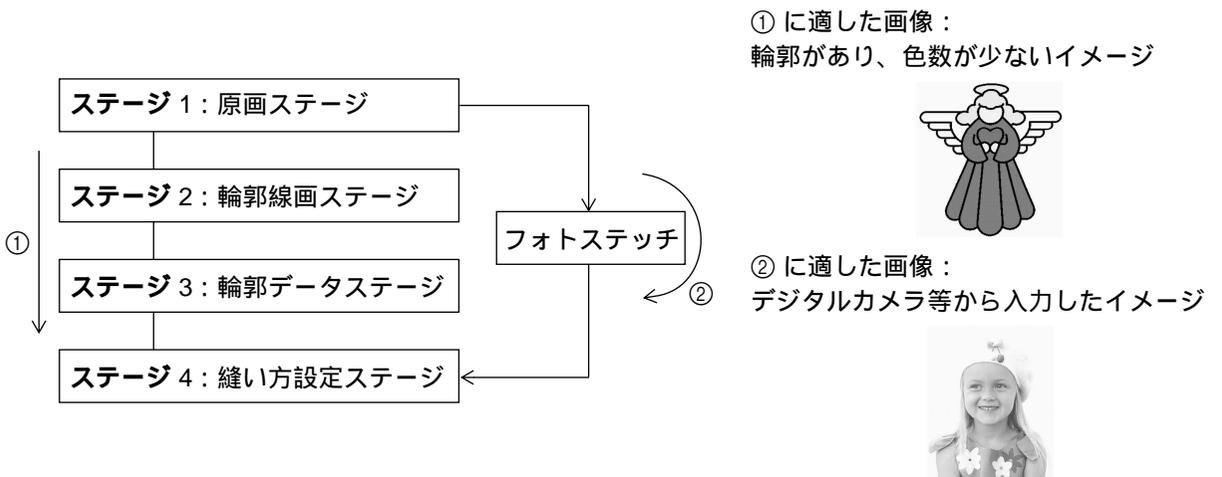
◆ ステージ4：縫い方設定ステージ

刺しゅう模様を完成するため輪郭線と面に、縫い方、糸色などの設定を行います。

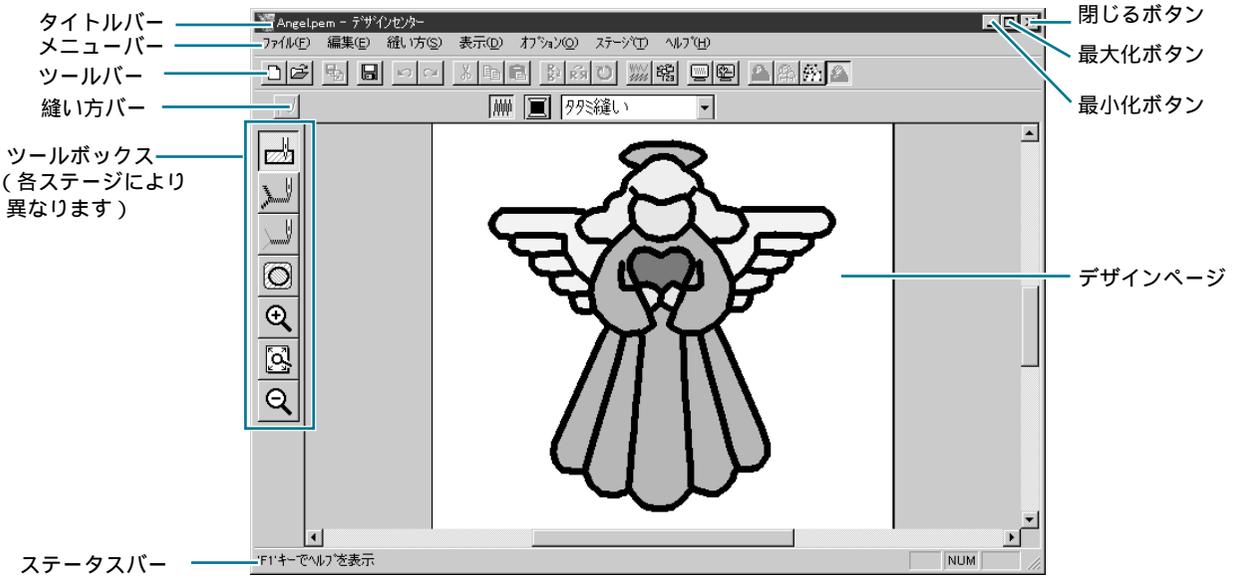
(ステージ4で刺しゅう模様ファイルを保存する場合、そのファイル名の拡張子は .pem となります。)

ステージ2、3、4で作業を中断しても、ファイルを保存しておけば、あとで作業を再開できます。

「フォトステッチ」機能を使うと、ステージ1で画像ファイルを開いて、それをフォトステッチ刺しゅうデータに変換できます。



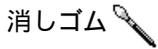
画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
縫い方バー	刺しゅう模様の縫い方（糸色、縫い方）を設定します。（ステージ4のみで表示されます。）
ツールボックス	輪郭データ、刺しゅう模様の選択と編集に使用します。（ステージ1にはありません。他のステージでは、それぞれ異なったツールボックスが表示されます。）
ステータスバー	選択されているデータのサイズ等の情報が表示されます。
デザインページ	作業領域です。

ステージ 2 のツールボックスの使い方

ステージ 2 では、ツールボックスは、原画イメージから作成した輪郭線画を修正したり、直接、輪郭線画を描いたりするときに使用します。

	ペン、消しゴムツール 最初の 5 つのボタンは、太さの違うペンと消しゴムとして使用します。 作業領域上で移動またはドラッグしたときのカーソルの形状
	ペン  消しゴム 
	アプリケーションを起動すると、2 番目のペントoolが選択されています。
	
	
	ズームインツール カーソルが  に変わります。
	デザインページズーム 選択したデザインページを画面に合わせて最大化します。
	ズームアウトツール カーソルが  に変わります。

描画と消去のしかた

■ 描画のしかた

- ① ツールボックスの希望する太さのペンをクリックします。カーソルが  になります。
- ② 点を追加するには、クリック、線を引くには、マウスをドラッグします。
Shift キーを押しながらドラッグすると、垂直方向または水平方向に線が引けます。

■ 消去のしかた

- ① ツールボックスの希望する太さのペンをクリックします。カーソルが、 になります。
- ② 描画を消去するには、マウスを右クリック、または、右ボタンを押しながらドラッグします。
マウスの右ボタンを押している間、カーソルは  になります。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行なえるように、輪郭線画を拡大表示するときに使います。

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- ② 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにカーソルをドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

デザインページを画面に合わせて最大化します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

ズームインツールで拡大表示された画面を戻します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- ② 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

ステージ 3 のツールボックスの使い方

ステージ 3 では、ツールボックスを使うことにより、自動で作成された輪郭データを編集します。ツールボックスのボタンを押すと、ツールが切り替わり、カーソルの形が変わります。ステータスバーの左側には選択されているツールでできる操作が表示されます。

注意：このステージで面縫いを設定したい面部分が、輪郭線で完全に囲まれているかどうかを確認できます。（P.21 の注意を参照してください）

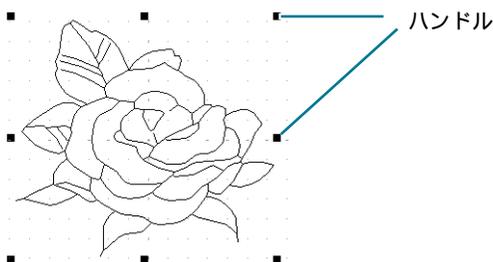
	選択ツール ステージ 3 への移行時は、選択ツールが選択されています。 カーソルが  に変わります。	P.62
	ポイント編集ツール カーソルが  に変わります。	P.64
	直線描画ツール カーソルが  に変わります。	P.65
	ズームインツール カーソルが  に変わります。	P.65
	デザインページズーム 選択したデザインページを画面に合わせて最大化します。	P.65
	ズームアウトツール カーソルが  に変わります。	P.66
	輪郭データズーム 選択した輪郭データを画面領域いっぱい拡大します。	P.66

選択ツール

選択ツールは、1個または複数の輪郭データを選択するときに使います。輪郭データを選択することにより、移動、拡大・縮小、回転または反転による方向変換ができます。

■ 輪郭データを選択する

- ① ツールボックスのをクリックします。カーソルが、に変わります。
- ② 選択したい輪郭データをクリックします。輪郭データが選択されると、ハンドルが表示され、輪郭線が青くなります。
透明部分（輪郭データが無い部分）をクリックすると、選択できません。



- ③ 輪郭データの選択を解除するには、他の輪郭データを選択するか、輪郭データが無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。
- ④ 複数の輪郭データを選択するには、**Shift** キーを押しながら、輪郭データをクリックします。

参考：選択したい輪郭データ全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にある輪郭データがすべて選択されます。
選択したくない輪郭データまで選択してしまったときは、輪郭データの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ 輪郭データを移動する

- ① 選択した輪郭データ上にカーソルを移動します。カーソルがに変わります。
 - ② クリックすると輪郭データの周りに点線の長方形が表示されますので、これをドラッグすると移動します。
Shift キーを押しながらドラッグすると、輪郭データは水平方向または垂直方向に移動します。
- 参考：**矢印キーを押すと、選択した輪郭データを矢印キーの方向に0.5 mm（約0.02インチ）ずつ移動ができます。

■ 輪郭データを拡大・縮小する

- ① 選択した輪郭データまたはグループのハンドル上にカーソルを移動します。
ハンドルにより、カーソルが、、、またはに変わります。
- ② ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大・縮小します。カーソルの形状により、拡大・縮小する方向が異なります。
は、幅を拡大・縮小します。
は、高さを拡大・縮小します。
とは、幅と高さを同時に拡大・縮小します。(幅と高さの比率が保たれます。)



P.90 の「数値設定 - サイズ」

■ 輪郭データを上下または左右に反転する

- ① 反転したい輪郭データを選択します。
- ② 上下に反転するには、メニューバーの**編集 反転 上下**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。
左右に反転するには、メニューバーの**編集 反転 左右**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。

■ 輪郭データを回転する

- ① 回転したい輪郭データを選択します。
- ② メニューバーの**編集 回転**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。選択した輪郭データの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。
- ③ 輪郭データを回転するには、回転ハンドルをドラッグします。回転ハンドルに触れるとカーソルがに変わります。ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。
Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。



P.91 の「数値設定 - 回転」

■ 輪郭データを削除する

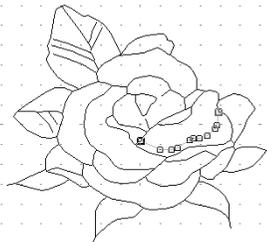
- ① 削除したいデータを選択します。
- ② **Delete** を押すか、メニューバーの**編集 削除**をクリックしてデータを削除します。

ポイント編集ツール

ポイント編集ツールでは輪郭データ内のポイントの移動、挿入、削除ができます。

■ ポイントを移動する

- 1 ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- 2 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は大きめの四角で表示されます。



- 3 移動したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは、黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、**(Shift)** キーを押しながら、ポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- 4 ポイントを移動したい場所にドラッグします。選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。**(Shift)** キーを押しながらドラッグすると、水平方向または垂直方向に移動します。
参考：矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に 0.1 mm ずつ移動できます。

■ ポイントを挿入する

- 1 ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- 2 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は、大きめの四角で表示されます。
- 3 ポイントを挿入したい輪郭データの上でクリックします。新しいポイントが黒い四角形で表示されます。挿入されたポイントは、すぐに編集できます。

■ ポイントを削除する

- 1 ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- 2 編集したい輪郭データをクリックします。
線がピンクで表示され、線の既存ポイントが小さな四角で表示されます。線の始点と終点は、大きめの四角で表示されます。
- 3 削除したいポイントをクリックします。
選択されたポイントは黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、**(Shift)** キーを押しながら、ポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- 4 **(Delete)** キーを押すか、メニューバーの **編集 削除** をクリックしてポイント削除します。
注意：赤い四角で表示されたポイントは、削除できません。

直線描画ツール

直線描画ツールにより、線を追加することができます。線は一本の直線または折線で描くことができます。このツールで描いた線には、ステージ 4 で縫い方と糸色が設定できます。また、このツールで描いた線で作られた囲い面にもステージ 4 で縫い方と糸色が設定できます。

すでにある囲い面にこのツールで線を追加し、囲い面を分割すると、分割されたそれぞれの囲い面に個別の縫い方・糸色が設定できます。



■ 直線を描く

- 1 ツールボックスの  をクリックします。
カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。
- 2 直線を描きます。
カーソルを開始点に移動し、クリックします。
カーソルを次の点に移動し、再度クリックします。
参考：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
グリッドを線引きの補助線にすると便利です。
グリッドは、表示 / 非表示の切り替えができます。グリッドについて、詳しくは P.98 の「グリッド」を参照してください。
Shift キーを押しながらマウスを移動すると、水平または垂直方向に線が引けます。
- 3 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行えるように、輪郭データを拡大表示するときに使います。

- 1 ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- 2 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

選択されたデザインページを画面に合わせて最大化します。

- 1 ツールボックスの  をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

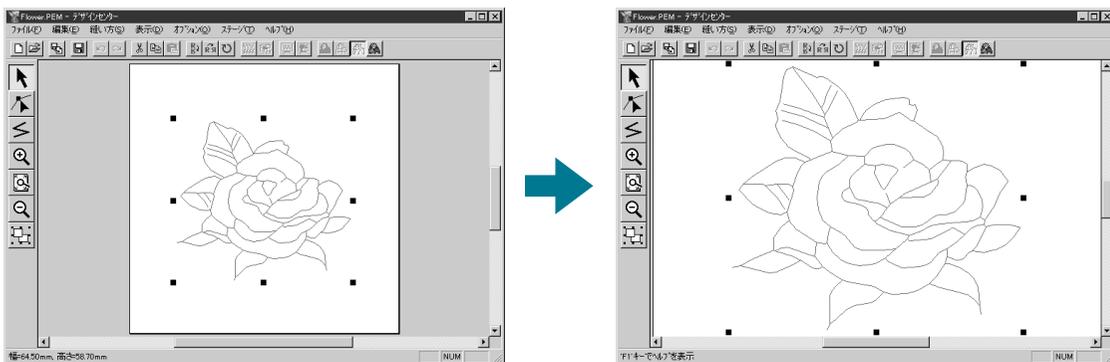
ズームインツールで拡大表示された画面を元に戻すことができます。

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  になります。
- ② 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

輪郭データズーム

選択された輪郭データを画面いっぱいに拡大表示できます。

- ① 1個または複数の輪郭データを選択します。
- ② ツールボックスの  をクリックします。
選択された輪郭データが、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。



ステージ 4 のツールボックスの使い方

ステージ 4 では、ステージ 3 で編集された輪郭データに、線の縫い方と面の縫い方の設定をします。この作業はツールボックスと縫い方バーを使って行います。ツールボックスのボタンをクリックするとツールが切り替り、カーソルの形が変わります。ステータスバーの左側には、選択されているツールでできる操作が表示されます。

	<p>面の設定ツール アプリケーションを起動すると、このツールが選択されています。</p> <p>カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。</p>	P.68
	<p>輪郭線の設定ツール(全体)</p> <p>カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。</p>	P.69
	<p>輪郭線の設定ツール(部分)</p> <p>カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。</p>	P.71
	<p>ドーナツ縫いツール</p> <p>カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。</p>	P.72
	<p>ズームインツール</p> <p>カーソルが  に変わります。</p>	P.73
	<p>デザインページズーム</p> <p>選択されたデザインページを画面に合わせて最大化します。</p>	P.73
	<p>ズームアウトツール</p> <p>カーソルが  に変わります。</p>	P.73

面の設定ツール

このツールでは、線で囲まれた面に現在選択されている縫い方を設定することができます。すでに面に設定されている縫い方を変更することもできます。

■ 縫い方を面に設定する

- ① ツールボックスのをクリックします。

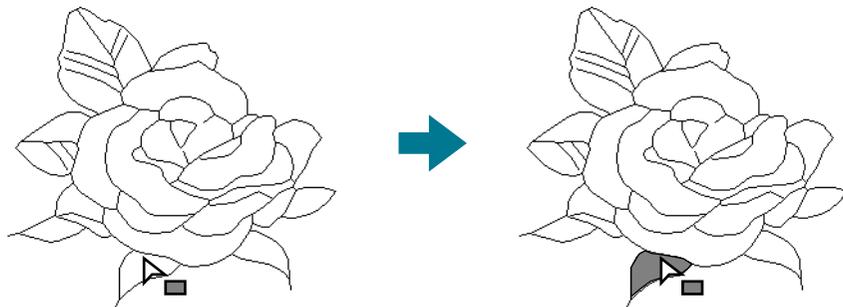
カーソルがに変わり、選択された機能を示す絵柄とともに表示されます。縫い方バーは次のように表示されます。



この縫い方バーで、面の色と縫い方を選択します。P.76の「糸色」とP.76の「縫い方」を参照してください。

糸密度や他の縫い方は、メニュー（P.92の「縫い方の設定」を参照）や次に説明する方法で選択することもできます。この選択を行わないと、現在の設定内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

- ② 設定したい面をクリックします。縫い方バーで選択された色と縫い方がその面に設定されます。



注意：設定したい面に設定できないときは、ステージ3に戻り、その設定する面が輪郭データで囲まれるようにポイントを移動したりして修正してください。（P.21、P.61 参照）

■ 面の縫い方を確認する

- ① ツールボックスのをクリックします。

カーソルがに変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

- ② 縫い方が設定されている面を右クリックします。

縫い方バーに色と縫い方が表示されます。この縫い方バーで色と縫い方の変更ができます。

選択された面の縫い方は**縫い方の設定**ダイアログに表示されます。



- ◆ 必要に応じて、設定を変更します。
P.92 の「縫い方の設定」を参照してください。
 - ・ 各設定を標準値に戻すには、**標準**ボタンをクリックします。
- ◆ 新しい縫い方を面に設定する場合は、設定したい面をクリックします。
- ◆ ダイアログを画面から消去する場合は、**閉じる**をクリックしてください。

線の設定ツール（全体）

このツールでは、輪郭線に現在選択されている縫い方を設定できます。すでに輪郭線に設定されている縫い方を変更することもできます。

■ 縫い方を輪郭線に設定する

- ① ツールボックスのをクリックします。

カーソルがに変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

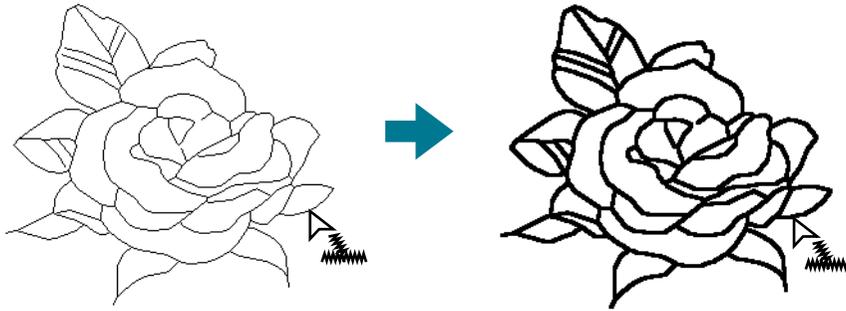
縫い方バーは次のように表示されます。



この縫い方バーで、輪郭線の色と縫い方を選択します。P.76 の「糸色」と P.76 の「縫い方」を参照してください。

糸密度や他の縫い方は、メニュー（P.92 の「縫い方の設定」を参照）や次に説明する方法で選択することもできます。これらの選択を行わないと、現在選択されている内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

- ② 設定したい輪郭線をクリックします。
縫い方バーで選択されている色と縫い方がその輪郭線に設定されます。



■ 輪郭線の縫い方を確認する

- ① ツールボックスのをクリックします。

カーソルがに変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

- ② 縫い方が設定されている輪郭線を右クリックします。
縫い方バーに色と縫い方が表示されます。この縫い方バーで色と縫い方を変更できます（P.69の「縫い方を輪郭線に設定する」を参照）。
選択された輪郭線の縫い方が**縫い方の設定ダイアログ**に表示されます。



- ◆ 必要に応じて、設定を変更します。
P.92の「縫い方の設定」を参照してください。
・ 各設定を標準値に戻すには、**標準ボタン**をクリックします。
- ◆ 新しい縫い方を輪郭線に設定する場合は、設定したい輪郭線をクリックします。
- ◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

線の設定ツール（部分）

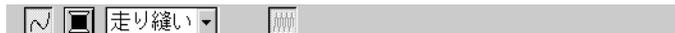
このツールでは、輪郭線の一部に現在選択されている縫い方を設定することができます。すでに設定されている縫い方を変更することもできます。

このツールで変更できる輪郭線の一部とは、輪郭線の分岐点と分岐点の間のことです。

■ 縫い方を輪郭線の一部に設定する

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。縫い方バーは次のようになります。

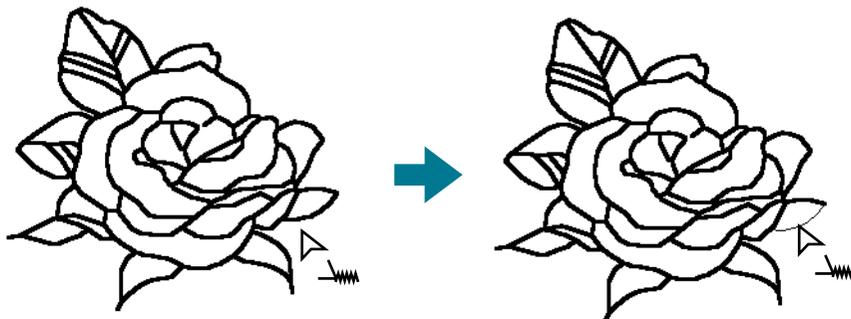


この縫い方バーで、輪郭線の一部の縫い方を選択します。P.76 の「縫い方」を参照してください。

一つの輪郭線に複数の色を設定することはできません。輪郭線の一部に、すでに輪郭線に設定されている色と異なる色を設定すると、輪郭線全体の色が変更されます。

メニュー（P.92 の「縫い方の設定」を参照）や次で説明する方法（輪郭線の一部の縫い方設定を確認する）で、縫い方を選択することもできます。この選択をここで行わないと、現在選択されている内容が設定されます。設定された縫い方は後で変更できます。

- ② 設定したい輪郭線の一部をクリックします。
縫い方バーで選択された縫い方が輪郭線の一部に設定されます。



■ 輪郭線の一部の縫い方設定を確認する

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

- ② 縫い方が設定されている輪郭線の一部を右クリックします。

縫い方バーが選択される色と縫い方を表示します。この縫い方バーで縫い方を変更できます（P.68の「縫い方を面に設定する」を参照）。

選択された輪郭線の一部の縫い方が**縫い方の設定**ダイアログに表示されます。



- ◆ 必要に応じて、設定を変更します。P.92の「縫い方の設定」を参照してください。
 - ・ 各設定を標準値に戻すには、**標準**ボタンをクリックします。
- ◆ 新しい設定内容を部分輪郭に設定する場合は、設定したい輪郭線の一部をクリックします。
- ◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

ドーナツ縫いツール

ドーナツ縫いツールは、刺しゅう模様の重なった部分に二重縫いを行うかどうかを設定します。1つの刺しゅう模様が他の刺しゅう模様に完全に含まれる場合にのみ設定できます。

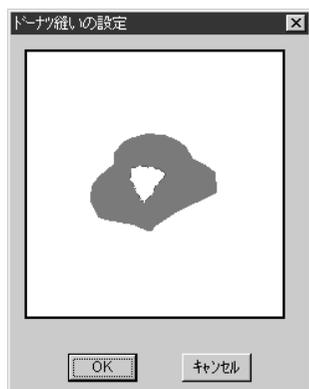
- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、選択した機能を示す絵柄とともに表示されます。

- ② 他の模様を完全に囲んでいる模様をクリックします。



- ③ このダイアログが表示されます。



- ◆ 模様の中央部をクリックして、ドーナツ縫いをするかしないかを切り替えます。
- ◆ OK をクリックして、切り替えた設定を確認します。
- ◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ズームインツール

より簡単に確認と編集を行えるように、刺しゅう模様を拡大表示するときに使います。

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- ② 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域を囲むようにドラッグします。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

デザインページズーム

選択されたデザインページを画面に合わせて最大化します。

- ① ツールボックスの  をクリックします。デザインページが画面サイズに合わせて最大化します。

ズームアウトツール

ズームインツールで拡大表示された画面を元に戻すことができます。

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- ② 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

縫い方バーの使い方

ステージ 4 で表示される縫い方バーを用いて、選択された面または輪郭線の色と縫い方を設定します。選択されているツールによって表示される縫い方は異なります。

例 1：面の設定ツールの場合



例 2：線の設定ツールの場合



カーソルを縫い方バーの各ボタンに合わせると、内容を示すラベルが表示されます。

ボタン/セレクタ	機能	参照ページ
	面の設定ボタン：面縫いのオン/オフを切り替えます。	P.74
	線の設定ボタン：輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。	P.75
	糸色の設定ボタン：輪郭線または面の糸色を設定します。	P.76
	縫い方の設定：輪郭線または面の縫い方を設定します。	P.76

糸色と縫い方を設定する

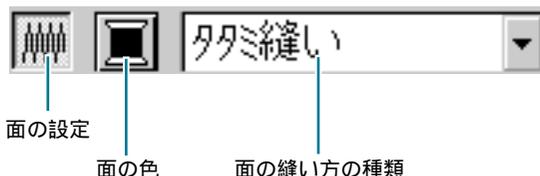
■ 面の設定

機能 : 面縫いのオン/オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条件 : ツールボックスの をクリックして、面の設定ツールになっているとき。

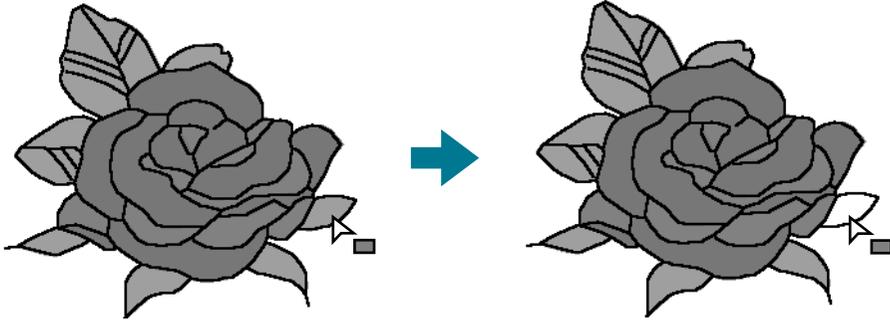
操作

- 1 面の設定ボタンをクリックします。
オン/オフにより、表示が変わります。
オン：面の色ボタンと面の縫い方セレクタが表示されます。
オフ：面の色ボタンと面の縫い方セレクタが表示されません。



- ② 面の設定ボタンをクリックして、オン/オフを切り替えます。

面の設定ボタンをオフにして面をクリックすると、その面は白く表示され、縫わない設定になります。



面の設定ボタンをオンにして面をクリックすると、その面は縫い方バーに表示されている色、縫い方に設定されます。



参照

P.76の「糸色」、P.76の「縫い方」

■ 線の設定

機能 : 輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条件 : ツールボックスの  または  をクリックして線（全体または部分）の設定ツールになっているとき。

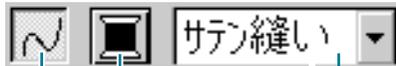
操作

- ① 線の設定ボタンをクリックします。

オン/オフにより、表示が変わります。

オン : 線の色ボタンと線の縫い方セレクトが表示されます。

オフ : 線の色ボタンと線の縫い方セレクトが表示されません。



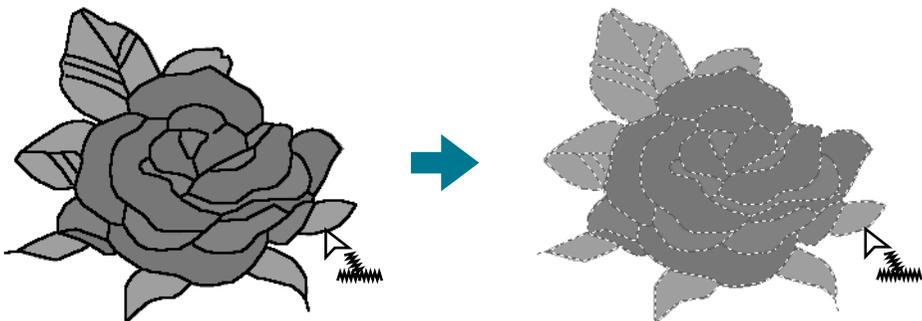
線の設定

線の色

線の縫い方の種類

- ② 線の設定ボタンをクリックして、オン/オフを切り替えます。

線の設定ボタンをオフにして線をクリックすると、その輪郭線は破線で表示され縫わない設定になります。



線の設定ボタンをオンにして線をクリックすると、その線は縫い方バーに表示されている色、縫い方に設定されます。



参照

P.76の「糸色」、P.76の「縫い方」

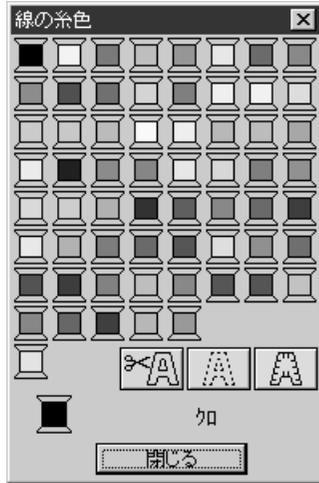
糸色

- 機能** : 輪郭線や面内部の糸色を設定します。
- 条件** : 面の設定ツールまたは線の設定ツールになっているとき。

操作

- ① 糸色ボタンをクリックします。

面の設定ツールでは**面の糸色**ダイアログが、線の設定ツールでは**線の糸色**ダイアログが表示されます。



- ◆ 糸色ボタンをクリックします。
 - 最後の糸色ボタンと“ A ”のついた 3 つのボタンには特別な機能があります。P.144 の「特別色」を参照してください。
 - 色名一覧表については、P.230 を参照してください。
- ◆ ダイアログを画面から消す場合は、**閉じる**をクリックしてください。

設定したい色をクリックすると、新しい色が**面の色**ボタンまたは**線の色**ボタンに表示されます。

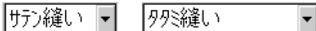
注意：メニューバーの**オプション** **糸色ダイアログの設定**をクリックして糸色表示の並び順を変更できます。



参照

P.74 の「面の設定」、P.75 の「線の設定」、P.143 の「糸色」

縫い方



- 機能** : 輪郭線や面内部の縫い方を設定します。
- 条件** : 面の設定ツールまたは線の設定ツールになっているとき。

操作

- ① 縫い方セレクトをクリックします。

設定できる縫い方が表示されます。



輪郭線は、サテン縫いまたは走り縫いを設定できます。面は、タタミ縫い、サテン縫い、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫いのいずれかを設定できます。

- ② 設定したい縫い方をクリックします。
- 選択された縫い方がセレクトに表示されます。



参照

P.74 の「面の設定」、P.75 の「線の設定」

メニューとツールバーの使い方

メニュー	機能	参照ページ
ファイル	ファイルの入力 / 出力を処理します。	P.77
編集	切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅう模様編集操作を行います。	P.87
縫い方	模様の縫い方や縫い順を設定します。	P.92
表示	画面の表示方法を変更します。	P.98
オプション	他のアプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや使用する単位等を設定します。	P.101
ステージ	ステージ間を移行します。	P.104
ヘルプ	ヘルプシステムを起動します。	P.114

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタンをクリックしたり、ショートカットキーやキーの組み合わせにより操作することができます。

カーソルをツールバーの各ボタン上に置くと、ボタンの機能を示すラベルが表示されます。



ファイルメニュー

開く、保存、印刷などのファイルの入力 / 出力を処理します。

ファイル	機能	参照ページ
新規作成 (輪郭線画)	新規デザインページを作成し、ステージ 2 に移動します。	P.78
新規作成 (輪郭データ)	新規デザインページを作成し、ステージ 3 に移動します。	P.78
ウィザード	作成するデータの種類に応じてどのようにデータを作成していくのか、順をおって説明します。	P.79
開く	以前に保存したファイル (*.pem、*.pel) やイメージファイル [Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif、*.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Potable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)] を開きます。	P.82
TWAIN 機器の選択	コンピュータにインストールされている TWAIN 機器から使用するものを選択します。	P.83
TWAIN 機器から入力	TWAIN 規格対応のスキャナ等を実行し、イメージを取り込みます。	P.83
クリップボードから入力	ステージ1の新規デザインページを開き、クリップボード上の画像データを貼り付けます。	P.84
クリップボードに出力	ステージ 1 の画像データをクリップボードにコピーします。	P.84

輪郭データ取込み	作業中のデザインページにpem ファイルを追加します。(ステージ 3 でのみ使用可能)	P.85
上書き保存	作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存します。	P.85
名前を付けて保存	作業中のファイルを新しい名前で保存します。保存できるファイル形式は、ステージ 1 ではビットマップファイル (*.bmp)、ステージ 2 では pel ファイル、ステージ 3 と 4 では pel ファイルと pem ファイルです。	P.85
終了	アプリケーションを終了します。	P.86

■ 新規作成 (輪郭線画)

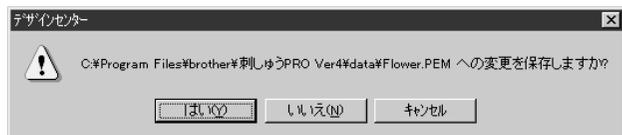
機能 : 新規デザインページを作成し、ステージ 2 に移動します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **N**

ツールバー : 

操 作

- ① メニューバーの**ファイル** **新規作成 (輪郭線画)** をクリックします。
デザインページに編集中の刺しゅう模様が無い場合は、直ちに新規のデザインページ (ステージ 2) が表示されます。
- ② デザインページに編集中の刺しゅう模様がある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを上書き保存する場合は、**はい** をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ** をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。
(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。(.pel ファイル、 .pem ファイル、 .bmp ファイル)

新規ファイルは自動的にステージ 2 で開きます。ステージ 2 では、ペンツールや消しゴムツールを使って白黒の線画を描くことができます。



参照 P.78の「新規作成 (輪郭データ)」、P.82の「開く」、P.85の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ 新規作成 (輪郭データ)

機能 : 新規デザインページを作成し、ステージ 3 に移動します。

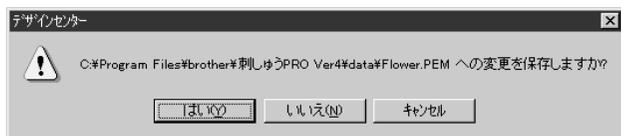
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーの**ファイル** **新規作成 (輪郭データ)** をクリックします。
デザインページに編集中の刺しゅう模様が無い場合は、直ちに新規のデザインページ (ステージ 3) が表示されます。

- ② デザインページに編集中の刺しゅう模様がある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを上書き保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

作業中または編集したステージによって、保存されるファイルは異なります。(.pel ファイル、 .pem ファイル、 .bmp ファイル)

新規ファイルは、自動的にステージ3で開きます。デザインページのサイズは現在の設定となります。ステージ3では、直線描画ツールを使って線を描くことや、「輪郭データ取込み」を使って保存されているデータを取込むことができます。



P.78の「新規作成(輪郭線画)」、P.82の「開く」、P.85の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ ウィザード

機能 : 作成するデータの種類に応じてどのようにデータを作成していくのか、順をおって説明します。

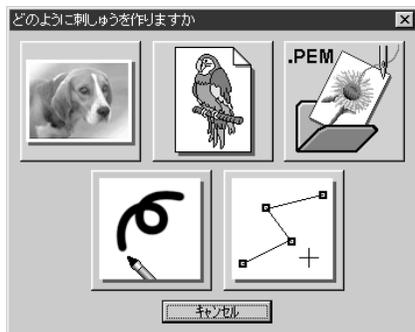
ショートカットキー : (F3)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーの**ファイル ウィザード**をクリックします。

次のような手順選択ダイアログが表示されます。ただし、デザインページに編集中の刺しゅう模様がある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



カーソルを各ボタン上に置くと、各ボタンの動作名称が表示されます。各ボタンの機能は、次のとおりです。

◆ **フォトステッチ**

イメージからフォトステッチデータを作成する場合に使用します。

ボタンをクリックすると、手順を示す**フォトステッチ**ダイアログが表示されます。

(P.80を参照してください。)

◆ **原画から**

原画から通常の刺しゅうデータを作成する場合に使用します。

ボタンをクリックすると、手順を示す**原画から**ダイアログが表示されます。(P.81を参照してください。)

◆ PEM ファイルを開く

過去に作成し保存されている .pem ファイルを編集したい場合に使用します。ボタンをクリックすると、.pem ファイルを選択するための**開く**ダイアログが表示されます。詳しくは P.82 の「開く」を参照してください。

◆ 新規作成（輪郭線画）

ステージ 2 の新しいデザインページを開きます。白黒のペンツールを使ってイメージを描き、そのイメージから刺しゅうデータを作成する場合に使用します。詳しくは、P.78 の「新規作成（輪郭線画）」を参照してください。

◆ 新規作成（輪郭データ）

ステージ 3 の新しいデザインページを開きます。直線描画ツールで初めから作成する場合や既存の .pem ファイルから輪郭データを取り込んでデータを作成する場合に使用します。詳しくは、P.78 の「新規作成（輪郭データ）」を参照してください。

◆ キャンセル

このダイアログを閉じます。

「フォトステッチ」が選択されたとき：

P.79 のダイアログで**フォトステッチ**をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



カーソルを各ボタン上に移動すると、各ボタンの動作名称が表示されます。各ボタンの機能は次のとおりです。

◆ 写真ファイルを開く

既存のイメージファイルを開き、デザインページに貼り付けます。詳しくは、P.82 の「開く」を参照してください。

◆ クリップボードから

クリップボード上にあるイメージをデザインページに貼り付けます。イメージがクリップボード上にあるときにのみ、使用できます。詳しくは、P.84 の「クリップボードから入力」を参照してください。

◆ TWAIN 機器から

TWAIN 機器からイメージを取り込み、デザインページに貼り付けます。詳しくは、P.83 の「TWAIN 機器から入力」を参照してください。

◆ 現在の写真ファイル

ステージ 1 で開いているイメージを使用します。この機能は、ステージ 1 でイメージを開いているときにのみ使用できます。

◆ 戻る

現在のダイアログを閉じ、1 つ前のダイアログに戻ります。

◆ キャンセル

このダイアログを閉じます。

戻る / キャンセル以外のボタンをクリックした場合、それぞれのイメージの取り込みが開始され、取り込まれたイメージがステージ 1 デザインページに貼り付けられます。そのあと、**範囲の設定**ダイアログが開きます。それ以降の操作については、P.109 の「フォトステッチ」を参照してください。

「原画から」が選択されたとき：

P.79のダイアログで**原画から**をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



カーソルのポインタを各ボタン上に移動すると、各ボタンの動作名称が表示されます。各ボタンの機能は次のとおりです。

◆ **画像ファイルを開く**

既存の画像ファイルを開き、デザインページに貼り付けます。
詳しくは、P.82の「開く」を参照してください。

◆ **クリップボードから**

クリップボード上にあるイメージをデザインページに貼り付けます。イメージがクリップボード上にあるときにのみ、使用できます。
詳しくは、P.84の「クリップボードから入力」を参照してください。

◆ **TWAIN 機器から**

TWAIN 機器からイメージを取り込み、それをデザインページに貼り付けます。
詳しくは、P.83の「TWAIN 機器から入力」を参照してください。

◆ **現在のイメージ**

ステージ1で開いているイメージを使用します。ステージ1でイメージを開いているときにのみ使用できます。

◆ **戻る**

現在のダイアログを閉じ、1つ前のダイアログに戻ります。

◆ **キャンセル**

このダイアログを閉じます。

戻る / キャンセル以外のボタンをクリックした場合、それぞれのイメージの取り込みが開始され、取り込まれたイメージがステージ1デザインページに貼り付けられます。そのあと、輪郭線の選択ダイアログが開き、通常の刺しゅうデータを作成する作業である輪郭線の色を選択をします。

詳しくはP.105の「輪郭線画ステージ」を参照してください。

次に、P.107の「輪郭データステージ」とP.108の「縫い方設定ステージ」の順にステージを移動し、データを作成していきます。詳しくはそれぞれの項目を参照してください。

開く

機能 : 以前に保存したファイル (*.pem、*.pel) やイメージファイル〔Windows ビットマップ (*.bmp)、Exif (*.tif、*.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows メタファイル (*.wmf)、Potable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)〕を開きます。

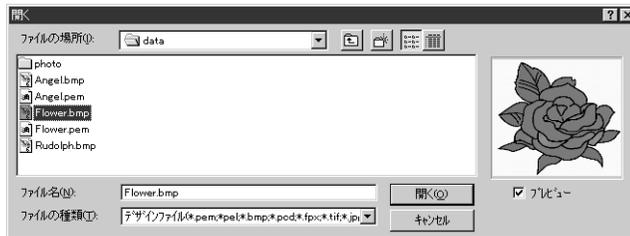
注意 : 複数のページで保存した .pcd ファイルと .fpx ファイルについては、最初のページのみを開くことができます。LZW で圧縮された .tif ファイルは開くことができません。

ショートカットキー : **Ctrl** + **O**

ツールバー : 

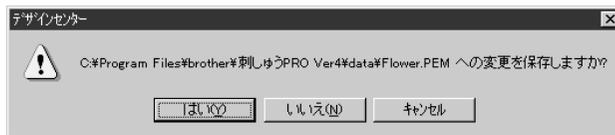
操作

- 1 メニューバーの**ファイル 開く**をクリックします。
開くダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
 - ・必ず**ファイルの種類**にある正しい種類の拡張子のファイルを選択してください。
 - ・**プレビュー**チェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- 2 デザインページに編集集中の刺しゅう模様がない場合は、選択したファイルが開きます。デザインページに編集集中の刺しゅう模様がある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを保存する場合、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

作業中または、編集したステージにより、保存されるファイルは異なります。(.pel ファイル、.pem ファイル、.bmp ファイル)



参照

P.78の「新規作成(輪郭線画)」、P.85の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ TWAIN 機器の選択

機能 : コンピュータにインストールされている TWAIN 機器から使用するものを選択します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **TWAIN 機器の選択**をクリックします。

次のダイアログが表示されます。

表示されたデバイスから使用するものを選択し、それを反転表示させます。



◆ デバイスを選択し、**選択**をクリックします。

◆ デバイス変更操作を中止し、ダイアログを閉じるときは、**キャンセル**をクリックします。

注意 : TWAIN 機器がなにもインストールされていないときは、ソースリストに何も表示されません。この機能は、使用したい TWAIN 機器のドライバをインストールしたあとに使用してください。

■ TWAIN 機器から入力

機能 : TWAIN 規格対応のスキャナ等を操作し、イメージを取り込みます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

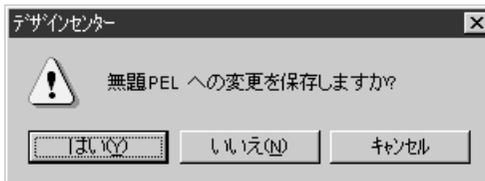
- ① スキャナ等の機器が、正しく接続されているか確認します。
- ② メニューバーの**ファイル** **TWAIN 機器から入力**をクリックします。

TWAIN 機器の**選択**ダイアログで設定したドライバのインターフェイスが表示されます。そのインターフェイスを操作し、イメージの取り込み設定を行い、イメージを取り込みます。

注意 : インターフェイスの使い方については、インターフェイスのヘルプマニュアルをご覧になるか、インターフェイスのメーカーにお問い合わせください。

- ③ スキャナやその他の機器とドライバとの間のイメージ転送が完了すると、取り込みイメージがステージ 1 に貼り付けられます。

デザインページに編集集中の刺しゅう模様があるときは、転送前に変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



◆ デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。

◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。

◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

注意： TWAINとは、スキャナ等を制御するソフトウェアのためのアプリケーションインターフェイス(API)の標準規格です。取込みのソフトウェア自体も TWAIN と呼ばれます。本ソフトウェアでは TWAIN 規格準拠の機器をサポートしているので、スキャナ等の機器を直接制御し、イメージをそのまま取り込むことができます。
この機能を使用する前に、必ず、TWAIN 機器を選択ダイアログを表示させて TWAIN 機器を選択してください。



参照 P.83 の「TWAIN 機器の選択」

■ クリップボードから入力

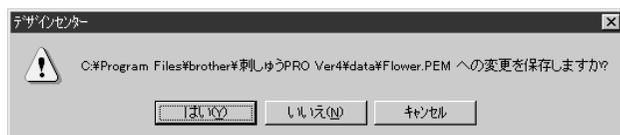
機能 : ステージ 1 の新規デザインページを開き、クリップボード上の画像データを貼り付けます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **クリップボードから入力**をクリックします。(この操作は、クリップボード上に画像データがあるときのみ可能です。) デザインページに編集集中の刺しゅう模様がないときは、ステージ 1 のデザインページが開き、クリップボード上にある画像データを貼り付けます。
- ② デザインページに編集集中の刺しゅう模様があるときは、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ デザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ デザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

作業中または、編集したステージにより、保存されるファイルは異なります。(.pel ファイル、.pem ファイル、.bmp ファイル)



参照 P.82 の「開く」、P.85 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ クリップボードに出力

機能 : ステージ 1 の画像データをクリップボードにコピーします。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **クリップボードに出力**をクリックします(この操作は、ステージ 1 のデザインページに画像データがあるときのみ可能です)。デザインページの画像データがクリップボードにコピーされます。

■ 輪郭データ取込み

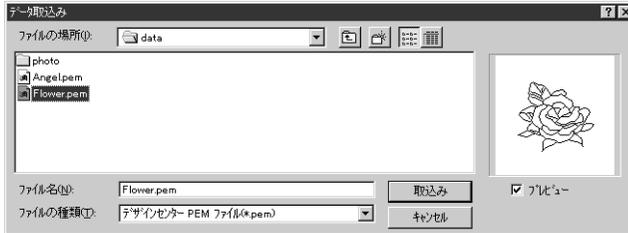
機能 : 作業中のデザインページにpemファイルを追加します。(ステージ3でのみ使用可能)

ショートカットキー : (F8)

ツールバー : 

操作

- 1 メニューバーの**ファイル** **輪郭データ取込み**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
- ◆ 開くときは、**取込み**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

選択した輪郭データが作業中のデザインページに追加されます。



参照 P.82の「開く」

■ 上書き保存

機能 : 作業中のデザインページをハードディスクなどに上書き保存します。

ショートカットキー : (Ctrl) + (S)

ツールバー : 

操作

- 1 メニューバーの**ファイル** **上書き保存**をクリックします。
ファイルがすでにディスクにあれば(ファイルが、現在作業中のステージと同じステージで、少なくとも一度保存されたことがあれば)、直ちに上書き保存されます。
- 2 ファイルにまだ名前がつけられていないとき、または、ファイルがディスク上に見つからないとき、自動的に**名前を付けて保存**ダイアログに切り替わります。



参照 P.85の「名前を付けて保存」

■ 名前を付けて保存

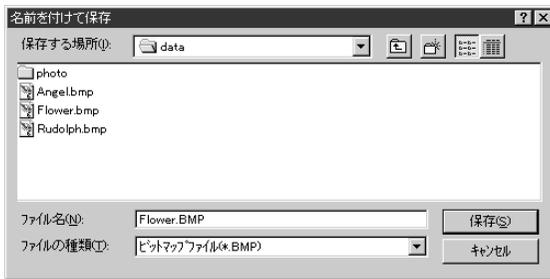
機能 : 作業中のファイルを新しい名前で保存します。
保存できるファイル形式は、ステージ1ではビットマップファイル(*.bmp)、ステージ2ではpelファイル、ステージ3と4ではpelファイルとpemファイルです。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **名前を付けて保存**をクリックします。
名前を付けて保存のダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
 - ・ 正しい拡張子が自動的に付けられます。この拡張子を変更しないでください。
- ◆ 保存するには、**保存**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

ステージ 1 のイメージデータはビットマップファイル (*.bmp) のみで保存できます。ステージ 2 からステージ 4 までは、輪郭線画データは .pel ファイルで、輪郭データまたは刺しゅうデータは .pem ファイルで保存できます。

- ② 新しいファイル名が既にあるときは、このダイアログが表示されます。



- ◆ このファイルに上書きするときは、**はい**をクリックします。
- ◆ このファイルに上書きしたくないときは、**いいえ**をクリックします。



P.85 の「上書き保存」

参考：ファイル形式については、PEM バージョン 1.0 を選択してファイルを保存すると、その PEM ファイルは、デザインセンターのバージョン 1.0 で開くことができます。ただし、情報の一部が失われることもありますのでご注意ください。(詳細は Read me ファイルで参照してください。)

終了

機能 : アプリケーションを終了します。

ショートカットキー : **Alt** + **F4**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **終了**をクリックします。
作業中のデザインページが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。
- ② 作業中のデザインページが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



P.85 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

編集メニュー

編集メニューでは、選択された輪郭データや刺しゅう模様に対して、切り取り、貼り付けなどの編集操作を行います。

メニュー		機能	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	P.87
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.87
切り取り		選択された輪郭データを画面から削除し、クリップボードに保存します。	P.88
コピー		選択された輪郭データを画面から消去しないで、クリップボードに保存します。	P.88
複製		選択された輪郭データを複製します。	P.88
貼り付け		クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。	P.88
削除		選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。	P.89
反転	上下	選択されたデータを上下に反転させます。	P.89
	左右	選択されたデータを左右に反転させます。	P.90
回転		選択された輪郭データを任意の角度で回転します。	P.90
数値設定	サイズ	選択された輪郭データを任意のサイズにします。	P.90
	回転	選択された輪郭データを任意の角度で回転させます。	P.91
すべて選択		すべてのデータを選択します。	P.91

■ 元に戻す

機能 : 直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Z**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集** **元に戻す**をクリックします。
自動的に直前の操作を行う前の状態に戻します。
注意: この操作はステージ 2、3、4 で行えます。



参照 P.87 の「やり直し」

■ やり直し

機能 : 最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **A**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集** **やり直し**をクリックします。
最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。
注意: この操作はステージ 3、4 で行えます。



参照 P.87 の「元に戻す」

■ 切り取り

機能 : 選択された輪郭データを画面から削除し、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **X**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- 2 メニューバーの**編集 切り取り**をクリックします。
選択された輪郭データが消去されます。データはクリップボードに保存されるので、**編集 貼り付け**を使って、貼り付けることができます。
注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照

P.88 の「コピー」と「貼り付け」、P.89 の「削除」

■ コピー

機能 : 選択された輪郭データを画面から消去しないで、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **C**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- 2 メニューバーの**編集 コピー**をクリックします。
輪郭データがクリップボードに保存され、**編集 貼り付け**を使って貼り付けることができます。
注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照

P.88 の「切り取り」と「複製」と「貼り付け」

■ 複製

機能 : 選択された輪郭データを複製します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **D**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- 2 メニューバーの**編集 複製**をクリックします。
選択された輪郭データが複製され、デザインページに表示されます。
注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照

P.88 の「コピー」と「貼り付け」

■ 貼り付け

機能 : クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **V**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集 貼り付け**をクリックします。
切り取りやコピーでクリップボードに保存された輪郭データが、デザインページに貼り付けられます。
注意：この操作はステージ3でのみ行えます。



P.88の「切り取り」と「コピー」

削除

機能 : 選択された輪郭データまたはポイントをデザインページから削除します。

ショートカットキー : **Delete**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 1つまたは複数の輪郭データまたはポイントを選択します。
- ② メニューバーの**編集 削除**をクリックします。
選択されたデータがデザインページから削除されます。クリップボードにデータは保存されないため、元の状態に戻したい場合は、次の操作をする前に**編集 元に戻す**を使ってください。
注意：この操作はステージ3でのみ行えます。



P.87の「元に戻す」、P.88の「切り取り」

反転 - 上下

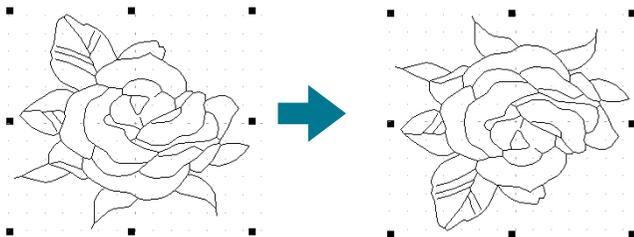
機能 : 選択されたデータを上下に反転させます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **H**

ツールバー :

操作

- ① 1つまたは複数の輪郭データを選択します。
- ② メニューバーの**編集 反転 上下**をクリックします。
選択された輪郭データが上下に反転します。
この操作を連続して2度行くと、元の輪郭データに戻ります。



注意：この操作はステージ3でのみ行えます。



P.63の「輪郭データを上下または左右に反転する」、P.90の「反転 - 左右」

■ 反転 - 左右

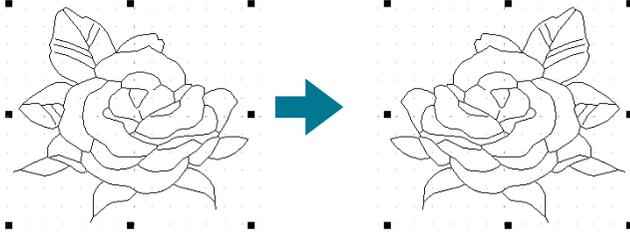
機能 : 選択されたデータを左右に反転させます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **J**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- メニューバーの **編集 反転 左右** をクリックします。
選択された輪郭データが左右に反転します。
この操作を連続して 2 度行くと、元の輪郭データに戻ります。



注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照

P.63 の「輪郭データを上下または左右に反転する」、P.89 の「反転 - 上下」

■ 回転

機能 : 選択された輪郭データを任意の角度で回転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Y**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- メニューバーの **編集 回転** をクリックします。選択された輪郭データの四隅のハンドルが、白い四角に変わります。
- カーソルをハンドルの 1 つに移動します。

カーソルが  に変わります。ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。

Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。

注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照

P.63 の「輪郭データを回転する」

■ 数値設定 - サイズ

機能 : 選択された輪郭データを任意のサイズにします。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- メニューバーの**編集 数値設定 サイズ**をクリックします。
サイズダイアログが表示されます。



- ◆ 縦横比を固定して幅と高さを変更するときは、**縦横比を保持**をチェックします。
- ◆ 縦横値の単位（%または mm / インチ）を選択します。
- ◆ 幅と高さの数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。**縦横比を保持**をチェックすると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更するともう一方も自動的に変更されます。
- ◆ OK をクリックして設定を確定し、終了します。
- ◆ **プレビュー**をクリックすると、変更後の輪郭データをデザインページ上で確認できます。
- ◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：入力可能な最大値は、輪郭データがデザインページのサイズを超えない値となります。
入力可能な最小値は、1 mm (0.04 インチ) です。

注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。



P.103 の「単位の設定」

数値設定 - 回転

- 機能** : 選択された輪郭データを任意の角度で回転させます。
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数の輪郭データを選択します。
- メニューバーの**編集 数値設定 回転**をクリックします。
回転ダイアログが表示されます。



- ◆ 回転角度の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
- ◆ OK をクリックして設定を確定し、終了します。
- ◆ **プレビュー**をクリックすると、変更後の輪郭データをデザインページ上で確認できます。
- ◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：入力可能な数値の範囲は、0 から 359 度までで、1 度単位です。

注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。

すべて選択

- 機能** : すべてのデータを選択します。
ショートカットキー : **Ctrl** + **E**
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 メニューバーの**編集 すべて選択**をクリックします。

注意：この操作はステージ 3 でのみ行えます。

縫い方メニュー

線や面の縫い方や縫い順を設定します。

メニュー	機能	参照ページ
縫い方の設定	輪郭線と面の縫い方を設定します。	P.92
縫い順の確認	作成したデータの各色の縫い順の確認、変更をしたり、さらに各色を構成する各部分の縫い順の確認、変更をします。	P.96

縫い方の設定

機能 : 輪郭線と面の縫い方を設定します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **W**

ツールバー :                      

操作

- 1 メニューバーの縫い方 **縫い方の設定**をクリックします。
次の縫い方の設定ダイアログが表示されます。
ダイアログの大きさは、自由に変更できます。

線の縫い方設定モード

面の縫い方設定モード



- ◆ 縫い方表示領域で変更もしくは設定したい項目を選択し、編集ボックスで変更や設定を入力します。
- ◆ 設定値の入力方法は、項目により異なります。数値の場合は、直接数値を入力するか、矢印をクリックして値を選択します。標準ボタンが編集ボックスに表示されている場合は、そのボタンをクリックすると、標準設定値が設定項目に入力されます。
- ◆ 線の設定ツールで設定した内容を輪郭線に設定するには、輪郭線をクリックします。面の設定ツールで設定した内容を面に設定するには、面をクリックします。
- ◆ 終了するには、閉じるをクリックします。
- ◆ ガイドイメージの表示のオン / オフを切り替えるには、ガイドを表示 / ガイドを隠すをクリックします。

線の設定ツールのときは、線の設定項目のみが表示されます。面の設定ツールのときは、面の設定項目のみが表示されます。

- 縫い方表示領域 : 現在の各縫い方設定を表示します。
- 選択パターン表示領域 : プログラムタタミ縫いまたはモチーフ縫いが選択されているとき、そのパターンが表示されます。
- 編集ボックス : 縫い方表示領域で選択された項目を変更します。
- ガイドイメージ表示領域 : ガイドを表示するように設定されているとき、編集ボックスの設定内容のガイドが表示されます。

注意: この操作はステージ 4 でのみ行えます。

線の縫い方

選択された縫い方による設定項目

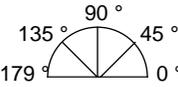
- | | |
|--------------|-------------|
| サテン縫い | 走り縫い |
| 線の縫い方 | 線の縫い方 |
| ├ サテン幅 | ├ 走りピッチ |
| └ 糸密度 | └ 走り回数 |

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)
糸密度	1 mm (1 インチ) 当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ~ 7 本 / mm (25 ~ 178 本 / インチ) 標準：4 本 / mm (102 本 / インチ)
走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：2、4、6 回 標準：2 回

面の縫い方

選択された縫い方による設定項目

- | | | | |
|--------------|--------------|-------------------|---------------|
| サテン縫い | タタミ縫い | プログラムタタミ縫い | モチーフ縫い |
| 面の縫い方 | 面の縫い方 | 面の縫い方 | 面の縫い方 |
| ├ 下打ち | ├ 下打ち | ├ 下打ち | ├ モチーフ |
| ├ 糸密度 | ├ 糸密度 | ├ 糸密度 | ├ 使うパターン |
| ├ 縫い角度 | ├ 縫い角度 | ├ 縫い角度 | ├ パターン 1 |
| ├ 縮み補正 | ├ 縮み補正 | ├ 縮み補正 | ├ パターン |
| | ├ 縫いピッチ | ├ プログラムタタミ | ├ パターンのサイズ |
| | └ 偏差 | ├ パターン | ├ 幅 |
| | | ├ パターンのサイズ | ├ 高さ |
| | | ├ 幅 | ├ アレンジ 1 |
| | | ├ 高さ | ├ アレンジ 2 |
| | | ├ オフセット | ├ パターン 2 |
| | | ├ オフセット方向 | ├ パターン |
| | | ├ オフセット値 | ├ パターンのサイズ |
| | | ├ パターン角度 | ├ 幅 |
| | | | ├ 高さ |
| | | | ├ アレンジ 1 |
| | | | ├ アレンジ 2 |
| | | | ├ オフセット量 |
| | | | ├ パターン角度 |
| | | | ├ 走りピッチ |

下打ち	下打ちをする／しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてみてください。 面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン：下打ちを行う オフ：下打ちを行わない	
糸密度	1 mm (1 インチ) 当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ~ 7 本 / mm (25 ~ 178 本 / インチ) 標準：4 本 / mm (102 本 / インチ)	
縫い角度	縫いの方向を設定します。 範囲：0 ~ 179 度 標準：45 度	
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0 ~ 2 mm (0.00 ~ 0.08 インチ) 標準：0 mm (0.00 インチ)	

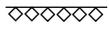
タタミ縫い：

縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：4 mm (0.16 インチ)	縫いピッチ 
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0 ~ 99% 標準：30%	0%  30% 

プログラムタタミ縫いのみ：

パターン		プログラムタタミ縫いのパターンを選択します。 パターンの選択をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい pas ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	幅	縫いパターン幅を設定します。 範囲：5 ~ 10 mm (0.20 ~ 0.39 インチ) 標準：7.5 mm (0.30 インチ)
	高さ	縫いパターン高さを設定します。 範囲：5 ~ 10 mm (0.20 ~ 0.39 インチ) 標準：7.5 mm (0.30 インチ)
オフセット	オフセット方向	パターン配列の横 / 縦のオフセット方向を設定します。
	オフセット値	パターン配列のオフセット (ずらし) 量を設定します。 範囲：0 ~ 99% 標準：0%
パターン角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲：0 ~ 359 度 標準：0 度

モチーフ縫いのみ：

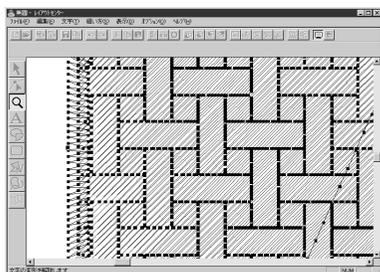
使うパターン		モチーフにパターン1とパターン2のいずれを使うのかを選択します。パターン1と2を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるようにプログラムされます。 パターン1のみ：パターン1のみを使います。（標準） パターン2のみ：パターン2のみを使います。 パターン1と2：パターン1と2の両方を使います。
パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 パターンの選択をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい .pmf ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてからOKをクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	幅	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)
アレンジ1（横配列）		パターンの横配列を設定します。  のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準  反転  交互 
アレンジ2（縦配列）		パターンの縦配列を設定します。  のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。 標準  反転  交互 
オフセット量		パターン配列の各列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ~ 10 mm (0.00 ~ 0.39 インチ) 標準：0 mm (0.00 インチ)
パターン角度		モチーフパターンの角度を変更します。 範囲：0 ~ 359 度 標準：0 度
走りピッチ		走りピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)

プログラムタタミ縫いについて

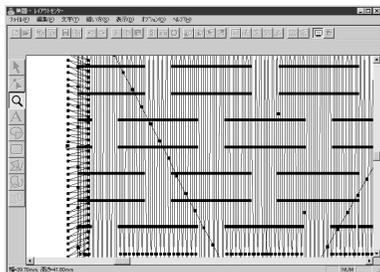
プログラムタタミ縫いの場合、縫い角度とパターン角度の設定によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを作成するためです。（下図参照）

したがって、プログラムタタミ縫いを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。

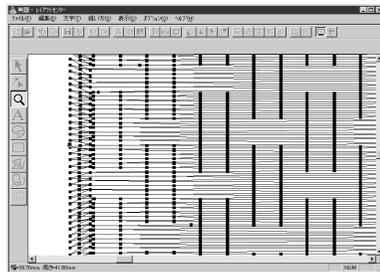
例 1 :
縫い角度 : 標準 : 45°



例 2 :
縫い角度 : 90°



例 3 :
縫い角度 : 0°



P.99の「プレビュー」、P.211の「ステッチクリエーター」

縫い順の確認

機能 : 作成したデータの各色の縫い順の確認、変更をしたり、さらに各色を構成する各部分の縫い順の確認、変更をします。

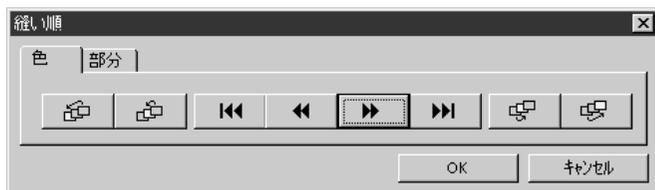
ショートカットキー : **F10**

ツールバー :

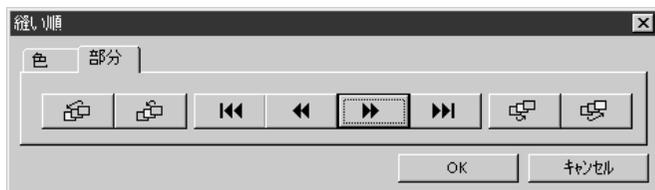
操作

- ① メニューバーの縫い方 **縫い順の確認**をクリックします。
縫い順ダイアログが開かれ、色タブが表示されます。刺しゅう模様はグレーで表示されず。

- ② 色ごとの縫い順の確認、変更の手順は以下のとおりです。
色タブが表示されていること確認します。



- ◆ をクリックします。最初に縫う色が表示されます。
 - ◆ 次に縫う色、または 1 つ前に縫う色を見るには、 または をクリックします。
 - ・ 、、、または をクリックすると、対応する色が表示されます。
 - ◆ 最後に縫う色を見るには、 をクリックします。
 - ◆ 表示されている色を最後に縫いたいときは、 をクリックします。
 - ◆ 表示されている色を最初に縫いたいときは、 をクリックします。
 - ◆ 表示されている色の縫い順を 1 つ後ろにしたいときは、 をクリックします。
 - ◆ 表示されている色の縫い順を 1 つ前にしたいときは、 をクリックします。
 - ◆ この操作を確定する場合は、OK をクリックします。
 - ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。
- ③ 各色を構成する部分の縫い順を確認、変更するには、色タブで目的の色を表示し、部分タブをクリックします。
選択された色の部分が、グレー表示されます。



- ◆ をクリックします。最初に縫う部分が表示されます。
- ◆ 次に縫う部分、または 1 つ前に縫う部分を見るには、 または をクリックします。
 - ・ 、、、または をクリックすると、対応する部分が表示されます。
- ◆ 最後に縫う部分を見るには、 をクリックします。
- ◆ 表示されている部分を最後に縫いたいときは、 をクリックします。
- ◆ 表示されている部分を最初に縫いたいときは、 をクリックします。
- ◆ 表示されている部分の縫い順を 1 つ後ろにしたいときは、 をクリックします。
- ◆ 表示されている部分の縫い順を 1 つ前にしたいときは、 をクリックします。
- ◆ この操作を確定する場合は、OK をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

注意：面部は常に輪郭線より先に縫われます。縫い順を最初に設定した輪郭線は輪郭線の中で一番最初に縫われますが、面部すべての縫製の後になります。

注意：この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.99 の「プレビュー」

表示メニュー

画面の表示内容を変更します。

メニュー	機能	参照ページ
グリッド	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。	P.98
プレビュー	刺しゅう模様の縫製イメージを表示します。	P.99
画面の再描画	画面を更新します。	P.99
リアルプレビュー	刺しゅう模様の縫製後のイメージをリアルなイメージで表示します。	P.99
リアルプレビューの設定	リアルプレビューの設定を行います。	P.100
ツールバー	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.100
ステータスバー	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.100

■ グリッド

機能 : グリッドの内容を設定し、グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応したショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応したボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーの表示 **グリッド** をクリックします。
グリッドの設定 ダイアログが表示されます。



- ◆ 作業中のデザインページにグリッドを表示したいときは、**グリッドを表示** をチェックします。
- ◆ **グリッドの間隔** の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
グリッド間隔の範囲 : 1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ)
- ◆ **枠で表示** で、グリッドの縦線と横線の表示 / 非表示を切り替えます。
 - ・チェックすると、線が表示されます。
 - ・チェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意 : この操作はステージ 3 でのみ行えます。



参照 P.196 の「単位の設定」

■ プレビュー

機能 : 刺しゅう模様の縫製イメージを表示します。

ショートカットキー : **(F9)**

ツールバー : 

操作

- ① **メニューバーの表示 プレビュー** をクリックします。
作成した刺しゅう模様の縫製イメージが表示されます。
プレビュー中は、その他の設定はできません。
- ② 通常の作業画面に戻るには、再度**表示 プレビュー** をクリックするか、**(Esc)** キーを押します。
注意 : この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.96 の「縫い順の確認」

■ 画面の再描画

機能 : 画面を更新します。

ショートカットキー : **(Ctrl) + (R)**

ツールバー : この機能に対応したボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示 画面の再描画** をクリックします。
画面が正常に更新されていないと思われるとき、この機能を使用します。

■ リアルプレビュー

機能 : 刺しゅう模様の縫製後のイメージをリアルなイメージで表示します。

ショートカットキー : **(Shift) + (F9)**

ツールバー : 

操作

- ① **メニューバーの表示 リアルプレビュー** をクリックします。
リアルプレビューの設定 ダイアログの設定内容で、デザインページの刺しゅう模様がリアルに表示されます。
- ② 通常の作業画面に戻るには、再度**表示 リアルプレビュー** をクリックするか、**(Esc)** キーを押します。
注意 : モニタの設定が 256 色以下の場合、正確な色を表示できません。16 ビットハイカラー (65536 色) 以上の設定で使用してください。
注意 : この操作はステージ 4 でのみ行えます。



P.100 の「リアルプレビューの設定」

リアルプレビューの設定

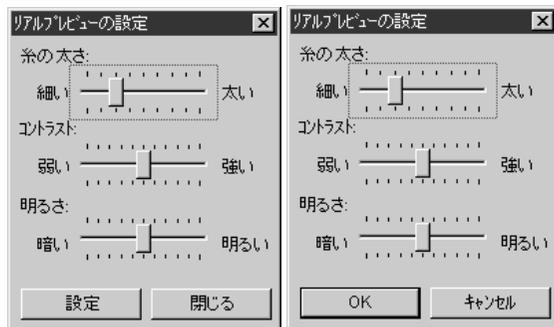
機能 : リアルプレビューの設定を行います。

ショートカットキー : この機能に対応したショートカットはありません。

ツールバー : この機能に対応したボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** **リアルプレビューの設定**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



- ◆ **線の太さ**で、線の太さを設定します。
- ◆ **コントラスト**で、コントラストを設定します。
- ◆ **明るさ**で、明るさを設定します。
- ◆ リアルプレビューが表示されているときは、**設定**をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。リアルプレビューが表示されていないときは、**OK** をクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。
- ◆ **閉じる**または**キャンセル**をクリックして、ダイアログを閉じます。

注意 : この操作はステージ 4 でのみ行えます。



参照

P.99 の「リアルプレビュー」

ツールバー

機能 : ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応したショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応したボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** **ツールバー**をクリックします。
ツールバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



参照

P.100 の「ステータスバー」

ステータスバー

機能 : ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応したショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応したボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** **ステータスバー**をクリックします。
ステータスバーの表示と非表示が、交互に切り替わります。



参照

P.100 の「ツールバー」

オプションメニュー

他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。

メニュー	機能	参照ページ
レイアウトセンターの起動	レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。	P.101
ステッチクリエイターの起動	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	P.101
ファイルユーティリティーの起動	ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。	P.101
デザインページの設定	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	P.102
糸色ダイアログの設定	糸色ダイアログの色の並び順を切り替えます。	P.103
単位の設定	長さの単位 (mm または インチ) を選択します。	P.103

■ レイアウトセンターの起動

機能 : レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : (F5)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**オプション** **レイアウトセンターの起動**をクリックします。
レイアウトセンターを起動し、前面に表示します。

■ ステッチクリエイターの起動

機能 : ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**オプション** **ステッチクリエイターの起動**をクリックします。
ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

■ ファイルユーティリティーの起動

機能 : ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**オプション** **ファイルユーティリティーの起動**をクリックします。
ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。

■ デザインページの設定

機能 : デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **デザインページの設定** をクリックします。
ステージ 3 では、次のダイアログが表示されます。



- ◆ サイズセレクタをクリックし、サイズを選択します。プレビュー領域で設定変更を確認できます。ミシンの絵がミシン上のデザインページ（枠）の方向を示します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ 標準設定に戻すには、**標準** をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意 : ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。

ステージ 4 では、次のダイアログが表示されます。



- ◆ デザインページまたは背景セレクタをクリックして、デザインページの色と背景色を選択します。プレビュー領域で選択された色を確認できます。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ 標準設定に戻すには、**標準** をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。



参照 P.103 の「単位の設定」

■ 糸色ダイアログの設定

機能 : 糸色ダイアログの色の並び順を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

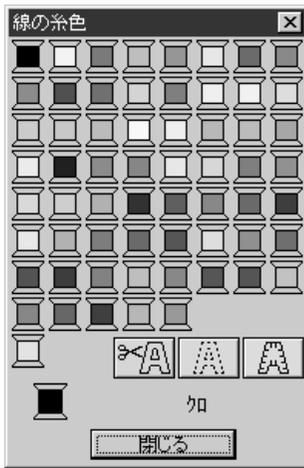
- ① メニューバーのオプション **糸色ダイアログの設定** をクリックします。
糸色ダイアログの設定のダイアログが表示されます。



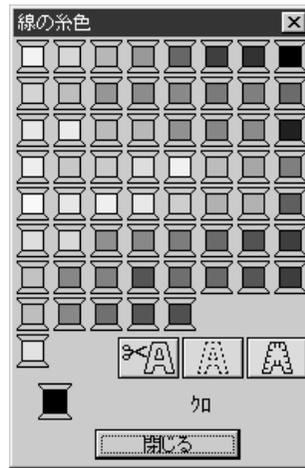
- ◆ 標準の配列または、色順で配列を選択します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

標準の配列 : ミシンで標準に使用している配列で表示します。

色順で配列 : 色相をもとに並べた配列で表示します。



(標準の配列)



(色順で配列)



参照 P.76 の「糸色」

■ 単位の設定

機能 : 長さの単位 (mm またはインチ) を選択します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **単位の設定** をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



- ◆ 単位 (mm またはインチ) を選択します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

ステージメニュー

ステージメニューで、あるステージから次または前のステージに移動できます。

メニュー	機能	参照ページ
原画ステージ	ステージ 1 へ移動します。	P.104
輪郭線画ステージ	ステージ 2 へ移動します。	P.105
輪郭データステージ	ステージ 3 へ移動します。	P.107
縫い方設定ステージ	ステージ 3 からステージ 4 へ移動します。	P.108
フォトステッチ	ステージ 1 の画像データをフォトステッチとして刺しゅうデータに変換し、ステージ 4 に貼り付けます。（この機能は、ステージ 1 に画像データがある場合のみ有効です。）	P.109

■ 原画ステージ

機能 : ステージ 1 へ移動します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

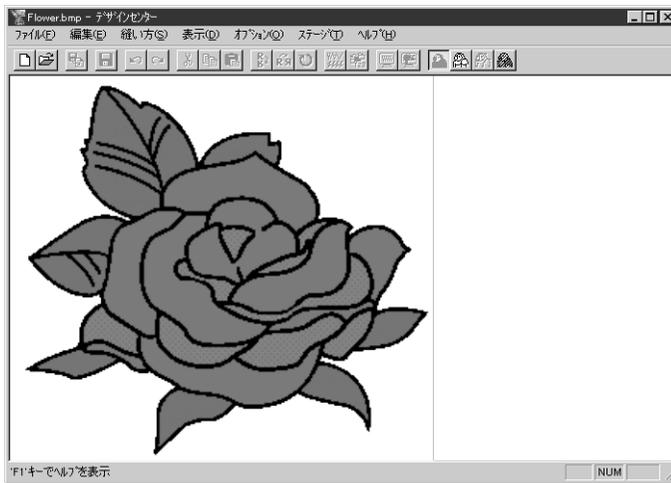
ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**ステージ 原画ステージ**をクリックします。

ステージ 1 (カラー原画が表示されます) に戻ります。作業中のデータがあった場合、そのデータの処理を確認するメッセージが表示されます。

注意 : この機能は、ステージ 1 から作業を開始した場合 (画像データを開いたり、画像データをクリップボードから貼り付けた場合など) にのみ有効です。例えば、新規ファイル (ステージ 2) で作業を開始した場合、この機能は無効になります。



参照 P.105 の「輪郭線画ステージ」、P.107 の「輪郭データステージ」、P.108 の「縫い方設定ステージ」

■ 輪郭線画ステージ

機能 : ステージ 2 へ移動します。

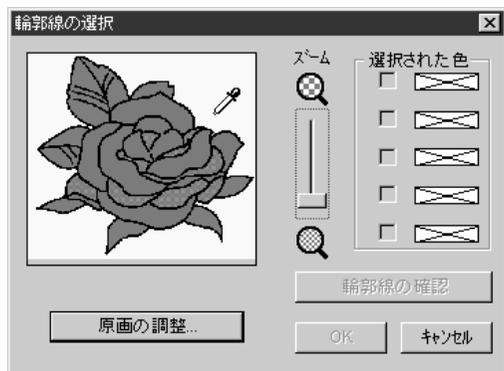
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**ステージ 輪郭線画ステージ**をクリックします。
ステージ 3 で作業している場合は、ステージ 3 での輪郭データを削除するかどうかの確認メッセージが表示されてからステージ 2 に戻ります。
注意 : ステージ 3 またはステージ 4 から作業を開始した場合は、この機能は無効になります。

ステージ 1 で作業している場合は、次のダイアログが表示されます。

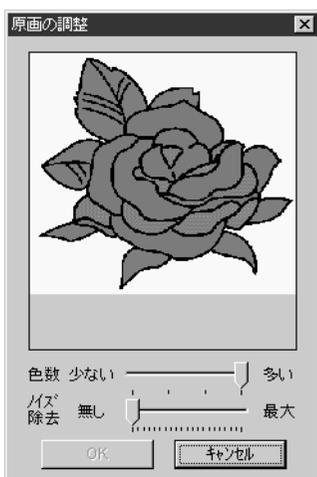


- ◆ 必要に応じて、画像をスクロールやズームします。
- ◆ カーソルを原画上に置くとカーソルが  に変わります。選択したい色の上でクリックします。その色が**選択された色**ボックスに表示されます。チェックボックスに  が表示されてその色が選択されたことを示します。ここでは黒色を選択してください。
 - 複数の色を輪郭線として使用したい場合は、5 色まで選択することができます。それ以上の色を選択しようとするするとスクロールダウンされて、下段の色から選択が取り消されます。
 - 間違って色を選択したときは、チェックボックスをクリックして選択を取り消します。
- ◆ **輪郭線の確認**をクリックし、希望の輪郭線になっているか確認します。イメージが異なる場合、正しい輪郭線の色を選択してください。
- ◆ 確定するには、OK をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

[減色処理機能]

ダイアログ内の**原画の調整**ボタンをクリックすると、次のような**原画の調整**ダイアログが表示されます。画像データの色数を減らしたり（ポストライズ処理）、ノイズを削除したりできます。

この機能でスキャナ等その他の機器で取り込んだ画像データで、輪郭が鮮明ではない原画からも  を使って、簡単に色を選択することができますようになります。

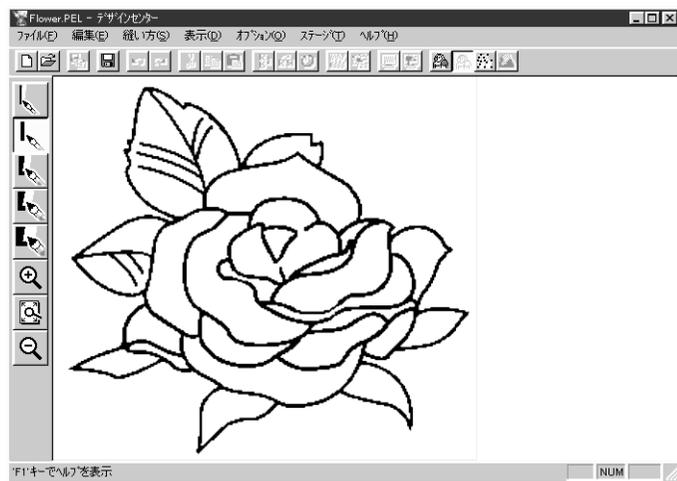


画像表示領域

- ◆ 画像表示領域に作業中の画像処理結果が表示されます。
- ◆ 色数で減色量（ポストライズの程度）を設定します。スライダを右端（「多い」）へ移動するとオリジナルの画像を表示します。より左端（「少ない」）に設定するほど、より多くの色を減らすことができます。
- ◆ ノイズ除去のスライダを右へ移動すると小さな領域（微小領域）のノイズが除去されません。
- ◆ 確定するには、OK をクリックします。デザインページ上、および**輪郭線の選択**ダイアログ上に処理結果画像を反映させ、ダイアログが閉じられます。（このダイアログを開く前に**輪郭線の選択**ダイアログで選択されていた色はリセットされます）。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：ここでの処理は、単に**輪郭線の選択**ダイアログ上の作業であり、処理結果は保存できません。

- ② OK をクリックすると、原画が白黒の輪郭線画に変換され、ステージ 2 に移ります。



輪郭線の選択ダイアログで選択した色は、全て黒に変換されます。きれいな輪郭線を作るためには、必要最小限の色だけを選択することをお勧めします。

ステージ 2 では、ペンツールを使って、輪郭線画を修正することができます。

輪郭線画の結果に満足できないときは、ステージ 1 に戻りやり直すことができます。



参照

P.104 の「原画ステージ」、P.107 の「輪郭データステージ」、P.108 の「縫い方設定ステージ」

■ 輪郭データステージ

機能 : ステージ 3 へ移動します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

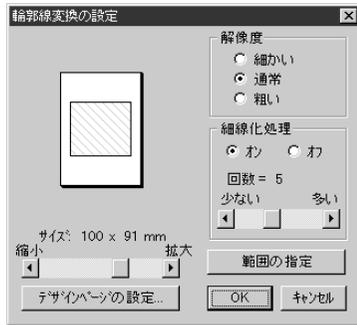
ツールバー :

操作

- 1 メニューバーの**ステージ 輪郭データステージ**をクリックします。

ステージ 4 で作業している場合は、「縫いの設定が変わる可能性があります。」という警告メッセージが表示されます。ステージ 4 で設定した内容を保存しないときは、**キャンセル**をクリックし、ファイルを保存します。それ以外の場合には、OK をクリックしてステージ 3 に戻ります。

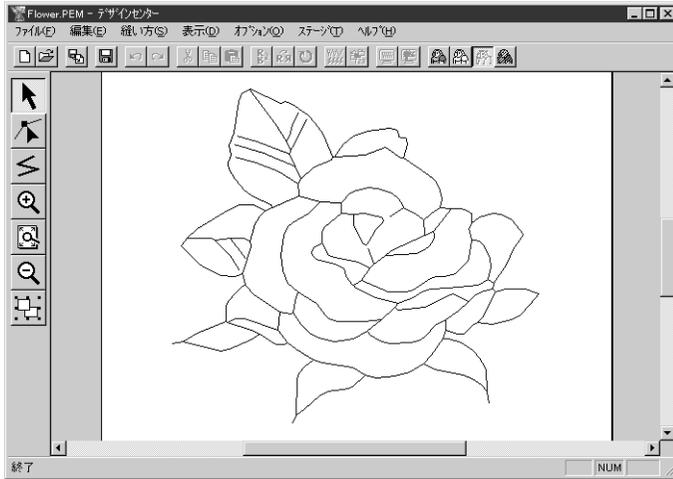
ステージ 2 で作業していた場合は、次のダイアログが表示されます。



- ◆ 解像度を設定します。詳しくは下記の表を参照してください。
- ◆ 細線化処理を設定します。詳しくは下記の表を参照してください。
- ◆ **サイズスライダ**を使って、輪郭データのサイズを設定します。デザインページよりも大きなサイズに拡大することはできません。**デザインページの設定**をクリックしてデザインページのサイズを設定します。
 - ・ 行った設定変更がプレビュー画面に反映されます。
- ◆ 必要に応じて、**範囲の指定**をクリックします。カーソルが + に変わりますので、選択したい範囲をドラッグして指定してください。マウスを離すとすぐに元のダイアログに戻ります。原画の一部だけを輪郭データにしたいときに使用します。
- ◆ 設定が終わったら、OK をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

<p>解像度</p>	<p>輪郭データの細かさを設定します。基本的に、原画はポイントとそれらをむすぶ線として輪郭データに変換されます。より細かなデータを作成するには多くのポイントが必要となり、また、データファイル容量もより大きくなります。通常の画像データの場合は「普通」で、ファイル容量をあまり大きくすることなく、適度な解像度になります。「粗い」で原画のイメージを損なわず、輪郭データに変換される場合は、ファイル容量をできるだけ小さくするために、「粗い」を選択してください。原画が非常に細かく、「普通」では満足できる結果が得られない場合にのみ、「細かい」を選択します。</p>
<p>細線化処理</p>	<p>どのように原画を輪郭データに変換するかを設定します。</p> <p>オンの場合：原画の中心を辿り、輪郭データに変換されます。スライダーで細線化処理の回数を設定できます。（「多い」場合、太い原画も中心線が輪郭データになります。「少ない」場合、太い原画は下記の「オフの場合」と同じ処理がされます。）</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin-bottom: 10px;"> → オン </div> <p>オフの場合：原画の周囲をたどり、輪郭データが作成されます。</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> → オフ </div>

- ② OK をクリックすると、輪郭データが表示され、ステージ 3 になります。



注意：ステージ2からステージ3に移動するとき、輪郭線変換の設定で様々な設定をためてみてもイメージ通りに輪郭データにならない場合は、ステージ2に戻り、輪郭線画の輪郭線を修正するか、または原画から修正を行ってください。

ステージ3では、ポイントを移動、削除、挿入して、輪郭データの編集ができます。輪郭データを拡大・縮小したいときはズームツールを使用できます。



参照

P.98の「グリッド」、P.102の「デザインページの設定」、P.104の「原画ステージ」と「輪郭線画ステージ」、P.108の「縫い方設定ステージ」

縫い方設定ステージ

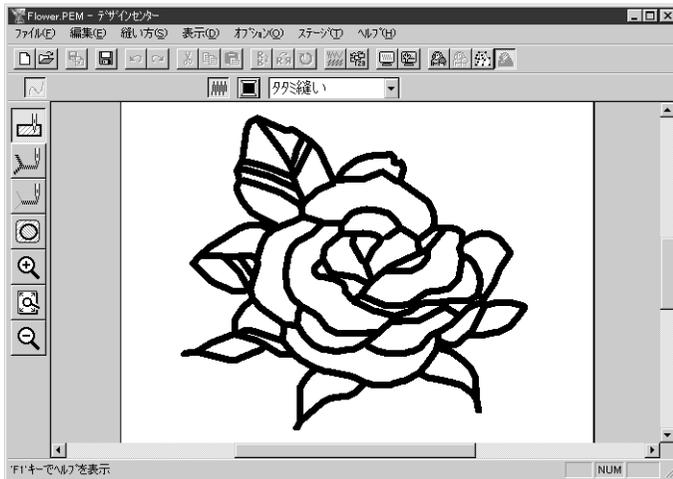
機能：ステージ3からステージ4へ移動します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー：

操作

- ① メニューバーのステージ 縫い方設定ステージをクリックします。ステージ4になります。



縫い方の設定ができます。模様を拡大・縮小したいときはズームツールを使用できます。



参照

P.104の「原画ステージ」、「輪郭線画ステージ」、P.107の「輪郭データステージ」

■ フォトステッチ

機能 : ステージ 1 の画像データをフォトステッチとして刺しゅうデータに変換し、ステージ 4 に貼り付けます。

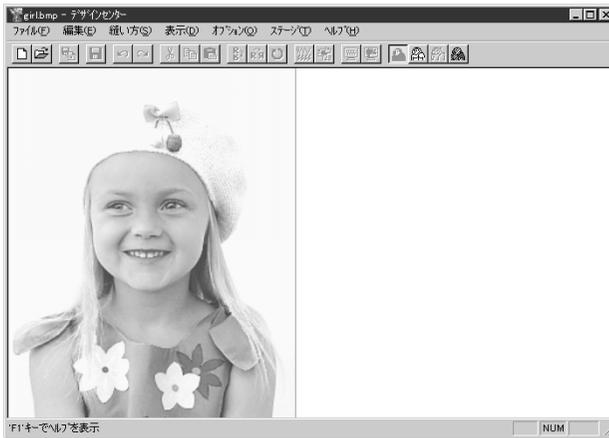
(この機能は、ステージ 1 に画像データがある場合のみ有効です。)

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : 

操作

- 1 ステージ 1 で画像を準備します。(開くやクリップボードから入力などを使用します)



- 2 メニューバーの**ステージ**をクリックし、サブメニューの**フォトステッチ**をクリックします。

範囲の設定ダイアログが表示されます。



- ◆ ダイアログの下側にあるマスク(範囲の形)の種類で、トリミングしたい形状のマスクを選択し、希望するサイズにマスクを編集します。(ダイアログが表示される時には、四角のマスクが選択されています。)
- ◆ **原画の調整**をクリックすると、**原画の調整**ダイアログが表示され、画像編集ができます。(P.110を参照してください。)
- ◆ **確認**をクリックすると、選択されているマスクの内部のみをデザインページにプレビュー表示します。表示サイズは、デザインページのサイズになります。
- ◆ **次へ**をクリックすると、選択されているマスクの内部のみがデザインページの全体に表示され、ダイアログが閉じます。次に、**大きさの設定**ダイアログが表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックすると、ダイアログが閉じ、ステージ 1 に戻ります。

このダイアログで、フォトステッチ機能で刺しゅうデータにする範囲を指定し、画像イメージの調整を行います。

マスクの形状とサイズの設定のしかた

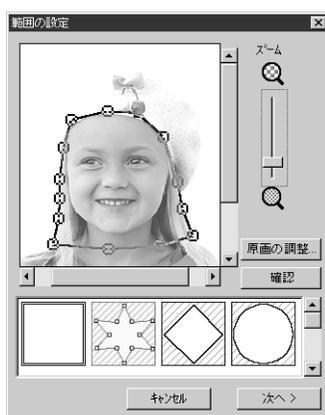
- ◆ 必要に応じて、ズームスライダでイメージをズームします。
- ◆ ダイアログの下側にあるマスクの種類で、トリミングしたい形状のマスクを選択し、希望するサイズにマスクを編集します。
ダイアログは、四角のマスクが選択されています。

マスクの外形にあるハンドルをドラッグすると、マスクの大きさを変更できます。

任意多角形のマスク  を選択すると、初期状態では四隅に白い四角のハンドルがある四角形のマスクが表示されます。この四角形を、ステージ3のポイント編集ツール（P.122参照）の要領で、点の移動、挿入、削除を行い、好みの形状にマスクを編集します。



（丸いマスクで編集した場合）



（任意多角形のマスクで編集した場合）

注意：マスクを指定できるサイズは、64 × 64 ドットから画像データの大きさまでです。

[輪郭強調処理]

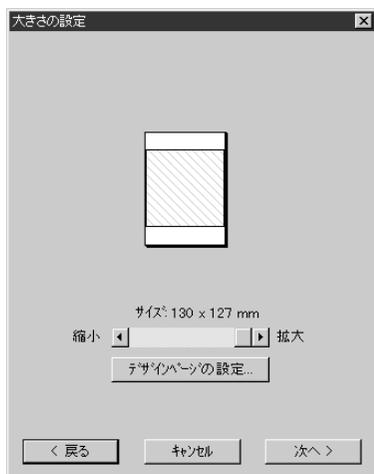
上記の**範囲の設定**ダイアログで、**原画の調整**ボタンをクリックすると、次のような**原画の調整**ダイアログが表示されます。このダイアログで画像データの明暗の境目を際立たせる処理（輪郭強調処理 アンシャープマスク処理）を行うことができます。



画像表示

- ◆ 画像画面に処理結果イメージが表示されます。
- ◆ **原画－輪郭強調**で輪郭強調処理を調整します。
スライダを**輪郭強調**に近づけるほど画像の明暗の境目が際立ちます。
- ◆ **暗い－明るい**で、画像の明るさを調整します。
- ◆ OK をクリックすると、デザインページ上と範囲の設定ダイアログ上に処理をした画像を反映させ、ダイアログが閉じます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ③ 範囲の設定ダイアログで、次へをクリックすると、次のような大きさの設定ダイアログが表示されます。



- ◆ サイズスライダで、作成するデータの出力サイズを設定します。設定できる最大出力サイズは、設定されているデザインページのサイズです。
- ◆ **デザインページの設定**をクリックすると、**デザインページの設定**ダイアログが表示され、デザインページのサイズを設定できます。詳しくは、P.102の「デザインページの設定」を参照ください。
- ◆ **戻る**をクリックすると、**範囲の設定**ダイアログに戻ります。
- ◆ **キャンセル**をクリックすると、このダイアログを閉じ、ステージ 1 の状態に戻ります。
- ◆ **次へ**をクリックすると、設定内容を確定し、このダイアログを閉じます。さらに、フォトステッチ作成のためのパラメータ設定を行なう**フォトステッチの設定**ダイアログが表示されます。

- ④ 大きさの設定ダイアログで次へをクリックすると、次のようなフォトステッチの設定ダイアログが表示されます。



- ◆ **戻る**をクリックすると、このダイアログを閉じ、**大きさの設定**ダイアログに戻ります。
- ◆ **プレビュー**をクリックすると、フォトステッチデータへ変換された後のプレビューイメージがデザインページ上に表示されます。また、ステータスバーには変換後の予想針数が表示されます。
- ◆ **完了**をクリックすると、設定された内容でフォトステッチデータに変換され、その結果のデータがステージ 4 に貼り付けられます。
- ◆ **キャンセル**をクリックすると、このダイアログを閉じ、ステージ 1 の状態に戻ります。



(ステージ 4 に貼り付けられた模様)

縫い方：

糸密度	糸をどれほど密に縫うかを設定します。通常の面縫い密度より粗く設定しても十分です。 範囲：1 ~ 4 本 / mm (25 ~ 102 本 / インチ) 標準：2.2 本 / mm (56 本 / インチ)
走りピッチ	縫いピッチを設定します。この設定値を最低の長さとしてデータを作成します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：3 mm (0.12 インチ)

原画の種類：

写真 / イラスト	写真を選択すると、糸色を混ぜ合わせ、より自然なデータを作成します。 イラストを選択すると、糸色を混ぜ合わせないで、データを作成します。写真などの画像データは写真を、イラストなどの画像データにはイラストを選択します。(画像データの色数が16色以下の場合、標準設定ではイラストが選択されます)
-----------	---

デザインページの色：

デザインページの色を設定します。ここで選択した色が、ステージ4でのデザインページの色になります。

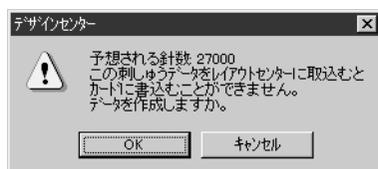
ページの色も縫う	この項目にチェックを入れると、デザインページと同色の部分に縫い目データを作成します。布地の色をそのまま生かすときはチェックを外してください。標準設定ではチェック(オン)されています。
----------	---

使用色の一覧：

この項目で作成されるデータに使用する糸色の種類を設定します。

自動設定	このボタンをクリックすると、本アプリケーションの色リストの中から、画像データに最適な糸色を、このボタンの右側に設定された色数分だけ自動的に選びだし、下記の使用色リスト一覧上に、その糸色を表示します。色数を変更すると、クリックすることが可能となります。
色数指定ボックス	自動設定で選び出す色数の値を設定します。 範囲：1 ~ 50 色 標準：10 色
使用色リスト一覧	データ作成用に選択された糸色を、明度の高い順に並べています。この並び順が縫い順になります。この並び順は変更できません。最大色数は、50 色です。
色の変更	このボタンをクリックすると、データ作成用に選択された糸色を手動で設定するための色の変更ダイアログが表示されます。

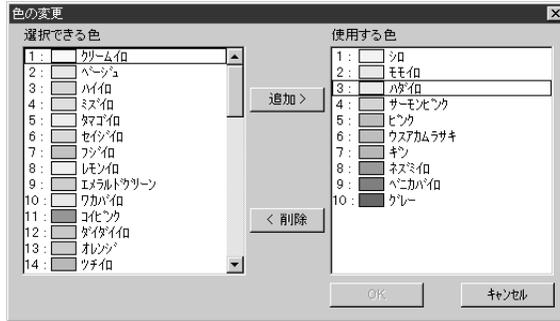
参考：完了をクリックすると、変換後の予想針数が計算されます。予想針数がデザインページのシートサイズの針数制限を超えるとき、次のようなメッセージが表示されます。



キャンセルをクリックし、再度、設定値(模様の大きさ、糸密度、走りピッチ等)を変更して針数を少なくしてください。OK をクリックすると処理が継続されフォトステッチデータに変換されます。

[手動色指定]

フォステッチの設定ダイアログで、色の変更ボタンをクリックすると、次のダイアログが表示され、フォステッチに使用する糸色を手動で設定できます。



- ◆ 追加をクリックすると、**選択できる色**リストで選択されている糸色を使用する色リストに追加します。糸色が選択されていない場合やすでに50色が選択されている場合、このボタンは無効となります。
- ◆ 削除をクリックすると、**使用する色**リストで選択されている糸色が削除されます。糸色が選択されていない場合、このボタンは無効となります。
- ◆ OKをクリックすると、リストの変更内容を確定し、このダイアログを閉じます。変更内容は、**フォステッチの設定ダイアログ**に反映されます。**使用する色**リストが空のとき、このボタンはクリックできません。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。リストの編集内容を無効にし、このダイアログを閉じます。

選択できる色リストには、本アプリケーションの糸色の色リストが、明度の高い順に並んでいます。(ただし、**使用する色**リストに表示されている糸色は表示されません。)

使用する色リストには、フォステッチデータ用に選択された糸色が、明度の高い順に並んでいます。この順番が縫い順となります。順番は変更できません。このリストに登録可能な最大色数は50色です。

これらのリストにある糸色をクリックで選択できます。また **(Shift)** キーまたは **(Ctrl)** キーを押しながらクリックすると複数の糸色を選択することもできます。

注意：手動による色指定の内容は、**自動設定**ボタンで操作する自動設定を行うと消去されますので、ご注意ください。

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.114
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方を説明します。	P.114
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.114
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.115

■ 目次

機能 : このアプリケーションのヘルプを表示します。

ショートカットキー : (F1)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **目次** をクリックします。
ヘルプの目次が表示されます。

■ ヘルプの使い方

機能 : ヘルプの使い方を説明します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **ヘルプの使い方** をクリックします。
ヘルプの使い方についての Windows の標準的な説明が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機能 : 当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **刺しゅう PRO WEB ページ** をクリックします。
- ② インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意 : インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機能 : バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーの**ヘルプ** **バージョン情報**をクリックします。
ダイアログが表示されます。
- ② OK をクリックして、ダイアログを閉じます。

目次

お使いになる前に

使ってみましょう

デザインセンター

レイアウトセンター

ファイルリリテイ

ステッチクリエーター

ショートカット

索引

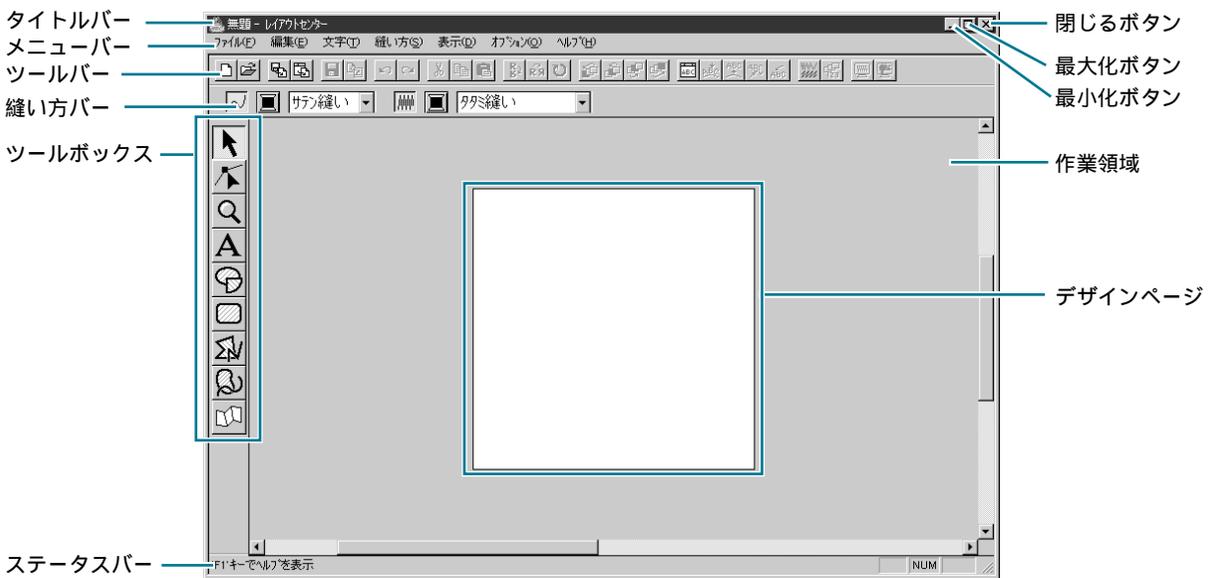
レイアウトセンター

レイアウトセンターは、様々な刺しゅう模様を組み合わせ、完全な刺しゅうデータを作成するために使われます。

複雑な刺しゅう模様は、デザインセンターで作成し、デザインページに取り込みます。そこに、文字、長方形、円、直線、曲線、マニュアルパンチング等を加えることができます。

希望するレイアウトにするために、刺しゅう模様を移動させたり、異なる刺しゅう模様それぞれに縫い方（糸色や縫い方の種類）の設定をすることが可能です。刺しゅうデータの作成が終了したら、作品をご使用のハードディスクなどへの保存、印刷、また、オリジナルカードに転送することができます。オリジナルカードに刺しゅうデータを書き込んだあとは、ご使用のミシンで作品を刺しゅうすることができます。

画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
縫い方バー	刺しゅう模様の縫い方（糸色、縫い方）等を設定します。
ツールボックス	各機能のツールを選択します。
ステータスバー	選択されている模様のサイズ等の情報が表示されます。
作業領域	この領域で模様を作成・編集ができます。
デザインページ	作業領域で、実際に縫製が行える部分です。

ツールボックスの使い方

刺しゅう模様はツールボックスと縫い方バーを使って作成します。ツールボックスのボタンをクリックすると、カーソルの形状が変わります。ステータスバーの左側に各ツールで行える操作が表示されます。

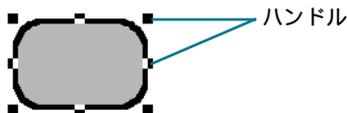
	選択ツール アプリケーションを起動すると、選択ツールが選択されています。 カーソルが に変わります。	P.119
	ポイント編集ツール カーソルが に変わります。	P.122
	ズームツール カーソルが または に変わります。	P.126
	文字入力ツール カーソルが に変わります。	P.127
	円・円弧描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.128
	長方形描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.131
	直線描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.131
	曲線描画ツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.132
	マニュアルパンチングツール カーソルが に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.133

選択ツール

既存の刺しゅう模様に変更を加えるには、まずその模様を選択します。選択ツールは、1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択するときに使います。刺しゅう模様を選択することにより、移動、拡大・縮小、回転または反転による方向変換ができます。

■ 刺しゅう模様を選択する

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- ② 選択したい刺しゅう模様をクリックします。
刺しゅう模様が選択されると、ハンドルが表示されます。



刺しゅう模様の上をクリックしないと、選択できません。
ステータスバーに、選択された刺しゅう模様のサイズ（幅と高さ）が表示されます。

- ③ 刺しゅう模様の選択を解除するには、他の模様を選択するか、模様が無い部分をクリックするか、ツールボックスのズームツール以外の別のボタンをクリックします。
- ④ 複数の刺しゅう模様を選択するには、**(Shift)** キーを押しながら模様をクリックします。選択したい模様全体を囲むようにカーソルをドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にある模様がすべて選択されます。
選択したくない模様まで選択してしまったときは、模様の無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ 刺しゅう模様を縫い順で選択する

 が選択されているときに、**(Tab)** キーを押すと次の縫い順の刺しゅう模様が選択されます。**(Shift)** キーを押しながら **(Tab)** キーを押すと1つ前の縫い順の刺しゅう模様が選択されます。

(Tab) キー（または **(Shift)** キーと **(Tab)** キー）を押した場合に

- ・ 刺しゅう模様が何も選択されていないときは、縫い順が先頭に設定されている刺しゅう模様（または最後に設定されている刺しゅう模様）が選択されます。
- ・ 複数の刺しゅう模様が選択されているときは、その中で縫い順が一番前に設定されている刺しゅう模様（または一番後ろに設定されている刺しゅう模様）が選択されます。
- ・ 縫い順が最後（または先頭）の刺しゅう模様が選択されているときは、縫い順が先頭（または最後）の刺しゅう模様が選択されます。

■ 刺しゅう模様を移動する

- ① 選択した刺しゅう模様上にカーソルを移動します。
カーソルが  に変わります。
注意：模様がない部分にカーソルを移動すると、カーソルは  に変わりません。
- ② ドラッグすると移動します。
Shift キーを押しながらドラッグすると、刺しゅう模様は水平方向または垂直方向に移動します。
参考：矢印キーを押すと、選択した刺しゅう模様を矢印キーの方向に0.5 mm (約0.02インチ) ずつ移動できます。
・ **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。(P.188の「グリッド」参照)

■ 刺しゅう模様を拡大・縮小する

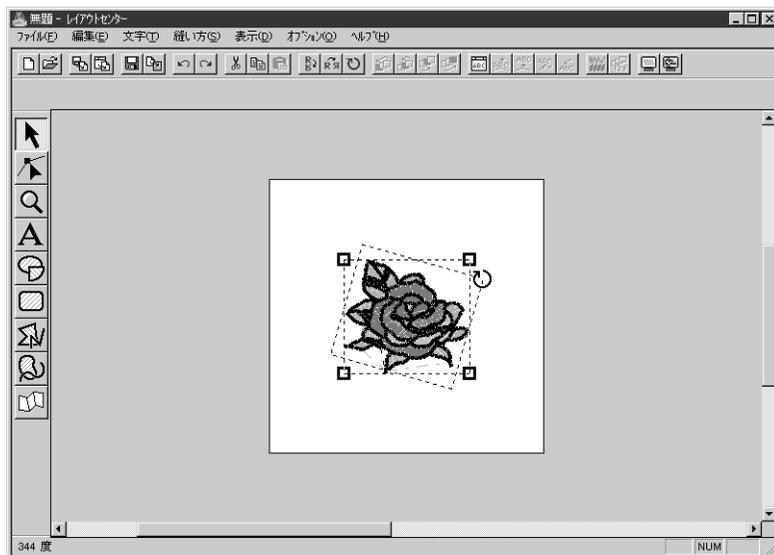
- ① 選択した刺しゅう模様、または選択グループ上のハンドルにカーソルを移動します。
ハンドルにより、カーソルが 、、 または  に変わります。
- ② ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大・縮小します。
カーソルの形状により、拡大・縮小する方向が異なります。
 は幅を拡大・縮小します。
 は高さを拡大・縮小します。
 と  は、幅と高さを同時に拡大・縮小します。(幅と高さの比率が保たれます。)
ハンドルをドラッグするとき、ステータスバーでサイズが確認できます。
注意：刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅう模様には、拡大・縮小できないものがありますのでご注意ください。
取り込んだ刺しゅう模様をそのまま拡大・縮小すると、針数は変わらないので刺しゅう品質が落ちることがあります。STB 機能を実行したあと、この拡大・縮小を行うと、刺しゅう模様の品質を維持できます。詳しくはP.184の「STB機能 (Stitch to Block 機能)」を参照してください。

■ 刺しゅう模様を上下または左右に反転する

- ① 反転したい刺しゅう模様を選択します。
- ② 上下に反転するには、メニューバーの **編集 反転 上下** をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。
左右に反転するには、メニューバーの **編集 反転 左右** をクリックするか、ツールバーの  をクリックします。
注意：刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅう模様には、反転できないものがありますのでご注意ください。

■ 刺しゅう模様を回転する

- ① 回転したい刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの**編集** > **回転**をクリックするか、ツールバーのをクリックします。選択した刺しゅう模様の四隅のハンドルが、白い四角に変わります。
- ③ 刺しゅう模様を回転するには、回転ハンドルをドラッグします。回転ハンドルに触れると、カーソルがに変わります。ドラッグすると、右または左に1度単位で回転します。
Shift キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。



ポイント編集ツール

ポイント編集ツールにより次の操作ができます。

- ◆ 直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦のポイントやマニュアルパンチングのポイントを移動する
- ◆ 曲線にあるポイントの接線方向を変える
- ◆ 直線、曲線、マニュアルパンチングの模様ポイントにポイントを挿入する
- ◆ 直線、曲線、マニュアルパンチングの模様ポイントを削除する
- ◆ ポイントの両サイドにある直線や曲線を直線化・曲線化する
- ◆ 文字模様の文字を選択、設定する

■ ポイントを移動する

- ① ツールボックスの  をクリックします。

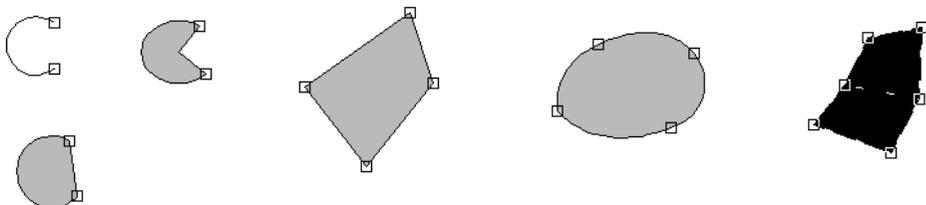
2つのボタン  が表示されます。

- ②  をクリックします。

カーソルが  に変わります。

- ③ 編集したい刺しゅう模様をクリックします。

模様は、直線、曲線、円弧、扇形、円弧と弦やマニュアルパンチングから選択できます。模様の既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



- ④ 移動したいポイントをクリックして選択します。

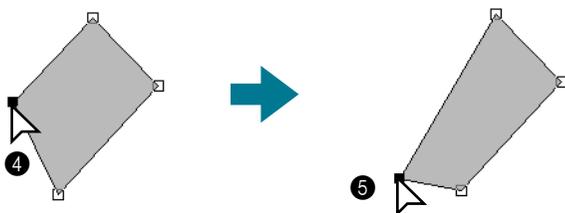
選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

複数のポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながらクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。

- ⑤ ポイントを移動したい場所にドラッグします。

選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

Shift キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。



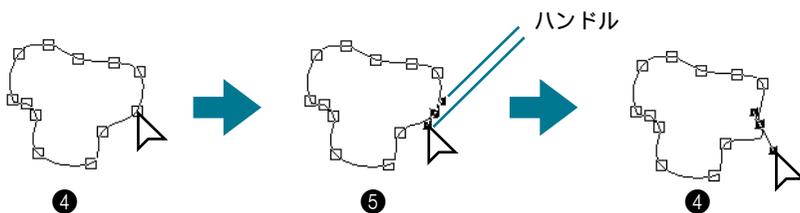
注意：このとき、必ず、選択したポイントをドラッグしてください。他の場所をドラッグすると、新たなポイントが挿入されたり、選択したポイントの選択が解除されません。

参考：矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印方向に0.5 mm（約0.02インチ）ずつ移動できます。

- ・ **グリッドに固定**が設定されているときは、矢印キーを押すと矢印の方向に1グリッドずつ移動できます。

■ ポイントの接線方向を変える

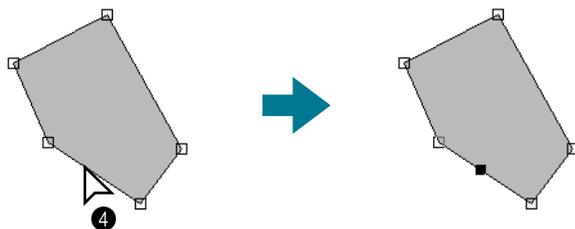
- ① ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 編集したい刺しゅう模様をクリックします。
この操作は、曲線描画ツールで描かれた曲線のみ行えます。
模様の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
- ④ 接線方向を変更したいポイントをクリックします。
選択されたポイントがハンドルとともに黒い四角で表示されます。
- ⑤ どちらかのハンドルをドラッグし、接線の方向を調整します。



■ ポイントを挿入する

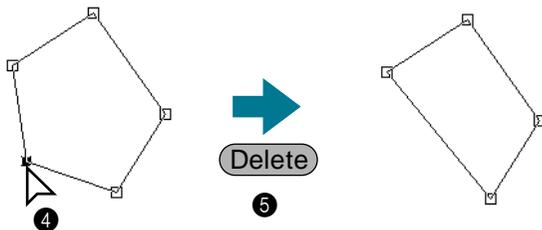
- ① ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 編集したい刺しゅう模様をクリックします。
直線、曲線、マニュアルパンチングで作成された模様を選択できます。
模様の既存ポイントが小さな四角で表示されます。

- ④ ポイントを挿入したい線上でクリックすると、新たなポイントが表示され、自動的に選択されます。（選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。曲線の場合は、ハンドルも表示されます。）マニュアルパンチングのブロックツールで作成された模様では一対の新たなポイントが挿入されます。挿入されたポイントは、すぐに移動できます。曲線の新たなポイントは、ハンドルを使って接線方向を変えることもできます。



■ ポイントを削除する

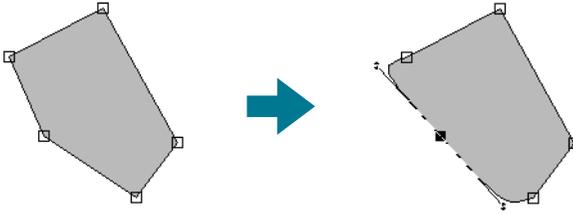
- ① ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 編集したい刺しゅう模様をクリックします。
直線、曲線、マニュアルパンチングで作成された模様を選択できます。
模様の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
- ④ 削除したいポイントをクリックして選択します。
選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。
複数のポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- ⑤ **Delete** キーを押し、ポイントを削除します。ブロック型マニュアルパンチングで作成された模様は、一対のポイントが削除されます。



■ 直線化・曲線化する

- ① ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。

- ③ 編集したい模様をクリックします。
直線または曲線を選択できます。
模様の既存ポイントが小さな四角で表示されます。
- ④ 直線化・曲線化したいポイントをクリックします。
ポイントが曲線部分にある場合は直線となり、直線部分にある場合は曲線になります。



注意：ポイントが曲線部分にある場合は、ハンドルを使って接線方向の変更が可能です。
P.123の「ポイントの接線方向を変える」を参照してください。

■ 文字模様で文字を選択する

- ① ツールボックスの  をクリックします。
2つのボタン  が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 編集したい文字模様をクリックします。
各文字の左下にポイントが小さな四角で表示されます。
- ④ 選択したい文字のポイントをクリックします。
選択された文字のポイントは黒い四角で表示されます。
複数の文字を選択するには、**Shift** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを囲むようにドラッグします。
- ⑤ 選択された文字に、他の文字とは異なる書体、サイズ、色、縫い方、その他の内容を設定することができます。



ズームツール

ズームツールは画面の表示を拡大・縮小するときに使用します。ズームインは、模様細部の大きく表示するので細かい部分の編集をするのに便利です。ズームアウトでは、画面を縮小表示して、デザインページ全体を見ることができます。

■ ズームインを行う

- ①  をクリックします。
5つのボタン   1:1   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 拡大したい部分をクリック、または、拡大したい領域をカーソルで囲むようにドラッグします。マウスを離すと同時にドラッグした領域が拡大表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

■ ズームアウトを行う

- ①  をクリックします。
5つのボタン   1:1   が表示されます。
- ②  をクリックします。
カーソルが  に変わります。
- ③ 縮小したい部分をクリックします。クリックした部分を中心に縮小表示されます。希望の表示サイズになるまでこの操作を繰り返します。

■ 実縫製サイズにズームする

- ①  をクリックします。
5つのボタン   1:1   が表示されます。
- ②  をクリックします。
作業しているデザインページが、ほぼ実際のサイズで表示されます。

■ 選択された模様を画面サイズに拡大する

- ① 1つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- ②  をクリックします。
5つのボタン   1:1   が表示されます。
- ③  をクリックします。
選択された模様が、利用可能な画面スペースいっぱいに表示されます。

■ デザインページ全体を表示する

- ①  をクリックします。

5つのボタン      が表示されます。

- ②  をクリックします。

デザインページが縮小または拡大され、デザインページ全体を表示します。

文字入力ツール

文字入力ツールは、デザインページの文字列を入力するときに使います。文字列の基本設定には、書体とサイズが含まれます。

■ 文字を入力する

- ①  をクリックします。

カーソルが  に変わり、縫い方バーが次のように表示されます。



この縫い方バーで、文字の色、書体、サイズ、縫い方を選択します。P.143の「糸色」、P.138の「書体」、P.139の「文字サイズ」を参照してください。

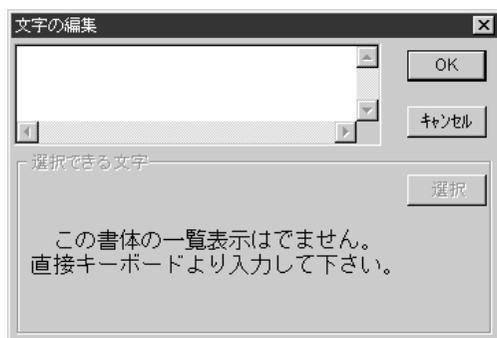
縫い方メニューを使って縫い方の設定（P.176の「縫い方の設定」参照）、および文字メニューを使って文字属性（P.171の「書式設定」参照）が設定できます。

- ② 文字を表示させたい位置でクリックします。

文字の編集ダイアログが表示されます。（内蔵フォント01～35、行書、楷書の場合）



楷書、行書の場合



- ◆ 希望の文字を入力します。**Enter**を押すと、改行します。01～35のアルファベットの書体では、英数半角で入力してください。また、**楷書、行書の書体を選択したときは、全角で入力してください。**半角文字は受け付けません。
- ◆ **選択できる文字**の中の文字をクリックし、**選択**をクリックしても入力できます。書体によっては**選択できる文字**は表示されませんので、キーボードから直接入力してください。
- ◆ OK をクリックするとデザインページに文字模様が表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
注意：入力した文字が選択されているフォントにない場合は、エラーメッセージが表示されます。ダイアログのOKをクリックして、**文字の編集**ダイアログに戻り、入力し直してください。

True Type フォントが選択されている場合は、次のようなダイアログが表示されます。

欧文フォントの場合

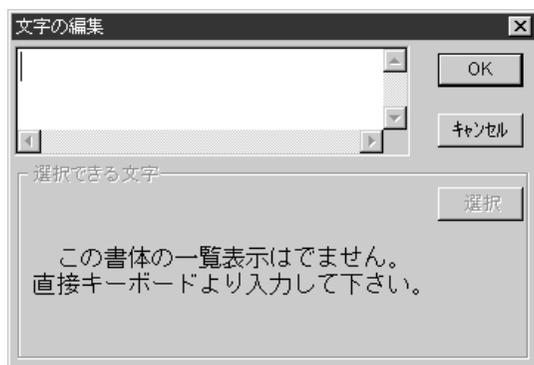


欧文フォントの場合、選択できる文字欄には、選択されているフォントのイメージで文字等が表示されます。

入力、または選択された文字は、選択されているフォントのイメージで上欄部分に表示されます。

- ◆ 前述の内蔵フォントと同じように文字を入力、または選択します。日本語フォントの場合は、**選択できる文字一覧**が表示されませんのでキーボードから直接入力してください。

日本語フォントの場合

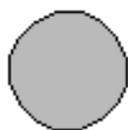


注意： True Type のフォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいな刺しゅうデータに変換できないもの、また縫いあがりきれいにないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。
(例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの模様には適しません。ゴシック体のような、全ての線がある程度太い書体をお選びください。)

参考： 入力した文字の編集をしたい場合は、メニューバーの**文字 文字の編集**を選択し、**文字の編集**ダイアログで編集します。

円・円弧描画ツール

円・円弧描画ツールでは、真円、楕円、円弧、扇形、円弧と弦などを描画できます。



円



楕円



円弧



扇形



円弧と弦

円弧以外の模様にはすべて、輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。円弧は輪郭線となります。

注意： 必ず描く前に形状を選択してください。例えば、円を描いたあとに、それを円弧に変更することはできません。

■ 円または楕円を描く

- 1 ツールボックスのをクリックします。

カーソルが、に変わり、小さな楕円といっしょに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、模様の色と縫い方を選択します。P.143 の「糸色」、P.145 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」を参照)

- 2 円弧の種類セレクタをクリックし、円をクリックします。
- 3 カーソルを始点へ移動し、ドラッグします。
ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形に内接する楕円が作成されます。
Shift キーを押しながらドラッグすると、真円が描けます。

■ 円弧を描く

- 1 ツールボックスのをクリックします。

カーソルが、に変わり、小さな楕円といっしょに表示されます。

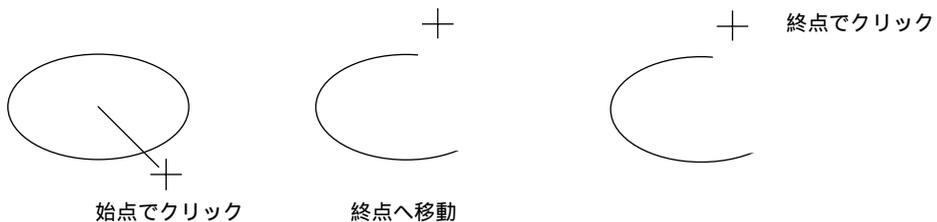
縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、模様の色と縫い方を選択します。P.143 の「糸色」、P.145 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」参照)

- 2 円弧の種類セレクタをクリックし、円弧をクリックします。
- 3 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。
マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。
- 4 カーソルを弧の始点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。
放射状の線が消えます。
- 5 カーソルを弧の終点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。



■ 扇形を描く

- ① ツールボックスのをクリックします。

カーソルが、に変わり、小さな楕円と一っしょに表示されます。

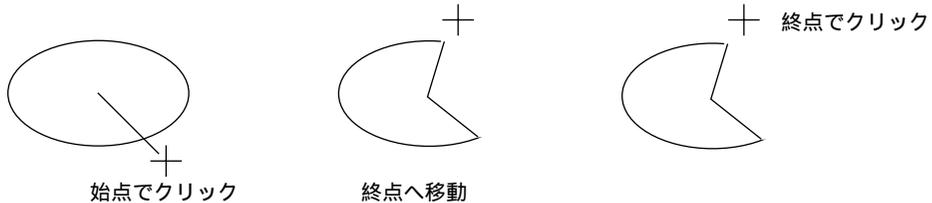
縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、模様の色と縫い方を選択します。P.143 の「糸色」、P.145 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」を参照)

- ② 円弧の種類セレクタをクリックし、扇形をクリックします。
- ③ 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。
- ④ カーソルを扇形の始点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。放射状の線が消えます。
- ⑤ カーソルを扇形の終点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。



■ 円弧と弦を描く

- ① ツールボックスのをクリックします。

カーソルが、に変わり、小さな楕円と共に表示されます。

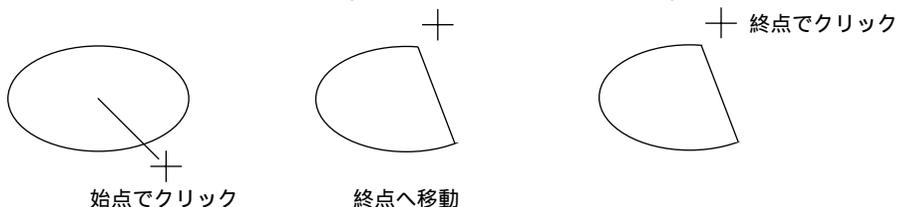
縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、模様の色と縫い方を選択します。P.143 の「糸色」、P.145 の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」を参照)

- ② 円弧の種類セレクタをクリックし、円弧と弦をクリックします。
- ③ 「円または楕円を描く」の手順 3 と同様の方法で円を描きます。マウスボタンを離すと円上に放射状の線が表示されます。
- ④ カーソルを弧の始点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。放射状の線が消えます。
- ⑤ カーソルを弧の終点に移動し(ここではドラッグしません)、クリックします。



長方形描画ツール

長方形描画ツールでは、長方形、正方形、角の丸い長方形などを描くことができます。模様にはすべて輪郭線と面部があり、それぞれに縫い方を設定できます。

■ 長方形を描く

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが、 に変わり、小さな長方形と共に表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、長方形の色と縫い方を選択します。P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」、P.136の「角の丸み」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.176の「縫い方の設定」を参照）

- ② カーソルを始点へ移動し、ドラッグします。
ドラッグした始点と終点を結ぶ線を対角線とした長方形が作成されます。
Shift キーを押しながらドラッグすると、正方形が描けます。

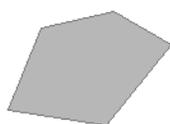
直線描画ツール

直線描画ツールでは、折れ線を描くことができます。折れ線は、1本または複数本の直線からなり、直線の終点が次の直線の始点となっているものです。**開いた線**に設定されていると、模様は最後の終点で終わります。その線は、縫い方と色の設定時には、輪郭線のみとなります。

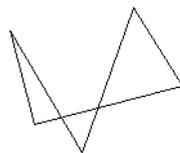
閉じた線に設定されていると、最後の点が自動的に最初の点に繋がり、多角形をつくります。多角形には、異なる縫い方と色の設定ができる輪郭線と面部があります。ただし、直線が交差すると、アプリケーションは面部を認識できず、模様は輪郭線のみとなります。



開いた直線



閉じた直線



この閉じた直線には面部がありません。

■ 直線（折線）を描く

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが、 に変わり、小さな多角形とともに表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、直線の両端の処理、糸色、縫い方を選択します。P.137の「両端の処理」、P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。（P.176の「縫い方の設定」を参照）

- ② 折れ線を描きます。
カーソルを開始点へ移動し、クリックします。
カーソルを次の点まで移動し、再度クリックします。
参考：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。グリッドを線引きの補助線とすると便利です。グリッドは、表示 / 非表示の切り替えができます。グリッドについて、詳しくはP.188の「グリッド」を参照してください。
Shift キーを押しながらドラッグすると、垂直方向または水平方向に線が引けます。
- ③ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。

曲線描画ツール

曲線描画ツールでは、曲線を描くことができます。直線と同様の方法で曲線を描画できます。直線と同様、開いた曲線と閉じた曲線があります。

開いた線に設定されていると、模様は終点で終わります。その曲線は、縫い方と糸色の設定時には、輪郭線のみとなります。

閉じた線に設定されていると、最後の点が自動的に最初の点に繋がり、滑らかな輪郭線をつくります。閉じた曲線には、異なる縫い方と糸色の設定ができる輪郭線と面部があります。ただし、曲線が交差すると、アプリケーションは面部を認識できず、模様は輪郭線のみとなります。



■ 曲線を描く

- ① ツールボックスの  をクリックします。

カーソルが  に変わり、小さな曲線と共に表示されます。

縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、曲線の両端の処理、色、縫い方を選択します。P.137の「両端の処理」、P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」を参照)

- ② 曲線を描きます。
カーソルを始点へ移動して、クリックします。
カーソルを次の点まで移動して、再度クリックします。
参考：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- ③ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。

マニュアルパンチングツール

このツールは、手縫い刺しゅうのような外観の模様を作成するときに使用します。面を埋めるのに標準的なタタミ縫いやサテン縫いを設定すると、面全体の縫い角度は同一方向になってしまいます。しかし、模様によっては、模様の中心からの放射方向に縫い角度を設定すると、見栄えが良くなる場合があります。マニュアルパンチングツールにより、このような縫い方を設定することができます。ご自分でデザインした文字などは、マニュアルパンチングツールを使うと見栄えが良くなります。

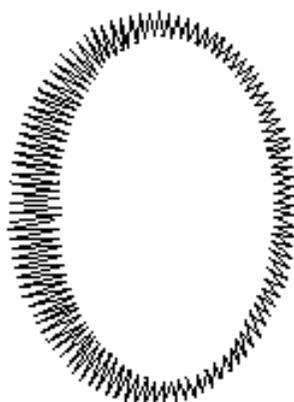
以下に示すイラストは、「O」の文字の2種の縫い方のプレビューを示しています。左側の文字は輪郭線を縫わないように設定した2個の同心円を使ってデザインしたもので、大きな円にはタタミ縫いを使い、小さな円の面部を縫わない設定にしたものです。さらに、この模様にはドーナツ縫いの設定がされています。

右側の文字はマニュアルパンチングツールを使って描いたものです。左側の文字を複製し、それぞれの円の面部を縫わない設定に変更し、それぞれの円の輪郭線をガイドに利用して、マニュアルパンチング模様を作成したものです。ガイドとして利用した2つの円はその後削除してあります。

この例ではその違いがプレビュー画面でよりはっきりするよう、両方の糸密度は最低値に設定されています。



タタミ縫い
(糸方向は同じ)



マニュアルパンチング
(糸方向は曲線に従う)

マニュアルパンチング模様を作成するとき、背景に何かをガイドとして使うと作業が簡単になります。上の例では、2つの円を使用し、マニュアルパンチング模様が完成した後に削除しました。下絵を開き、マニュアルパンチング模様を描画する方法もあります。(P.152の「下絵を開く」参照)

■ マニュアルパンチング模様を作成する

① ガイドとして使う下絵を開くか、模様を用意します。

② ツールボックスのをクリックします。

3つのボタンが表示されます。



: ブロック型パンチング模様の作成に使用します。



: 走り型パンチング模様の作成に使用します。



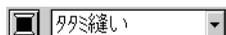
: 送り型パンチング模様の作成に使用します。

マニュアルパンチング模様作成中、上記の種類を変更できます。例えば、ブロック型模様から開始し、あとから走り型に切り替えてブロック型の周囲に輪郭線を描き、さらに送り型に切り替えて次のブロック型模様に移行できます。異なるものからなる模様全体が、単一の刺しゅう模様(すべての部分が同じ縫い方と同じ糸色)とみなされます。次の例では、ブロック型模様で開始し、送り型を使ってカーソルを移動し、走り型模様を作成しました。

- ③  をクリックし、ブロック型模様の作成を開始します。

カーソルが、 に変わり、ブロック型ボタンの小さなイメージと共に表示されます。

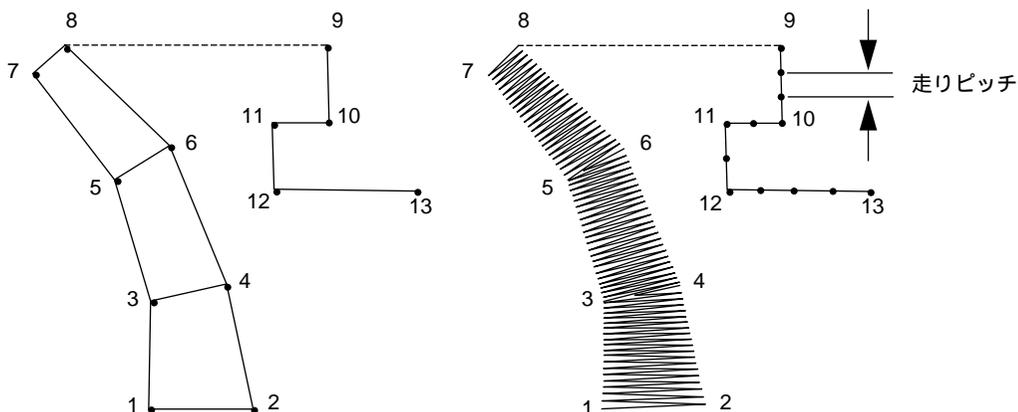
縫い方バーは、次のように表示されます。



この縫い方バーで、縫い方を選択します。P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」を参照してください。

縫い方メニューを使って、縫い方の設定もできます。(P.176の「縫い方の設定」を参照)

- ④ デザインページのポイント 1 をクリックします。(始点)
下のイラストを参考に、ポイント 2 以降をクリックしていきます。



マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。

- ⑤ ポイント 8 (上のブロック型模様の最終ポイント) をクリックした後、 (送り型模様ボタン) をクリックし、ポイント 9 (走り型模様の始点) でクリックします。
- ⑥  をクリックして走り型パンチングを選択し、上の図のようにポイント 10、11、12 をクリックします。
- ⑦ ポイント 13 (模様の最終点) でダブルクリックして模様を完成させます。

縫い方バーの使い方

縫い方バーで、次のような刺しゅう模様の属性を設定できます。

- ◆ 幾何学的属性（円弧の種類、角の丸み、両端の処理）
- ◆ 文字属性（書体、サイズ、変形の度合）
- ◆ 刺しゅう属性（糸色と縫い方、輪郭線と面部のオン/オフ）

表示される属性は、選択されたツールと刺しゅう模様の種類によって異なります。

例1：選択ツールで、まだ何も選択されていない場合



例2：選択ツールで文字が選択された状態か文字入力ツールの場合



カーソルを縫い方バーの各ボタンに置くと、ボタンの内容を示すラベルが表示されます。以下の説明では、縫い方バーの各構成要素を、これらのラベルに表示される名前で呼びます。



原則として、作成する模様を設定できる各属性は、模様作成の直前または模様作成後に設定できます。例えば、長方形を描くとき、長方形描画ツールを起動直後に、糸色と角の丸みを設定できます。長方形が作成されていれば、それを選択し、その属性を変更することもできます。

ただし、円・円弧描画ツールの場合は例外で、どの模様（円、弧、その他）を作成したいのかを、実際に作成する前に決めなければなりません。模様を作成した後で模様の種類を変更することはできません。

幾何学的属性

表示	機能	参照ページ
	円弧の種類：円・円弧の種類を選択します。	P.136
	角の丸み：長方形の角を丸める大きさを設定します。	P.136
	両端の処理：直線や曲線で書かれた模様を開いた線にするか閉じた線にするかを設定します。	P.137

文字属性

表示	機能	参照ページ
	書体：文字の書体を選択します。	P.138
	文字サイズ：文字サイズを選択します。	P.139
	変形の度合い：変形の度合いを選択します。	P.140

刺しゅう属性

表示	機能	参照ページ
	線の設定ボタン：輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。オフのときは縫製しません。したがって糸色や縫い方の設定もできません。	P.141
	面の設定ボタン：面縫いのオン/オフを切り替えます。オフのときは縫製しません。したがって糸色や縫い方の設定もできません。	P.142
	糸色の設定ボタン：輪郭線、面、文字、マニュアルパンチング模様の糸色を設定します。	P.143
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-bottom: 5px;">走り縫い ▼</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">タテ縫い ▼</div>	<p>線の縫い方：輪郭線の縫い方を設定します。</p> <p>面の縫い方：輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチング模様、（STB機能が操作された後の）取込みデータの縫い方を設定します。</p>	P.145

幾何学的属性を設定する

■ 円弧の種類

機能 : 円弧の種類を選択します。

条件 : ツールボックスの  をクリックし、円・円弧描画ツールを起動しているとき。

操作

- ① 円弧の種類セレクタをクリックします。
円弧の種類が表示されます。



- ② 種類を選択します。
再び設定を変更するまで、この設定が円・円弧描画ツールで作成するすべての模様に応用されます。



参照 P.128 の「円・円弧描画ツール」

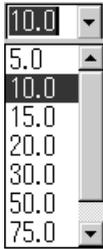
■ 角の丸み mm

機能 : 長方形の角の丸みを設定します。

条件 : ツールボックスの  をクリックし、長方形描画ツールを起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の長方形を選択しているとき。

操作

- ① 角の丸みセレクトに、値(0~100 mmまたは0~3.93インチ)を入力し、**Enter**を押します。または角の丸みセレクトをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が長方形描画ツールで作成するすべての模様に応用されます。

長方形が選択されていると、その長方形にも設定が適用されます。



参照

P.131の「長方形描画ツール」

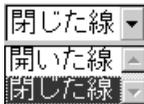
■ 両端の処理 閉じた線

機能 : 直線や曲線の両端を開いたり閉じたりします。

条件 : ツールボックスの  または  をクリックし、直線・曲線描画ツールを起動しているとき。
選択ツールのカーソルで既存の直線や曲線を選択しているとき。

操作

- ① 両端の処理セレクトをクリックします。
2つの処理状態が表示されます。



- ② 処理状態を選択します。
再び設定を変更するまで、この設定が直線・曲線描画ツールで作成するすべての模様に応用されます。
直線または曲線が選択されていると、その直線や曲線にも設定が適用されます。



参照

P.131の「直線描画ツール」、P.132の「曲線描画ツール」

文字属性を設定する

■ 書体 01 ABC Aa0-9&?!

機能 : 文字の書体を選択します。

条件 : ツールボックスの **A** をクリックし、文字入力ツールが起動しているとき。

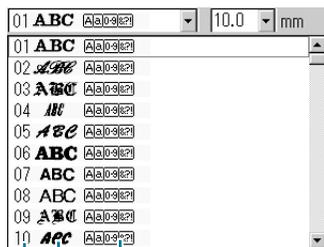
選択ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

ポイント編集ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

操作

- 1 書体セレクタをクリックします。

書体の一覧が表示されます。



書体番号 | 書体見本 | 使用できる文字の種類

- 2 書体を選択します。

再び設定を変更をするまで、この書体が文字入力ツールで作成するすべての文字模様に応用されます。

文字模様、または文字模様内の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。

以下のイラストは、使用できる書体と、各書体で使用できる文字の種類を示します。

01 ABC Aa0-9&?!	14 ABC Aa0-9&?!	27 ABC A
02 ABC Aa0-9&?!	15 ABC Aa0-9&?!	28 ABC A
03 ABC Aa0-9&?!	16 ABC Aa0-9&?!	29 ABC A 0-9
04 ABC Aa0-9&?!	17 ABC Aa0-9&?!	30 ABC Aa0-9&?!
05 ABC Aa0-9&?!	18 ABC A	31 ABC Aa0-9&?!
06 ABC Aa0-9&?!	19 ABC A	32 ABC Aa0-9&?!
07 ABC Aa0-9&?!	20 ABC Aa0-9&?!	33 ABC Aa0-9&?!
08 ABC Aa0-9&?!	21 ABC A	34 ABC Aa0-9&?!
09 ABC Aa0-9&?!	22 ABC Aa	35 ABC Aa0-9&?!
10 ABC Aa0-9&?!	23 A.B.C. A	楷書 あ力漢
11 ABC Aa0-9&?!	24 ABC A	行書 あ力漢
12 ABC Aa0-9&?!	25 ABC A	
13 ABC Aa0-9&?!	26 ABC A	

A 英語アルファベットの大文字

あ ひらがな

a 英語アルファベットの小文字

カ カタカナ

0-9 数字

漢 漢字

&?! ピリオド、括弧、その他の記号

さらに、前ページに一覧表示されている書体のあとに、システムにインストールされている TrueType フォントの書体名が、その書体の表示例とともに表示されます。



TrueType フォントのいずれかを選択すると、その書体データから刺しゅうデータが自動的に作成されます。

TrueType フォントの詳細設定は、メニューバーの**文字 TrueType フォントの設定**を選択すると表示される **TrueType フォントの設定** ダイアログで変更できます。

注意： True Type フォントの中には、フォーマットやデザインの形状により、きれいな刺しゅうデータに変換できないもの、また縫いあがりがかきれいにならないものがあります。実際に縫う前に、試し縫いを行ってください。
(例：明朝体、教科書体等のフォントは、文字の線が非常に細い部分がありますので、刺しゅうの模様には適しません。ゴシック体のような、全ての線がある程度太い書体をお選びください。)



P.127 の「文字入力ツール」、P.122 の「ポイント編集ツール」、P.175 の「True Type フォントの設定」

■ 文字サイズ mm

機能 : 文字サイズを選択します。

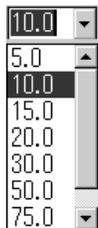
条件 : ツールボックスの  をクリックし、文字入力ツールを起動しているとき。

選択ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

ポイント編集ツールのカーソルで既存の文字を選択しているとき。

操作

- 1 **文字サイズ**セレクトに、値 (5 ~ 100 mm または 0.20 ~ 3.93 インチ) を入力し、**Enter** キーを押します。または**文字サイズ**セレクトをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が文字入力ツールで作成するすべての文字模様に応用されます。

文字模様または文字模様内部の文字が選択されていると、その文字にも設定が適用されます。

注意： 刺しゅう文字は、書体によってあまり小さなサイズになるときれいに縫製できない場合がありますので、日本語書体は 15 mm 以上、アルファベット書体は 10 mm 以上での設定をおすすめします。



P.127 の「文字入力ツール」、P.122 の「ポイント編集ツール」

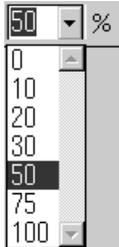
■ 変形の度合い %

機能 : 変形の度合いを選択します。

条件 : 選択ツールのカーソルで既存の変形文字が選択されているとき。

操作

- ① 変形の度合いセクタで、値（0 ~ 100%）を入力し、**Enter** キーを押します。
または変形の度合いセクタをクリックし、表示されるリストから値を選択します。



再び設定を変更するまで、この設定が文字入力ツールで作成するすべての文字模様に応用されます。

AAAAA

50%

AAAAA

100%



P.127 の「文字入力ツール」、P.174 の「文字の変形」

糸色と縫い方を設定する

すべての模様に対し、色を設定できます。輪郭線や面部がある模様には、それぞれ異なる糸色を設定できます。文字模様には、各文字に対して糸色を設定できます。

すべての模様に対し、縫い方の種類を設定できます。輪郭線や面部がある模様にはそれぞれに縫い方を設定できます。

輪郭線や面部がある模様とは、True Type フォントから変換された文字、円、扇形、円弧と弦、長方形、閉じた直線、閉じた曲線のことをいい、これらの模様には、輪郭線と面部の縫う・縫わないの設定ができます。

輪郭線だけの模様とは、円弧、開いた直線、開いた曲線をいい、輪郭線の縫う・縫わないの設定ができます。

面だけの模様とは、本アプリケーションに内蔵の文字、マニュアルパンチング模様、変換された取り込み模様（STB 機能を実行したもの）です。

マニュアルパンチング模様では、3 種類のマニュアルパンチング模様（ブロック型、走り型、送り型）すべてに糸色を設定できますが、縫い方の設定はブロック型に限られます。STB 機能で変換された取り込み模様も同様です。

■ 線の設定

機能 : 輪郭線縫いのオン/オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条件 : 選択ツールで何も選択されていないとき。
輪郭線（TrueType フォントから変換された文字、円、円弧、扇形、円弧と弦、長方形、直線、曲線）のある模様を選択されているとき。

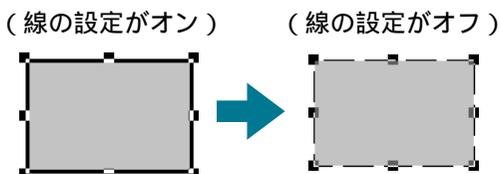
ツールボックスの 、、、、 のいずれかをクリックして、模様の描画を開始するとき。

操作

- ① 線の設定ボタンをクリックします。
オン/オフにより、表示が変わります。
オン : 線の色ボタンと線の縫い方セレクタが表示されます。
オフ : 線の色ボタンと線の縫い方セレクタが表示されません。
ボタンをクリックするごとに、オン/オフが交互に切り替わります。



再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての輪郭線がある模様に応用されます。
模様が選択されていると、その模様にも設定が適用されます。



- ② 輪郭線を元の状態に戻すには、**線の設定**ボタンを再度クリックします。

注意：アプリケーションに内蔵されている書体（書体番号01～35、行書、楷書）が選択されているときは、線の設定はできません。



P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」

■ 面の設定

機能：面縫いのオン/オフを切り替えます。
オフのときは、縫製は行われず、その糸色や縫い方の設定はできません。

条件：選択ツールで何も選択されていないとき。
面部がある模様（TrueType Font から変換された文字、円、扇形、弓形、長方形、閉じた直線と曲線）が選択されているとき。

ツールボックスの 、、、、 のいずれかをクリックして、その模様の描画を開始するとき。

操作

- ① **面の設定**ボタンをクリックします。
オン/オフにより、表示が変わります。
オン：面の色ボタンと面の縫い方セレクタが表示されます。
オフ：面の色ボタンと面の縫い方セレクタが表示されません。
ボタンをクリックするごとに、オン/オフが交互に切り替わります。



再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての面部がある模様に応用されます。模様が選択されていると、その模様にも設定が適用されます。

(面の設定がオン) (面の設定がオフ)



- ② 面部を元の状態に戻すには、**面の設定**ボタンを再度クリックします。



P.143の「糸色」、P.145の「縫い方」

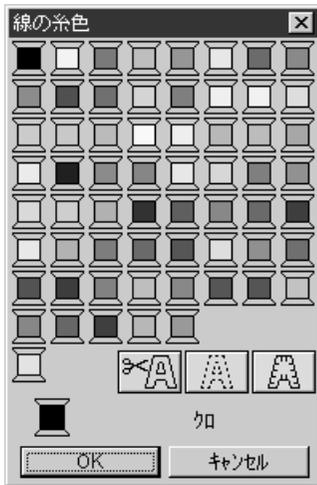
■ 糸色

- 機能** : 輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチング模様、取り込んだ模様 (STB 機能进行操作されたもの) の糸色を設定します。
- 条件** : カーソルが選択ツールで何も選択されておらず、**線の色**または**面の色**ボタンが表示されているとき (**線の設定**ボタンまたは**面の設定**ボタンがオフになっていないとき) 。描画ツールの1つまたは文字入力ツールを開始するとき、あるいは既存の模様を選択しているとき。

操作

① 糸色ボタンをクリックします。

面の設定ツールでは**面の糸色**ダイアログが、線の設定ツールでは、**線の糸色**ダイアログが表示されます。



- ◆ 糸色ボタンをクリックします。
 - ・最後の糸色ボタンと“A”の付いた3つのボタンには特別な機能があります。P.144の「特別色」を参照してください。
 - ・色名一覧表については、P.230を参照してください。
- ◆ 色を設定するには、OKをクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

再び設定を変更するまで、この設定が同じ種類のすべての模様にも適用されます。線と面の糸色ボタンが現在の色を表示します。

模様が選択されていると、その模様にも適用されます。

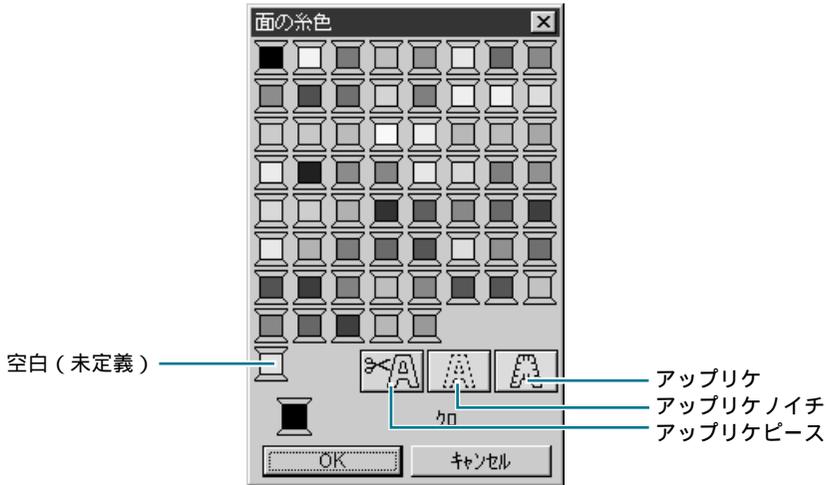
参考：メニューバーの**オプション 糸色ダイアログの設定** (P.195の「糸色ダイアログの設定」参照) をクリックして糸色表示の並び順を変更できます。



参照

P.141の「線の設定」、P.142の「面の設定」

特別色



- ◆ **空白**：糸色表示機能のあるミシンでは、自動的に指定された糸色を表示しますが、実際にミシンを使って縫製する際、そのときに応じて色を決めたいときに、「空白」を指定します。
- ◆ 次の3つの特別色を使って、アップリケを作成できます。

アップリケピース：アップリケにする布などを切り取るための輪郭線を縫います。

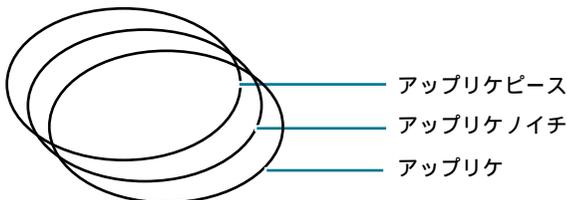
アップリケノイチ：上記の作業で作成されたアップリケを縫い付ける布に、アップリケ位置のガイド線を縫います。

アップリケ：アップリケを縫い付けます。

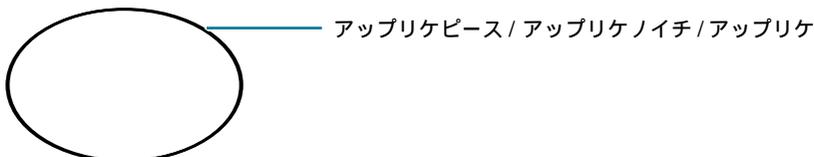
例：

- ① 円を作成します。
- ② 円を複製し、最初の円から離れた位置に移動します。これを繰り返し、同一の円を全部で3つ作成します。
- ③ それぞれの円に対して、以下の設定を適用します。

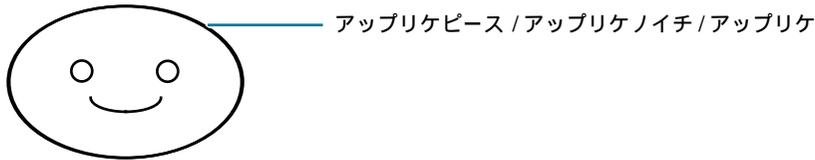
円	縫い方バー			縫い方
	面の設定ボタン	線の色	線の縫い方	
1	オフ	アップリケピース	走り縫い	走り回数 = 1
2	オフ	アップリケノイチ	走り縫い	走り回数 = 1
3	オフ	アップリケ	サテン縫い	—



- ④ アップリケピースの円に、アップリケノイチの円、アップリケの円の順番で同じ位置に重ねます。グリッドを使うとこの操作がより容易になります。プレビュー機能を使って、アップリケの位置を確認できます。(P.189の「プレビュー」を参照)



- ⑤ 普通の刺しゅう絵で、アプリケにお好みの刺しゅう模様を加えます。



注意：縫い順が**アプリケピース** **アプリケノイチ** **アプリケ**の順になるように設定してください。

縫製は、以下の手順で行ってください。

- ① アプリケになる布をミシンにセットし、縫います。**アプリケになる部分の輪郭線**が縫製されます。
- ② アプリケになる布をミシンから取り除き、縫い目に沿って切り取ります。
- ③ アプリケを縫い付ける布をミシンにセットし、縫います。**アプリケをつける位置**を示す輪郭線が縫製されます。
- ④ 少量の糊を使って、アプリケを前の手順で示された位置に貼り付けます。
- ⑤ 続きを縫います。アプリケのまわりの輪郭線が縫製されます。
- ⑥ アプリケ内に加えた刺しゅう模様を縫います。

縫い方 走り縫い タタミ縫い

機能 : 輪郭線、面部、文字、マニュアルパンチング模様、取り込んだ模様 (STB 機能が操作されたもの) の縫い方を設定します。

条件 : カソールが選択ツールで何も選択されていない状態で、**線の設定**と**面の設定**ボタンが表示されているとき。(**線の設定**ボタンまたは**面の設定**ボタンがオフになっていないとき)
描画ツールの1つまたは文字入力ツールを開始するとき、あるいは既存の模様を選択しているとき。

操作

- ① 縫い方の種類セレクタをクリックします。
選択可能な縫い方が表示されます。



輪郭線は、サテン縫い、走り縫い、モチーフ縫いが選択できます。

面部は、サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫いが選択できます。

文字とマニュアルパンチング模様は、サテン縫い、タタミ縫い、プログラムタタミ縫いが選択できます。

- ② 縫い方を選択します。

再び設定を変更するまで、この設定が作成するすべての同じ種類の模様に応用されます。模様が選択されていると、その模様にも設定が適用されます。

注意：パターンを用いる縫い方の**プログラムタタミ縫い**または**モチーフ縫い**を選択するときは、**縫い方の設定**ダイアログでパターンも選択してください。



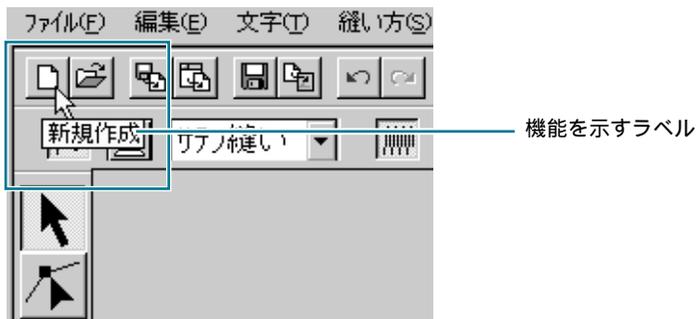
参照 P.141 の「線の設定」、P.142 の「面の設定」、P.176 の「縫い方の設定」

メニューバーとツールバーの使い方

メニュー	機能	参照ページ
ファイル	開く、保存、印刷などのファイルの入力/出力を処理します。	P.147
編集	切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅう模様編集操作を行います。	P.160
文字	曲線に文字を配列するなど、文字模様についての操作を行います。	P.170
縫い方	各模様の縫い方などを設定します。	P.176
表示	画面の表示方法を変更します。	P.188
オプション	他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。	P.192
ヘルプ	ヘルプシステムが起動します。	P.197

メニュー上の機能のほとんどは、ツールバーのボタンをクリックしたり、ショートカットキーやキーの組み合わせにより操作することができます。

カーソルをツールバーの各ボタン上に置くと、ボタンの機能を示すラベルが表示されます。



ファイルメニュー

開く、保存、印刷などのファイルの入力 / 出力を処理します。

メニュー	機能	参照ページ	
新規作成	新規デザインページを作成します。	P.147	
開く	以前に保存したデザインページのファイル (pes ファイル) を開きます。	P.148	
データ 取込み	ファイルから	刺しゅうカードから読み込んだファイル (*.pec)、以前に保存したデザインページのファイル (*.pes) や、Tajima (*.dst)、Melco (*.exp)、Pfaff (*.pcs)、Husqvarna (*.hus) の各形式で作成されたファイルから刺しゅう模様を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。	P.149
	デザイン センターから	デザインセンターから刺しゅう模様を取り込みます。	P.151
下絵を開く	データ作成用の下絵として画像ファイルをデザインページ上に開きます。	P.152	
上書き保存	作業中のデザインページを pes ファイル (Ver. 4.0) として上書き保存します。	P.153	
名前を付けて保存	作業中のデザインページを新しい名前で保存します。	P.153	
データ書出し	デザインページに表示されているデータを、異なるファイル形式 (dst、hus、exp、pcs) に変換して出力します。	P.154	
カード書込み	作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。	P.154	
ファイルプロパティ	保存する pes ファイルにコメントを入力します。	P.155	
印刷の設定	印刷設定を変更します。	P.156	
印刷プレビュー	印刷前に、印刷のイメージが確認できます。	P.157	
印刷	作業中のデザインページと情報を印刷します。	P.158	
終了	アプリケーションを終了します。	P.159	

■ 新規作成

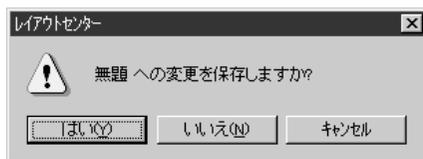
機能 : 新規デザインページを作成します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **N**

ツールバー : 

操 作

- ① メニューバーの**ファイル 新規作成**をクリックします。
作業中のデザインページがなければ、空白の新規デザインページが表示されます。
- ② 作業中のデザインページがある場合は、**変更を保存するかどうか**を尋ねてきます。



- ◆ 作業中のデザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 作業中のデザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)



P.148 の「開く」、P.153 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

開く

機能 : 以前に保存したデザインページのファイル (pes ファイル) を開きます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **O**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**ファイル 開く**をクリックします。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

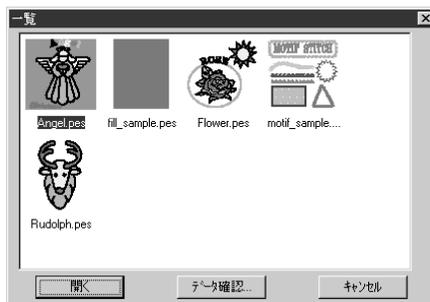
- ◆ 必ず pes ファイルの入っているフォルダを選択してください。
- ◆ プレビューチェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。デザインページ上にファイルが表示されます。

- ◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能な pes ファイルのすべてが表示されます。

- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② **一覧**を選択すると、**一覧**ダイアログが表示されます。



- ◆ アイコンをクリックして選択します。

- ◆ **開く**をクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを開きます。

- ◆ **データ確認**をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。

- ◆ **ファイルを開く**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ③ **データ確認**を選択すると、**プレビュー**ダイアログが表示されます。



- ◆ **開く**をクリックしてファイルを開きます。

- ◆ **一覧**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意 : 模様デザインページをはみ出した状態、または、模様の針数や色数がデザインページの制限を越えた状態で保存された pes ファイルの場合は、プレビューのイメージが表示されません。

- ④ 作業中のデザインページが無い場合は、選択されたファイルが表示されます。
作業中のデザインページがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ 作業中のデザインページを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 作業中のデザインページを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。(作業中のデザインページを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)



参照 P.147の「新規作成」、P.153の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

■ データ取込み - ファイルから

機能 : 刺しゅうカードから読み込んだファイル(*.pec)、以前に保存したデザインページのファイル(*.pes)や、Tajima(*.dst)、Melco(*.exp)、Pfaff(*.pcs)、Husqvarna(*.hus)の各形式で作成されたファイルから刺しゅう模様を取り込み、それを作業中のデザインページに加えます。

ショートカットキー : **(F8)**

ツールバー :

操 作

- ① メニューバーの**ファイル データ取込み ファイルから**をクリックします。
ファイルから取りこむダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
 - ・ **必ずファイルの種類**のプルダウンメニューから目的のファイル拡張子を選択してください。
 - ・ **プレビュー**チェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- ◆ ファイル名をクリックしてから**取り込み**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。デザインページ上にファイルを取り込みます。
- ◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能なファイルが表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

参考 : pec ファイルは、別売の刺しゅうカードから読み込んだファイルです。P.200の「データ読み込み」を参照してください。

目次
お使いになる前に
使ってみましょう
デザインセンター
レイアウトセンター
ファイルリテイ
ステッチ
ショートカット
索引

② 一覧を選択すると、一覧ダイアログが表示されます。



- ◆ アイコンをクリックして、選択します。
- ◆ 取り込みをクリックするか、アイコンをダブルクリックしてファイルを取り込みます。
- ◆ データ確認をクリックすると、詳細なイメージを見ることができます。
- ◆ ファイルから取りこむダイアログに戻る場合は、キャンセルをクリックします。

③ データ確認を選択すると、プレビューダイアログが表示されます。



- ◆ 取り込みをクリックして、ファイルを取り込みます。
- ◆ 一覧ダイアログに戻る場合は、キャンセルをクリックします。

ファイルを取り込むと、その内容が作業中のデザインページに追加されます。この操作を繰り返していくと、作成した模様のライブラリからデザインページを組み立てることができます。

注意：他社の市販データから模様を取り込むときは、サイズがデザインページに合っているかを確認してください。

本アプリケーションに変換すると、.dst (Tajima) .exp (Melco) .pcs (Pfaff) .hus (Husqvarna) から取り込まれた模様の色がわずかに変化することもあります。そのときは、縫い方をクリックし、**取込み模様の糸色変更**を選択して色を調整してください。

④ 別売の刺しゅうカードから読み込んだ pec ファイルを取り込む場合、**取込みサイズ**ダイアログが表示される場合があります。そのときは、ラジオボタンをクリックして取り込みサイズを選択し、OK をクリックします。



P.153 の「名前を付けて保存」、P.185 の「取込み模様の糸色変更」

■ データ取込み - デザインセンターから

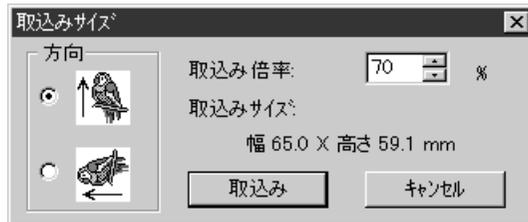
機能 : デザインセンターから刺しゅう模様を取り込みます。

ショートカットキー : (F7)

ツールバー : 

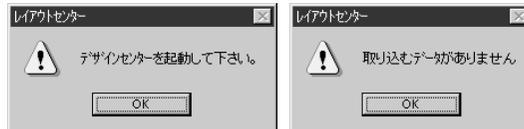
操作

- ① デザインセンターを起動し、レイアウトセンターに取り込みたいファイルを開きます。
- ② メニューバーの**ファイル データ取込み デザインセンターから**をクリックします。
取込みサイズダイアログが表示されます。



- ◆ **取込み倍率**を選択します。直接数値を入力するか、矢印をクリックして取り込み倍率を選択します。
 - ・ デザインページのサイズより大きなサイズとなる倍率を指定することはできません。
- ◆ アイコンの横にある**方向**ラジオボタンをクリックして、方向を選択します。
- ◆ **取込み**をクリックしてデータを取り込みます。
- ◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ③ デザインセンターを起動していないときや、デザインセンターの画面がステージ4 ではないときは、次のいずれかのメッセージが表示されます。



- ◆ OKをクリックしてダイアログを閉じます。



57 頁の「デザインセンター」

■ 下絵を開く

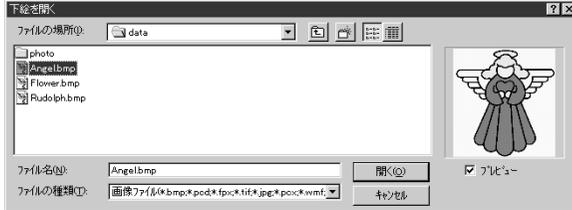
機能 : データ作成用の下絵として画像ファイルをデザインページ上に開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** > **下絵を開く**をクリックします。
下絵を開くダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

- **プレビュー**チェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックしてファイルを開きます。

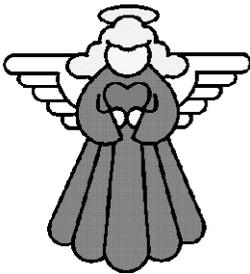
- 本アプリケーションで圧縮ファイルは処理できません。

- 本アプリケーションで開くことができるファイルの拡張子は、Windows BMP (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoftPCX (*.pcx)、Windows Meta File (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx)のいずれかです。

注意 : 複数のページに保存されたpcdファイルとfpxファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW 圧縮を使用したtifファイルは開けません。

- ◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② デザインページに画像が下絵として表示されます。



参照 P.190 の「下絵」

- 下絵から直接刺しゅう模様をつくることはできません。直線、曲線、マニュアルパンチング等を使って刺しゅう模様を描くためのガイドとしてのみ使用できます。

参考 : デザインセンターでは、イメージから直接刺しゅう模様をつくることができます。

■ 上書き保存

機能 : 作業中のデザインページを pes ファイル (Ver. 4.0) として上書き保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **S**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **上書き保存**をクリックします。
ファイルがすでにディスクにあれば (少なくとも一度は保存されていれば)、直ちに上書き保存されます。
- ② ファイル名が**無題**のときやファイルがディスク上に見つからないときは、自動的に**名前を付けて保存**のダイアログに切り替わります。



参照 P.153 の「名前を付けて保存」、P.154 の「カード書込み」

■ 名前を付けて保存

機能 : 作業中のデザインページを新しい名前で保存します。

参考 : ファイルの種類で旧バージョンを選択すると、保存された pes ファイルを旧バージョンのソフトウェアで開くことができます。ただし、データの情報の一部が失われる場合があります。(Readme ファイルを参照してください。)

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **名前を付けて保存**をクリックします。
名前を付けて保存ダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
- ◆ **保存**をクリックして保存します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② 同じ名前のファイルがすでにある場合は、次のダイアログが表示されます。



- ◆ 上書きする場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 上書きしたくない場合は、**いいえ**をクリックします。

新しい名前がレイアウトセンター画面のタイトルバーに表示されます。

注意 : 模様デザインページをはみ出した状態、または、模様の針数や色数がデザインページの制限を越えた状態で保存された pes ファイルは、オリジナルカードにデータを書き込むことはできません。また、フロッピーディスクでマシンに持っていても一切表示されません。



参照 P.153 の「上書き保存」、P.154 の「カード書込み」

■ データ書出し

機能 : デザインページに表示されているデータを、異なるファイル形式 (dst、hus、exp、pcs) に変換して出力します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル データ書出し**をクリックします。
データ書出しダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
- ◆ 出力したいファイル形式 (DST、EXP、PCS、HUS) を選択します。
- ◆ 系切り用のジャンプ回数 :
DST 形式では、系色の変更に必要な系切り時期を指示するためにジャンプコードが使用されています。ジャンプ回数をご使用のミシンによって異なりますが、この設定で任意の値を選択できます。(この設定は DST 形式が選ばれている場合のみ有効です。)

注意 : 別売の刺しゅうカードから詠み込んだ模様には出力できないものもあります。

■ カード書込み

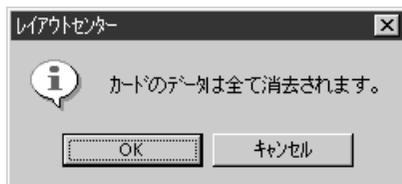
機能 : 作業中のデザインページをオリジナルカードに書き込みます。

ショートカットキー : (F4)

ツールバー :

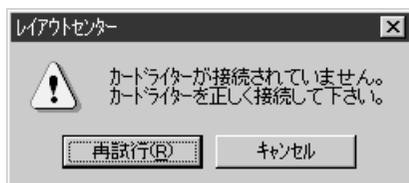
操作

- ① メニューバーの**ファイル カード書込み**をクリックします。
次のメッセージが表示されます。



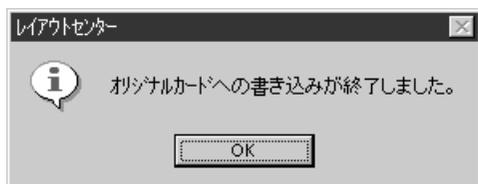
- ◆ オリジナルカードにすでに刺しゅうデータが保存してある場合、データを消去するかどうか確認してきます。全て消去してもよければ、OK をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

カードライターが正しく接続されていないと、次のダイアログが表示されます。



- ◆ この操作を続ける場合は、正しく接続しなおして**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② OK をクリックすると、作業中の刺しゅう模様がオリジナルカードに書き込まれます。データがオリジナルカードに転送されている間、書き込み中メッセージが表示されます。しばらくすると、次のメッセージが表示されます。



- ◆ OK をクリックします。



参照 P.204 の「データ書込み」

■ ファイルプロパティ

- 機能** : 保存する pes ファイルにコメントを入力します。
- ショートカットキー** : この機能に対応するショートカットキーはありません。
- ツールバー** : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** > **ファイルプロパティ** をクリックします。
ファイルプロパティダイアログが表示されます。



- ◆ 必要な項目にテキストを入力、または修正してください。
- ◆ OK をクリックすると、入力データを確認し、終了します。入力したデータは、次に保存するときのファイルに保存されます。
- ◆ キャンセル をクリックすると、全ての入力データを無効にして終了します。

■ 印刷の設定

機能 : 印刷設定を変更します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 メニューバーの**ファイル** > **印刷の設定**をクリックします。

印刷の設定ダイアログが表示されます。



- ◆ **プロパティ**をクリックするとプリンタのプロパティが表示され、プリンタの詳細な設定が行えます。
- ◆ **用紙と印刷の向き**を選択します。
- ◆ **印刷サイズと印刷オプション**を選択します。
- ◆ **OK**をクリックして設定を確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

印刷サイズでは、1つの模様または、1つの部分模様の内容を1ページに印刷するか、あるいは2ページに印刷するかを選択できます。

原寸印刷では模様のイメージを1ページ目に実寸で印刷します。2ページ目には刺しゅう法、刺しゅう色順、針数が印刷されます。ファイル名は両方のページに印刷されます。

縮小印刷では、模様のイメージと上記項目が1ページに印刷されます。

参考 : デザインページに大型刺しゅう枠 (130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または172 × 100 mm) が選択されている場合、1つの部分模様が1ページもしくは2ページに印刷するように変わります。

よって、この場合のページ数は模様の内容で決まります。

縫製範囲と中心線を印刷する

縫製範囲と中心線を印刷するを選択すると、模様の最大外形 (P.186の「縫製範囲の設定」参照) とその中心軸を黒色で印刷します。この設定は、**原寸印刷**が選択されているときのみ使用できます。

グリッドを印刷する

グリッドを印刷するを選択すると、刺しゅう枠に添付の刺しゅうシートに印刷されているグリッドと同様のグリッド線を緑色で印刷します。

注意 : 一部のミシンの刺しゅうシートとはグリッドのサイズがわずかに異なる場合があります。

印刷イメージをノーマルに設定すると、模様はプレビュー画面のイメージで印刷されます。**印刷イメージをリアルに設定**すると、模様はリアルプレビュー画面のイメージで印刷されます。

注意 : リアルの設定の詳細を変更するには、**設定**をクリックします。

詳しくは、「リアルプレビューの設定」を参照してください。

ここでの設定は、リアルプレビューの設定とは別々に保存されます。



P.189の「リアルプレビュー」

■ 印刷プレビュー

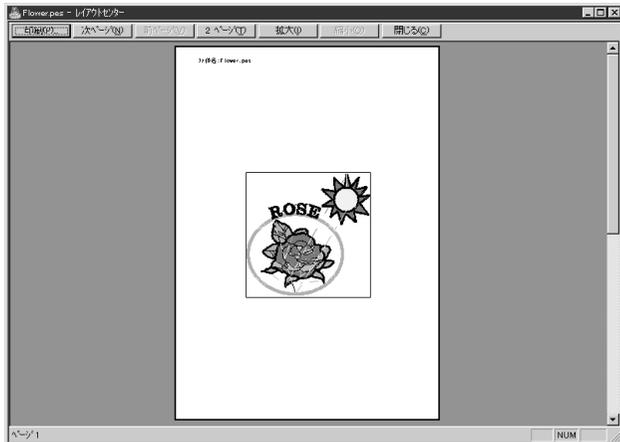
機能 : 印刷前に、印刷のイメージが確認できます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **印刷プレビュー**をクリックします。
印刷の設定ダイアログで**原寸印刷**が選択されていると、**レイアウトセンター**の画面は次のように表示されます。



選択可能なボタンは黒く、それ以外のボタンはグレーで表示されます。

- ◆ 印刷をクリックすると、印刷ダイアログが開き、印刷できます。
 - ◆ 次ページをクリックすると、次ページが表示されます。
 - ◆ 前ページをクリックすると、前ページが表示されます。
 - ◆ 2ページをクリックすると、2つのページが同時に表示されます。
 - ◆ 拡大または縮小をクリックすると、イメージが拡大または縮小されます。
 - ◆ 閉じるをクリックすると、デザインページに戻ります。
- ② 拡大をクリックするか、拡大したい部分をクリックすると、イメージが拡大されます。必要であれば、ページをスクロールし、隠れた部分を確認します。
いっぱいまでズームインされると、**拡大ボタン**が無効になり、**縮小ボタン**が有効になります。**縮小ボタン**がイメージをクリックすると、イメージが縮小されます。
 - ③ 次ページをクリックすると、縫い方設定情報のある2ページ目が表示されます。(印刷の設定ダイアログで**縮小印刷**が選択されていると、この機能は使用できません。)
このボタンは無効になり、**前ページボタン**が有効になります。
 - ④ 前ページをクリックすると、刺しゅう画面に戻ります。(印刷の設定ダイアログで**縮小印刷**が設定されていると、この機能は使用できません。)
このボタンが無効になり、**次ページボタン**が有効になります。
 - ⑤ 2ページをクリックすると、2ページが同時に表示されます。2ページボタンが1ページボタンに替わります。**次ページボタン**と**前ページボタン**は無効になります。
1ページボタンをクリックすると1ページで表示されます。



P.156の「印刷の設定」、P.158の「印刷」、P.193の「デザインのプロパティー」

印刷

機能 : 作業中のデザインページと情報を印刷します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **P**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **印刷**をクリックします。
印刷ダイアログが表示されます。



- ◆ 必要な設定を行います。
- ◆ OKをクリックして、印刷します。
- ◆ 操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
- ◆ プリンタの標準設定を変更する場合は、**プロパティ**をクリックします。

- ② 以降の操作については、ご使用の Windows マニュアルとプリンタマニュアルの指示に従ってください。

印刷の設定の中の印刷サイズの設定によって、1つの模様または、1つの部分模様の内容が1ページまたは2ページに印刷されます。

デザインページに別売の大型枠 (130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、172 × 100 mm) が選択されている場合の印刷

デザインページに大型枠が選択されている場合には、刺しゅう模様を複数の部分模様に分けて印刷します。

- 130 × 300 mm または 300 × 130 mm のデザインページが選択されている場合、130 × 180 mm または 180 × 130 mm を1つの部分模様として複数枚に分けて印刷します。
- 100 × 172 mm または 172 × 100 mm のデザインページが選択されている場合、100 × 100 mm を1つの部分模様として複数枚に分けて印刷します。

大型枠デザインの印刷順序は次のようになります。

原寸印刷が選択されている場合

- ① デザインページ全体の原寸大で印刷します。
(ただし、130 × 300 mm または 300 × 130 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。)
- ② 1番目の部分模様の縫製イメージを印刷します。
- ③ 1番目の部分模様の色順リストを印刷します。
- ④ 2番目の部分模様の縫製イメージを印刷します。
- ⑤ 2番目の部分模様の色順リストを印刷します。

以降、すべての刺しゅうデータが印刷されるまで続きます。

縮小印刷が選択されている場合

- ① デザインページ全体の実寸大で印刷します。
(ただし、130 × 300 mm または 300 × 130 mm が選択されている場合はデザインページの全体の縮小印刷となります。)
- ② 1 番目の部分模様の縫製イメージと色順リストを印刷します。
- ③ 2 番目の部分模様の縫製イメージと色順リストを印刷します。

:

以降、すべての刺しゅうデータが印刷されるまで続きます。

参考：メニューバーの**ファイル** **印刷プレビュー**のプレビュー表示も、上記のようになります。

■ 終了

機能 : アプリケーションを終了します。

ショートカットキー : **(Alt)** + **(F4)**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーの**ファイル** **終了**をクリックします。
作業中のデザインページが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。
- ② 作業中のデザインページが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。P.148 の「開く」を参照してください。



P.153 の「上書き保存」と「名前を付けて保存」

編集メニュー

切り取りや貼り付けなど、選択された刺しゅう模様編集に編集操作を行います。

メニュー	機能	参照ページ	
元に戻す	直前の操作を元の状態に戻します。	P.160	
やり直し	最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.160	
グループ化	選択された複数の刺しゅう模様をグループ化して1つの刺しゅう模様になります。	P.161	
グループ化解除	刺しゅう模様のグループ化を解除します。	P.161	
切り取り	選択された刺しゅう模様を画面から削除し、クリップボードに保存します。	P.162	
コピー	選択された刺しゅう模様を画面から削除しないで、クリップボードに保存します。	P.162	
複製	選択された刺しゅう模様を複製します。	P.162	
貼り付け	クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。	P.163	
削除	選択された刺しゅう模様をデザインページから削除します。	P.163	
反転	上下	選択された刺しゅう模様を上下に反転します。	P.163
	左右	選択された刺しゅう模様を左右に反転します。	P.164
回転	選択された刺しゅう模様を任意の角度で回転します。	P.164	
数値設定	サイズ	選択された刺しゅう模様を任意のサイズにします。	P.165
	回転	選択された刺しゅう模様を任意の角度で回転させます。	P.166
中央へ移動	選択された刺しゅう模様をデザインページの中央へ移動します。	P.167	
整列	選択された刺しゅう模様の上下左右方向の位置を揃えます。	P.167	
縫い順	選択された刺しゅう模様の縫い順を最初、最後、1つ前、1つ後ろへ移動します。	P.168	
すべて選択	すべての刺しゅう模様を選択します。	P.169	

■ 元に戻す

機能 : 直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Z**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集** **元に戻す**をクリックします。
直前の操作を行う前の状態に戻します。例えば、刺しゅう模様を間違えて削除しても、この機能を使うと復元することができます。



参照 P.160の「やり直し」

■ やり直し

機能 : 最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **A**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集 やり直し**をクリックします。
最後に行った**元に戻す**の操作を解除します。例えば、円を描いた直後に**元に戻す**を使うと円が消去されますが、**やり直し**を使うと円が再び表示されます。



P.160の「元に戻す」

■ グループ化

機能 : 選択された複数の刺しゅう模様をグループ化して1つの刺しゅう模様になります。

ショートカットキー : **Ctrl** + **G**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 複数の刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの**編集 グループ化**をクリックします。
選択された複数の刺しゅう模様が1つの刺しゅう模様になります。
(グループ化された)刺しゅう模様は、他のすべての編集機能で1つの刺しゅう模様として処理されます。

注意 : この操作を行うと、刺しゅう模様の縫い順が変わります。グループ化された刺しゅう模様は、グループ内で縫い順が最後の刺しゅう模様に連続するように、連なった縫い順となります。例えば、縫い順がA、B、C、D、E、Fの刺しゅう模様のA、B、Eをグループ化すると、縫い順はC、D、A、B、E、Fの順に変わります。また、グループ化された個々の刺しゅう模様の縫い順を変更したり、その縫い順に他の刺しゅう模様を割り込ませたりすることはできません。縫い順の変更をしたい場合は、グループ化を解除してください。

パス上に配列された文字列の場合

パス(直線や曲線など)とそれに配列されているテキストのいずれかが選択されている場合、その両方がグループ化されます。

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅう模様の場合

ドーナツ縫い設定されている刺しゅう模様の一部が選択されている場合、ドーナツ縫い設定がされているすべての刺しゅう模様がグループ化されます。



P.161の「グループ化解除」

■ グループ化解除

機能 : 刺しゅう模様のグループ化を解除します。

ショートカットキー : **Shift** + **G**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① グループ化された刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの**編集 グループ化解除**をクリックします。
選択された刺しゅう模様のグループ化が解除されます。
この操作の後には、各刺しゅう模様を個別に編集することができます。



P.161の「グループ化」

■ 切り取り

機能 : 選択された刺しゅう模様を画面から削除し、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **X**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- 2 メニューバーの**編集** **切り取り**をクリックします。
選択された刺しゅう模様が削除されます。データはクリップボードに保存されるので、**編集** **貼り付け**を使って、貼り付けることができます。



参照 P.162 の「コピー」、P.163 の「貼り付け」と「削除」

■ コピー

機能 : 選択された刺しゅう模様を画面から削除しないで、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **C**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- 2 メニューバーの**編集** **コピー**をクリックします。
刺しゅう模様がクリップボードに保存され、**編集** **貼り付け**を使って、貼り付けることができます。



参照 P.162 の「切り取り」と「複製」、P.163 の「貼り付け」

■ 複製

機能 : 選択された刺しゅう模様を複製します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **D**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- 2 メニューバーの**編集** **複製**をクリックします。
選択された刺しゅう模様が複製され、デザインページに表示されます。



参照 P.162 の「コピー」、P.163 の「貼り付け」

貼り付け

機能 : クリップボードの内容をデザインページに貼り付けます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **V**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集 貼り付け**をクリックします。
切り取りやコピーでクリップボードに保存された刺しゅう模様が、デザインページに貼り付けられます。



参照 P.162の「切り取り」と「コピー」と「複製」

削除

機能 : 選択された刺しゅう模様をデザインページから削除します。

ショートカットキー : **Delete**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 1つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの**編集 削除**をクリックします。
選択された刺しゅう模様がデザインページから削除されます。クリップボードに保存されないため、再び表示させたい場合は、次の操作をする前に**編集 元に戻す**を使ってください。



参照 P.160の「元に戻す」、P.162の「切り取り」

反転 - 上下

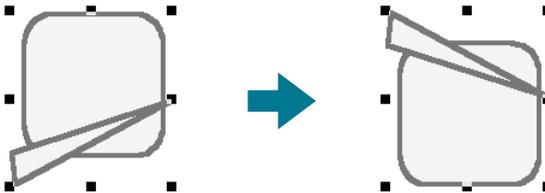
機能 : 選択された刺しゅう模様を上下に反転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **H**

ツールバー : 

操作

- ① 1つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの**編集 反転 上下**をクリックします。
選択された刺しゅう模様が上下に反転します。この操作を連続して2度行くと、元の刺しゅう模様に戻ります。



刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅう模様には、反転できないものがありますのでご注意ください。



参照 P.164の「反転 - 左右」と「回転」

■ 反転 - 左右

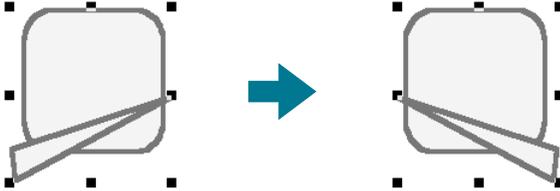
機能 : 選択された刺しゅう模様を左右に反転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **J**

ツールバー : 

操作

- ① 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの **編集 反転 左右** をクリックします。
選択された刺しゅう模様が左右に反転します。この操作を連続して2度行くと、元の刺しゅう模様に戻ります。



刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅう模様には、反転できないものもありますのでご注意ください。



参照

P.163 の「反転 - 上下」、P.164 の「回転」

■ 回転

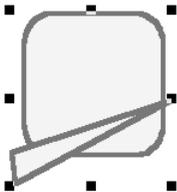
機能 : 選択された刺しゅう模様を任意の角度で回転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Y**

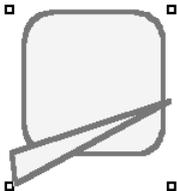
ツールバー : 

操作

- ① 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。

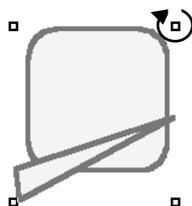


- ② メニューバーの **編集 回転** をクリックします。
ハンドルが白い四角に変わります。

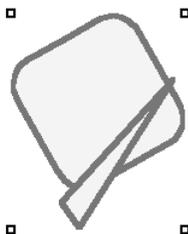


- ③ カーソルをハンドルの1つに移動します。

カーソルが  に変わります。



- ④ ハンドルをドラッグし、希望する角度に回転させて、マウスボタンを離します。



ドラッグすると、右または左に1度単位で回転します。**Shift** キーを押しながらドラッグすると15度単位で回転します。



P.163の「反転 - 上下」、P.164の「反転 - 左右」、P.166の「数値設定 - 回転」

数値設定 - サイズ

- 機能** : 選択された刺しゅう模様を任意のサイズにします。
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

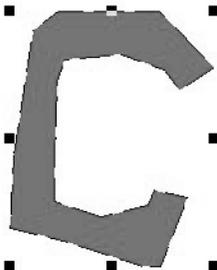
操作

- 1つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- メニューバーの**編集 数値設定 サイズ**をクリックします。
サイズダイアログが表示されます。

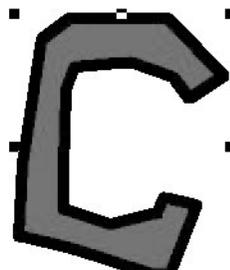


- ◆ 縦横比を固定して幅と高さを変更するときは、**縦横比を保持**をチェックします。
- ◆ **幅と高さの単位** (%または、mm/インチ)を選択します。
- ◆ **幅と高さの数値**を入力するか、矢印をクリックして選択します。
縦横比を保持をチェックすると、幅と高さの比が固定され、一方の数値を変更すると、もう一方も自動的に変更されます。
 指定された大きさは、面に適用されます。刺しゅう模様
 に線がある場合は、ダイアログの下側の**面と線の大きさ**
 で全体の大きさを確認してください。
- ◆ **OK** をクリックして、設定を確定し終了します。
- ◆ **プレビュー** をクリックすると、変更後の大きさをデザイン
 ページ上で確認できます。
- ◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル** をクリックし
 ます。

面（線なし）



面 + 線



注意：入力可能な最大値は、刺しゅう模様がデザインページのサイズを超えない値となります。

入力可能な最小値は、1 mm（0.04 インチ）です。



参照 P.196 の「単位の設定」

■ 数値設定 - 回転

機能：選択された刺しゅう模様を任意の角度で回転させます。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー：この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- ② メニューバーの **編集 数値設定 回転** をクリックします。
回転ダイアログが表示されます。



- ◆ 回転角度の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
- ◆ OK をクリックして、設定を確定し終了します。
- ◆ **プレビュー** をクリックすると、変更後の刺しゅう模様をデザインページ上で確認できます。
- ◆ 変更しないで終了する場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意：入力可能な数値の範囲は、0 から 359 度までで、1 度単位です。

■ 中央へ移動

機能 : 選択された刺しゅう模様をデザインページの中央へ移動します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **M**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- メニューバーの**編集 中央へ移動**をクリックします。
選択された刺しゅう模様全体がデザインページの中央に移動します。

注意 : **パス上に配列された文字列の場合**

パス（直線や曲線など）とそれに配列されているテキストのいずれかが選択されている場合、選択されている刺しゅう模様がデザインページの中央に移動するように、その両方が移動します。

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅう模様の場合

ドーナツ縫い設定されている刺しゅう模様の一部が選択されている場合、選択されている刺しゅう模様がデザインページの中央に移動するように、ドーナツ縫い設定されているすべての刺しゅう模様が移動します。

■ 整列

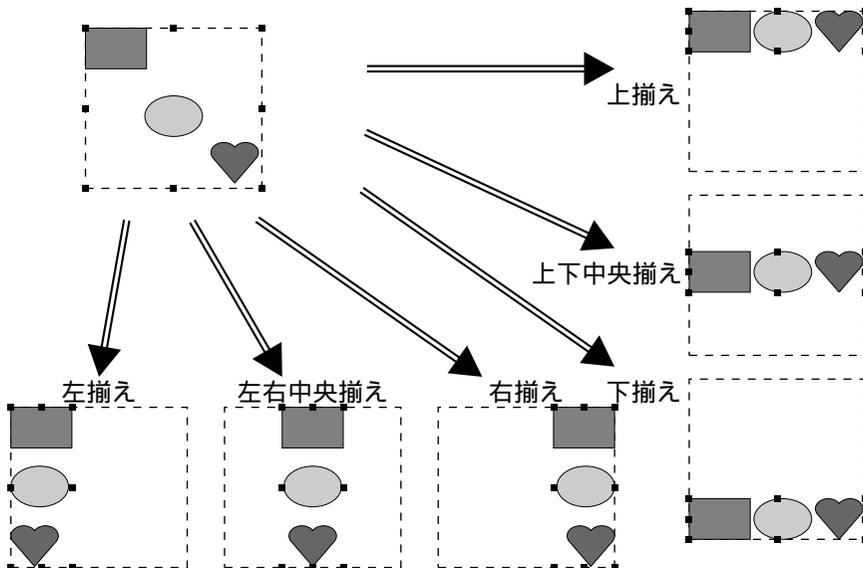
機能 : 選択された刺しゅう模様の上下左右方向の位置を揃えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

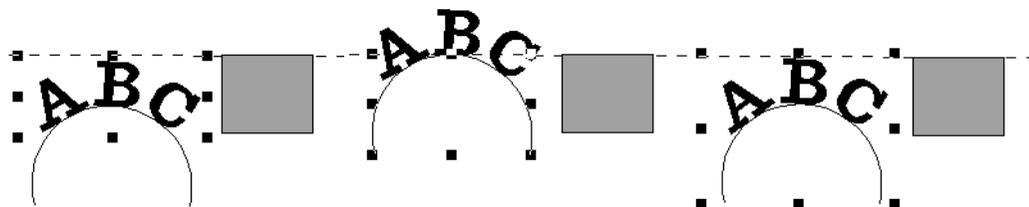
操作

- 1 複数の刺しゅう模様を選択します。
- 2 メニューバーの**編集 整列**をクリックし、次に模様の整列方向、**左揃え**、**左右中央揃え**、**右揃え**、**上揃え**、**上下中央揃え**、**下揃え**のいずれかを選択します。
選択された刺しゅう模様は、次のように整列します。
- 3 別の整列方向を選択するには、**元に戻す**をクリックし、2 の操作を繰り返します。



パス上の文字列：

パス上に配列された文字列の選択の仕方は次の3通りがあります。それぞれ、選択されている刺しゅう模様の外形を基準にして、この操作を行います。



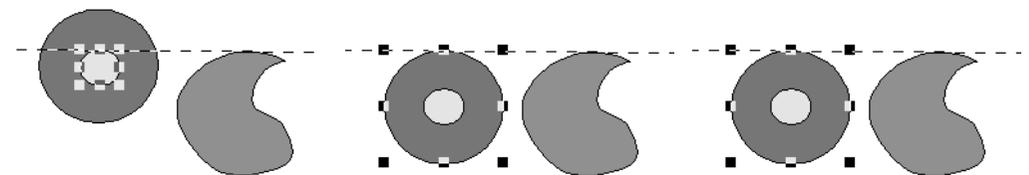
1. 文字列が選択されている

2. パスが選択されている

3. 文字列とパスが共に選択されている

ドーナツ縫いが設定されている刺しゅう模様：

内側の刺しゅう模様のみを選択している場合は内側の刺しゅう模様の外形を基準にして、外側の刺しゅう模様のみ、または内側と外側の刺しゅう模様をともに選択している場合は外側の刺しゅう模様の外形を基準にして、この操作を行います。



1. 内側の刺しゅう模様を選択されている

2. 外側の刺しゅう模様を選択されている

3. 内側と外側の刺しゅう模様と共に選択されている

縫い順

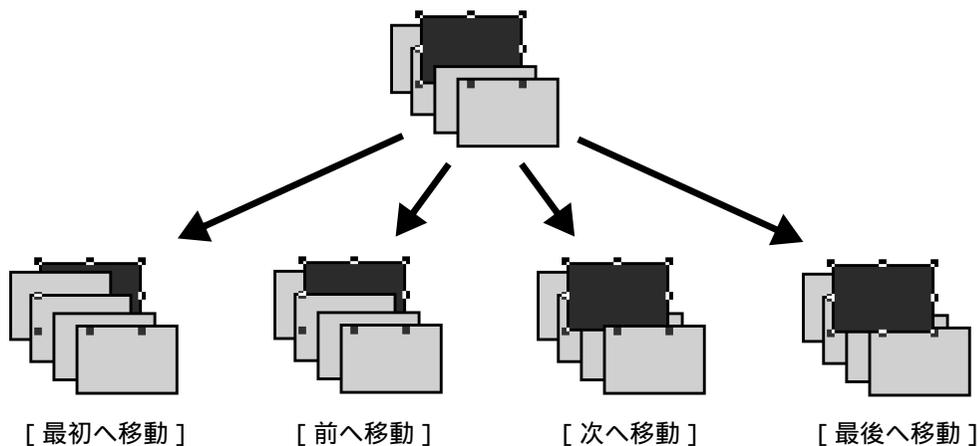
機能 : 選択された刺しゅう模様の縫い順を最初、最後、1つ前、1つ後ろへ移動します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **B** (最初へ)、**Ctrl** + **F** (最後へ)

ツールバー :

操作

- 1つまたは複数の刺しゅう模様を選択します。
- メニューバーの**編集** > **縫い順**をクリックします。次に**先頭へ移動**、**前へ移動**、**次へ移動**、**最後へ移動**のいずれかを選択します。



■ すべて選択

機能 :すべての刺しゅう模様を選択します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **E**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① カーソルが選択ツールになっているかを確認します。
- ② メニューバーの**編集** **すべて選択**をクリックします。

文字メニュー

曲線に文字を配列するなど、文字模様についての操作を行います。

メニュー	機能	参照ページ
文字の編集	入力済みの文字模様を編集します。	P.170
書式設定	文字の書式を設定します。	P.171
文字の配列	パス（曲線、直線模様など）に沿って文字模様を配列します。	P.172
文字配列の解除	パスから文字模様を切り離します。	P.174
文字の変形	文字模様を変形します。	P.174
変形の解除	変形した文字を元の形に戻します。	P.175
True Type フォントの設定	刺しゅうデータに変換されるTrueType フォントの属性（スタイル等）を設定します。	P.175

■ 文字の編集

機能 : 入力済みの文字模様を編集します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **L**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① 編集したい文字模様を選択します。一度に複数の文字模様は編集できません。
- ② メニューバーの文字 **文字の編集** をクリックします。
文字の編集 ダイアログが表示されます。



- ◆ 不要な文字を削除したり、新たな文字を入力したりして、文字列を編集します。
- ◆ OK をクリックして編集結果を確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。
- ◆ 入力した文字が、選択されているフォントにない場合は、警告メッセージが表示されます。ダイアログの OK をクリックして、**文字の編集** ダイアログに戻り、入力し直してください。

注意 : TrueType フォントから変換された文字が選択されている場合、表示される文字リストはカーソルの位置の文字に設定されている文字フォントになります。



参照 P.127 の「文字を入力する」

■ 書式設定

機能 : 文字の書式を設定します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **K**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数の文字模様を選択します。または、ポイント編集ツールで、文字模様中の文字を選択します。
- メニューバーの文字 **書式設定** をクリックします。
書式設定ダイアログが表示されます。



- ◆ 各項目に、値を直接入力するか、矢印をクリックして選択します。
- ◆ 設定値を標準に戻すには、各項目の標準ボタンをクリックします。
- ◆ 設定をクリックして、設定します。
- ◆ 閉じるをクリックして、ダイアログを閉じます。

文字の設定	文字間	文字間隔を設定します。 1文字単位で設定できます。 範囲:-100 ~ 100 mm(-3.94 ~ 3.94 インチ) 標準: 0 mm	0.0 mm Abcdef	5.0 mm (Aとbの間) A bcdef
	基準線からのオフセット	文字の基準線からの位置を設定します。 1文字単位で設定できます。 範囲:-100 ~ 100 mm(-3.94 ~ 3.94 インチ) 標準: 0 mm	0.0 mm <u>Abcdef</u>	2.0 mm <u>Abcdef</u>
	回転	文字を回転します。 1文字単位で設定できます。 範囲: 0 ~ 359 度 標準: 0 度	0 度 Abcdef	20 度 Abcdef
文字列の設定	文字間	選択した文字列すべての文字間隔を設定します。 範囲:-100 ~ 100 mm(-3.94 ~ 3.94 インチ) 標準: 0 mm	0.0 mm Abcdef	2.0 mm A bcdef
	行間	選択した文字列すべての行間隔を文字の高さとの比率で設定します。 範囲: 0 ~ 1000% 標準: 0%	100% Abcdef ghijkl	150% Abcdef ghijkl

揃え方	文字列を左、中央、右に揃えます。	中央 A b c d e f g h i j k l	右 A b c d e f g h i j k l
縦書き / 横書き	縦書き / 横書きの設定をします。	横書き A B C	縦書き A B C

注意：縦書きでは一部の文字で完全に縦書きに対応していない文字があります。

参考：文字の設定の文字間と文字列の設定の文字間は、ともに文字の間隔を設定します。この2つの違いは、文字列の設定の文字間は、常に文字模様の全体に適用されるのに対し、文字の設定の文字間は、個々の文字に適用される点です。模様全体に文字の設定の文字間を適用すると、文字列の設定の文字間と全く同じように機能します。文字模様の個別書体選択についての詳細は、P.125の「文字模様で文字を選択する」を参照してください。



参照 P.172の「文字の配列」とP.174の「文字の変形」

■ 文字の配列

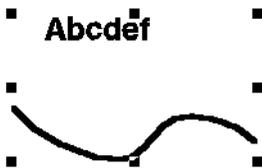
機能：パス（曲線、直線模様など）に沿って文字模様を配列します。

ショートカットキー： **Ctrl** + **T**

ツールバー：

操作

- 1 文字模様とパスを選択します。

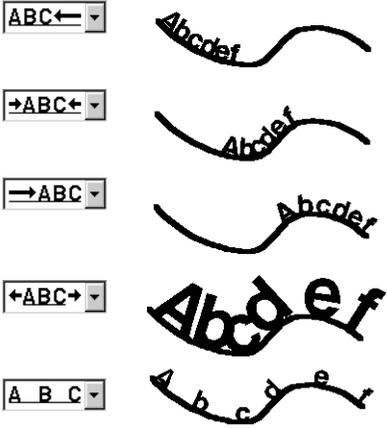
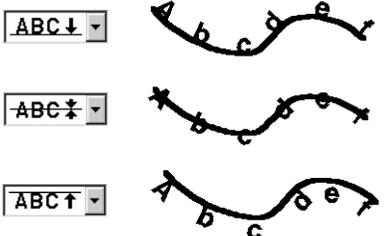
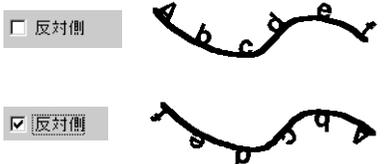


- 2 メニューバーの文字 **文字の配列** をクリックします。



- ◆ 横位置、縦位置、向きを矢印をクリックして選択します。
- ◆ 文字を逆にしたい場合は、反対側をチェックします。
- ◆ OKをクリックして、設定を確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

注意：文字の配列を行った場合、文字の変形は解除されます。1つのパスに対して配列できる文字模様は1つだけです。

横位置	線に沿うときの文字の分布を設定します。	 <p> <input type="text" value="ABC←"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="→ABC←"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="→ABC"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="←ABC→"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="A B C"/> <i>Abcdef</i> </p>
縦位置	文字と線との間隔を設定します。	 <p> <input type="text" value="ABC↓"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="ABC*"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="ABC↑"/> <i>Abcdef</i> </p>
向き	線に対する文字の傾きを設定します。	 <p> <input type="text" value="ABC"/> <i>Abcdef</i> <input type="text" value="ABC"/> <i>Abcdef</i> </p>
反対側	文字を反対側に沿わせます。	 <p> <input type="checkbox"/> 反対側 <i>Abcdef</i> <input checked="" type="checkbox"/> 反対側 <i>Abcdef</i> </p>



参照 P.174 の「文字配列の解除」

■ 文字配列の解除

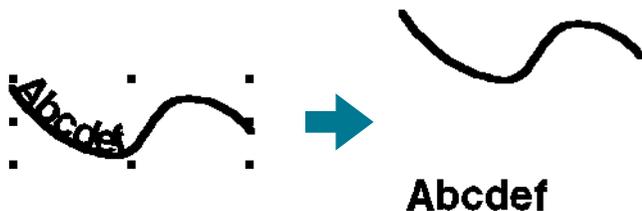
機能 : パスから文字模様を切り離します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Q**

ツールバー : 

操作

- ① パスに配列されている文字模様を選択します。
- ② メニューバーの文字 **文字配列の解除** をクリックします。



参照 P.172 の「文字の配列」

■ 文字の変形

機能 : 文字模様を変形します。

ショートカットキー : **F2**

ツールバー : 

操作

- ① 文字模様を選択します。
- ② メニューバーの文字 **文字の変形** をクリックします。

文字の変形 ダイアログが表示されます。



- ◆ 変形の種類を選んでそのボタンをクリックします。
- ◆ OK をクリックして、変形を適用します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

ABCDE  **ABCDE**

参考 : 変形の度合いも設定できます。P.140 の「変形の度合い」を参照してください。

注意 : TrueType フォントから変換した文字データには線縫いと面縫いの両方のデータが含まれていますので、この機能を使用すると、TrueType フォントの形状によって文字の線と面部にわずかな隙間が生じることがあります。

注意 : 文字の変形を行ったあとにその文字の配列を行うと文字の変形は解除されます。



参照 P.175 の「変形の解除」

■ 変形の解除

機能 : 変形した文字を元の形に戻します。

ショートカットキー : **(F3)**

ツールバー : 

操作

- ① 変形した文字を選択します。
- ② メニューバーの文字 **変形の解除** をクリックします。

ABCDE → ABCDE



P.174 の「文字の変形」

■ True Type フォントの設定

機能 : 刺しゅうデータに変換される TrueType フォントの属性 (スタイル等) を設定します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの文字 **True Type フォントの設定** をクリックします。
True Type フォントの設定ダイアログが表示されます。



TrueType フォントから変換した文字が選択されていると、選択された文字の属性が表示されます。

- ◆ **フォント名**は選択されている書体名を示します。
- ◆ **サンプルボックス**は、選択されているフォントのサンプルを示します。
- ◆ **スタイル**で、希望する字体を選択します。
- ◆ **書体の種類**で、希望する書体を選択します。
- ◆ OK をクリックすると、設定を確定し、ダイアログを閉じます。
これ以降入力した TrueType フォント文字は、設定された属性の内容で刺しゅうデータに変換されます。TrueType フォントから変換された文字が選択されていた場合は新たな属性設定の内容で刺しゅうデータに変換されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。設定を無効にし、ダイアログを閉じます。

文字入力について、詳しくは P.127 の「文字入力ツール」を参照してください。

注意 : **スタイル**と**書体の種類**の内容は、選択された TrueType フォントによって異なります。

注意 : 複数の TrueType フォントで作成されている文字列が選択されると、このダイアログは表示されません。更に、同じフォントでもスタイルか書体の種類が異なる文字列が選択されると、文字列の最初の文字の属性設定がダイアログに表示されます。どちらの場合も、1文字のみを選択している場合は、ダイアログは、その文字に設定されている属性を表示します。



P.127 の「文字入力ツール」、P.138 の「文字属性を設定する」

縫い方メニュー

各模様の縫い方などを設定します。

メニュー	機能	参照ページ
縫い方の設定	模様の線と面の縫い方を設定します。	P.176
縫い順の確認	模様の縫い順を確認できます。	P.182
ドーナツ縫いの設定	1つの模様が他の模様を完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一對の模様にドーナツ縫いの設定を行います。	P.183
ドーナツ縫いの解除	ドーナツ縫いの設定を解除します。	P.184
STB 機能 (Stitch to Block 機能)	取り込まれた刺しゅう模様をブロック (マニュアルパンチングデータ) に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小したときの縫製品質の維持ができるようになります。	P.184
取込み模様の糸色変更	取込み模様の糸色を変更します。	P.185
縫製範囲の設定	縫製範囲を設定します。	P.186
枠の最適化	デザインページに大型枠 (100 × 172 mm、172 × 100 mm、130 × 300 mm、または 300 × 130 mm) が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうか設定します。	P.187

縫い方の設定

機能 : 模様の線と面の縫い方を設定します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **W**

ツールバー : 

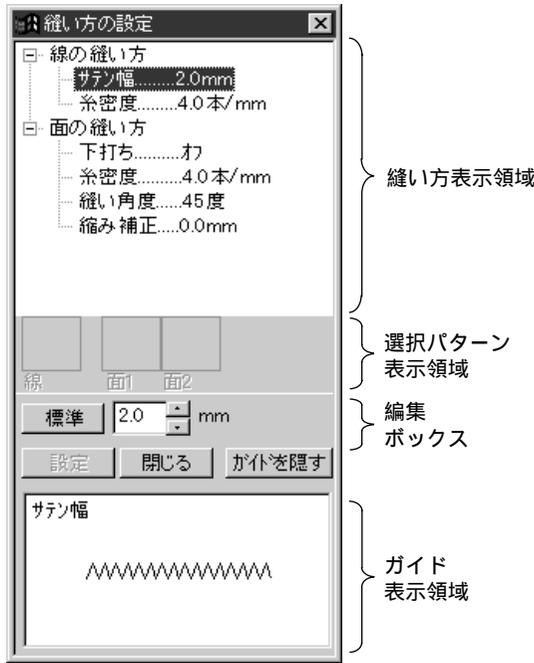
操作

- ① ツールボックスボタンでカーソルを描画ツールにするか、既存の刺しゅう模様を選択します。

② メニューバーの縫い方 縫い方の設定をクリックします。

縫い方の設定ダイアログが表示されます。

このダイアログの大きさはダイアログの端をドラッグすることで自由に変更できます。



- ◆ 縫い方表示領域で、設定したい項目を選択し、編集ボックスで設定を入力します。
- ◆ 入力の方法は、項目によって異なります。数値の場合は直接数値を入力するか、矢印をクリックして値を選択します。標準ボタンが編集ボックスに表示されている場合は、そのボタンをクリックすると、標準設定値が設定項目に入力されます。
- ◆ 設定をクリックして、設定を確定します。
- ◆ 終了するには、閉じるをクリックします。
- ◆ **ガイドを隠す**を押すと、ガイドが非表示になります。**ガイドを表示**を押すと、ガイドが再度表示されます。

- 縫い方表示領域 : 現在設定されている縫製属性が項目ごとに表示されます。
- 選択パターン表示領域 : プログラムタタミ縫いやモチーフ縫いが選択されているとき、そのパターンが表示されます。
- 編集ボックス : 縫い方表示領域で選択されている項目についての設定をします。
- ガイド表示領域 : ガイドを表示するように設定されているとき、編集ボックスで設定する内容のガイドが表示されます。

線の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い

- 線の縫い方
 - サテン幅
 - 糸密度

走り縫い

- 線の縫い方
 - 走りピッチ
 - 走り回数

マニュアルパンチング

- 線の縫い方
 - 走りピッチ

モチーフ縫い

- 線の縫い方
 - 走りピッチ
 - モチーフ
 - パターン
 - パターンのサイズ
 - 幅
 - 高さ
 - アレンジ 1
 - アレンジ 2

サテン幅	サテン幅を設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)
糸密度	1 mm (1 インチ) 当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ~ 7 本 / mm (25 ~ 178 本 / インチ) 標準：4 本 / mm (102 本 / インチ)

走りピッチ	輪郭線縫いのピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)
走り回数	輪郭として縫われる回数を設定します。 範囲：1 ~ 5 回 標準：1 回

モチーフ縫いのみ：

パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 パターンの選択をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい pmf ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンでダブルクリックするか、クリックして反転表示させてからOKをクリックしてパターンを選択します。	
パターンのサイズ	幅	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)	
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)	
アレンジ 1 (横配列)		パターンの横配列を設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。	標準  反転  交互 
アレンジ 2 (縦配列)		パターンの縦配列を設定します。 <input checked="" type="checkbox"/> のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。	標準  反転  交互 

面の縫い方

選択された縫い方による設定項目

サテン縫い

- 面の縫い方
 - └ 下打ち
 - └ 糸密度
 - └ 縫い角度
 - └ 縮み補正

タタミ縫い

- 面の縫い方
 - └ 下打ち
 - └ 糸密度
 - └ 縫い角度
 - └ 縮み補正
 - └ 縫いピッチ
 - └ 偏差

プログラムタタミ縫い

- 面の縫い方
 - └ 下打ち
 - └ 糸密度
 - └ 縫い角度
 - └ 縮み補正
 - └ プログラムタタミ
 - └ パターン
 - └ パターンのサイズ
 - └ 幅
 - └ 高さ
 - └ オフセット
 - └ オフセット方向
 - └ オフセット値
 - └ パターン角度

モチーフ縫い

- 面の縫い方
 - └ モチーフ
 - └ 使うパターン
 - └ パターン 1
 - └ パターン
 - └ パターンのサイズ
 - └ 幅
 - └ 高さ
 - └ アレンジ 1
 - └ アレンジ 2
 - └ パターン 2
 - └ パターン
 - └ パターンのサイズ
 - └ 幅
 - └ 高さ
 - └ アレンジ 1
 - └ アレンジ 2
 - └ オフセット量
 - └ パターン角度
 - └ 走りピッチ

文字のサテン縫い

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正

文字タタミ縫い

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正
 - 縫いピッチ
 - 偏差

文字のプログラムタタミ

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正
 - プログラムタタミ
 - パターン
 - パターンのサイズ
 - 幅
 - 高さ
 - オフセット
 - オフセット方向
 - オフセット値
 - パターン角度

マニュアルパンチング

サテン縫い

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正
 - ぼかし縫い
 - ぼかす側
 - 上側
 - パターン
 - 最大幅
 - 下側
 - パターン
 - 最大幅

マニュアルパンチング

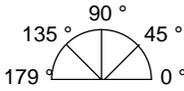
タタミ縫い

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正
 - 縫いピッチ
 - 偏差
 - ぼかし縫い
 - ぼかす側
 - 上側
 - パターン
 - 最大幅
 - 下側
 - パターン
 - 最大幅

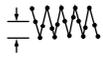
マニュアルパンチング・

プログラムタタミ縫い

- 面の縫い方
 - 糸密度
 - 縮み補正
 - プログラムタタミ
 - パターン
 - パターンのサイズ
 - 幅
 - 高さ
 - オフセット
 - オフセット方向
 - オフセット値
 - パターン角度
 - ぼかし縫い
 - ぼかす側
 - 上側
 - パターン
 - 最大幅
 - 下側
 - パターン
 - 最大幅

下打ち	下打ちをする／しないを切り替えます。広い面積を縫う場合、縫い縮みを防ぐために下打ちをしてください。 面の形状により、この設定が使用できない場合もあります。 オン：下打ちを行う オフ：下打ちを行わない
糸密度	1 mm (1 インチ) 当たりの糸数を設定します。 範囲：1 ~ 7 本 / mm (25 ~ 178 本 / インチ) 標準：4 本 / mm (102 本 / インチ)
縫い角度	縫いの方向を設定します。 範囲：0 ~ 179 度 標準：45 度 <div style="text-align: right;">  </div>
縮み補正	縫製面を縫い方向に伸長して、縫い縮みを補正します。 範囲：0 ~ 2 mm (0.00 ~ 0.08 インチ) 標準：0 mm (0.00 インチ)

タタミ縫いのみ：

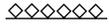
縫いピッチ	縫いピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：4 mm (0.16 インチ)	縫いピッチ 
偏差	縫い目のずらし具合を設定します。 範囲：0 ~ 99% 標準：30%	0%  30% 

プログラムタタミ縫いのみ：

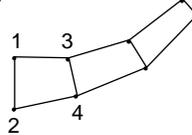
パターン		プログラムタタミのパターンを選択します。 パターンの選択をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい pas ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。
パターンのサイズ	幅	縫いパターン幅を設定します。 範囲：5 ~ 10 mm (0.20 ~ 0.39 インチ) 標準：7.5 mm (0.30 インチ)
	高さ	縫いパターン高さを設定します。 範囲：5 ~ 10 mm (0.20 ~ 0.39 インチ) 標準：7.5 mm (0.30 インチ)
オフセット	オフセット方向	パターン配列の横 / 縦のオフセット方向を設定します。
	オフセット値	パターン配列のオフセット (ずらし) 量を設定します。 範囲：0 ~ 99% 標準：0%
パターン角度		パターン配列の角度を変更します。 範囲：0 ~ 359 度 標準：0 度

モチーフ縫いのみ：

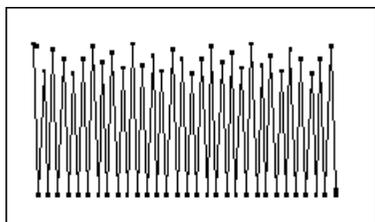
使うパターン		モチーフにパターン1とパターン2のいずれを使うのかを選択します。パターン1と2を選んだ場合は、各列で交互に縫製されるようにプログラムされます。 パターン1のみ：パターン1のみを使います。(標準) パターン2のみ：パターン2のみを使います。 パターン1と2：パターン1と2の両方を使います。
パターン		モチーフ縫いのパターンを選択します。 パターンの選択をクリックすると、一覧ダイアログが表示されます。開きたい pmf ファイルのあるフォルダを選択します。使用可能な縫いパターンの一覧から希望のパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。

パターンのサイズ	幅	パターンの幅（線に沿った方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)	
	高さ	パターンの高さ（線と垂直な方向）を設定します。 範囲：2 ~ 10 mm (0.08 ~ 0.39 インチ) 標準：5 mm (0.20 インチ)	
アレンジ 1（横配列）		パターンの横配列を設定します。 ☒のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。	標準  反転  交互 
アレンジ 2（縦配列）		パターンの縦配列を設定します。 ☒のようなパターンでは、右図のように線に沿って配列されます。	標準  反転  交互 
オフセット量		パターン配列の各列のオフセット（ずらし）量を設定します。 範囲：0 ~ 10 mm (0.00 ~ 0.39 インチ) 標準：0 mm (0.00 インチ)	
パターン角度		モチーフパターンの角度を設定します。 範囲：0 ~ 359 度 標準：0 度	
走りピッチ		走りピッチを設定します。 範囲：1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ) 標準：2 mm (0.08 インチ)	

ぼかし縫いのみ：

ぼかす側		ぼかし縫いを縫い方向に対してどちら側に適用するのかを設定します。 マニュアルパンチングツールでデータを作成すると、構成点 1-3 が上側、構成点 2-4 が下側になります。 上面：上側にぼかし縫いを行います。 下側：下側にぼかし縫いを行います。	
パターン		ぼかし縫いに使用するパターンを選択します。 パターンの選択ボタンを押すと、一覧ダイアログが開きます。使用可能なぼかし縫いパターンの一覧から希望するパターンをダブルクリックするか、クリックして反転表示させてから OK をクリックしてパターンを選択します。	
最大幅		ぼかし縫いの幅を設定します。 範囲：0.2 ~ 100 mm (0.01 ~ 3.94 インチ) 標準：3 mm (0.12 インチ)	

（ぼかし縫いパターンの例）

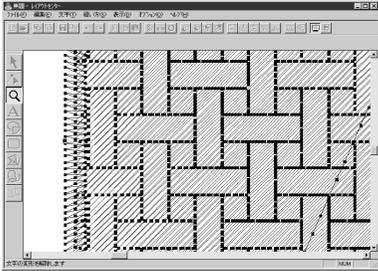


プログラムタタミ縫いについて

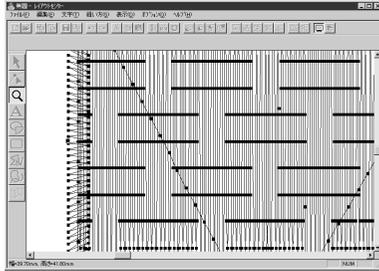
プログラムタタミ縫いの場合、縫い角度とパターン角度の設定によっては、パターンの効果が十分に現れない場合があります。これは、パターンのデータと縫い角度が交わる所に針落ちデータを作成するためです。（下図参照）

したがって、プログラムタタミ縫いを設定する場合は、必ずプレビュー機能を使って縫い角度、パターン角度が正しいか確認してください。

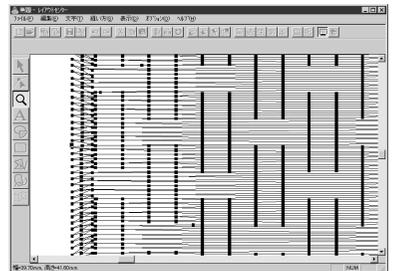
例 1 :
縫い角度：標準：45度



例 2 :
縫い角度：90度



例 3 :
縫い角度：0度



参照 P.189の「プレビュー」、P.211の「ステッチクリエーター」

縫い順の確認

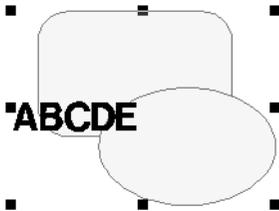
機能 : 模様 of the stitching order can be confirmed.

ショートカットキー : **F10**

ツールバー :

操作

- 1 組の模様を選択します。（何も選択しない場合は、すべての模様が確認できます。）



- ② メニューバーの縫い方 縫い順の確認をクリックします。

縫い順の確認ダイアログが表示されます。刺しゅう模様はグレーで表示されます。



- ◆ 最初に縫う模様を確認するには、 をクリックします。
- ◆ 最後に縫う模様を確認するには、 をクリックします。
- ◆ 次に縫う模様、または 1 つ前に縫う模様を確認するには、 または をクリックします。
 - 、、、または をクリックすると、対応する模様が色付きで表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**閉じる** をクリックします。

縫い順を変更したいときは、**編集 縫い順** で操作を行ってください。



P.168 の「縫い順」

■ ドーナツ縫いの設定

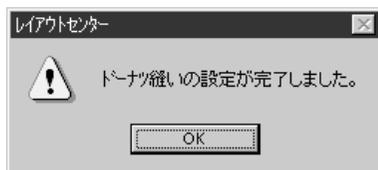
機能 : 1 つの模様が他の模様を完全に包含しているとき、同じ場所を二重に縫わないように、一対の模様にドーナツ縫いの設定を行います。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

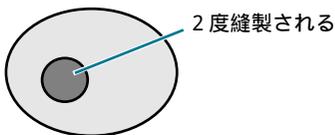
操作

- ① 一対の模様を選択します。この例では、まず 1 つの円をクリックし、**Shift** キーを押しながらもう一方の円をクリックするか、2 つの円を囲むようにドラッグして選択します。
- ② メニューバーの縫い方 **ドーナツ縫いの設定** をクリックします。メッセージが表示されます。

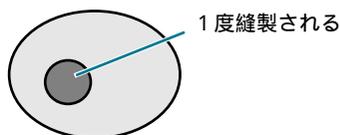


- ◆ OK をクリックしてダイアログを閉じます。

- ③ 一対の模様にドーナツ縫い設定が行われると、グループ化されます。そのため、1 つの模様を動かそうとすると、2 つの模様が一緒に移動します。模様を別々に移動するには、ドーナツ縫いを解除してください。

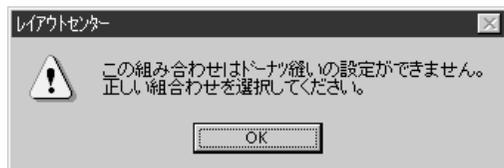


ドーナツ縫い設定が
されていない場合



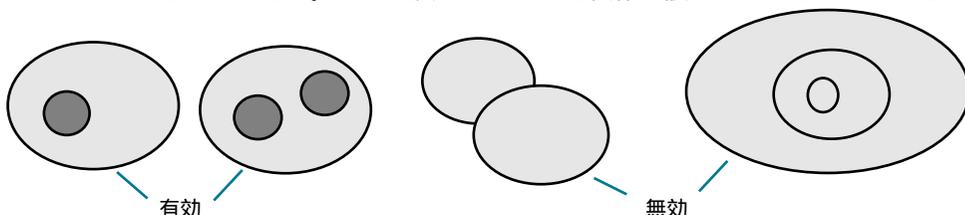
ドーナツ縫い設定が
されている場合

設定された一对の模様にはドーナツ縫いが設定できないときは、次のメッセージが表示されます。



◆ OK をクリックしてダイアログを閉じます。

ドーナツ縫いを設定するためには、1つの模様の内側に、もうひとつの模様が完全に含まれていなければなりません。また一度に三重にした模様には設定することはできません。



注意：ドーナツ縫いの設定の前後に、プレビュー機能を使うと、ドーナツ縫いの効果を確認できます。（P.189の「プレビュー」を参照）



参照 P.184の「ドーナツ縫いの解除」

■ ドーナツ縫いの解除

機能 : ドーナツ縫いの設定を解除します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① ドーナツ縫いが設定されている一对の模様を選択します。
- ② メニューバーの縫い方 **ドーナツ縫いの解除** をクリックします。
ドーナツ縫いの設定が解除されます。この操作の後は、2つの模様が別々に移動することができます。



参照 P.183の「ドーナツ縫いの設定」

■ STB 機能 (Stitch to Block 機能)

機能 : 取り込まれた刺しゅう模様をブロック (マニュアルパンチングデータ) に変換して、縫い方の設定や、拡大・縮小したときの縫製品質の維持ができるようになります。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

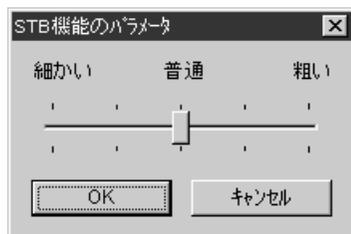
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① デザインページに取り込まれた刺しゅう模様データの中から、設定を行いたいものを選択します。

② メニューバーの縫い方 STB 機能をクリックします。

次のダイアログが表示されます。



- ◆ スライダをドラッグして感度を調整します。
 - 通常は**普通**に設定します。模様の複雑さによって必要な場合は、**粗い**または**細かい**を設定します。
- ◆ OKをクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：操作終了直後に、ブロックのデータはグループ化され、1個の刺しゅう模様になります。個別に編集が必要な場合は、グループ化の解除を行ってください。

注意：この機能を設定すると、一部の模様形状に影響が出る場合があります。必要に応じて、**ポイント編集ツール**を利用して修正してください。

③ この機能を設定した後に、縫い方バーが次のように表示されます。

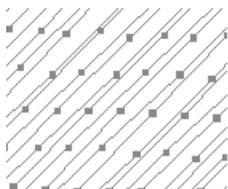


同一色のブロックを選択し、その設定を変更することができます。

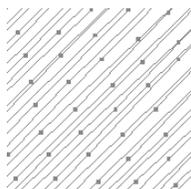
変更したいブロックを選択します。その色のすべてのブロックが選択されると、そのブロックの色と縫い方が縫い方バーに表示されます。

注意：縫い方の設定変更は、同一色のすべてのブロックに適用されます。

④ 選択カーソルで変換された模様を拡大または縮小すると、サイズが変更された後の模様の針数が変更されるので、元の縫製品質が維持できます。



STB 機能なし



STB 機能あり

参考：選択された各色のブロックは個別に移動または拡大・縮小することができます。変換された刺しゅう模様全体を一度に移動したいときは、必ず、その全体を選択するかグループ化してください。

注意：刺しゅうカードから読み込んだ刺しゅう模様の中には STB 機能が使えないものがあります。



参照

P.176の「縫い方の設定」、P.120の「刺しゅう模様を拡大・縮小する」、P.122の「ポイント編集ツール」

取込み模様の糸色変更

機能：取込み模様の糸色を変更します。

ショートカットキー：この機能に対応するショートカットキーはありません。

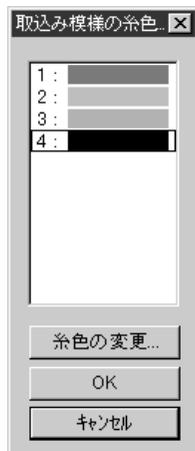
ツールバー：この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 取込み模様を選択します。

- ② メニューバーの縫い方 取込み模様の糸色変更をクリックします。

取込み模様の糸色変更ダイアログが表示され、選択された模様に表示されている糸色が、一覧表で表示されます。



- ◆ 変更したい色をクリックします。
- ◆ 糸色の変更ボタンをクリックします。
- ◆ 表示されている糸色ダイアログから色を選択し、OK をクリックします。
取込み模様の糸色変更ダイアログに選択した色が表示され、その色で模様が表示されます。
この操作を、変更したい色ごとに繰り返します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。



P.143 の「糸色」

縫製範囲の設定

機能 : 縫製範囲を設定します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの縫い方 縫製範囲の設定をクリックします。

縫製範囲の設定ダイアログが表示されます。

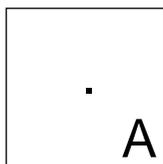
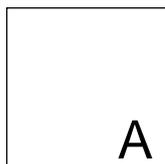


- ◆ デザインページの外形または縫製データの外形を選択します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、キャンセルをクリックします。

デザインページの外形では、縫製開始時に、針の位置が作業中のデザインページの中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。

参考 : デザインページの外形を選択すると、刺しゅうデータのサイズがデザインページの大きさになります。

縫製データの外形では、縫製開始時に、針の位置が刺しゅう模様の中心になるように、刺しゅうデータが作成されます。



デザインページ (作業中画面)

縫製範囲 = デザインページの外形

縫製範囲 = 縫製データの外形



P.195 の「デザインページの設定」

■ 枠の最適化

機能 : デザインページに大型枠 (100 × 172 mm、172 × 100 mm、130 × 300 mm、または 300 × 130 mm) が選択されている場合、そのデータの縫い順を最適化するかどうかを設定します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの縫い方 枠の最適化をクリックします。

枠の最適化のオン/オフを切り替えることができます。枠の最適化をオンに設定すると、メニューにチェックマークが付きます。オフに設定するには、再度、メニューバーの縫い方 枠の最適化をクリックします。(オフに設定するとチェックマークが消えます)。

枠の最適化がオンの場合 :

設定した縫い順を、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数が最も少なくなるように縫い順/枠の位置順を最適化したデータを作成します。

右の例では、縫い順は次のようになります。

a (模様1) b (模様2) a (模様3、模様5) c (模様4、模様6)

枠の最適化がオフの場合 :

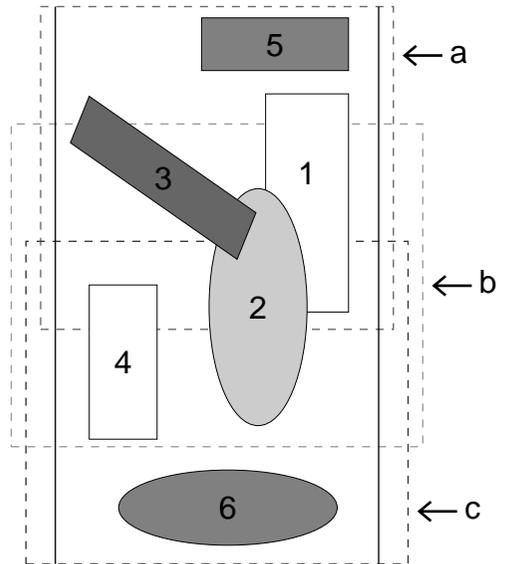
設定した縫い順通りに、各模様を縫います。

最適化されていないので、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数は、模様によってはオンの場合より多くなる場合があります。

右の例では、縫い順は次のようになります。

a (模様1) b (模様2) a (模様3)
c (模様4) a (模様5) c (模様6)

参考 : 模様によっては、枠の最適化を行うと、刺しゅう枠の取り付け位置の付け替え回数を減らすことができます。その結果、頻繁な付け替えによる布の縫い弛みや模様の縫いズレ等を最小限に抑えることができます。



(1 ~ 6 の数字は縫い順を示しています。)

表示メニュー

画面の表示方法を変更します。

グリッド	グリッドの内容を設定し、グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。	P.188	
プレビュー	刺しゅう模様の縫製イメージを表示します。	P.189	
画面の再描画	画面を更新します。	P.189	
リアルプレビュー	刺しゅう模様の縫製後のイメージをリアルなイメージで表示します。	P.189	
リアルプレビューの設定	リアルプレビューの設定を行います。	P.190	
下絵	表示	下絵になる画像ファイルの、表示 / 薄く表示 / 表示しないを切り替えます。	P.190
	薄く表示		
	表示しない		
ツールバー	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.191	
ステータスバー	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.191	

■ グリッド

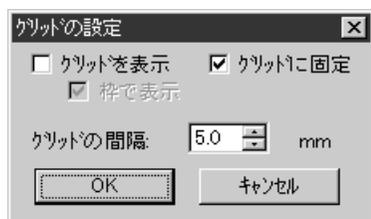
機能 : グリッドの内容を設定し、グリッドの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの表示 **グリッド** をクリックします。
グリッドの設定 ダイアログが表示されます。



- ◆ カーソルをグリッドに固定したいときや、同じ大きさの模様を作成したり、等間隔に模様を並べたいときは、**グリッドに固定** をチェックします。
 - ・ 固定機能はグリッドの表示 / 非表示に関わらず有効です。
- ◆ 作業中のデザインページにグリッドを表示したいときは、**グリッドを表示** をチェックします。
- ◆ **グリッドの間隔** の数値を入力するか、矢印をクリックして選択します。
グリッド間隔の範囲 : 1 ~ 10 mm (0.04 ~ 0.39 インチ)
- ◆ **枠で表示** で、グリッドの縦線と横線の表示 / 非表示を切り替えます。
 - ・ チェックすると、線が表示されます。
 - ・ チェックを外すと、グリッドの交点のみが表示されます。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。



参照 P.196 の「単位の設定」

■ プレビュー

機能 : 刺しゅう模様の縫製イメージを表示します。

ショートカットキー : (F9)

ツールバー : 

操作

- ① **メニューバーの表示 プレビュー** をクリックします。
作成した刺しゅう模様の縫製イメージが表示されます。
プレビュー中は、その他の操作はできません。
- ② 通常の作業画面に戻るには、再度**表示 プレビュー** をクリックするか、(Esc) キーを押します。

■ 画面の再描画

機能 : 画面を更新します。

ショートカットキー : (Ctrl) + (R)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示 画面の再描画** をクリックします。
画面が更新されていないと思われるとき、この機能を使用します。

■ リアルプレビュー

機能 : 刺しゅう模様の縫製後のイメージをリアルなイメージで表示します。

ショートカットキー : (Shift) + (F9)

ツールバー : 

操作

- ① **メニューバーの表示 リアルプレビュー** をクリックします。
リアルプレビューの設定 ダイアログの設定内容でデザインページの刺しゅう模様がリアルに表示されます。
- ② 通常の作業画面に戻るには、再度**表示 リアルプレビュー** をクリックするか、(Esc) キーを押します。
注意 : モニタの設定が 256 色以下の場合、正確な色を表示できません。16 ビットハイカラー (65536 色) 以上の設定で使用してください。



参照 P.190 の「リアルプレビューの設定」

リアルプレビューの設定

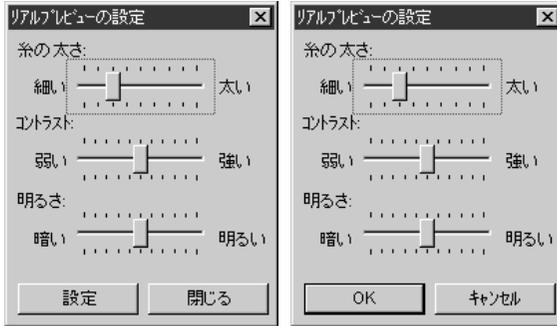
機能 : リアルプレビューの設定を行います。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** **リアルプレビューの設定**をクリックします。
次のダイアログが表示されます。



- ◆ **線の太さ**で、線の太さを設定します。
- ◆ **コントラスト**で、コントラストを設定します。
- ◆ **明るさ**で、明るさを設定します。
- ◆ リアルプレビューが表示されているときは、**設定**をクリックし、新たな設定でリアルプレビューを表示させます。リアルプレビューが表示されていないときは、**OK** をクリックして、次回以降の表示のためにその設定を保存します。
- ◆ **閉じる**または**キャンセル**をクリックして、ダイアログを閉じます。



参照 P.189 の「リアルプレビュー」

下絵

機能 : 下絵になる画像ファイルの、表示 / 薄く表示 / 表示しないを切り替えます。

ショートカットキー : (F6)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** **下絵**をクリックし、次に設定を選択します。
 - ◆ **表示**をクリックして、オリジナルのイメージを表示させます。
 - ◆ **薄く表示**をクリックして、イメージを薄く表示させます。
 - ◆ **表示しない**をクリックして、イメージを隠します。

この機能は、下絵が開いていないと使用できません。

ショートカットキー (F6) を押すと、下絵の**表示** / **薄く表示** / **表示しない**が切り替わります。

参考 : 本機能は、マニュアルパンチングを行うときに便利です。



参照 P.152 の「下絵を開く」

■ ツールバー

機能 : ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** ツールバーをクリックします。
ツールバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.191 の「ステータスバー」

■ ステータスバー

機能 : ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** ステータスバーをクリックします。
ステータスバーの表示と非表示が、交互に切り替わります。



P.191 の「ツールバー」

オプションメニュー

他アプリケーションを起動したり、デザインページのサイズや単位等の設定ができます。

メニュー	機能	参照ページ
デザインセンターの起動	デザインセンターを起動し、前面に表示します。	P.192
ステッチクリエイターの起動	ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。	P.192
ファイルユーティリティーの起動	ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。	P.193
デザインのプロパティ	作成している刺しゅう模様の情報を表示します。	P.193
デザインページの設定	デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。	P.195
糸色ダイアログの設定	糸色ダイアログの色の並び順を切り替えます。	P.195
単位の設定	長さの単位 (mm または インチ) を選択します。	P.196

■ デザインセンターの起動

機能 : デザインセンターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : **F5**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **デザインセンターの起動** をクリックします。
デザインセンターを起動し、前面に表示します。
デザインセンターで刺しゅう模様を作成した後、刺しゅう模様をレイアウトセンターのデザインページに取り込むことができます。



参照 P.151 の「データ取込み - デザインセンターから」

■ ステッチクリエイターの起動

機能 : ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **ステッチクリエイターの起動** をクリックします。
ステッチクリエイターを起動し、前面に表示します。

■ ファイルユーティリティーの起動

機能 : ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **ファイルユーティリティーの起動**をクリックします。ファイルユーティリティーを起動し、前面に表示します。

■ デザインのプロパティー

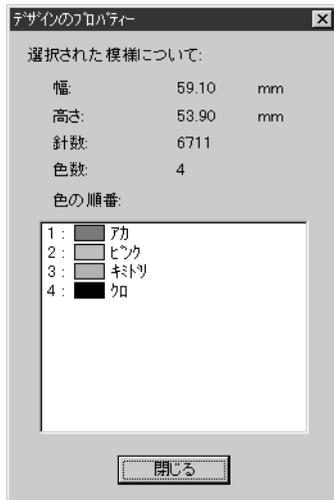
機能 : 作成している刺しゅう模様の情報を表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **デザインのプロパティー**をクリックします。**デザインのプロパティー**ダイアログが表示されます。



◆ **閉じる**をクリックして、画面を閉じます。

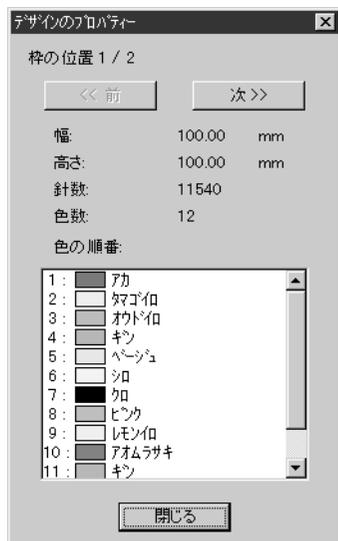
このダイアログでは、選択されている刺しゅう模様の幅、高さ、針数、色数、色の順番が確認できます。

作成した刺しゅう模様を構成する個々の刺しゅう模様を選択し、そのプロパティーを確認できます。

刺しゅう模様が選択されていない場合は、デザインページ全体の情報が確認できます。

デザインページに大型枠 (130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、または 172 × 100 mm) が選択されている場合：

刺しゅう模様は何も選択されていないと、次のようなダイアログが表示されます。



- ◆ ダイアログの最上行は、現在表示されているデザイン (部分デザインシート) の枠の位置番号と、部分デザインシートの総取付け位置数を表示しています。
 - このとき、デザインページの表示では、ダイアログに表示されている枠の位置番号に対応するデザインのみが表示され、また、対応する刺しゅう枠の取り付け位置の外形は赤線で囲まれて表示されます。
- ◆ 前ボタンと次ボタンをクリックして、表示内容を現在表示されている取り付け位置から対応するデザインに切り替えます。

このダイアログが表示されると同時に、デザインページは自動的にページ全体表示に切り替わります。

注意：最初の枠の位置番号に対応する部分デザインシート、または、最後の枠の位置番号に対応する部分デザインシートが表示されているときは、前ボタンまたは次ボタンはいずれも、クリックできません。

注意：どの部分デザインシートにも入らないデータがあるとき (部分デザインシートのサイズより大きい場合、デザインがどの部分デザインシートにも内包されていない位置にある場合) には、このダイアログの代わりに、「データのサイズが位置を変更してください」というエラーメッセージが表示されます。

そのエラーの表示後、エラーに該当する刺しゅう模様が選択状態になりますので、刺しゅう模様のサイズまたはその位置を調整してください (エラーに該当する刺しゅう模様が複数ある場合は、縫い順が一番早い刺しゅう模様が選択状態になります)。

■ デザインページの設定

機能 : デザインページのサイズ、色、背景色を変更します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのオプション **デザインページの設定** をクリックします。
デザインページの設定 ダイアログが表示されます。



- ◆ サイズセクタをクリックして、サイズを選択します。デザインページセクタや背景セクタをクリックして、デザインページの色または背景色を選択します。
- プレビュー領域で設定内容が確認できます。ミシンの絵が、ミシン上のデザインページ(枠)の方向を示します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

注意 : 大型刺しゅう枠サイズ (130 × 300 mm、300 × 130 mm、100 × 172 mm、172 × 100 mm) は、数字の前に * の表示が付いています。3ヶ所でミシンに取り付ける特殊な刺しゅう枠を使用しますので、ご使用のミシン、刺しゅう枠を確認してから選択してください。

注意 : ご使用のミシンの最大刺しゅう縫製範囲を越えるサイズを選択しないでください。



参照 P.196 の「単位の設定」

■ 糸色ダイアログの設定

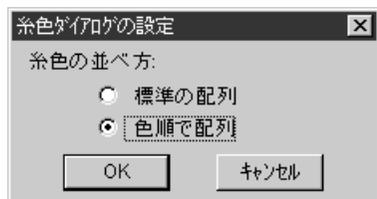
機能 : 糸色ダイアログの色の並び順を切り替えます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

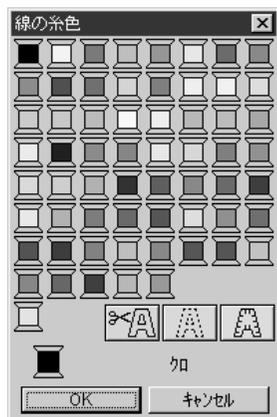
- ① メニューバーのオプション **糸色ダイアログの設定** をクリックします。
糸色ダイアログの設定 ダイアログが表示されます。



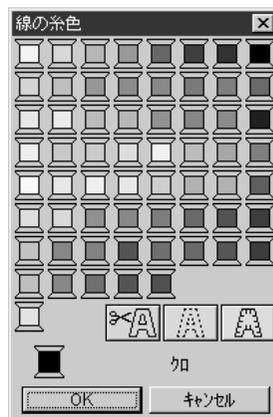
- ◆ **標準の配列** または、**色順で配列** を選択します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。

標準の配列：ミシンで標準に使用している配列で表示します。

色順で配列：色相をもとに並べた配列で表示します。



(標準の配列)



(色順で配列)



P.143の「糸色」

■ 単位の設定

機能 : 長さの単位 (mm または インチ) を選択します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

- ① メニューバーのオプション **単位の設定** をクリックします。

単位の設定 ダイアログが表示されます。



- ◆ 単位 (mm または **インチ**) を選択します。
- ◆ OK をクリックして、確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル** をクリックします。



P.188の「グリッド」、P.195の「デザインページの設定」

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.197
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方を説明します。	P.197
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.197
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.198

■ 目次

機能 : このアプリケーションのヘルプを表示します。

ショートカットキー : (F1)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **目次** をクリックします。
ヘルプの目次が表示されます。

■ ヘルプの使い方

機能 : ヘルプの使い方を説明します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **ヘルプの使い方** をクリックします。
ヘルプの使い方についての Windows の標準的な説明が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機能 : 当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーのヘルプ **刺しゅう PRO WEB ページ** をクリックします。
- ② インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意 : インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機能 : バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

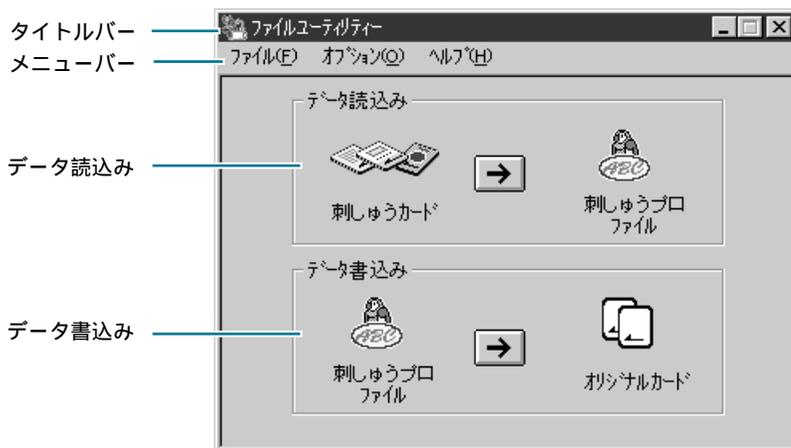
- ① メニューバーのヘルプ **バージョン情報**をクリックします。
レイアウトセンターについてダイアログが表示されます。
- ② OK をクリックして、ダイアログを閉じます。

ファイルユーティリティー

ファイルユーティリティーには、次の2つの機能があります：

- ◆ **データ読み**：刺しゅうデータをオリジナルカードや別売の刺しゅうカードから、ご使用のハードディスク等に転送します。
- ◆ **データ書き込み**：レイアウトセンターで作成した刺しゅうデータを、オリジナルカードに書き込みます。

画面



メニューバー	各機能を実行します。
データ読み	矢印ボタンをクリックすると、データ読み処理を開始します。
データ書き込み	矢印ボタンをクリックすると、データ書き込み処理を開始します。

操作

刺しゅうカードからご使用のパソコンのハードディスク等に刺しゅうデータを読み込む手順は以下のとおりです。

- ① データ読み込み領域内の矢印ボタンをクリックします。
データ読み込みダイアログが表示されます。



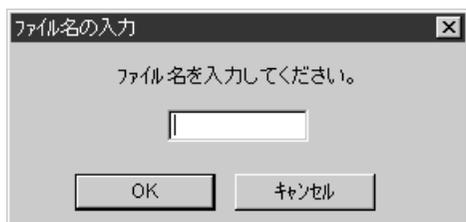
- ◆ 現在のフォルダとそのフォルダにある pec ファイルが表示されます。
- ◆ フォルダを変更するには、**参照**をクリックします。
- ◆ 現在のフォルダにデータを読み込むには、**読み込み**をクリックします。
- ◆ ダイアログを画面から消すには、**閉じる**をクリックします。

- ② **参照**をクリックすると、**フォルダ設定**ダイアログが表示されます。



- ◆ 保存するドライブとフォルダを選択します。必要に応じて、新しいフォルダ名を入力します。
- ◆ **データ読み込み**ダイアログに戻るには、**OK** をクリックします。新規のフォルダを作成したときは、「新しく作成しますか」というメッセージが表示されますのでOKをクリックします。
- ◆ フォルダを変更しないで**データ読み込み**ダイアログに戻るには、**キャンセル**をクリックします。

- ③ **データ読み込み**ダイアログの**読み込み**をクリックすると、ファイル名を入力するよう指示があります。
最終的なファイル名は、ここに入力した文字と、それに続く3桁の数字で作られます。ファイル名の拡張子 .pec は自動的に追加されます。



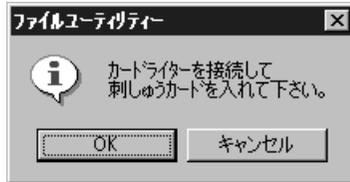
- ◆ ファイル名を入力します。
- ◆ **OK** をクリックして、確定します。
- ◆ **データ読み込み**ダイアログに戻るには、**キャンセル**をクリックします。

- ④ 何も入力しないで OK をクリックすると、次のメッセージが表示されます。



- ◆ OK をクリックして、前のダイアログに戻ります。

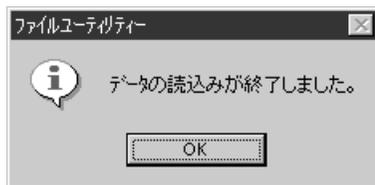
- ⑤ 有効なファイル名を入力し、**ファイル名**の入力ダイアログの OK をクリックすると、次のダイアログが表示されます。



- ◆ カードライターが接続されていること、その電源が入っていること、刺しゅうカードが挿入されていることを確認します。
- ◆ OK をクリックすると、読み込みを開始します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

注意：カードライターを接続するときは、ご使用のコンピュータの電源をいったんオフにしてください。

- ⑥ カードライターの準備ができ、問題が検出されなければ、刺しゅうカードから、指定されたフォルダへのデータの読み込みを開始します。読み込んでいる間、転送中を示すメッセージが表示されます。転送が完了するまでお待ちください。
- ⑦ 転送が完了すると、**読み込み完了**メッセージが表示されます。



- ◆ OK をクリックして、メッセージを消します。

- ⑧ 再び**データ読み込み**ダイアログが表示され、新しいファイルが表示されます。

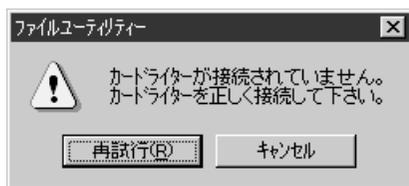


- ◆ **ファイル**ボックスに新しいファイルが表示されていることを確認します。
- ◆ **閉じる**をクリックして画面からダイアログを消します。

エラーメッセージ

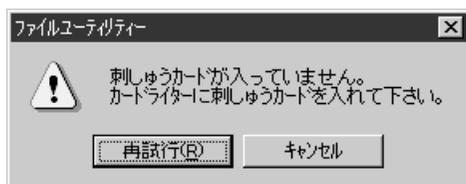
アプリケーションは、データの転送前や転送中に発生する問題を検出することができます。予想されるエラーメッセージを以下に示します。

- ① カードライターが正しく接続されていない場合、次のメッセージが表示されます。



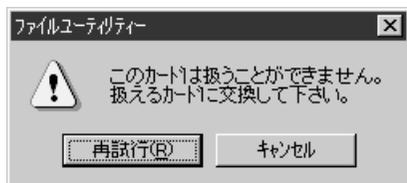
- ◆ カードライターとコンピュータが正しく接続されているか、カードライターに電源が入っているかを確認します。
- ◆ 読取りを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② 刺しゅうカードがカードライターに挿入されていない場合、次のメッセージが表示されません。



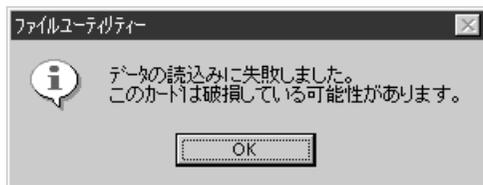
- ◆ 刺しゅうカードをカードライターに挿入します。
- ◆ 読取りを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ③ 正しくない刺しゅうカードや不具合のあるカードが挿入されている場合、次のメッセージが表示されます。



- ◆ カードライターに正しい刺しゅうカードを挿入します。
- ◆ 読取りを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ④ 読み込み開始後に不具合が検出された場合、あるいは、読み込み中に刺しゅうカードが抜かれた場合は、読み込みは停止し、次のメッセージが表示されます。

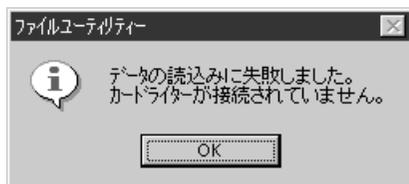


- ◆ OKをクリックしてメッセージを消去します。

注意：カードライターの赤色の表示灯が点灯しているときは、絶対に刺しゅうカードを抜かないでください。抜いてしまったときは、初めから操作をやり直してください。

刺しゅうカードを抜いていないのに、上記のメッセージが表示される場合は、刺しゅうカード自体の不具合か、刺しゅうカードが正しく挿入されていないことが考えられます。刺しゅうカードを正しく挿入しなおして、再度、読込みを行ってください。それでも同じメッセージが表示される場合は、刺しゅうカードの不具合です。別の刺しゅうカードで試してください。

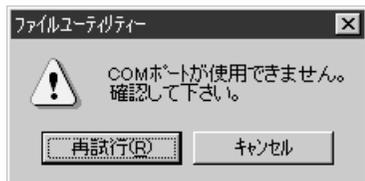
- ⑤ 読み込み中に、カードライターとコンピューター間のデータケーブルや電源アダプタに断線が生じると、読み込みは停止し、次のメッセージが表示されます。



- ◆ OK をクリックしてメッセージを消します。

注意：すべての接続を確認し、必要に応じて、接続し直して操作を初めからやり直します。接続が正常であれば、ケーブルの不具合が考えられます。販売店にご相談ください。

- ⑥ すべての COM ポートが他の周辺機器で使用中の場合、次のメッセージが表示されます。



- ◆ 読み取りを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ **キャンセル**をクリックして、メッセージを消去します。

COM ポートが使用可能であることを確認し、再度お試しください。
(P.208 の「接続ポートの設定」を参照)

データ書込み

操作

レイアウトセンターで作成・編集した刺しゅうプロファイルをオリジナルカードに書き込む手順は以下のとおりです。

- ① カードライターにオリジナルカードを挿入し、**データ書込み**領域内の矢印ボタンをクリックします。
アプリケーションは、まず、カードライターや挿入されたオリジナルカードに問題が無いかを確認します。問題が検出されなければ、次のような**データ書込み**ダイアログが表示されます。



- カードへ転送するファイルを選択すると、そのファイル名が右側の選択ファイルボックスに移動します。ただし、カードの空き領域が不足していると、ファイルは選択されず、次のメッセージが表示されます。



全て選択をクリックしてカードに十分な空きがないときも、同じメッセージが表示されます。OKをクリックしてメッセージを消去し、別のファイルを選択し直してください。

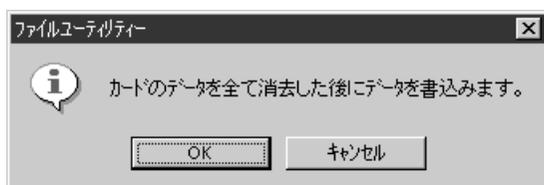
- ◆ 現在のフォルダとそのフォルダにある *.pes ファイルが表示されます。
- ◆ 左のファイルボックスのファイル名をクリックし、**選択**をクリックします。これを繰り返すと複数のファイルが選択できます。
- ◆ **全て選択**をクリックすると、フォルダ内のすべてのファイルが選択されます。
- ◆ ファイルの選択を解除するには、右のファイルボックスでそのファイル名をクリックし、次に**取消し**をクリックします。
- ◆ ファイル選択のすべてを解除するには、右の選択ファイルの**全て取消し**をクリックします。
- ◆ ファイル名をクリックし、次に**データ確認**をクリックすると、その刺しゅうのプレビューを確認することができます。OKをクリックすると、プレビューが閉じます。
- ◆ フォルダを変更するには、**参照**をクリックします。
- ◆ **書込み**をクリックすると、選択されたファイルをカードに書き込みます。
- ◆ ダイアログを画面から消去するには、**閉じる**をクリックします、

② 参照をクリックすると、フォルダ設定ダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブとフォルダを選択します。
- ◆ 新しいフォルダを確認し、OKをクリックすると、**データ書込み**ダイアログに戻ります。
- ◆ フォルダを変更せずに、**データ書込み**ダイアログに戻るには、**キャンセル**をクリックします。

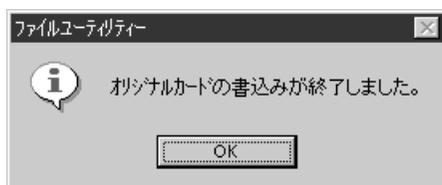
③ データ書込みダイアログの**書込み**をクリックすると、オリジナルカード内の既存データを全て消去することを確認してきます。



- ◆ 書き込まれているデータをすべてオリジナルカードから消去し、選択されたファイルを書込む場合、OKをクリックします。
- ◆ オリジナルカードのデータを削除したくないときは、**キャンセル**をクリックし、終了します。

④ 転送中を示すメッセージが表示されます。書込みが完了するまでお待ちください。

⑤ 転送が完了すると、**書込み終了**ダイアログが表示されます。



- ◆ OKをクリックし、メッセージを消去します。

⑥ データ書込みダイアログが表示されます。

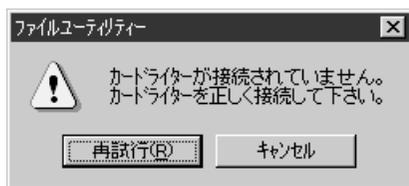


- ◆ ダイアログを閉じる場合は、**閉じる**をクリックします。他に書き込むオリジナルカードがある場合は操作を続けてください。

エラーメッセージ

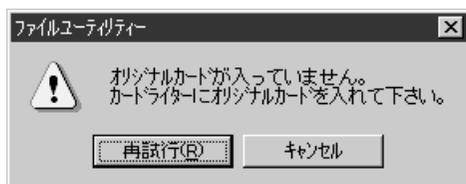
アプリケーションは、データの転送前や転送中に発生する問題を検出することができます。表示が予想されるエラーメッセージを、以下に示します。

- ① カードライターが正しく接続されていない場合、次のメッセージが表示されます。



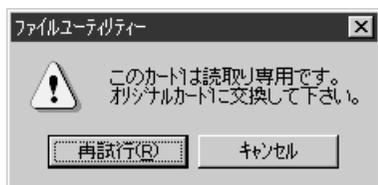
- ◆ カードライターとコンピュータが正しく接続されているか、カードライターに電源が入っているかを確認します。
- ◆ 書き込みを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

- ② カードライターにオリジナルカードが挿入されていない場合、次のメッセージが表示されます。



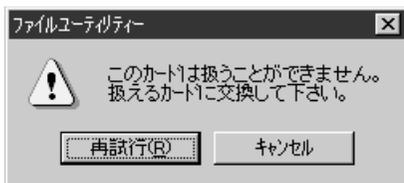
- ◆ オリジナルカードをカードライターに挿入します。
- ◆ 書き込みを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

- ③ 書き込み禁止刺しゅうカードが挿入されている場合、次のメッセージが表示されます。



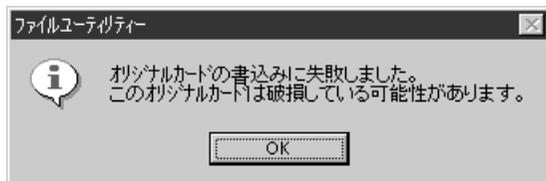
- ◆ オリジナルカードをカードライターに挿入します。
- ◆ 書き込みを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

- ④ 正しくないカードや不具合のあるオリジナルカードが挿入されている場合、次のメッセージが表示されます。



- ◆ オリジナルカードをカードライターに挿入します。
- ◆ 書き込みを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

- ⑤ 書き込みが開始された後に不具合が検出された場合や、書き込み実行中にオリジナルカードが抜かれた場合は、書き込みは停止し、次のメッセージが表示されます。

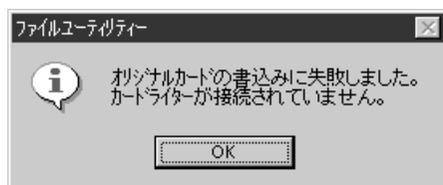


- ◆ OK をクリックしてメッセージを消します。

注意：カードライターの赤色の表示灯が点灯しているときは、絶対に刺しゅうカードを抜かないでください。抜いてしまったときは初めから操作をやり直してください。

オリジナルカードが抜けていないのに、上記のメッセージが表示される場合、オリジナルカード自体の不具合か、オリジナルカードが正しく挿入されていないことが考えられます。オリジナルカードを正しく挿入し、再度、書込みを行ってください。それでも同じメッセージが表示される場合は、オリジナルカードの不具合です。別のオリジナルカードで試してください。

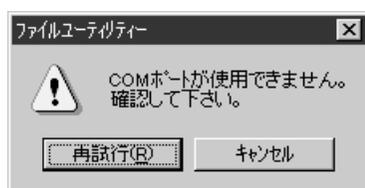
- ⑥ 読み込み中に、カードライターとパソコン間のデータケーブルや電源アダプタに断線が生じると、書込みは停止し、次のメッセージが表示されます。



- ◆ OKをクリックし、メッセージを消去します。

注意：すべての接続を確認し、必要に応じて接続し直して操作を初めからやり直します。接続が正常であれば、ケーブルの不具合が考えられます。販売店にご相談ください。

- ⑦ すべての COM ポートが他の周辺機器で使用中の場合は、次のメッセージが表示されます。



- ◆ 書き込みを開始するには、**再試行**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックしてください。

COM ポートが使用可能であることを確認し、再度お試しください。
(P.208 の「接続ポートの設定」を参照)

その他のエラーメッセージ

ファイル：<ファイル名>にはカードに書込むデータがありません。

(原因) 縫製データの無いファイルが選択された。

(処置) 縫製データのある別のファイルを選択します。レイアウトセンターの項を参照してください。

このファイルバージョンは読めません

(原因) 選択された pes ファイルが無効なデータまたはバージョンで保存されている。

(処置) 別のファイルを選択します。

選択されたファイルは新しいカードライターが必要です。

販売店にご相談ください。

(原因) 130 × 180mm を超えるデザインを旧型のカードライター (バージョン A) を使用してカードに書き込もうとした。

(処置) 130 × 180mm を超えるデザインの書込みは、新しいカードライター (バージョン B) が必要です。最寄りの販売店にお問い合わせください。

(P.208 の「カードライターのバージョン」を参照)

メニューバーの使い方

ファイルメニュー

本アプリケーションのファイルメニューは、終了するときだけ使用します。

■ 終了

機能 : アプリケーションを終了します。

ショートカットキー : **Alt** + **F4**

操作

- ① メニューバーの**ファイル 終了**をクリックします。
アプリケーションが終了します。

オプションメニュー

接続ポートの設定と、接続されているカードライターのバージョンの確認に使用します。

■ 接続ポートの設定

機能 : カードライターの接続ポート（シリアルポート / COM ポート）の設定ができます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

操作

- ① メニューバーの**オプション 接続ポートの設定**をクリックします。
接続ポートの設定ダイアログが表示されます。
選択可能な COM ポート番号が表示されます。



- ◆ 標準設定の**自動**を選択すると、カードライターを接続している COM ポートが自動的に認識されます。
- ◆ COM 1 ~ 4 を選択すると、データは選択された COM ポートに転送されます。ご使用のカードライターが、どのポートに接続されているかを確認してから適切な COM ポートを選択します。
- ◆ OK をクリックして確定します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

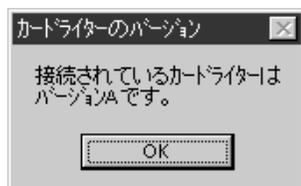
■ カードライターのバージョン

機能 : 接続されているカードライターのバージョンを確認します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

操 作

- ① メニューバーの**オプション** **カードライター**のバージョンをクリックします。バージョン情報が次のように表示されます。



カードライターが接続されていないと、本機能は使用できません。必ずカードライターを接続してから、この機能を選択してください。

カードライターのバージョンによる機能制限

機能		I	II
カードライターのバージョン	A	不可	不可
	B	可能	可能

- I. デザインページのサイズが 160 × 260 mm の模様データをオリジナルカードへ書き込む機能とそれをカードから読み込む機能
- II. 新オリジナルカードへ模様データを書き込む機能

注意：カードライターの機能には、そのバージョンによって制限があります。

刺しゅう PRO Ver.4 では、カードライターはバージョン B、オリジナルカードは新タイプが同梱されています。

(刺しゅう PRO Ver.1 では、カードライターはバージョン A、オリジナルカードは旧タイプです。)

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機 能	参照ページ
目次	本アプリケーションのヘルプを表示します。	P.209
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方を説明します。	P.210
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.210
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.210

■ 目次

機 能 : 本アプリケーションのヘルプを表示します。

ショートカットキー : (F1)

操 作

- ① メニューバーの**ヘルプ** **目次**をクリックします。ヘルプの目次が表示されます。

■ ヘルプの使い方

機能 : ヘルプの使い方を説明します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

操作

- ① メニューバーの**ヘルプ ヘルプの使い方**をクリックします。
ヘルプの使い方についての Windows 標準的な説明が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機能 : 当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

操作

- ① メニューバーの**ヘルプ 刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。
- ② インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。

注意 : インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機能 : バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

操作

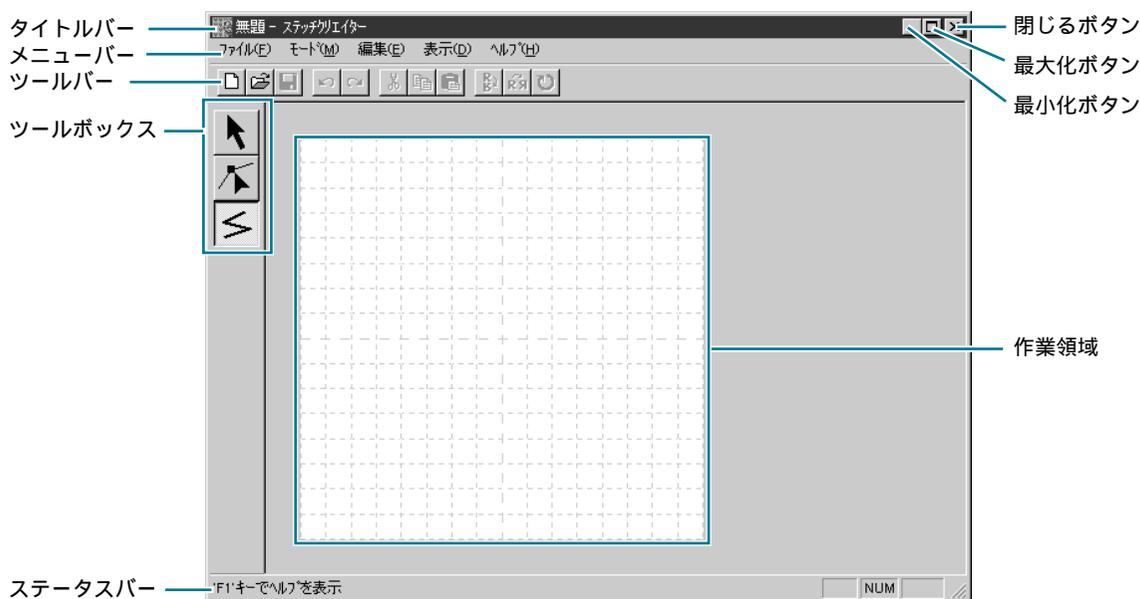
- ① メニューバーの**ヘルプ バージョン情報**をクリックします。
- ② **ファイルユーティリティ**についてダイアログが表示されます。
OK をクリックしてダイアログを閉じます。

ステッチクリエイター

本アプリケーションでは、デザインセンターとレイアウトセンターでの、プログラムタタミ縫い、モチーフ縫いに用いるパターンを作成することができます。それぞれのパターンは、モードを切り替えてパターンを作成していきます。

それらの縫い方は、線あるいは面をタイル状にパターンを並べるようにデータを作成しますので、より装飾的な刺しゅう模様、オリジナルな刺しゅう模様が作成することが可能となります。

画面



メニューバー	各機能を実行します。
ツールバー	各メニュー機能へのショートカットです。
ツールボックス	各機能のツールを選択します。
ステータスバー	簡単な情報を表示します。
作業領域	この領域でパターンの作成・編集ができます。

次ページ以降の説明は、モードにプログラムタタミを指定している場合です。モチーフを指定している場合は、画面の状態、操作などが若干違ってきます。

ツールボックスの使い方

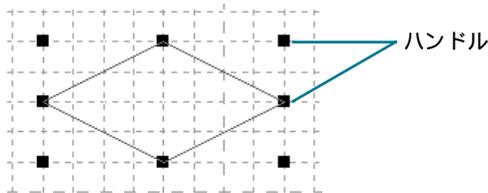
	選択ツール カーソルが  に変わります。	P.212
	ポイント編集ツール カーソルが  に変わります。	P.213
	直線描画ツール アプリケーションを起動すると、直線描画ツールが選択されています。 カーソルが  に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。	P.215

選択ツール

選択ツールは、1つまたは複数の線を選択するときに使用します。選択された線は移動、回転による方向の変更、反転を行うことができます。

■ パターンを選択する

- 1 ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。
- 2 選択したいパターンをクリックします。
選択されると、ハンドルが表示されます。



注意：パターンの上をクリックしないと、選択できません。

- 3 パターンの選択を解除するには、他のパターンを選択するか、パターンが無い部分をクリックするか、ツールボックスの直線描画ボタンをクリックします。
- 4 複数のパターンを選択するには、**Shift** キーを押しながらパターンをクリックします。

参考：パターンは、作業領域を囲むようにドラッグしても選択できます。ドラッグすると、点線の長方形が表示されます。マウスボタンを離すと、その長方形内にあるパターンと、触れたパターンのすべてが選択されます。

選択したくないパターンまで選択してしまったときは、パターンの無い部分をクリックしてすべての選択を解除し、選択し直します。

■ パターンを移動する

- 1 選択したパターン上にカーソルを移動します。
カーソルが  に変わります。
- 2 ドラッグすると移動します。

- ③ **Shift** キーを押しながらドラッグすると、パターンが水平方向または垂直方向に移動します。

参考：矢印キーを押すと、選択したパターンを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていないときは、最少グリッド間隔で移動します。

■ パターンを拡大・縮小する

- ① 選択されたパターン、または選択グループ上のハンドルにカーソルを移動します。

ハンドルの位置により、カーソルが 、、 または  に変わります。

- ② ハンドルを矢印の方向にドラッグして拡大、縮小します。
カーソルの形状により拡大、縮小する方向が異なります。

 は、幅を拡大・縮小します。

 は、高さを拡大・縮小します。

 と  は、幅と高さを同時に拡大、縮小します。(幅と高さの比率が保たれません。)

■ パターンを削除する

- ① 削除したいパターンを選択します。

- ② **Delete** キーを押すか、**編集 削除** をクリックしてパターンを削除します。

注意：モチーフモードでは削除できません。

ポイント編集ツール

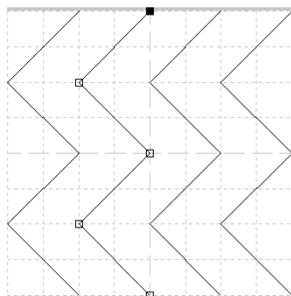
ポイント編集ツールにより、パターンのポイントの移動、挿入、削除ができます。移動または挿入したポイントは、グリッドが表示されているときは、グリッドの縦線と横線が交差する位置におかれます。したがって、ポイントをどこに移動、また挿入しても、最も近い交差点に移動、挿入されます。描きたいパターンによって、グリッドを選択してください。グリッドとその選択方法について、詳しくは、P.226 の「グリッド」を参照してください。

■ ポイントを移動する

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。

- ② 編集したいパターンをクリックします。

一度に1本のパターンだけを選択できます。選択されたパターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。



- ③ 移動したいポイントをクリックして選択します。

- ④ 複数のポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを中心ようにドラッグします。選択されたポイントは黒い四角で表示されます。

参考：パターンの線上でクリックすると、新しいポイントが挿入されます。

Ctrl キーを押しながら、左右の矢印キーを押すと、選択された状態を示す黒の四角マークが1つ前または1つ後のポイントに移動します。

- ⑤ ポイントを移動したい場所にドラッグします。選択されたすべてのポイントが同じ方向に移動します。

Shift キーを押しながらドラッグすると、ポイントは水平方向または垂直方向に移動します。

注意：矢印キーを押すと、選択したポイントを矢印キーの方向に1グリッドずつ移動できます。グリッドが表示されていないときは、小ピッチで移動します。

モチーフモードでは、始点（青い四角）または終点（赤い四角）を上下に移動すると、もう一方の点も共に移動します。なお、始点と終点は、一定の距離以下に近づくことはできません。

■ ポイントを挿入する

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。

- ② 編集したいパターンをクリックします。
パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

- ③ ポイントを挿入したい線上でクリックします。
新たなポイントが、小さな黒い四角で表示されます。挿入されたポイントは、すぐに編集できます。

参考：モチーフモードでは、このポイント挿入と先のポイント移動の操作によりパターンを作成・編集します。

すなわち、始点（青い四角）と終点（赤い四角）の間にポイントを挿入し、そのポイントを移動するという操作を繰り返し一筆書きのようなパターンを作成します。（P.221の「モチーフモード」参照）

■ ポイントを削除する

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが  に変わります。

- ② 削除したいパターンをクリックします。
一度に1本のパターンだけを選択できます。パターンの既存ポイントが小さな白い四角で表示されます。

- ③ 削除したいポイントをクリックします。
複数のポイントを選択するには、**Shift** キーを押しながらポイントをクリックするか、ポイントを中心ようにドラッグします。選択されたポイントは小さな黒い四角で表示されます。

- ④ **Delete** キーを押し、ポイントを削除します。削除後のポイントが1つ以下になるときは、線が削除されます。

注意：モチーフモードでは、始点（青い四角）と終点（赤い四角）は削除できません。

直線描画ツール

直線描画ツールでは、パターンの線または折線を描くことができます。作業領域に水平線または垂直線を引くと、グリッド線と重なって引かれます。マウスをクリックして作成したポイントは、グリッドが表示されている場合、グリッドの垂直線と水平線の交差するポイントに挿入され、対角線を引くこともできます。ここでクリックしても、最も近くのグリッドが交差する点に挿入されます。描きたいパターンによってグリッドの種類を選択します。グリッドとその設定について、詳しくは、P.226 の「グリッド」を参照してください。

■ 直線を描く

- ① ツールボックスの  をクリックします。カーソルが、 に変わり、機能を示す絵柄とともに表示されます。
- ② カーソルを線の開始点へ移動し、クリックします。
- ③ カーソルを次の点まで移動し、再度クリックします。
注意：マウスを右クリックすると、直前に入力したポイントを削除できます。
- ④ 最後の点まで繰り返し、最後の点でダブルクリックします。
パターンに、これ以外にも線を加えたい場合は、同じ手順を繰り返してください。
注意：このツールは、モードでプログラムタタミが選択されている場合のみ使用できません。

メニューバーの使い方

ファイルメニュー

開く、保存などのファイルの入力 / 出力を処理します。

メニュー	機能	参照ページ
新規作成	新規のファイルを作成します。	P.216
開く	以前に保存したパターンファイルを開きます。	P.216
下絵を開く	データ作成用の下絵として使用可能な背景画像を、作業領域上に開きます。	P.218
上書き保存	作業中のパターンファイルを保存します。	P.218
名前を付けて保存	作業中のパターンファイルを新しい名前で保存します。	P.219
終了	アプリケーションを終了します。	P.219

■ 新規作成

機能 : 新規のファイルを作成します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **N**

ツールバー :

操 作

- ① メニューバーの**ファイル 新規作成**をクリックします。
作業中のファイルがなければ、空白の新規ファイルが表示されます。
- ② 作業中のファイルがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ 作業中のファイルを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 作業中のファイルを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。(作業中のファイルを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)



参照 P.216 の「開く」、P.218 の「上書き保存」、P.219 の「名前を付けて保存」

■ 開く

機能 : 以前に保存したパターンファイルを開きます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **O**

ツールバー :

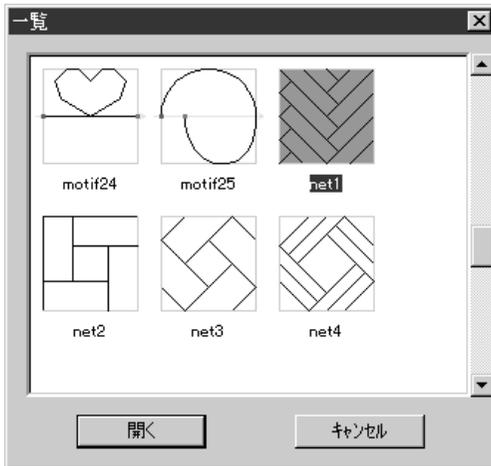
操作

- ① メニューバーの**ファイル 開く**をクリックします。
ファイルを開くダイアログが表示されます。



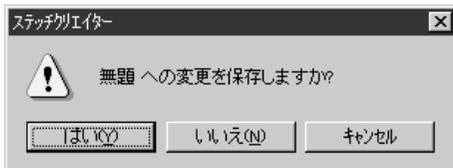
- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。
 - 必ず pas ファイルまたは pmf ファイルの入っているフォルダを選択してください。
 - プレビューチェックボックスをクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。
- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックします。作業領域にファイルが表示されます。
- ◆ **一覧**をクリックすると、選択されたフォルダ内の使用可能な pas または pmf ファイルすべてが表示されます。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② **一覧**を選択すると、**一覧**ダイアログが表示されます。



- ◆ スクロールバーを利用して、ファイルをさがします。
パターンの表示領域中央にある緑色のは、データがモチーフ用データ (*.pmf) であることを示しています。 が無い場合は、プログラムタタミ用データ (*.pas) です。
- ◆ パターンをクリックして選択します。
選択されたパターンが反転表示になります。
- ◆ **開く**をクリックするか、選択されたパターンをダブルクリックします。ファイルを開くと、**開く**ダイアログと**一覧**ダイアログの両方が閉じます。モードが、自動的に選択された pmf または pas に適したものに切り替わります。
- ◆ **開く**ダイアログに戻る場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ③ 作業中のファイルが無い場合、選択されたファイルが表示されます。作業中のファイルがある場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。



- ◆ 作業中のファイルを保存する場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 作業中のファイルを廃棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
(作業中のファイルを修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)



P.216 の「新規作成」、P.218 の「上書き保存」、P.219 の「名前を付けて保存」

■ 下絵を開く

機能 : データ作成用の下絵として使用可能な背景画像を、作業領域上に開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **下絵を開く**をクリックします。
下絵を開くダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブ、フォルダ、ファイル名を選択します。

- **プレビューチェックボックス**をクリックし、が表示されると、プレビュー画面で選択されたファイルの内容を見ることができます。

- ◆ ファイル名をクリックしてから**開く**をクリックするか、ファイル名をダブルクリックしてファイルを開きます。
本アプリケーションで開くことができるファイルの拡張子は、Windows BMP (*.bmp)、Exif (*.tif, *.jpg)、ZSoft PCX (*.pcx)、Windows Meta File (*.wmf)、Portable Network Graphics (*.png)、Encapsulated PostScript (*.eps)、Kodak PhotoCD (*.pcd)、FlashPix (*.fpx) のいずれかです。

注意 : 複数のページに保存された pcd ファイルと fpx ファイルは、最初のページのみを開くことができます。LZW 圧縮を使用した tif ファイルは開けません。

- ◆ この操作を中止したい場合は、**キャンセル**をクリックします。



参照 P.227 の「下絵」

■ 上書き保存

機能 : 作業中のパターンファイルを保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **S**

ツールバー :

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **上書き保存**をクリックします。
ファイルがすでにディスクにあれば（少なくとも一度は保存されていれば）、直ちに上書き保存されます。
- ② ファイル名が**無題**のとき、pmf ファイルまたは pas ファイルが「読み取り専用」となっているとき、または、ディスク上にファイルが見つからないときは、自動で**名前を付けて保存**ダイアログに切り替わります。



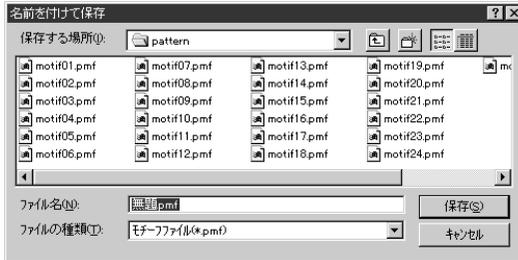
参照 P.219 の「名前を付けて保存」

名前を付けて保存

- 機能** : 作業中のパターンファイルを新しい名前で保存します。
- ショートカットキー** : この機能に対応するショートカットキーはありません。
- ツールバー** : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **名前を付けて保存**をクリックします。
次のような**名前を付けて保存**ダイアログが表示されます。



- ◆ ドライブとフォルダを選択し、ファイル名を入力します。
- ◆ ファイルの拡張子が、モード設定に合わせて自動的に付けられます。
プログラムタタミモード時 = *.pas
モチーフモード時 = *.pmf
- ◆ **保存**をクリックして保存します。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。

- ② 同じ名前のファイルがすでにある場合は、次のダイアログが表示されます。



- ◆ 上書きする場合は、**はい**をクリックします。
- ◆ 上書きしたくない場合は、**いいえ**をクリックします。



参照

P.218 の「上書き保存」

終了

- 機能** : アプリケーションを終了します。
- ショートカットキー** : **Alt** + **F4**
- ツールバー** : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ファイル** **終了**をクリックします。
作業中のパターンが編集されていない場合は、アプリケーションは直ちに終了します。
- ② 作業中のパターンが編集されている場合は、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。
P.216 の「開く」を参照してください。



参照

P.218 の「上書き保存」、上記の「名前を付けて保存」

モードメニュー

ステッチクリエイターを使用して、プログラムタタミ用パターンとモチーフ用パターンを作成できます。方法と作業領域はそれぞれ異なります。このモード機能によって、どちらのパターンを作成するか設定します。

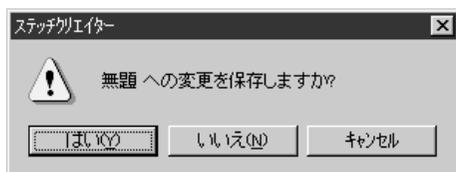
機能 : データ作成モードを変更します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**モード**をクリックし、サブメニューから作成したいパターンのメニューを選択します。
 - ◆ **プログラムタタミ**をクリックすると、モードが変わって、プログラムタタミのパターンを作成します。
 - ◆ **モチーフ**をクリックすると、モードが変わって、モチーフのパターンを作成します。
- ② 作業中の作業領域が編集されていると、変更を保存するかどうかを尋ねてきます。

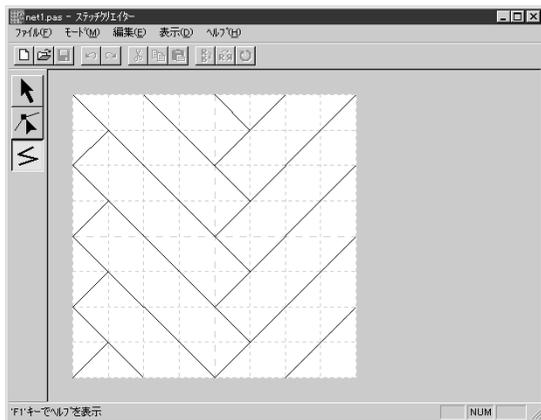


- ◆ **はい**をクリックして、作業領域のパターンを保存します。
- ◆ 作業領域のパターンを破棄する場合は、**いいえ**をクリックします。
- ◆ この操作を中止する場合は、**キャンセル**をクリックします。
(作業中の作業領域を修正したり、別の名前を付けて保存する場合など)

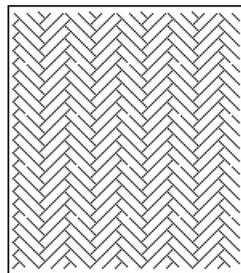
プログラムタタミモード

プログラムタタミモードでは、1本の線または複数の線からなるパターンを作成することができます。

ツールボックスには、選択ツール、ポイント編集ツール、直線描画ツールがあります。これらのツールを使って、作業領域で自由に線の挿入や編集をし、パターンを作成することができます。プログラムタタミ縫いでは、通常のタタミ縫いとは異なり、作成したパターンが浮きできるようにパターンの線上に針が落ちるようにデータが作成されます。



(模様例)



モチーフモード

モチーフモードでは、一本の線を使用して、一筆書きの要領でパターンを作成します。作業領域の中央に、緑の矢印()が表示され、刺しゅうが行われる方向が示されています。ボックスの左端中央に、始点が青の長方形で表示され、右端中央には終点が赤の長方形で表示されています。これらの点は線で繋がっています。

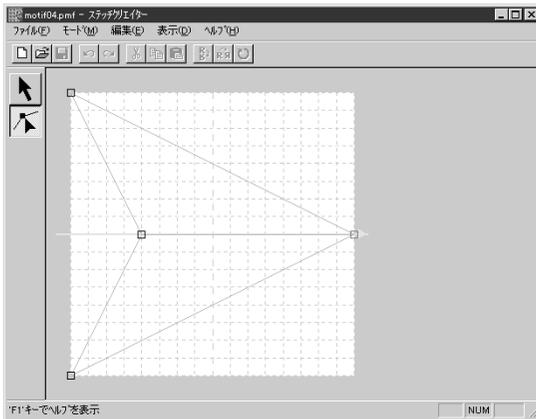
ツールボックスには、選択ツールとポイント編集ツールがあります。既に表示されている線に対して、ポイントの挿入、移動、その他の方法で編集してパターンを作成していきます。始点と終点は削除できません。始点と終点は同一の上下位置になければならないので、1点を上下させると、他の点も同じように自動で移動します。

これらの模様は、一筆書きの要領で縫われます。

(**Ctrl**) と左右(、)の矢印キーを使用して、ポイントの順序を確認できます。)

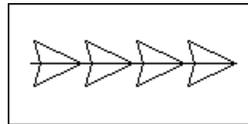
ここで作成したパターンを利用するモチーフ縫いは、レイアウトセンターでは線と面の縫い方に使用でき、またデザインセンターでは面の縫い方に使用できます。

(詳しくは、それぞれの「縫い方の設定」を参照してください。)

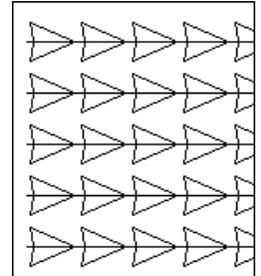


(模様例)

線縫い



面縫い



メニュー		機能	参照ページ
元に戻す		直前の操作を元の状態に戻します。	P.222
やり直し		最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。	P.222
切り取り		選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードに保存します。	P.223
コピー		選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードに保存します。	P.223
複製		選択されたパターンを複製します。	P.223
貼り付け		クリップボードに保存されたパターンを作業領域に貼り付けます。	P.224
削除		選択されたパターンまたはポイントを画面から削除します。	P.224
反転	上下	選択されたパターンを上下に反転します。	P.224
	左右	選択されたパターンを左右に反転します。	P.224
回転		選択されたパターンを任意の角度で回転します。	P.225
すべて選択		すべてのパターンを選択します。	P.225

■ 元に戻す

機能 : 直前の操作を元の状態に戻します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Z**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集** **元に戻す**をクリックします。
直前の操作を行う前の状態に戻します。例えば、パターンを間違えて削除しても、この機能を使うと復元することができます。



参照 P.222 の「やり直し」

■ やり直し

機能 : 最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **A**

ツールバー : 

操作

- ① メニューバーの**編集** **やり直し**をクリックします。
最後に行った「元に戻す」の操作を解除します。例えば、パターンを引いた直後に**元に戻す**を使うとパターンが消去されますが、**やり直し**を使うとパターンが再び表示されます。



参照 P.222 の「元に戻す」

■ 切り取り

機能 : 選択されたパターンを画面から削除し、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **X**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- メニューバーの **編集** **切り取り** をクリックします。
選択されたパターンが削除されます。データはクリップボードに保存されるので、**編集** **貼り付け** を使って、貼り付けることができます。
注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



参照

P.223 の「コピー」と「貼り付け」、P.224 の「削除」

■ コピー

機能 : 選択されたパターンを画面から削除しないで、クリップボードに保存します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **C**

ツールバー : 

操作

- 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- メニューバーの **編集** **コピー** をクリックします。
パターンがクリップボードに保存され、**編集** **貼り付け** を使って、貼り付けることができます。
注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



参照

P.223 の「切り取り」、P.223 の「複製」と「貼り付け」

■ 複製

機能 : 選択されたパターンを複製します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **D**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- メニューバーの **編集** **複製** をクリックします。
選択されたパターンが複製され、作業領域に表示されます。
注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



参照

P.223 の「コピー」と「貼り付け」

貼り付け

機能 : クリップボードに保存されたパターンを作業領域に貼り付けます。

ショートカットキー : **Ctrl** + **V**

ツールバー :         

操作

- ① メニューバーの**編集 貼り付け**をクリックします。
切り取りやコピーでクリップボードに保存されたパターンが、作業領域に貼り付けられます。
注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。



参照 P.223 の「切り取り」、P.223 の「コピー」

削除

機能 : 選択されたパターンまたはポイントを画面から削除します。

ショートカットキー : **Delete**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① 1 つまたは複数のパターンまたはポイントを選択します。
- ② メニューバーの**編集 削除**をクリックします。
選択されたパターンまたはポイントが画面から削除されます。クリップボードに保存されないため、再び表示させたい場合は、次の操作をする前に**編集 元に戻す**を使ってください。



参照 P.222 の「元に戻す」と「切り取り」

反転 - 上下

機能 : 選択されたパターンを上下に反転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **H**

ツールバー :          

操作

- ① 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- ② メニューバーの**編集 反転 上下**をクリックします。
選択されたパターンが上下に反転します。この操作を連続して二度行くと、元のパターンに戻ります。



参照 P.224 の「反転 - 左右」、P.225 の「回転」

反転 - 左右

機能 : 選択されたパターンを左右に反転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **J**

ツールバー :          

操作

- 1 つまたは複数のパターンを選択します。
- メニューバーの **編集 反転 左右** をクリックします。
選択されたパターンが左右に反転します。この操作を連続して二度行くと、元のパターンに戻ります。



参照 P.224 の「反転 - 上下」、P.225 の「回転」

回転

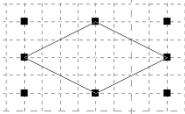
機能 : 選択されたパターンを任意の角度で回転します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **Y**

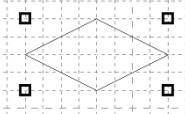
ツールバー : 

操作

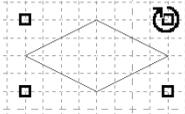
- 1 つまたは複数のパターンを選択します。



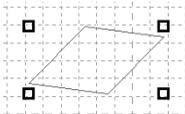
- メニューバーの **編集 回転** をクリックします。
ハンドルが白い四角に変わります。



- カーソルをハンドルの 1 つに移動します。カーソルが  に変わります。



- ハンドルをドラッグし、希望する角度に回転させて、マウスボタンを離します。



ドラッグすると、右または左に 1 度単位で回転します。 **Shift** キーを押しながらドラッグすると 15 度単位で回転します。

注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。

すべて選択

機能 : すべてのパターンを選択します。

ショートカットキー : **Ctrl** + **E**

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- カーソルが選択ツールになっているかを確認します。
- メニューバーの **編集 すべて選択** をクリックします。
注意 : この操作はプログラムタタミモードでのみ行えます。

表示メニュー

表示メニューにより画面の表示状態を変更できます。

メニュー	機能	参照ページ
グリッド	グリッドの設定をします。	P.226
下絵	表示	下絵になる画像ファイルの、表示 / 薄く表示 / 表示しないを切り替えます。
	薄く表示	
	表示しない	
プレビュー	パターンの縫製イメージの表示 / 非表示を切り替えます。	P.227
ツールバー	ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.228
ステータスバー	ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。	P.228

■ グリッド

機能 : グリッドの設定をします。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

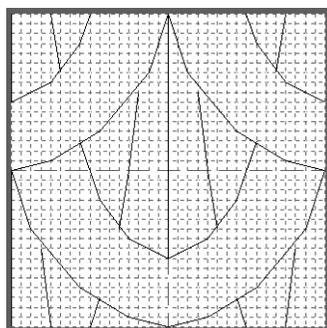
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操 作

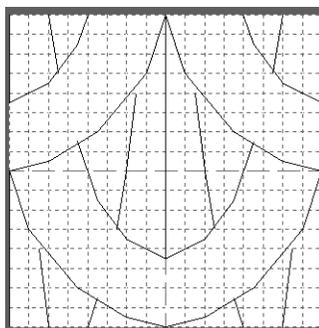
- ① メニューバーの表示 **グリッド** をクリックします。
- ② 作成または編集したいパターンに必要な設定をクリックします。作業しながら、グリッドを変更し、描画を続行することができます。
広いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/8 に変更します。
普通をクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/16 に変更します。
狭いをクリックすると、グリッド間隔を作業領域の 1/32 に変更します。
表示しないをクリックすると、グリッドが消去されます。

グリッドの設定内容はアプリケーション終了時に記憶され、次回起動時にその状態が反映されます。

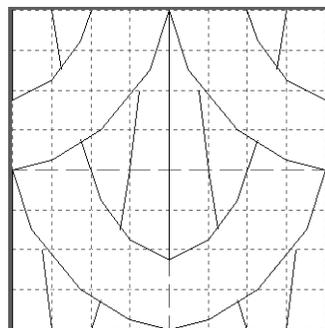
例 1 : 狭いグリッド



例 2 : 普通グリッド



例 3 : 広いグリッド



作業領域で描かれる水平線と垂直線は、常にグリッド線をたどります。移動または挿入したポイントは、グリッドの縦線と横線が交差する位置に置かれます。どこに移動、または挿入しても、ポイントは最も近い交差点に移動、挿入されます。描きたいパターンによって、グリッドを選択してください。細かなパターンを描くときは、より狭いグリッドを選択し、より単純なパターンを描くときはより広いグリッドを選択してください。

表示しないが選択されている場合は作業領域のどこでもポイントの移動、挿入などができません。

■ 下絵

機能 : 下絵になる画像ファイルの、表示 / 薄く表示 / 表示しないを切り替えます。

ショートカットキー : (F6)

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

① メニューバーの**表示 下絵**をクリックし、次に設定を選択します。

- ◆ **表示**をクリックして、オリジナルのイメージを表示させます。
- ◆ **薄く表示**をクリックして、イメージを薄く表示させます。
- ◆ **表示しない**をクリックして、イメージを隠します。

この機能は、下絵が開いてないと使用できません。ショートカットキー (F6) を押すと、下絵の、**表示 / 薄く表示 / 表示しない**が順に切り替わります。



P.218 の「下絵を開く」

■ プレビュー

機能 : パターンの縫製イメージの表示 / 非表示を切り替えます。

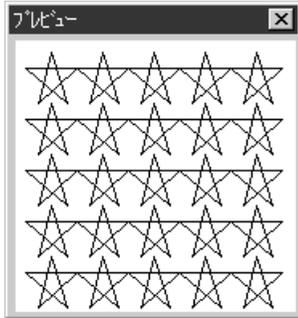
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

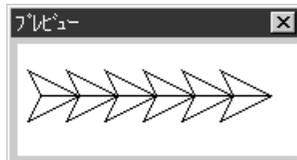
操作

① メニューバーの**表示 プレビュー**をクリックします。

プレビューダイアログが表示されていないときは、モード設定に合った次のようなプレビューダイアログが表示されます。



モード : プログラムタタミ



モード : モチーフ

プレビューダイアログの表示 / 非表示の状態と位置の情報は、アプリケーションの終了時に保存されますので、次のアプリケーション起動時にその状態が反映されます。

■ ツールバー

- 機能** : ツールバーの表示 / 非表示を切り替えます。
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** ツールバーをクリックします。
 ツールバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.228 の「ステータスバー」

■ ステータスバー

- 機能** : ステータスバーの表示 / 非表示を切り替えます。
ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーの表示** ステータスバーをクリックします。
 ステータスバーの表示と非表示が交互に切り替わります。



P.228 の「ツールバー」

ヘルプメニュー

ヘルプシステムが起動します。

メニュー	機能	参照ページ
目次	このアプリケーションのヘルプを表示します。	P.228
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方を説明します。	P.229
刺しゅう PRO WEB ページ	当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。	P.229
バージョン情報	バージョン、著作権などに関する情報を表示します。	P.229

■ 目次

- 機能** : このアプリケーションのヘルプを表示します。
ショートカットキー : (F1)
ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① **メニューバーのヘルプ** 目次をクリックします。
 ヘルプの目次が表示されます。

■ ヘルプの使い方

機能 : ヘルプの使い方を説明します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ヘルプ ヘルプの使い方**をクリックします。
ヘルプの使い方について、Windows 標準的な説明が表示されます。

■ 刺しゅう PRO WEB ページ

機能 : 当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページを開きます。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ヘルプ 刺しゅう PRO WEB ページ**をクリックします。
- ② インストールされているブラウザが起動し、当社ホームページの「刺しゅう PRO」のページが開きます。
注意 : インターネットブラウザが正しくインストールされ、インターネットに接続する環境が整っていないと、この機能は使用できません。

■ バージョン情報

機能 : バージョン、著作権などに関する情報を表示します。

ショートカットキー : この機能に対応するショートカットキーはありません。

ツールバー : この機能に対応するボタンはありません。

操作

- ① メニューバーの**ヘルプ バージョン情報**をクリックします。
ダイアログが表示されます。
- ② OK をクリックしてダイアログを閉じます。

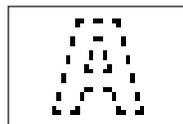
糸色パレット

標準の配列の場合

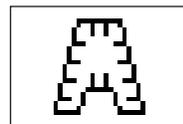
クロ	シロ	アカ	ピンク	コイ ピンク	モモ イロ	マゼンダ	シュイロ
ベニイロ	コイアカ ムラサキ	アカ ムラサキ	サ - モン ピンク	ベニ カバイロ	レモン イロ	キイロ	ヤマブキ イロ
オレンジ	ダイダイ イロ	マンダリン	クリ - ム イロ	タマゴ イロ	ツチイロ	オウド イロ	キンチャ
ハダイロ	コイ コゲチャ	アカ チャイロ	チャイロ	ベ - ジュ	ハイイロ	クチバ イロ	コゲチャ
セイジ イロ	エメラルド グリ - ン	トキワ イロ	マツバ イロ	ハイ ミドリ	アオ ミドリ	ミドリ	フカ ミドリ
ワカバ イロ	キミドリ	モス グリ - ン	アオ	グンジョウ イロ	ミズイロ	ソライロ	ライト ブル -
ナンド イロ	アイイロ	アオ ムラサキ	ウスアカ ムラサキ	ウス ムラサキ	スマレ イロ	ムラサキ	フジイロ
フジ ムラサキ	グレ -	コイ グレ -	ギン	ネズミ イロ			
空白							



アップリケピース



アップリケノイチ

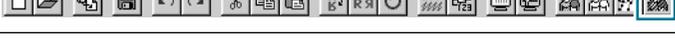


アップリケ

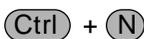
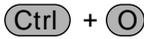
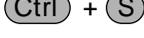
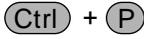
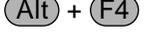
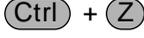
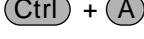
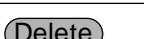
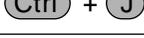
ショートカット早見表

デザインセンター

メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ		
新規作成（輪郭線画）	Ctrl + N		78		
新規作成（輪郭データ）	-	-	78		
ウィザード	F3	-	79		
開く	Ctrl + O		82		
TWAIN 機器の選択	-	-	83		
ファイル	TWAIN 機器から入力	-	83		
	クリップボードから入力	-	84		
	クリップボードに出力	-	84		
	輪郭データ取込み	F8		85	
	上書き保存	Ctrl + S		85	
	名前を付けて保存	-	-	85	
	終了	Alt + F4	-	86	
	編集	元に戻す	Ctrl + Z		87
		やり直し	Ctrl + A		87
		切り取り	Ctrl + X		88
コピー		Ctrl + C		88	
複製		Ctrl + D	-	88	
貼り付け		Ctrl + V		88	
削除		Delete	-	89	
反転 - 上下		Ctrl + H		89	
反転 - 左右		Ctrl + J		90	
回転		Ctrl + Y		90	
数値設定 - サイズ	-	-	90		

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
編集	数値設定 - 回転	-	-	91
	すべて選択	Ctrl + E	-	91
縫い方	縫い方の設定	Ctrl + W		92
	縫い順の確認	F10		96
表示	グリッド	-	-	98
	プレビュー	F9		99
	画面の再描画	Ctrl + R	-	99
	リアルプレビュー	Shift + F9		99
	リアルプレビューの設定	-	-	100
	ツールバー	-	-	100
	ステータスバー	-	-	100
オプション	レイアウトセンターの起動	F5	-	101
	ステッチクリエーターの起動	-	-	101
	ファイルユーティリティの起動	-	-	101
	デザインページの設定	-	-	102
	糸色ダイアログの設定	-	-	103
	単位の設定	-	-	103
	ステージ	原画ステージ	-	
輪郭線画ステージ		-		105
輪郭データステージ		-		107
縫い方設定ステージ		-		108
フォトステッチ		-		109
ヘルプ	目次	F1	-	114
	ヘルプの使い方	-	-	114
	刺しゅう PRO WEB ページ	-	-	114
	バージョン情報	-	-	115

レイアウトセンター

メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ	
ファイル	新規作成	 Ctrl + N	 147	147
	開く	 Ctrl + O	 148	148
	データ取込み - ファイルから	F8	 149	149
	データ取込み - デザインセンターから	F7	 151	151
	下絵を開く	-	-	152
	上書き保存	 Ctrl + S	 153	153
	名前を付けて保存	-	-	153
	データ書出し	-	-	154
	カード書込み	F4	 154	154
	ファイルプロパティ	-	-	155
	印刷の設定	-	-	156
	印刷プレビュー	-	-	157
	印刷	 Ctrl + P	-	158
	終了	 Alt + F4	-	159
編集	元に戻す	 Ctrl + Z	 160	160
	やり直し	 Ctrl + A	 160	160
	グループ化	 Ctrl + G	-	161
	グループ化解除	 Shift + G	-	161
	切り取り	 Ctrl + X	 162	162
	コピー	 Ctrl + C	 162	162
	複製	 Ctrl + D	-	162
	貼り付け	 Ctrl + V	 163	163
	削除	Delete	-	163
	反転 - 上下	 Ctrl + H	 163	163
	反転 - 左右	 Ctrl + J	 164	164
回転	 Ctrl + Y	 164	164	

	メニュー	ショートカットキー	ツールバー	ページ
編集	数値設定 - サイズ	-	-	165
	数値設定 - 回転	-	-	166
	中央へ移動	Ctrl + M	-	167
	整列	-	-	167
	縫い順	Ctrl + B Ctrl + F		168
	すべて選択	Ctrl + E	-	169
文字	文字の編集	Ctrl + L	-	170
	書式設定	Ctrl + K		171
	文字の配列	Ctrl + T		172
	文字配列の解除	Ctrl + Q		174
	文字の変形	F2		174
	変形の解除	F3		175
	True Type フォントの設定	-	-	175
縫い方	縫い方の設定	Ctrl + W		176
	縫い順の確認	F10		182
	ドーナツ縫いの設定	-	-	183
	ドーナツ縫いの解除	-	-	184
	STB 機能 (Stitch to Block 機能)	-	-	184
	取込み模様の糸色変更	-	-	185
	縫製範囲の設定	-	-	186
	枠の最適化	-	-	187
表示	グリッド	-	-	188
	プレビュー	F9		189
	画面の再描画	Ctrl + R	-	189
	リアルプレビュー	Shift + F9		189
	リアルプレビューの設定	-	-	190
	下絵	F6	-	190

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
表示	ツールバー	-	-	191
	ステータスバー	-	-	191
オプション	デザインセンターの起動	F5	-	192
	ステッチクリエーターの起動	-	-	192
	ファイルユーティリティの起動	-	-	193
	デザインのプロパティ	-	-	193
	デザインページの設定	-	-	195
	糸色ダイアログの設定	-	-	195
	単位の設定	-	-	196
ヘルプ	目次	F1	-	197
	ヘルプの使い方	-	-	197
	刺しゅう PRO WEB ページ	-	-	197
	バージョン情報	-	-	198

ファイルユーティリティー

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	終了	Alt + F4	-	208
オプション	接続ポートの設定	-	-	208
	カードライターのバージョン	-	-	208
ヘルプ	目次	F1	-	209
	ヘルプの使い方	-	-	210
	刺しゅう PRO WEB ページ	-	-	210
	バージョン情報	-	-	210

ステッチクリエーター

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	新規作成	Ctrl + N		216
	開く	Ctrl + O		216

メニュー		ショートカットキー	ツールバー	ページ
ファイル	下絵を開く	-	-	218
	上書き保存	Ctrl + S		218
	名前を付けて保存	-	-	219
	終了	Alt + F4	-	219
モード	プログラムタタミ	-	-	220
	モチーフ	-	-	221
編集	元に戻す	Ctrl + Z		222
	やり直し	Ctrl + A		222
	切り取り	Ctrl + X		223
	コピー	Ctrl + C		223
	複製	Ctrl + D	-	223
	貼り付け	Ctrl + V		224
	削除	Delete	-	224
	反転 - 上下	Ctrl + H		224
	反転 - 左右	Ctrl + J		224
	回転	Ctrl + Y		225
	すべて選択	Ctrl + E	-	225
表示	グリッド	-	-	226
	下絵	F6	-	227
	プレビュー	-	-	227
	ツールバー	-	-	228
	ステータスバー	-	-	228
ヘルプ	目次	F1	-	228
	ヘルプの使い方	-	-	229
	刺しゅう PRO WEB ページ	-	-	229
	バージョン情報	-	-	229

索引

A

- AC アダプター 1, 2
- AC アダプターコネクタ 1

C

- CD-ROM 4
- CPU 4

P

- PC 4

S

- STB 機能 (Stitch to Block 機能) 184

T

- True Type フォント 128, 175
- True Type フォントの設定 175
- TWAIN 84
- TWAIN 機器から入力 83
- TWAIN 機器の選択 83

W

- Windows 4

あ

- アプリケーションアイコン 144
- アレンジ 1 (横配列) 95, 178, 181
- アレンジ 2 (縦配列) 95, 178, 181

い

- 糸色 74, 141
- 糸色ダイアログの設定 103, 195
- 糸色と縫い方を設定する 74
- 糸色パレット 230
- 糸色ボタン 76, 143
- 糸密度 93, 94, 112, 177, 179
- 色の変更 112
- 色順で配列 103, 196
- 色数 106
- 色数指定ボックス 112
- 色タブ 96
- 印刷 158
- 印刷の設定 156
- 印刷プレビュー 157
- インストール 4
- インターネットエクスプローラ 7
- インターフェイスケーブル 1, 2

う

- ウィザード 79
- 上書き保存 45, 85, 153, 218

え

- エラーメッセージ 202, 206
- 円 31
- 円・円弧描画ツール 128
- 円弧と弦を描く 130
- 円弧の種類 136
- 円弧を描く 129
- 円または楕円を描く 129

お

- 扇形を描く 130
- 大型刺しゅう枠 51
- 大型刺しゅう枠用のデータを作成する 51
- 大型枠 194
- オプションメニュー 101, 192, 208
- オフセット - オフセット値 94, 180
- オフセット - オフセット方向 94, 180
- オフセット量 95, 181
- オリジナルカード 44, 154, 200, 204

か

- カード書込み 154
- カードスロット 1
- カードライター 1, 2, 208
- 解像度 107
- 回転 63, 91, 121, 164, 171, 225
- 角の丸みセレクト 137
- 画面の再描画 99, 189

き

- 幾何学的属性 135, 136
- 基準線からのオフセット 171
- 行間 171
- 曲線描画ツール 132
- 曲線を描く 132
- 切り取り 88, 162, 223

<

- グリッド 98, 188, 226
- クリップボードから入力 84
- クリップボードに出力 84
- グループ化 161
- グループ化解除 161

け

原画	9
原画ステージ	57, 104
原画の種類	112
原画の調整	109
減色処理機能	106

こ

コピー	88, 162, 223
-----	--------------

さ

最小化ボタン	12
細線化処理	107
最大化ボタン	12
最大幅	181
削除	89, 163, 224
サテン幅	93, 177

し

刺しゅう PRO WEB ページ	114, 197, 210, 229
刺しゅう属性	136
刺しゅう模様を移動する	30, 120
刺しゅう模様を回転する	121
刺しゅう模様を拡大・縮小する	120
刺しゅう模様を上下または左右に反転する	120
刺しゅう模様を選択する	119
刺しゅう模様を縫い順で選択する	119
下打ち	94, 179
下絵	190, 227
下絵を開く	152, 218
実縫製サイズにズームする	126
自動設定	112
写真/イラスト	112
終了	86, 159, 208, 219
手動色指定	113
消去	59
使用色の一覧	112
使用色リスト一覧	112
ショートカット早見表	231
書式設定	171
書体	33, 138
シリアルポート	4
新規作成	147, 216
新規作成 (輪郭線画)	78
新規作成 (輪郭データ)	78

す

数値設定 - 回転	91, 166
数値設定 - サイズ	90, 165
ズームアウトツール	73
ズームインとズームアウトを行う	15, 28, 126
ズームツール	60, 65, 73, 126
スキャナ	4
ステージ	9, 57
ステージメニュー	104

ステータスバー	100, 191, 228
ステッチクリエイター	10, 46, 47, 211
ステッチクリエイターの起動	47, 101, 192
すべて選択	91, 169, 225

せ

整列	167
接続ポートの設定	208
タタミ縫い	94
選択された模様を画面サイズに拡大する	126
選択ツール	62, 119, 212
線の色	18
線の設定ツール (全体)	69
線の設定ツール (部分)	71
線の設定ボタン	75, 141
線の縫い方	93, 177

そ

揃え方	172
-----	-----

た

タタミ縫い	94
縦位置	173
縦書き/横書き	172
単位の設定	103, 196

ち

縮み補正	94, 179
中央へ移動	167
長方形描画ツール	131
長方形を描く	131
直線 (折線) を描く	131
直線化・曲線化する	124
直線描画ツール	65, 131, 215
直線を描く	65, 215

つ

通信中表示 LED	1
ツールバー	77, 100, 146, 191, 228
ツールボックス	59, 61, 67, 118, 212
使うパターン	95, 180

て

ディスプレイ	4
データ書込み	199, 204
データ書出し	154
データ取込み - デザインセンターから	26, 151
データ取込み - ファイルから	149
データ読み込み	199, 200
データをオリジナルカードに書込む	54
デザインセンター	9, 11, 57
デザインセンターから刺しゅう模様を取り込む	26
デザインセンターの起動	12, 192
デザインのプロパティ	193
デザインページズーム	60, 65
デザインページ全体を表示する	127
デザインページの色	112
デザインページの設定	102, 195
電源表示 LED	1

と

ドーナツ縫いツール	72
ドーナツ縫いの解除	184
ドーナツ縫いの設定	42, 183
特別色	144
取込み模様の糸色変更	185

な

名前を付けて保存	85, 153, 219
----------	--------------

に

任意多角形のマスク	110
-----------	-----

ぬ

縫い角度	94, 179
縫い方	18, 74, 76, 112, 141
縫い方設定	9, 17
縫い方設定ステージ	57, 108
縫い方セレクト	76
縫い方の種類セレクト	145
縫い方の設定	92, 176
縫い方バー	74, 135
縫い方メニュー	92, 176
縫い順	41, 168
縫い順の確認	96, 182
縫いピッチ	94, 180

の

ノイズ除去	106
-------	-----

は

バージョン情報	115, 198, 210, 229
ハードディスクの空き	4
走り回数	93, 178
走りピッチ	93, 95, 112, 178, 181
パターン	49, 94, 95, 178, 180, 181
パターン角度	94, 95, 180, 181
パターンのサイズ - 高さ	94, 95, 178, 180, 181
パターンのサイズ - 幅	94, 95, 178, 180, 181
パターンを移動する	212
パターンを拡大・縮小する	213
パターンを削除する	213
パターンを選択する	212
貼り付け	88, 163, 224
反対側	173
反転 - 左右	63, 90, 120, 164, 224
反転 - 上下	63, 89, 120, 163, 224

ひ

必要なシステム環境	4
表示メニュー	98, 188, 226
標準の配列	103, 196
開く	82, 148, 216

ふ

ファイルプロパティ	155
ファイルメニュー	77, 147, 208, 216
ファイルユーティリティ	10, 199
ファイルユーティリティの起動	101, 193
フォトステッチ	80, 109
複製	88, 162, 223
部分タブ	97
プリンタ	4
プレビュー	23, 43, 99, 189, 227
プログラムタタミモード	220
プログラムタタミ縫い	38

へ

ページの色も縫う	112
ヘルプの使い方	114, 197, 210, 229
ヘルプメニュー	114, 197, 209, 228
変形の解除	175
変形の度合いセレクト	140
偏差	94, 180
編集メニュー	87, 160, 222
ペンツール	59

ほ

ポイントの接線方向を変える	123
ポイント編集ツール	64, 122, 213
ポイントを移動する	64, 122, 213
ポイントを削除する	64, 124, 214
ポイントを挿入する	64, 123, 214
縫製範囲の設定	186
ほかす側	181
保存	23, 54

ま

マウス	4
マスク	110
マニュアルパンチングツール	133
マニュアルパンチング模様を作成する	133

む

向き	173
----------	-----

め

メニューバー	77, 146, 208, 216
メモリ	4
面の色	20
面の設定	74
面の設定ツール	68
面の設定ボタン	142
面の縫い方	20, 93, 178

も

モードメニュー	220
目次	114, 197, 209, 228
文字	33
文字間	171
文字サイズセレクタ	33, 139
文字属性	135, 138
文字入力ツール	127
文字の配列	35, 172
文字の変形	174
文字の編集	170
文字配列の解除	174
文字メニュー	170
文字模様で文字を選択する	125
文字を入力する	127
モチーフモード	221
元に戻す	87, 160, 222

や

やり直し	87, 160, 222
------------	--------------

よ

横位置	173
-----------	-----

り

リアルプレビュー	99, 100, 189, 190
両端の処理セレクタ	137
輪郭強調処理	110
輪郭線画	9
輪郭線画ステージ	57, 105
輪郭データ	9, 16
輪郭データステージ	57, 107
輪郭データズーム	66
輪郭データ取込み	85
輪郭データを移動する	62
輪郭データを拡大・縮小する	63
輪郭データを選択する	62

れ

レイアウトセンター	10, 24, 117
レイアウトセンターの起動	25, 101

わ

枠の最適化	187
-------------	-----

CD-ROMの包装を開封する前に必ずお読み下さい。

この度は弊社のソフトウェア製品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
弊社では本製品に下記契約事項を設けており、お客様のご同意のあった場合のみ本製品をご使用いただいております。本製品のCD-ROMの包装を開封される前に、下記「ソフトウェアにおける契約条項」を充分お読み下さい。本製品の使用条件は、CD-ROMの包装の開封をもって、お客様にご了承いただいたものとさせていただきます。開封後の返品は一切お断りいたします。

ソフトウェアにおける契約条項

1. 総則

この条項は、お客様と弊社との間における、本製品の使用に関する取り決めです。

2. 本製品の使用

お客様は本製品を1台のコンピュータにインストールして使用することができます。

3. 複製

お客様による本製品のバックアップ目的以外の複製は禁止されております。

4. 改造等

お客様による本製品の改造、解析等は禁止します。

5. 譲渡

お客様は本製品について、第三者に再使用权を設定し、又はその他の方法で第三者に使用させる事ができないものとします。

6. 保証

お客様による本製品の選択、使用および使用結果について弊社はいかなる責任も負いません。

7. その他

本製品は著作権法によって保護されています。

本製品の一部はSoftfoundry International Pte.Ltd.の技術を使用して作られています。

アフターサービス

お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保管してください。

無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。（詳しくは保証書をご覧ください。）

それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。

当社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の お客様相談室 へお問い合わせください。

ミシン119番 フリーダイヤル0120-340-233

ブラザーミシンの使い方やアフターサービスについて、ご不明の場合はお買い上げの販売店、またはミシン119番までお問い合わせください。

ミシン119番ではミシンの使い方のご説明や、トラブルに対するご相談、修理の受付対応をさせていただいております。

お客様相談室

ブラザー販売株式会社

本 社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3125
北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3丁目2-2	TEL: (011)261-6631
東 北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL: (022)227-8877
東 京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3丁目3-8	TEL: (03)3281-4204
中 部お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15番1号	TEL: (052)824-3193
関 西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4丁目4番2号	TEL: (06)6531-4670
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4番28号	TEL: (082)240-3762
九 州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2丁目3-12	TEL: (092)431-6566

ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記、最寄りの [お客様相談室] へご連絡ください。

最寄りのお客様相談室におかけになったすべての電話は、本社お客様相談室へ転送されますが、転送電話料金は、弊社が負担致します。

FAXの場合は、すべて本社お客様相談室 (052) 824-3031 でお受け致します。

上記の電話番号および住所は、都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

名古屋瑞穂区苗代町15-1 〒467-8561

取扱店

122-911
191911-002
Printed in Japan
0102